



O1V

DIGITAL MIXING CONSOLE

取扱説明書

このたびはヤマハデジタルミキシングコンソールO1Vをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
O1Vの優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。



！安全上のご注意

安全にお使いいただくため

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

- △：注意(危険・警告を含む)を促す事項
- ⊘：決しておこなってはいけない禁止事項
- ：必ずおこなっていただく強制事項



警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置される時	
	<p>この機器はAC100V専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用は特にご注意ください。</p> <p>この機器の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、この機器のケースの前・後・上・底部には通風孔があげてあります。通風孔がふさがると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。とくに、次のような使い方は避けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。・ 本箱や押し入れなど、専用ラック以外の風通しの悪い狭いところに押し込める。・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。 <p>電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かずに重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることは、起こりがちなことですので、十分にご注意ください。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁との間隔を10cm以上とってください。また、他の機器からも少し離してください。放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>
ご使用になるとき	
	<p>雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</p>
	<p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因になります。</p> <p>内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、お買上げ販売店にご依頼ください。</p>
	<p>この機器の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。</p> <p>花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品なども同様です。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>
使用中に異常が発生したとき	
	<p>煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常がみとめられたときは、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、異常がおさまるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>内部に水などの異物が入った場合は、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、お買上げ販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>

⚠️ 注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき	ご使用になるとき
 <p>調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</p> <p>窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。</p> <p>湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 <p>オーディオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、接続するすべての機器の電源を切ってください。</p> <p>それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。</p> <p>電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
 <p>この機器は重いので、持ち運びは必ず2人以上でおこなってください。</p>	 <p>旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>
 <p>機器を移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	<h3>お手入れについて</h3>  <p>お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。</p>  <p>定期的な機器内部の掃除が必要です。長いあいだ掃除をせずに、機器の内部にほこりがたまったままにしておくと、火災や故障の原因となることがあるからです。</p> <p>掃除および費用については、お買上げ販売店にご相談ください。</p> <p>掃除の間隔は1年に一度くらい、時期は湿気の多くなる梅雨の前が、もっとも効果的です。</p>

！ 使用上のご注意

正しくお使いいただくため

データのバックアップ	お手入れについて
<p>本体内に保存されているデータは、機器の故障、あるいは誤操作などのために壊れてしまうことがあります。大切なデータは、必ず外部MIDI機器などにバックアップしておいてください。</p>	<p>スイッチ・ボリューム・エンコーダー・接続端子などの部品は、磨耗部品といわれ、使用とともに性能が劣化します。劣化の進行度合は、使用環境などによって大きく異なりますが、劣化そのものを避けることはできません。劣化した磨耗部品の交換は、お買上げ販売店へご相談ください。</p> <p>フェーダーに、オイル・グリスや接点復活剤などを補給しないでください。電気接点の接触に悪影響を及ぼすことがあります。</p> <p>フェーダーの動きがぎこちないときは207ページの「フェーダーのキャリブレーション」の項目を参照してください。</p>
<h3>他の電気機器への影響について</h3> <p>本機は多くのデジタル回路を使用しているため、近くのラジオやテレビに雑音などが生じることがあります。そのような場合には、十分に距離を離してお使いください。</p>	
<h3>携帯電話への影響について</h3> <p>この機器のすぐ近くで携帯電話などを使用すると、機器にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で電話をしてください。</p>	

目次

第1章	01Vの世界へようこそ!	1
	01Vのご紹介	2
	この取扱説明書について	2
	01Vの設置	2
	01Vの特長	3
	主な機能について	4
第2章	基本操作	9
	01Vを使ったシステム例	10
	ワードロックについての重要な情報	11
	電源コードの接続	11
	電源の入れ方	11
	電源の切り方	11
第3章	各部の名称と機能	13
	トップパネルコントロール	14
	入出力端子	22
	ブロック図	26
第4章	ユーザーインターフェースの基礎知識	29
	ユーザーインターフェースについて	30
	ディスプレイ	30
	ディスプレイ内のコントロール	32
	CURSORキー	33
	PARAMETERダイアル	33
	- 1/DECキー、+ 1/INCキー	33
	ENTERキー	33
	フェーダーモード	34
	TITLE EDITダイアログボックス	41
第5章	インプットチャンネル	43
	インプットチャンネルの概要	45
	ファンタム電源	46
	パッド	46
	インプットチャンネルゲインの設定	46
	インプットチャンネルのメーター	46
	入力フェーズの変更	47

インプットチャンネル信号の減衰	48
インプットチャンネルのイコライジング	49
インプットチャンネルのダイナミクスプロセッサ	49
チャンネル信号のディレイ	50
インプットチャンネルのミュート設定	51
インプットチャンネルレベルの設定	51
インプットチャンネルのパン設定	52
インプットチャンネルのルーティング	54
インプットチャンネルのモニター	55
インプットチャンネルとAUXセンド	55
インプットチャンネルとOMNIアウト	55
インプットチャンネルとOPTION I/O出力	55
インプット1~8、17~24の入れ替え(SWAP).....	56
インプットチャンネルのペア	57
フェーダーのグループ化	59
ミュートのグループ化	60
インプットチャンネル設定の確認	61
チャンネル設定のコピー、スワップ	63
インプットチャンネルのブロック図	64
第6章 イコライザー	65
01Vのイコライザーについて	66
イコライザーの調整	67
イコライザーの仕様	70
イコライザーのバイパス	70
EQのリセット	70
EQライブラリー	71
プリセットEQプログラムリスト	71
EQプログラムの保存	72
EQプログラムの呼び出し	73
EQプログラムタイトルのエディット	74
EQライブラリーリスト	75
第7章 ソロ、モニター、メーター	79
モニター/ソロについて	80
モニター出力	81
ヘッドフォン端子	81
2トラック入力(2TR IN).....	81
モニターのセットアップ	82
モニター機能の使い方	83
モニターのブロック図	84

ソロのセットアップ	85
ソロ機能の使い方	86
ソロのブロック図	87
信号レベルメーター	88
ステレオ出力レベルLEDメーター	89
ピークホールド	90
計測点の設定(METERING POINT).....	90
OPTION I/Oメーター(インพุットチャンネル17~24).....	91
エフェクトセンドメーター	92
第8章 ステレオアウト	93
ステレオアウトについて	94
アナログステレオアウト端子	94
2TRアウトとステレオアウト	94
COAXIALデジタルアウトとステレオアウト	94
OPTION I/Oとステレオアウト	94
OMNIアウトとステレオアウト	94
ソロとステレオアウト	94
ステレオアウトのモニタリング	95
ステレオアウトのメーター	95
ステレオアウトへの信号のルーティング	95
ステレオアウト設定の確認	95
ステレオアウトレベルの設定	96
ステレオアウトのミュート	96
ステレオアウトのバランス設定	96
ステレオアウトのイコライジング	96
ステレオアウトのダイナミクスプロセッサ	97
ステレオアウトディレイ	97
ステレオアウトのブロック図	98
第9章 AUXアウト	99
AUXアウトについて	100
OMNIアウトとAUXアウト	100
OPTION I/OとAUXアウト	100
AUXアウトのモニター	100
AUXアウトのメーター	100
チャンネルの信号をAUXアウトへ送る	101
プリフェーダー / ポストフェーダーAUXセンド	103
AUXアウト設定の確認	104
AUXアウトのマスターレベル設定	105
AUXアウトのミュート	106

AUXアウトのイコライジング	106
AUXアウトのダイナミクスプロセッサ	106
AUXアウトのステレオペア	107
AUXアウトのブロック図	110
ステレオペア時のAUXアウトのブロック図	111
第10章 バスアウト	113
バスアウトについて	114
OPTION I/Oとバスアウト	114
OMNIアウトとバスアウト	114
バスアウトのモニター	114
バスアウトのメーター	114
チャンネル信号をバスアウトへ送る	114
バスアウトのマスターレベル設定	115
バスアウトのミュート	115
バス信号をステレオバスへ送る	116
バスアウトのステレオペア	117
バスアウトのブロック図	119
ステレオペアのバスアウトのブロック図	120
第11章 OMNIアウト	121
OMNIアウトについて	122
OMNIアウト	122
OMNIアウトのアサイン	122
OMNIアウトのディレイ	123
OMNIアウトのブロック図	124
第12章 内蔵エフェクト	125
内蔵エフェクトについて	126
エフェクトライブラリーリスト	127
エフェクトをかける	130
エフェクトセンドのプリフェーダー / ポストフェーダー切り替え	133
エフェクトセンドマスター設定の確認	134
エフェクトセンドマスターレベルの設定	135
エフェクトセンドマスターのミュート	135
エフェクトリターン設定の確認	136
エフェクトリターンのメーター	136
エフェクトリターンのイコライジング	136
エフェクトリターンのミュート	137
エフェクトリターンレベルの設定	137
エフェクトリターンのパン設定	137

エフェクトリターンのルーティング	137
エフェクトリターンのモニター	137
エフェクトリターンとAUXアウト	137
エフェクトライブラリー	138
エフェクトプログラムの保存	139
エフェクトプログラムの呼び出し	140
エフェクトプログラムタイトルのエディット	141
エフェクトのエディット	142
DELAY(ディレイ) \ FREQ(周波数) \ NOTE(ノート) \ TEMPO(テンポ)の パラメーター設定	143
エフェクトパラメーターリスト	144
エフェクトのブロック図	158
第13章 ダイナミクスプロセッサー	159
ダイナミクスプロセッサーについて	160
プリセットのダイナミクスライブラリー	161
ダイナミクスプロセッサーのオン/オフ	162
ダイナミクスプロセッサーのエディット	164
ダイナミクスプロセッサーのタイプ	165
ダイナミクスライブラリー	172
ダイナミクスプログラムの保存	173
ダイナミクスプログラムの呼び出し	174
ダイナミクスプログラムタイトルのエディット	175
ダイナミクスライブラリーリスト	176
第14章 シーンメモリー	181
シーンメモリーについて	182
シーンメモリーに保存できるもの	183
エディットバッファー / EDITインジケーターについて	184
シーンメモリー00	184
シーンメモリーの表示領域	184
ミックスシーンの保存	185
ミックスシーンの呼び出し	186
MIDIプログラムチェンジメッセージを使用したミックスシーンの 呼び出し	187
ミックスシーン呼び出し操作の取り消し	188
シーンメモリーの書き込み禁止	189
シーンメモリータイトルのエディット	190
シーンメモリーの並び替え	191
フェードタイムの設定	192
シーンデータのリコールセーフ機能	193

第15章 その他の機能	195
フェーダーと[ON]キーの機能割り当て	196
内蔵オシレーターの使用方	204
プリファレンス	205
01Vの初期化	207
フェーダーのキャリブレーション	207
第16章 デジタルI/O	209
ワードクロックについて	210
ワードクロックのセットアップ	213
デジタルステレオアウト	215
出力ディザー	216
デジタルステレオイン	216
01Vのカスケード接続	218
OPTION I/Oカード	221
OPTION I/Oカードの装着	223
信号をOPTION I/O出力に割り当てる	224
OPTION I/Oブロック図	225
第17章 MIDI	227
MIDIと01V	228
MIDI端子	228
MIDIデータ受信インジケータ	231
MIDIセットアップ	231
プログラムチェンジによるシーンの呼び出し	233
コントロールチェンジによるパラメーターのコントロール	235
システムエクスクーシブによるパラメーターのコントロール	237
バルクダンプ	238
ローカルコントロール	240
MIDIマシンコントロール	242
ユーザー定義のMIDIコントローラー	244
01Vのリンク	245
第18章 システム例	247
01VとADAT互換レコーダー	248
2台の01Vと2台のADAT互換レコーダー	250
01VとTascam互換レコーダー	252
2台の01Vと2台のTascam互換レコーダー	254
01VとPro Tools(AES/EBU)	256

付 録

故障かな?と思ったら	260
ディスプレイメッセージ一覧	264
仕 様	267
1. 全体仕様	267
2. チャンネル仕様	268
3. アナログ入力仕様	271
4. アナログ出力仕様	272
5. デジタルオーディオ入力仕様	272
6. デジタルオーディオ出力仕様	272
7. オプションI/Oスロット仕様	272
8. コントロールI/O仕様	273
9. フェーダーファンクション設定	273
10. チャンネルオン/オフスイッチファンクション設定	274
11. ソロオン/オフキーファンクション設定	274
レベルダイアグラム	275
寸法図	276
MIDIプログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表	277
MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表(01V)	278
MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表	281
(03D & ProMix01)	281
MIDIデータフォーマット	284
MIDIインプリメンテーションチャート	294
用語集	295
索引	299

著作権について

このソフトウェアあるいは本取扱説明書のどの部分のいかなる方法での複製・配布も、ヤマハ株式会社の文書による承認がない限り、これを禁じます。

商標について

Macintoshは、アップルコンピューター社の登録商標です。

ADATおよびAlesisは、アレシス社の登録商標です。

ADAT Digital Interfaceはアレシス社の商標です。

ティアックは、ティアック株式会社の登録商標です。

Pro Tools®はAVID/Digidesign社の登録商標です。

その他記載の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

YAMAHAホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/proaudio/>

01Vの世界へようこそ!



本章の目次

01Vのご紹介	2
この取扱説明書について	2
01Vの設置	2
01Vの特長	3
主な機能について	4

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vのご紹介

このたびはデジタルミキシングコンソール01Vをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。ご好評をいただいているヤマハデジタルミキサーシリーズに新たに加わる01Vは、MIDIミュージシャン、小規模PAシステム、音楽制作での使用を念頭に設計されていますが、その多様性、コンパクトなボディ、使いやすい機能は、プロ、セミプロを問わず幅広いユーザーにご活用いただけます。


この取扱説明書について

本書には、デジタルミキシングコンソール01Vを使用するときに必要な情報がすべて含まれています。目次は本書の構成を把握するために、索引は必要な項目の検索にご利用ください。また、用語集が295ページに掲載されています。

本書の各章は、機能ごとに分かれており、ほとんどの章は、そのタイトルから内容がすぐわかるようになっています。たとえば、「インプットチャンネル」の章ではインプットチャンネルに関する内容をすべて説明し、「シーンメモリー」の章ではシーンメモリーについて説明しています。また、イコライザーやダイナミクスプロセッサーなど多くのチャンネルに共通した項目は、そのたびに繰り返し説明することを避け、1つの章にまとめました。

各章は、なるべく信号の流れに沿った順序で構成されています。たとえば「インプットチャンネル」の章では、まず入力端子から始まって、各インプットチャンネルの機能について説明した後、バスについての説明で終わっています。

パネル上のキー等の表記

本書ではキー等の名称で、パネルに実際に印刷されているものは  でくくって表記しています。

パネルにあるスイッチで、カチカチと押して使うタッチタイプのスイッチをキー、押し込んで使うスイッチをスイッチと表記し、ディスプレイ画面内に表示されるスイッチを、パネル上のキーやスイッチと区別してボタンと表記しています。

例: [ON]キー、[PAD]スイッチ、ONボタン

パネル上のボリュームはコントロールと表記し、ディスプレイ画面内に表示されるボリュームを回転ノブと表記しています。

ディスプレイ画面の中でタブの選択により切替わる部分をページと表記しています。

01Vの設置

01Vを設置する際には、本書の最初に記載された重要注意事項にしたがって、安定した場所に置いてください。オプションのラックマウントキットを使ってラックにマウントすることもできます。

01Vの特長

音質特性

- ・ リニア20ビット・128倍オーバーサンプリングA/Dコンバーター
- ・ リニア20ビット・8倍オーバーサンプリングD/Aコンバーター(STEREO OUT)
- ・ 標準ダイナミックレンジ105dB(CH INPUTからSTEREO OUT)
- ・ 周波数特性20Hz ~ 20kHz(+ 1, - 3dB)
- ・ 内部デジタルオーディオ処理32ビット
- ・ デジタルイコライジング44ビット

主な特長

- ・ 入力×24系統(デジタル入力8系統を含む)
- ・ 出力×14系統(STEREO OUT、OMNI OUT、アサインブルデジタル出力8系統を含む)
- ・ 連続可変の[GAIN]コントロール
- ・ +48Vのファンタム電源搭載のバランス型XLR入力(インプットチャンネル1 ~ 12)
- ・ 26dBパッド(インプットチャンネル1 ~ 12)
- ・ バランス型フォン入力端子(インプットチャンネル1 ~ 16)
- ・ 機能可変のアナログOMNIアウト×4系統(AUX、BUS、CH DIRECT、STEREO)
- ・ オプションのOPTION I/Oカードによる8トラックデジタルMTR(マルチトラックレコーダー)とのデジタルインターフェース
- ・ OPTION I/Oカードからのアサインブルデジタル出力×8系統
- ・ COAXIALフォーマットのデジタル入出力
- ・ 多彩なソロモードにより自在なモニタリング
- ・ 3つのフェーダーグループで多チャンネルのフェーダーを一括コントロール可能
- ・ 3つのミュートグループで多チャンネルのミュートが一括コントロール可能
- ・ 250ミリ秒の入力ディレイ(1 ~ 16)、300ミリ秒の出力ディレイ(STEREO OUT、OMNI OUT)
- ・ チャンネルコピー機能
- ・ インプットチャンネル、AUXアウト、バスアウトをステレオペア操作可能
- ・ 100のシーンメモリーを搭載し、ミックスのスナップショットを保存
- ・ 4バンドのパラメトリックイコライザーを搭載(OPTION I/Oインプットチャンネルでは2バンド)
- ・ パワフルなEQライブラリーに40のプリセットプログラムと40のユーザープログラムを内蔵
- ・ EQおよびPANに専用のコントロールを搭載
- ・ ステレオマルチエフェクトプロセッサ2系統内蔵
- ・ 42個のプリセットプログラムと57個のユーザープログラムを搭載したパワフルなエフェクトライブラリーを内蔵
- ・ 22台相当のダイナミクスプロセッサを搭載(コンプレッサー、ゲート、ダッキング、エキスパンダー、コンパンダー)
- ・ パワフルなダイナミクスライブラリーに40のプリセットプログラムと40のユーザープログラムを内蔵
- ・ 320×80ドットの液晶ディスプレイを搭載
- ・ 総合的なMIDIインプリメンテーション(リモートコントロール、MMC、バルク)
- ・ パソコンに簡単に接続できるTO HOST端子およびMIDIインターフェースを装備
- ・ 60mmストロークのモーターフェーダー15本を採用

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

主な機能について

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

チャンネルの構成

各部の
名称と機能

01Vには12系統のモノ入力(1~12)、ステレオ入力2系統(13/14、15/16)、オプションのOPTION I/Oカードを使ったデジタル入力8系統(17~24)の合計24系統の入力が搭載されています。

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

ステレオ出力信号は、アナログのSTEREO OUTおよびCOAXIALフォーマットのDIGITAL STEREO OUTから出力され、またアナログのOMNI OUT出力およびOPTION I/Oデジタル出力にもアサインできます。4系統のバス出力と4系統のAUXアウト信号は、アナログのOMNI OUT出力およびOPTION I/Oデジタル出力にアサインできます。エフェクト1とエフェクト2のバス信号は、内蔵ステレオマルチエフェクトプロセッサに入り、その信号が4バンドパラメトリックEQを搭載したエフェクトリターン1と2に返されます。インプットチャンネル1~12は、バランスのXLRタイプ端子とフォン端子を搭載し、XLR端子にはファンタム電源が供給できます。インプットチャンネル13~16はフォン端子を装備。OPTION I/Oカードを装着すれば、インプットチャンネル17~24を使用できます。

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

インプットチャンネル1~16は、アッテネーター、4バンドのパラメトリックイコライザー、ダイナミクスプロセッサ、ディレイをフルに搭載、AUXアウト1~4およびエフェクトセンド1と2に送ることができます。インプットチャンネル17~24は、アッテネーター、2バンドパラメトリックイコライザーを搭載、AUXアウト1と2およびエフェクトセンド1と2に送ることができます。インプットチャンネル1~8と17~24を切り替えて、OPTION I/Oデジタル入力信号がチャンネル1~8に入るようにすることもできます。

入力部のディレイでマイクロフォンの位置補正が、また出力部のディレイでは複数のスピーカーを使用したシステムでの信号の遅延補正ができます。また、2台の01Vをデジタルカスケード接続することで、入力数を大幅に増設できます。さらにOPTION I/Oデジタル出力をバスアウト、AUXアウト、インプットチャンネルのダイレクト出力、あるいはステレオ出力に割り当てることが可能です。

01Vはバス4系統のミキサーですが、4系統のバスと4系統のAUXアウト、もしくはチャンネルダイレクトアウトをOPTION I/Oスロットの8系統の出力に割り当てれば、8トラックの同時録音が行えます。

デジタルミキサーのメリット

デジタルオーディオのさまざまなメリットについては、すでにご存じの方も多いでしょう。では、ミキシングをデジタル化することにどんなメリットがあるのでしょうか？オーディオミキサーの主な役割は、レベルやインピーダンスの異なるさまざまな音源からのオーディオ信号をステレオミックスにまとめることです。しかも、歪みやノイズを混入させずにこの役割を果たさなければなりません。アナログミキサーもこの役割をなんとか果たしてくれますが、最良設計のモデルといえども信号が回路を通ることによって生じる非線形化は避けられません。

デジタル領域でのオーディオミキシングは、オーディオ信号を表現するバイナリー(2進数)データの加算と掛け算です。この計算に使用するDSP(Digital Signal Processor)チップは決して計算を間違えることはありません。このため一度A/D変換してしまえばオーディオ信号が劣化する心配はありません。01Vではノイズ、歪み、クロストークがほとんど排除され、クリアなミックスが耳に新鮮に聴こえるはずで

一度デジタル領域に入ったオーディオ信号は、デジタル信号のまま処理した方がいいのは明らかです。何回もAD/DA変換を繰り返すと、音質が劣化する恐れがあります。オプションのOPTION I/Oカードを使用すれば、01VをデジタルMTR(マルチトラックレコーダー)にデジタル接続できるので、録音、ミキシングのどちらの段階でもオーディオをデジタル領域のままで作業を進めることができます。最終のステレオミックスは、COAXIALフォーマットのDIGITAL STEREO OUT端子を使って2トラックのデジタルレコーダーに録音できます。

また、内蔵のステレオマルチエフェクトプロセッサとダイナミクスプロセッサにより、不要なAD/DA変換を避け、デジタル領域でのエフェクト処理が可能です。信号処理には、第三世代のヤマハDSR(ヤマハデジタルリバーブレーターProR3と同タイプのプロセッサ)を使用しています。

01Vの音質について

01Vは20ビットリニア・128倍オーバーサンプリングのA/Dコンバーターにより、標準ダイナミックレンジ105dBを実現しています。D/A変換ではステレオ出力には20ビット・8倍オーバーサンプリングのコンバーター、モニター出力、OMNI出力には18ビット・8倍オーバーサンプリングのコンバーターをそれぞれ搭載しています。

「オーバーサンプリング」とは、内部サンプリング周波数を効果的に上げてサンプリングする技術です。従来はサンプリング周波数に起因する音質の劣化を完全に除去するために、勾配の急なローパスフィルターを使用していましたが、その悪影響も否めませんでした。01Vではローパスフィルターに代えてオーバーサンプリングを採用することでこの悪影響を完全に排除し、オーディオ信号の音質が入力から出力まで一定に維持されています。

本体で生成する標準のサンプリング周波数44.1kHzのほかに、44.1kHz - 10% ~ 48kHz + 6%の外部ワードクロックソースに同期することも可能です。

4バンドのパラメトリックイコライザーとEQライブラリー

01Vのインプットチャンネル1~16、ステレオ出力、AUX出力、内蔵エフェクトリターンには、いずれもゲイン、周波数、Q、バイパスの各パラメーターを調節可能な4バンドのフルパラメトリックイコライザーが搭載されています。また、インプットチャンネル17~24には2バンドパラメトリックイコライザーが搭載されています。EQのHighとLowのバンドはそれぞれシェルビング、ピーキング、またはHPF/LPFとして使用できます。詳細は、65ページの「イコライザー」をご参照ください。

EQの設定はプログラムとしてEQライブラリーに保存したり、ミックス設定の一部としてシーンメモリーに保存することができます。EQライブラリーには40のプリセットプログラムと40のユーザープログラムがあります。ユーザープログラムを利用すれば、よく使用するEQ設定にわかりやすいタイトルを付け、保存することができます。また、プリセットプログラムには、特定の用途や楽器にあわせて調節された、個性的なEQプログラムが集められています。EQの調整を行うときに格好の参考例、あるいは開始点として利用できます。詳細は、71ページの「EQライブラリー」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

モーターフェーダー

01Vの15本のフェーダーは60mmストロークのモーターフェーダーです。ミックス設定を呼び出したときにフェーダーが自動的に動くので、フェーダーレベルが一目で確認できます。最長25秒までのフェードタイムをシーンメモリーごとに設定できます。また、複数のフェーダーを3つのグループの中の1つとしてグループ化し、複数のフェーダーを同時にコントロールできます。詳細は、59ページの「フェーダーのグループ化」をご参照ください。ステレオペアに設定されたチャンネルのフェーダーは連動します。詳細は、117ページの「バスアウトのステレオペア」をご参照ください。

本機のフェーダーは多機能で、その動作は選択されているフェーダーモードによって異なります。インプットチャンネルのフェーダーはチャンネルフェーダーまたはAUXセンドやエフェクトセンドのコントロールとして使用し、STEREOフェーダーはステレオ出力フェーダーとして、あるいはAUXアウトやエフェクトアウトのマスターレベルフェーダーとして使用することができます。詳細は、34ページの「フェーダーモード」をご参照ください。

フェーダー1~16とMASTERフェーダーは、REMOTEページ1でさまざまな内部パラメーターに割り当てたり、REMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」と244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

内蔵エフェクト

01Vには、2系統のステレオマルチエフェクトプロセッサー(エフェクト1とエフェクト2)が内蔵されており、リバーブ、ディレイ、コーラス、フランジャー、アンプシミュレーターなど、多彩で高品位なエフェクトを利用できます。エフェクトプロセッサーには、エフェクト1バスとエフェクト2バスから信号が送られ、エフェクト処理された信号はエフェクトリターンチャンネルを通して返されます。エフェクトは、インプットチャンネル1~24の信号にかけることができます。エフェクトリターン1をエフェクト2に、エフェクトリターン2をエフェクト1に送ることも可能です。

エフェクトの設定は、プログラムとしてエフェクトライブラリーに保存したり、ミックス設定とともにシーンメモリーに保存できます。エフェクトライブラリーには42のプリセットプログラムと57のユーザープログラムが含まれています。ユーザープログラムには、自分で作成したエフェクトプログラムを保存し、わかりやすいようにタイトルも付けることができます。詳細は、138ページの「エフェクトライブラリー」をご参照ください。

すでに外部エフェクターをお持ちの方は、AUXアウトを使用して、01Vに接続できます。

内蔵ダイナミクスプロセッサー

ダイナミクスプロセッサーは、コンプレッサー、ノイズゲート、ダッキング、エクスパンダー、コンパンダーとして使用できます。この機能はインプットチャンネル1~16、ステレオ出力、AUXアウトで利用でき、合計では22台相当のダイナミクスプロセッサーが搭載されています。セルフトリガー(加工する信号自体をトリガー信号として使用する)はもちろん、他のチャンネルからの信号でトリガーすることも可能です。

ダイナミクス設定は、プログラムとしてダイナミクスライブラリーに保存したり、ミックス設定の一部としてシーンメモリーに保存できます。ダイナミクスライブラリーには40のプリセットプログラムと40のユーザープログラムがあります。ユーザー

プログラムは、よく使用するダイナミクス設定を保存したり、わかりやすいようにタイトルを付けたりすることも可能です。詳細は、172ページの「ダイナミクスライブラリー」をご参照ください。

OPTION I/O & デジタルI/O

01VにはオプションのOPTION I/Oカード用スロットが1基装備されており、8系統のデジタル入力(インプットチャンネル17~24)と8系統のアサイナブルデジタル出力が利用できます。このOPTION I/Oカードを使用すれば、ADAT、Tascam、AES/EBUフォーマットのデジタルMTRをデジタル接続できます。アナログ入出力が利用できる各種OPTION I/Oカードもあります。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

01Vで使用するOPTION I/Oカードは、ヤマハ02Rまたは03Dデジタルミキシングコンソールで使用するCD8-ATなどのYGDAIカードとは互換性がありません。

また、COAXIALフォーマットのDIGITAL STEREO IN/OUT端子を使えば、デジタルレコーダーその他のステレオデジタル機器をデジタル接続できます。デジタルステレオ信号をステレオバスに送ってカスケードに利用したり、ステレオインプットチャンネル13/14に送ってミキシングや信号の加工が行えます。詳細は、216ページの「デジタルステレオイン」をご参照ください。

使いやすいグラフィカルユーザーインターフェース

01Vは、論理的、また直観的に操作できます。320×80ドット液晶ディスプレイには、グラフィカルに回転ノブ、スイッチ、フェーダーがアイコン表示され、現在のミックス設定やEQのカーブなどが一目で確認できます。専用のコントロールを使えばEQやパンの調整が即座にできます。ミックス機能やチャンネル構成設定はディスプレイの各ページに整理されており、パラメーターの選択と編集は、[CURSOR][ENTER][- 1/DEC][+ 1/INC]の各キーと[PARAMETER]ダイヤルを使って行います。

シーンメモリー

大半のミキサーでは、ミックス設定を記録しようと思ったら、マーカやマスキングテープの世話にならざるを得ません。ところが、01Vではすべてのミックス設定を99のシーンメモリーのうちの1つに保存し、後からキーを1つ押すだけで、あるいはMIDIプログラムチェンジを送信するだけで、ミックス設定を瞬時に呼び出すことができます。一度に複数のプロジェクト作業をしている場合でも現在のミックス設定を保存しておけば、後でそのプロジェクトに戻ったときに、前回の作業を終えた時点からまた作業を継続できます。さらに毎晩繰り返されるサウンドチェック作業も、[RECALL]キーを押すだけで前日のミックス設定を呼び出せるため、簡単になります。劇場のPAシステムで使用する場合は、シーンメモリーを使って各幕間の設定の変更を何度でも正確に行えます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

MIDI

01VにはMIDI端子に加え、TO HOST端子が備わっています。この端子を使えば、MIDIインターフェースを使用せずに01Vをパソコンと直接つなぐことができます。またMIDI端子は外部MIDI機器を接続します。

シーンメモリーに保存できるミックスパラメーターは、MIDIシステムエクスクルーシブメッセージでコントロールできます。01VにMIDIプログラムチェンジメッセージを送信すれば、ミックス設定の呼び出しが行えます。また、01VのミックスパラメーターをMIDIコントロールチェンジメッセージに割り当てて、外部機器からリアルタイムでリモートコントロールすることも可能です。さらにシーンメモリー、ライブラリー、セットアップデータは、MIDIバルクダンプを使って、バックアップや保管のためにMIDIデータファイラーなどの外部機器やコンピュータ、あるいはもう1台の01Vとの間でデータ転送が可能です。詳細は、227ページの「MIDI」をご参照ください。

REMOTEページ2が表示されているとき、[SEL]キーと[ON]キーを使用して、MMC (MIDI Machine Control) 対応のレコーダーをMMCコマンド(停止、再生、巻き戻し、早送り、録音)でコントロールすることができます。またREMOTEページ3が表示されているときは、フェーダー、[SOLO]キー、[ON]キーがアサイナブルMIDIコントローラーとして機能します。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサー
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

基本操作

2

本章の目次

01Vを使ったシステム例	10
ワードクロックについての重要な情報	11
電源コードの接続	11
電源の入れ方	11
電源の切り方	11

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

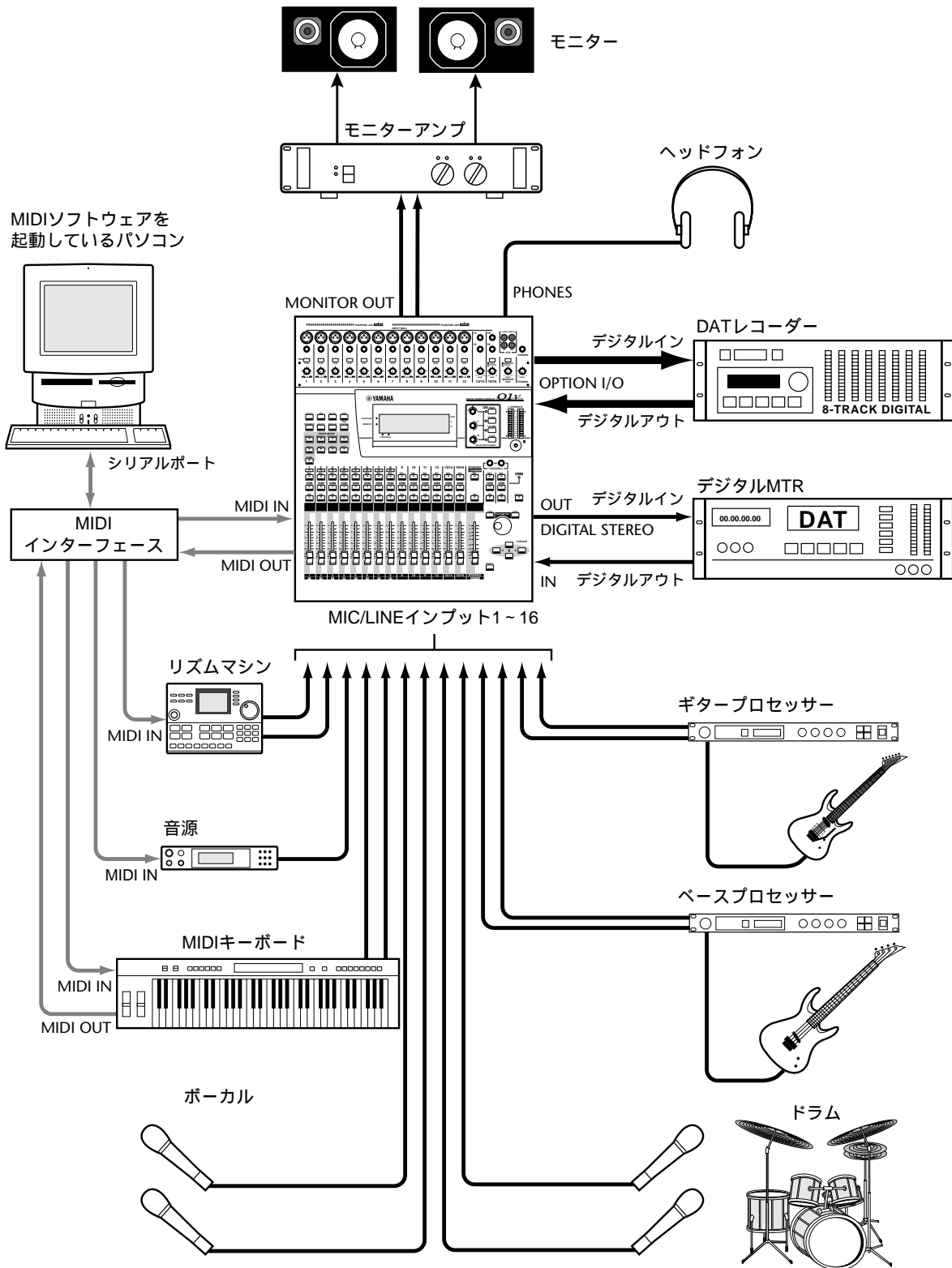
MIDI

システム例

付録

01Vを使ったシステム例

次の図は01Vを使ったシステム例です。



ワードクロックについての重要な情報

デジタルオーディオ機器はアナログオーディオ機器とは異なり、デジタルオーディオをやりとりするためにワードクロックによる同期を行うことが必要です。詳細は、210ページの「ワードクロックについて」をご参照ください。

システムの中で01Vが唯一のデジタルオーディオ機器である場合、01Vは内蔵ワードクロックに同期するので特別なワードクロック設定は不要ですが、DATレコーダーやデジタルMTRを接続した場合は、各デジタルオーディオ機器が共通のワードクロックソースに同期するように設定します。

各種デジタルオーディオ機器を使用してワードクロック設定を行う方法については、247ページの「システム例」をご参照ください。

電源コードの接続

重要注意: 接続を行う前に、必ず全機器の電源を切ってください。

01Vの電源コードは、リアパネルに表示されている電源に合ったコンセントに接続してください。

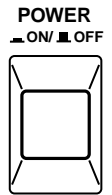
電源の入れ方

次の順序で各オーディオ機器の電源を入れてください。

1. 音源
2. 01V
3. モニターアンプ

01Vのリアパネルにある[POWER]スイッチを押して、01Vに電源を入れます。

電源を入れると起動画面が数秒表示され、電源を切る前に選択されていたページ画面に切り替わります。



電源の切り方

次の順序で各オーディオ機器の電源を切ってください。

1. モニターアンプ
2. 01V
3. 音源

01Vのリアパネルにある[POWER]スイッチを押して、01Vの電源を切ります。

電源を切っても、パラメーター設定、シーンメモリー、ライブラリープログラムはすべて保存されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

各部の名称と機能



本章の目次

トップパネルコントロール	14
入出力端子	22
ブロック図	26

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

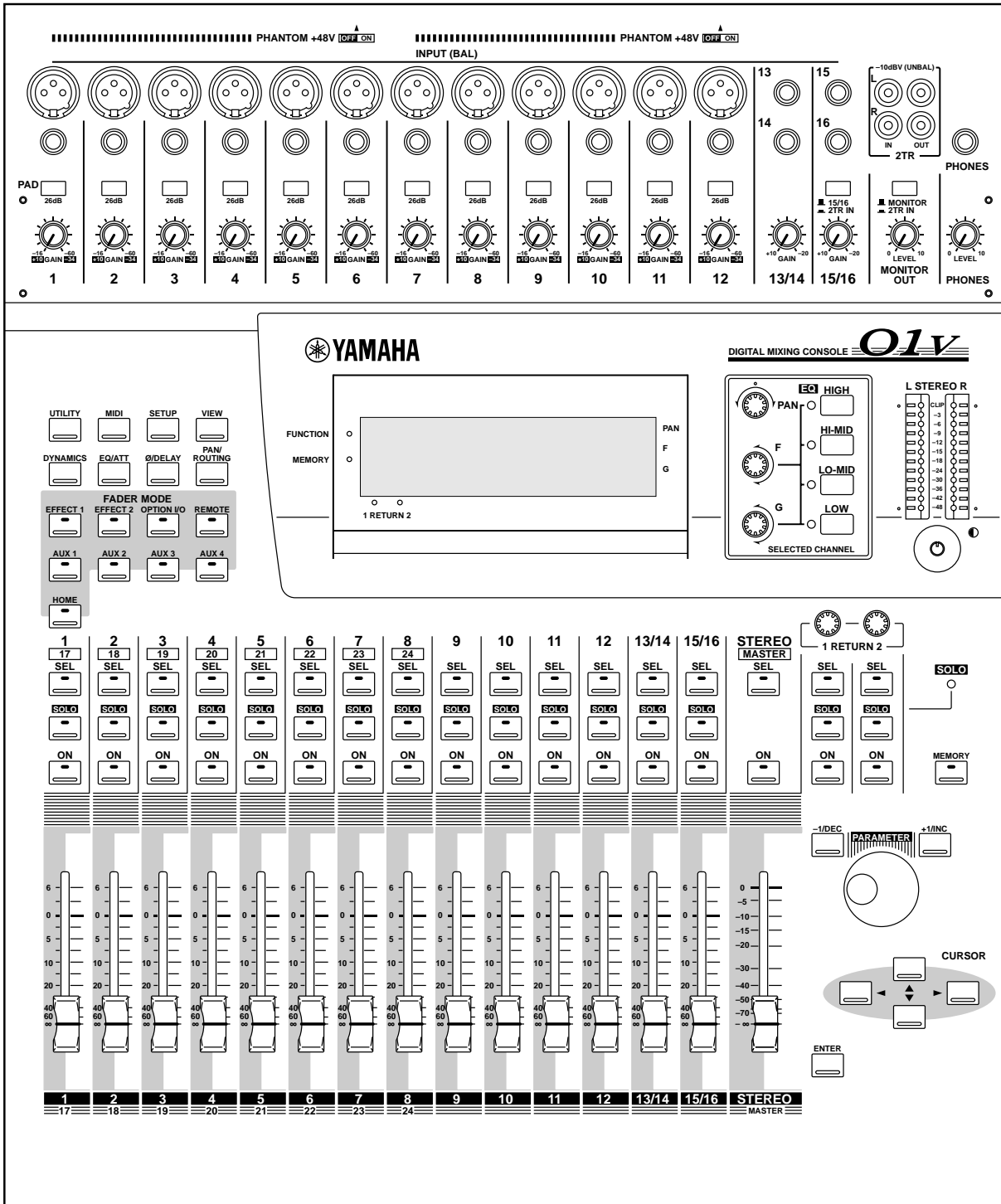
デジタル
I/O

MIDI

システム例

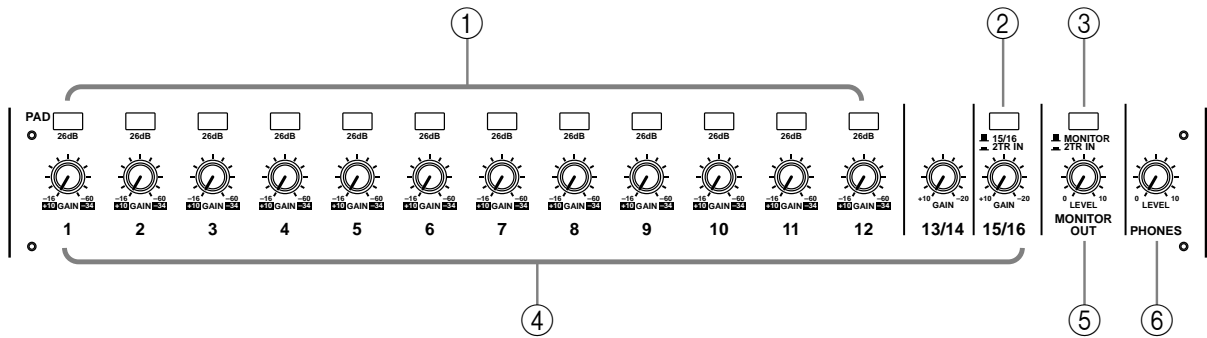
付録

トップパネルコントロール



本機各セクションについての説明は、次のページ以降をご参照ください。

アナログコントロールセクション



- ① PAD(パッド)スイッチ
26dBの入力パッドをオン/オフして入力信号を減衰させるスイッチです。詳細は、46ページの「パッド」をご参照ください。
- ② 15/16-2TR IN(15/16-2トラックイン)スイッチ
入力チャンネル15、16の信号ソースを選択するスイッチです。フォン端子15、16(15/16)か、2TR IN(RCAピン端子)を選びます。
- ③ MONITOR-2TR IN(モニター2トラックイン)スイッチ
MONITOR OUT端子とPHONES端子からモニターする信号ソースとして、MONITOR(モニターバス)または2TR IN(RCAピン端子)を選択するスイッチです。
- ④ GAIN(ゲイン)コントロール
入力部のプリアンプのレベルを調整します。詳細は、46ページの「入力チャンネルゲインの設定」をご参照ください。
- ⑤ MONITOR OUT LEVEL(モニターアウトレベル)コントロール
MONITOR OUT端子の出力レベルを調整します。
- ⑥ PHONES LEVEL(ヘッドフォンレベル)コントロール
ヘッドフォンの音量を調整します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

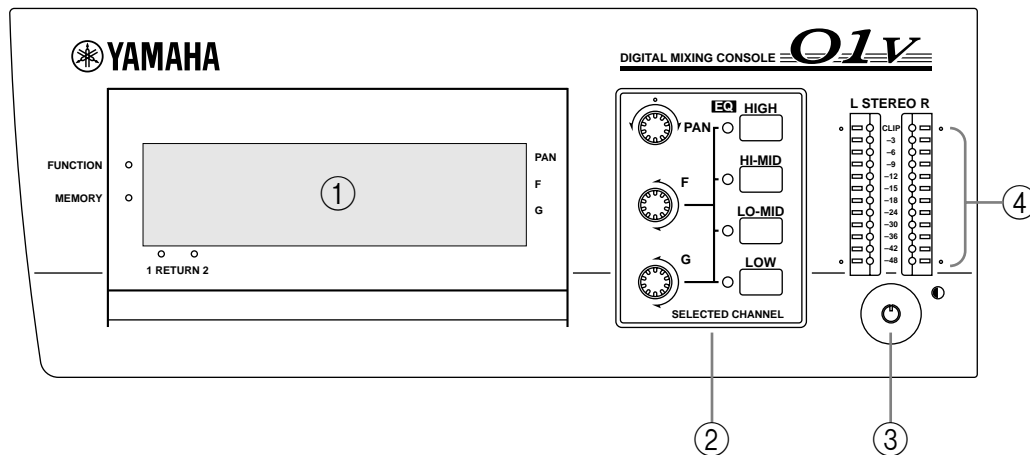
基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプ
ット
チャン
ネルイコライ
ザーソロ、
モニター、
メーターステレ
オ
アウトAUXア
ウトバスア
ウトOMNIア
ウト内蔵
エフェ
クトダイナ
ミクス
プロセ
ッサーシー
ン
メモ
リーその
他の
機
能デジ
タル
I/O

MIDI

シス
テム
例付
録

ディスプレイとステレオメーター



① ディスプレイ

320×80ドットの大型液晶ディスプレイです。ミックスの各種設定や現在の動作状態を表示します。

パラメーターが数値で表示されるだけでなく、フェーダーや回転ノブの位置がグラフィカルに表示されますので、パンやフェーダーの位置を一目で確認できます。また、EQのレスポンスカーブや信号レベルのメーターも表示されます。詳細は、30ページの「ディスプレイ」をご参照ください。

② SELECTED CHANNEL(選択チャンネル)コントロール

選択したチャンネルのパン、EQを調整するコントロール類です。PAN、EQ周波数(F)、EQゲイン(G)専用のコントロール、EQ [HIGH] 用、[HI-MID] 用、[LO-MID] 用、[LOW] 用を使って瞬時に調整が可能です。

プリファレンスでEQ AUTO SCREENオプションをオンにしてEQコントロールを調節すると、自動的にEQページが表示されます。同様に、プリファレンスでPANPOT AUTO SCREENオプションをオンにするとPANコントロールのページが表示されます。詳細は、205ページの「プリファレンス」をご参照ください。

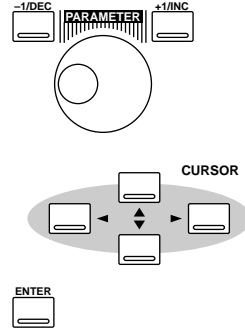
③ CONTRAST(コントラスト)コントロール

ディスプレイのコントラストを調整します。操作する位置からディスプレイがはっきりと読み取れるように調整してください。ディスプレイのちらつきが気になる場合、あるいは違う高さや角度からディスプレイを見るときには、調整し直す必要があるかもしれません。

④ ステレオ出力レベルLEDメーター

12セグメントLEDのバーグラフ式メーターです。ステレオ出力信号のレベルを表示します。

PARAMETER(パラメーター)ダイヤル、CURSOR(カーソル)キー、ENTER(エンター)キー



これらのコントロール類は、ディスプレイのカーソルを移動したり、各種パラメーターの値を変更するときに使います。詳細は、29ページの「ユーザーインターフェースの基礎知識」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

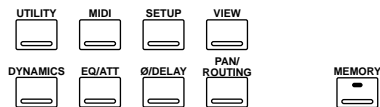
デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

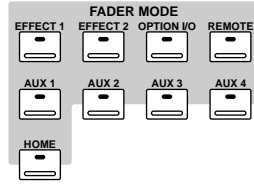
ファンクションキー



これらのファンクションキーは、次に挙げる各種設定やシステム設定を行うページを呼び出すのに使用します。関連したページはまとめてあり、同じキーを繰り返し押すだけで選択することができます。現在選ばれている機能名とページ番号は、ディスプレイ左上隅に表示されます。

キー	ページ
UTILITY	Oscillator, Preferences-1, Preferences-2
MIDI	MIDI Setup, Program Change, Control Change, Bulk, Local Control
SETUP	Word Clock Select, Monitor/Solo Setup, Group, Pair, Dither
VIEW	Channel View, Fader View, CH Copy
DYNAMICS	Dynamics, Dynamics Library
EQ/ATT	EQ, EQ Library
/DELAY	Phase, Input Delay 1 ~ 8, Input Delay 9 ~ 16, Output Delay
PAN/ROUTING	PanPot, Routing, Bus Master, Omni Out Select
MEMORY	Memory, Fade Time, Memory Sort, Recall Safe

フェーダーモードキー



これらのキーは、次に挙げるフェーダーモードやページを呼び出すときに使用します。キーを繰り返し押し、そのモードでアクセスできるページを選択します。現在選ばれているフェーダーモードとページ番号は、ディスプレイ左上隅に表示されます。

キー	ページ
EFFECT 1	Effect 1 Edit, Effect 1 Library, Effect 1 Pre/Post
EFFECT 2	Effect 2 Edit, Effect 2 Library, Effect 2 Pre/Post
OPTION I/O	Option In Meter, CH Control, Option Out Meter, Option Out Select, Input Swap
REMOTE	Internal Parameter, MMC Control, User Define
AUX 1	Pre/Post, Aux 1-2 Pan
AUX 2	Pre/Post, Aux 1-2 Pan
AUX 3	Pre/Post, Aux 3-4 Pan
AUX 4	Pre/Post, Aux 3-4 Pan
HOME	Input Meter, Rtn/Output Meter, Omni Out Meter, St Out Meter, Metering Point

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

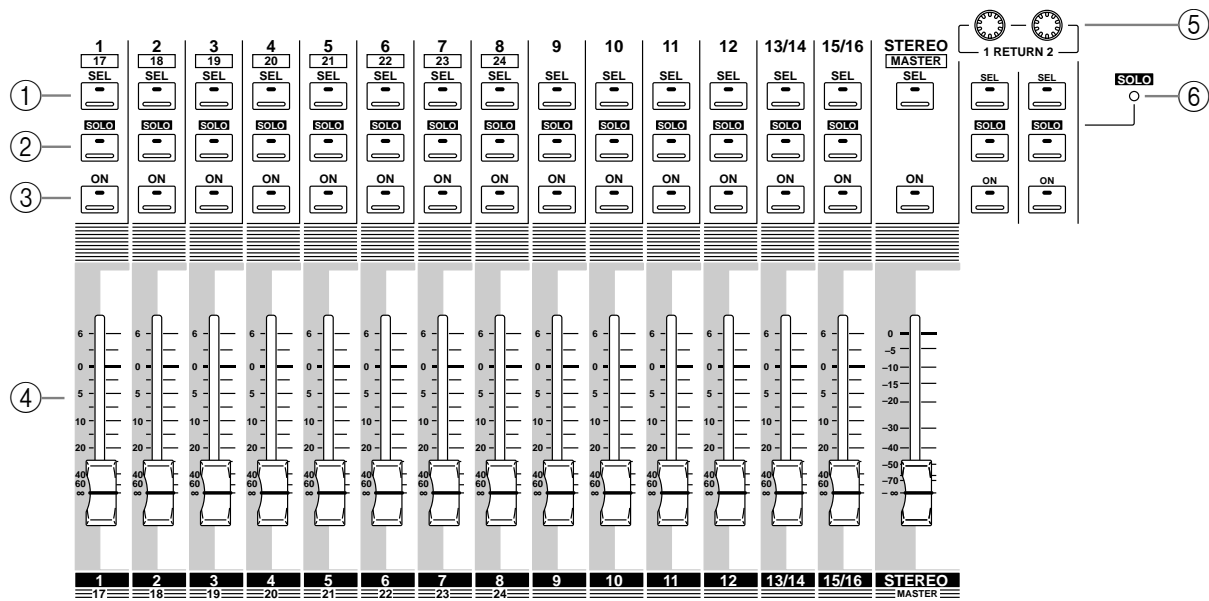
デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

SEL(セレクト)キー、SOLO(ソロ)キー、ON(オン)キー、フェーダー



① SEL(セレクト)キー

パラメーター編集の対象となるチャンネル(インプットチャンネル1~24、ステレオアウト、エフェクトセンドおよびエフェクトリターン1、2、AUXアウト1~4)を選択するキーです。

13/14または15/16の[SEL]キーを繰り返し押し続けると、インプットチャンネル13/14、15/16がそれぞれ選択されます。インプットチャンネル13と14のほとんどの機能は互いに連動しているので(15と16も同様)、各チャンネル個別にフェーズやパンを設定するときには、チャンネル13またはチャンネル14を選択することになります(チャンネル15と16も同様)。選択したチャンネル名がディスプレイ右下隅に表示されます。詳細は、30ページの「ディスプレイ」をご参照ください。

通常は1~8の[SEL]キーでチャンネル1~8を選択します。ただし、OPTION I/Oキーを押している場合は、OPTION I/Oカードを装着しているときにのみ利用できるインプットチャンネル17~24が選択されます。詳細は、34ページの「SELキー」をご参照ください。

REMOTEページ2が表示されているときに1~6の[SEL]キーを使ってMMX MIDI Machine Control)ロケートコマンドを送信することができます。

また、チャンネルペアを組んだりフェーダーグループ・ミュートグループ用のチャンネル選択にも使います。詳細は、57ページの「インプットチャンネルのペア」、59ページの「フェーダーのグループ化」、60ページの「ミュートのグループ化」をご参照ください。

② SOLO(ソロ)キー

[SOLO]キーでインプットチャンネル1~16、エフェクトリターン1、2をソロモードにします。通常は、1~8の[SOLO]キーで、チャンネル1~8をソロに選択します。ただし、[OPTION I/O]キーを押している場合は、OPTION I/Oカードを装着しているときにのみ利用できるインプットチャンネル17~24が選択されます。詳細は、36ページの「SOLOキー」をご参照ください。

1～16の[SOLO]キーはREMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

③ ON(オン)キー

入力チャンネル1～16、ステレオアウト、AUXセンド、エフェクトセンド1、2、およびエフェクトリターン1、2のオン/オフを切り替えるキーです。通常は1～8の[ON]キーでチャンネル1～8を選択します。ただし[OPTION I/O]キーを押している場合は、OPTION I/Oカードを装着しているときのみ利用できるインプットチャンネル17～24が選択されます。詳細は、37ページの「ONキー」をご参照ください。

1～16の[ON]キーとMASTERの[ON]キーは、REMOTEページ1でさまざまな内部パラメーターに割り当てたり、REMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」と244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

④ フェーダー

01Vは60mmのモーターフェーダーを採用しています。現在選択されているフェーダーモードによって、入力チャンネル、AUXセンド、エフェクトセンドのレベルを調整します。通常は1～8のフェーダーがチャンネル1～8に対応します。ただし[OPTION I/O]キーを押している場合は、OPTION I/Oカードを装着しているときのみ利用できるインプットチャンネル17～24に対応します。詳細は、39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。

1～16のフェーダーとMASTERフェーダーは、REMOTEページ1でさまざまな内部パラメーターに割り当てたり、REMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」と244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

⑤ RETURN(リターン)コントロール

エフェクトリターンのレベルを調整するときに使用します。設定位置はディスプレイの左下隅に回転ノブで表示されます。

⑥ SOLO(ソロ)ステータスインジケーター

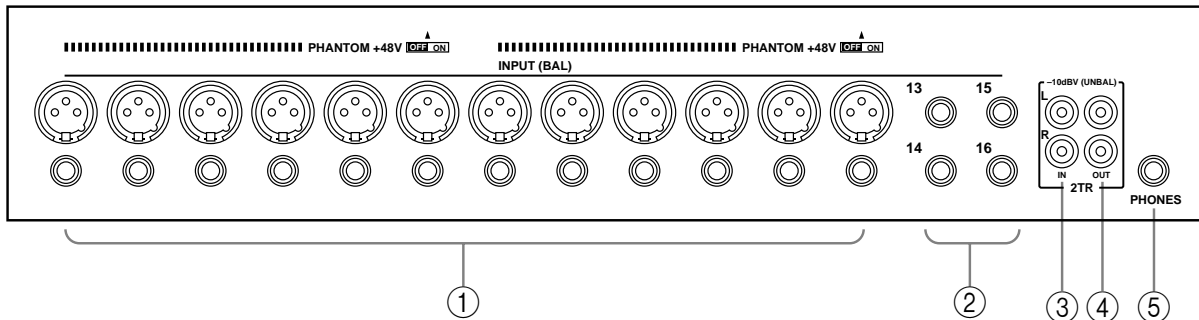
チャンネルをソロ状態にすると、このインジケーターが点灯します。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサー
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

入出力端子

トップパネルとリアパネルには入出力端子が搭載されています。

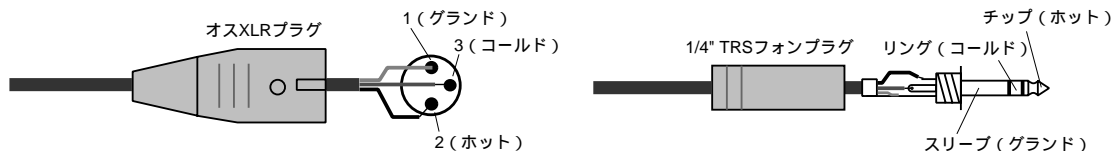
トップパネル



① INPUT (BAL) (バランス型インプット) 端子

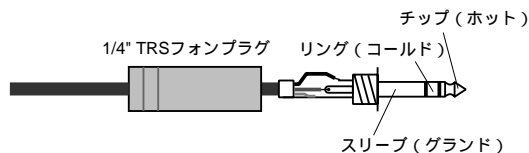
インプットチャンネル1～12にはバランスのXLR-3-31タイプ端子と、バランスのTRSフォン端子が装備されており、いずれも定格入力レベルは - 60dB ~ + 10dBです。XLRタイプ端子には、チャンネル1～6、およびチャンネル7～12をそれぞれまとめてオン、オフできる + 48Vのファンタム電源が搭載されています。

XLRタイプの端子よりもフォン端子の方が優先されますので、フォンプラグを差し込めば、XLRタイプの端子の接続は遮断されます。フォン端子は、アンバランス型フォンプラグにも対応しています。これらの端子は入力感度が高く、しかも26dBの PAD スイッチを搭載しているため、コンデンサーマイクロフォンからレベルの高いライン信号まで幅広く対応できます。



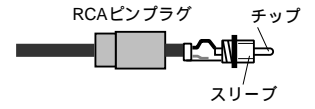
② INPUT (BAL) 13 ~ 16 (バランス型インプット) 端子

インプットチャンネル13～16にはバランスのフォン端子が装備されており、定格入力レベル - 20dB ~ + 10dBのバランスのTRSフォン端子です。バランス型、アンバランス型のどちらのフォンプラグにも対応しています。ラインレベル信号に適しています。外部エフェクターやその他のステレオ機器のステレオ出力を接続してください。



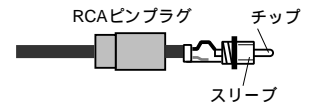
③ 2TR IN(2トラックイン)端子

定格入力レベル - 10dBVのRCAピン端子です。この端子に入力された信号は「MONITOR-2TR IN」スイッチが「2TR IN (■)」に設定されているときにMONITOR OUT端子およびPHONES端子からモニターできます。マスターレコーダーのステレオ出力を接続すれば、モニターやマスター再生が行えます。「15/16-2TR IN」スイッチを「2TR IN (■)」に設定すると、2TR IN信号がインプットチャンネル15、16に入り、他の信号とミックスされます。



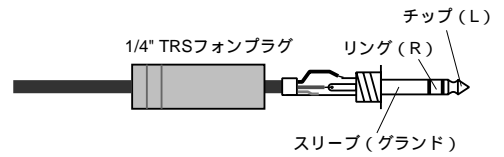
④ 2TR OUT(2トラックアウト)端子

定格出力レベル - 10dBVのRCAピン端子です。2TR OUT信号はステレオアウト信号と同じです。カセットデッキ、DAT、MiniDiscデッキなどをここに接続して、ステレオミックスを録音することができます。



⑤ PHONES(ヘッドフォン)端子

ステレオのヘッドフォンを接続してモニターするステレオ(TRS)ヘッドフォン端子です。この端子からはMONITOR OUT端子と同じ信号が出力されます。ヘッドフォンのモニターレベルは「PHONES LEVEL」コントロールで調整します。



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

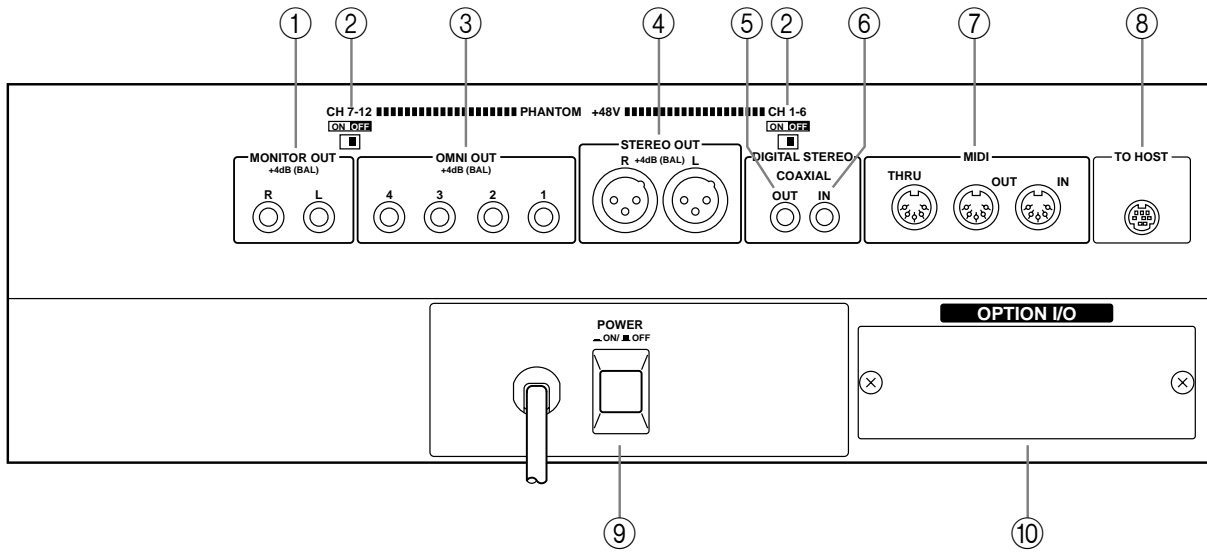
デジタル
I/O

MIDI

システム例

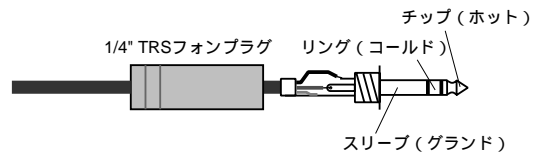
付録

リアパネル



① MONITOR OUT(モニターアウト)端子

定格出力レベル + 4dBのバランスのTRSフォン端子です。バランス型、アンバランス型のどちらのフォンプラグにも対応しています。この端子からはモニター信号が出力され、モニターアンプの入力端子に接続します。モニター信号のソースは、[MONITOR-2TR IN]スイッチとSETUPページ2で設定します。出力レベルの調整には[MONITOR LEVEL]コントロールを使用します。

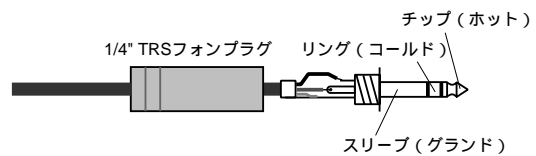


② PHANTOM ON-OFF(ファンタム)スイッチ

チャンネル1～6およびチャンネル7～12の[PHANTOM ON-OFF]スイッチで、XLRインプット1～6および7～12のファンタム電源 + 48Vをそれぞれまとめてオン、オフします。

③ OMNI OUT(オムニアウト)端子

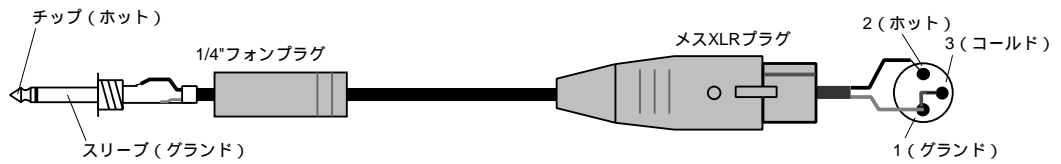
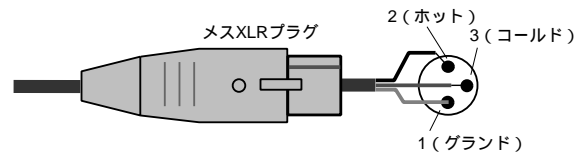
定格出力レベル + 4dBのバランスのTRSフォン端子です。バランス型、アンバランス型のどちらのフォンプラグにも対応しています。インプットチャンネル1～16のアナログバス出力、AUXアウト、ステレオ出力、ダイレクト出力として個々に設定できます。バス信号は、マルチトラックレコーダーへ、AUX信号は外部エフェクターやステージモニター用アンプへ出力します。



④ STEREO OUT(ステレオアウト)端子

定格出力レベル+4dBのバランスのXLR-3-32タイプ端子です。ピンの配線は、ピン1=グランド、ピン2=ホット(+)、ピン3=コールド(-)となっています。メインのステレオミックスを出力します。

アンバランス型フォンジャックをST OUT端子に接続する場合は、次の図のようにケーブル配線をしてください。(例:XLRのピン3とピン1を結線)



⑤ DIGITAL STEREO OUT(デジタルステレオアウト)端子

民生用フォーマット(24ビット)のCOAXIALデジタルオーディオで出力するRCAピン端子です。DAT、MiniDisc、その他のデジタル機器にデジタルオーディオデータを転送します。

⑥ DIGITAL STEREO IN(デジタルステレオイン)端子

民生用フォーマット(24ビット)のCOAXIALデジタルオーディオに対応したRCAピン端子です。この端子に入力された信号は、インプットチャンネル13/14に送るか、直接ステレオバスに送ってステレオカスケード操作(2台のミキサーを同時操作)を行います。

⑦ MIDI IN、MIDI OUT、MIDI THRU端子

01Vを他のMIDI機器に接続してコントロールや同期操作を行うMIDI IN、MIDI OUT、MIDI THRU端子です。MIDI IN端子はMIDIメッセージを受信し、MIDI OUT端子は送信します。MIDI THRU端子はMIDI IN端子で受信したMIDIメッセージをそのまま送信します。

⑧ TO HOST端子

パソコンに接続してMIDIアプリケーションソフトウェアを使用するための8ピン、ミニDIN端子です。この端子を利用すれば、MIDIインターフェースを別途用意する必要はありません。

⑨ POWER(パワー)スイッチ

01Vの電源のオン/オフを切り替えます。誤操作を防ぐためにスイッチが奥まった位置に設置されています。

⑩ OPTION I/Oスロット

オプションのOPTION I/Oカードを装着し、本機のデジタル入出力8系統を利用するためのスロットです。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

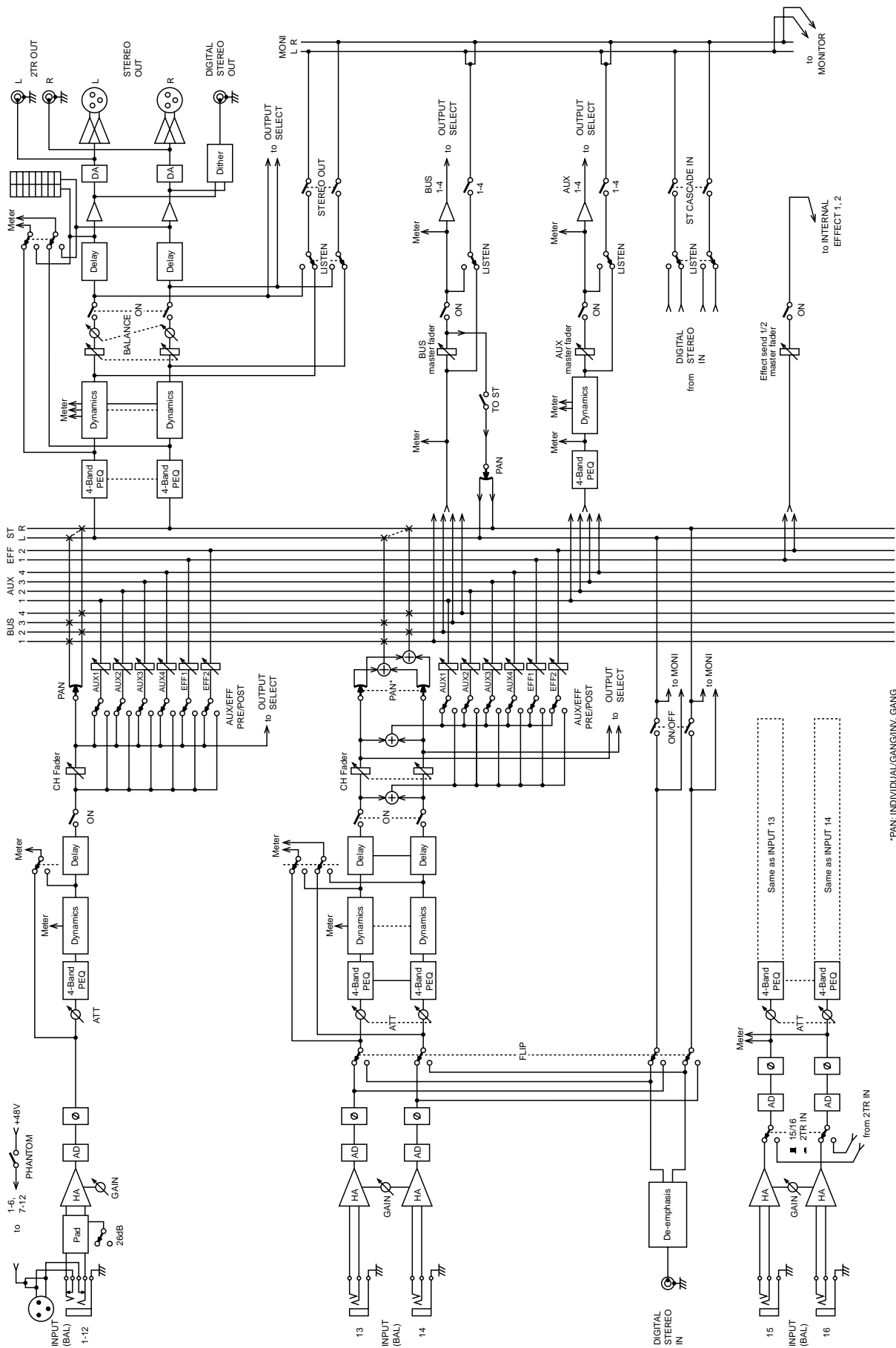
デジタルI/O

MIDI

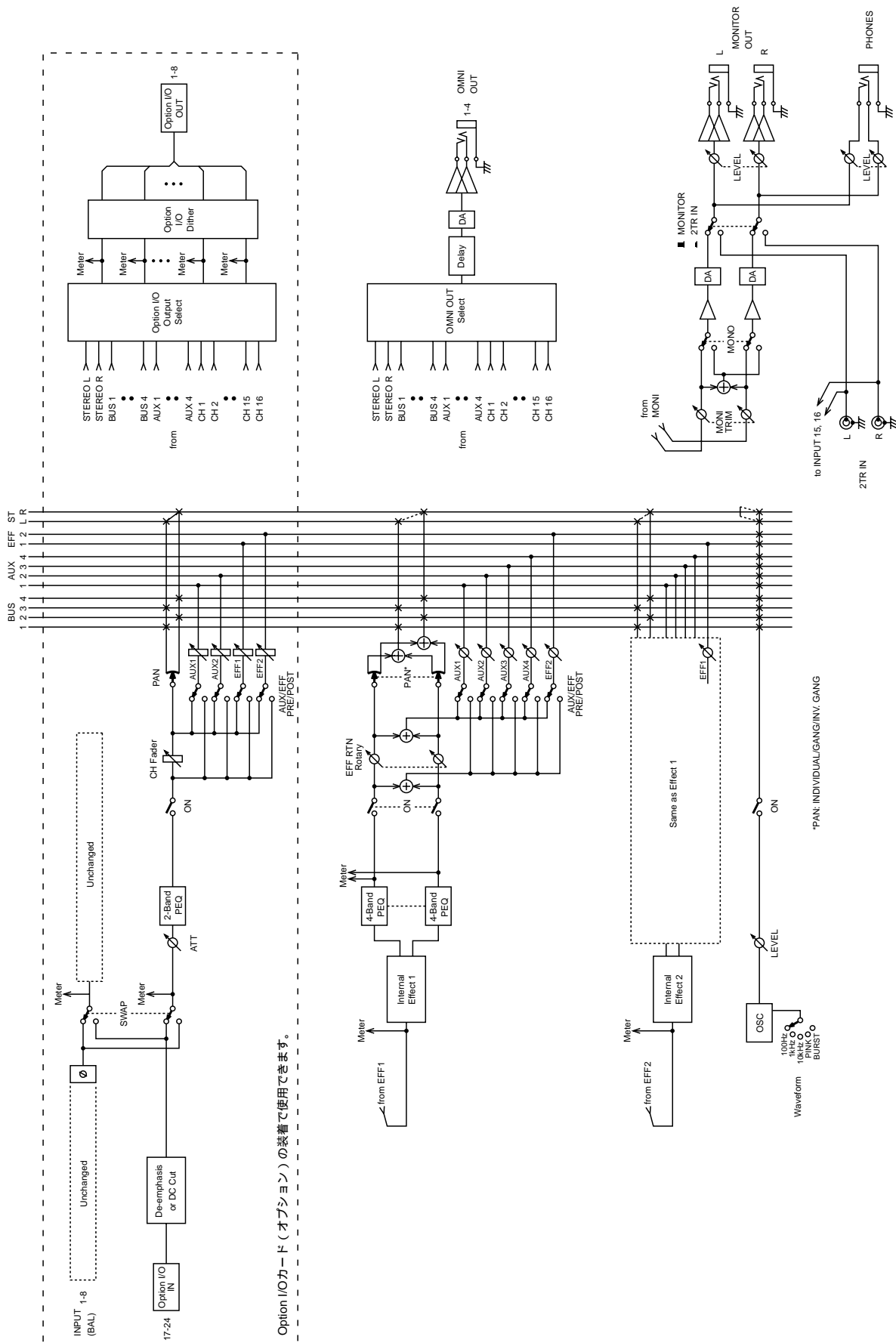
システム例

付録

ブロック図



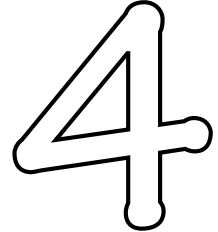
01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
入力チャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録



Option I/Oカード（オプション）の装着で使用できます。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

ユーザーインターフェースの基礎知識



本章の目次

ユーザーインターフェースについて	30
ディスプレイ	30
ディスプレイ内のコントロール	32
CURSORキー	33
PARAMETERダイアル	33
- 1/DECキー、+ 1/INCキー	33
ENTERキー	33
フェーダーモード	34
TITLE EDITダイアログボックス	41

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

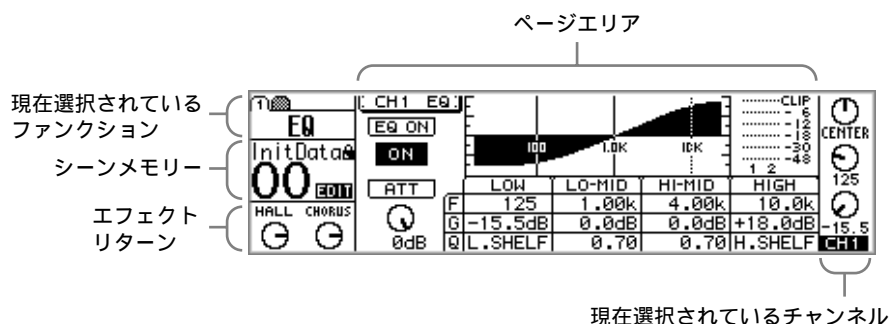
付録

ユーザーインターフェースについて

01Vには、単純明快で使いやすいユーザーインターフェースを採用しています。320×80ドットの液晶ディスプレイにより、ミックスの設定や現在の操作状況が一目瞭然です。また専用の[SELECTED CHANNEL]コントロールでEQとパンを簡単に調整することができます。フェーダーには複数の機能が用意されており、フェーダーモードの設定に応じて機能が変化します。ミキシング関連の機能と各種の環境設定は、それぞれ最高5ページまでの関連ページをまとめた画面に整理されています。たとえば、MIDIセットアップのページとプログラムチェンジのページは、MIDIのページにまとめられています。パラメーターの選択と編集は[CURSOR]キー、[ENTER]キー、[PARAMETER]ダイヤル、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーを使って行います。ダイヤルは正確な編集ができるようにクリック付きとなっています。

ディスプレイ

320×80ドットの液晶ディスプレイにより、ミックスの設定や現在の操作状況が一目瞭然です。単にパラメーターの値を数値で表示するだけでなく、フェーダーや回転ノブがグラフィカルに表示されますので、パンやフェーダーの位置が実際に目で確認できます。また、EQのカーブや信号レベルのメーターも表示されます。ディスプレイの各エリアの詳細は以下の説明をご参照ください。



現在選択されているファンクション

ファンクションキー、フェーダーモードキーを使って選択したファンクション(機能)の名前を表示します。各ファンクションはページごとに分かれ、図にあるように番号のついたタブが表示されています。右の例では、VIEWファンクションの1ページ目を選択しています。次の各ファンクションが選択できます。



ファンクションキー	フェーダーモードキー
UTILITY	EFFECT 1
MIDI	EFFECT 2
SETUP	OPTION I/O
VIEW	REMOTE
DYNAMICS	AUX 1
EQ/ATT	AUX 2
/DELAY	AUX 3
PAN/ROUTING	AUX 4
MEMORY	HOME

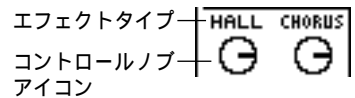
シーンメモリー

このエリアでは現在選択されているシーンメモリーの番号、タイトル、シーンメモリーが読み出し専用か、または書き込み保護されているか(書き込み禁止の場合は、キーロックのアイコンが表示されます)、エディットバッファが変更されているか、を表示します。詳細は、184ページの「シーンメモリーの表示領域」をご参照ください。また、このエリアにはMIDIインジケーター、TO HOSTインジケーターがあります。TO HOST端子でデータを受信すると「HOST」、MIDI IN端子でデータを受信すると「MIDI」と表示されます。詳細は、231ページの「MIDIデータ受信インジケーター」を参照ください。



エフェクトリターン

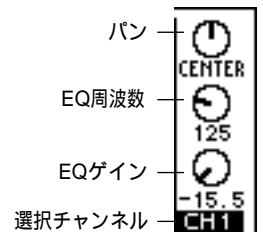
このエリアには2つの回転ノブアイコンがあり、[RETURN]コントロールレベルの設定位置と、2基の内蔵エフェクトプロセッサ(エフェクト1と2)に選択されているエフェクトのタイプを表示します。フェーダーモードにEFFECT 1またはEFFECT 2を選択すると、該当するノブのアイコンが反転表示します。



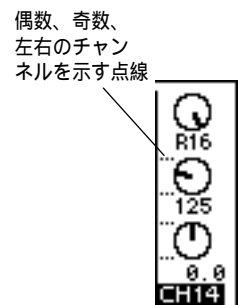
現在選択されているチャンネル

このエリアには3つの回転ノブアイコン(パン、EQ周波数(F)、EQゲイン(G))があり、選択チャンネルのパン、EQ周波数、EQゲインを表示します。その下には現在選択されているチャンネルを表示するインジケーターがあります。次のチャンネルが選択できます。

- ・ CH1 ~ CH24 インプットチャンネル1 ~ 24
- ・ ST ステレオアウト
- ・ RTN1, RTN2 エフェクトリターン1、2
- ・ AUX 1 ~ AUX 4 AUXアウト1 ~ 4
- ・ EFF1, EFF2 エフェクトセンド1、2
- ・ 1 ~ 16, MAS リモート

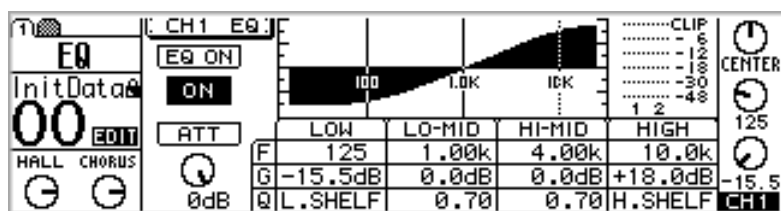


チャンネル13 ~ 16、エフェクトリターンチャンネル、あるいはペアを組んだインプットチャンネル1 ~ 12を選ぶと、奇数または左のチャンネルを選んだときにはその回転ノブアイコンの右に点線が表示されます。同様に、右の例でもあるように、偶数または右のチャンネルを選ぶと点線がアイコンの左に表示されます。



ページエリア

このエリアには、各種セットアップ、環境設定、ミキシング関連ファンクションのページが表示されます。パラメーターの値が数値で表示されるだけでなく、フェーダーや回転ノブがグラフィカルに表示されるので、パンやフェーダーの位置が一目で確認できます。詳細は、32ページの「ディスプレイ内のコントロール」をご参照ください。下の図はページの表示例です。



01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

ディスプレイ内のコントロール

ここではディスプレイに表示される様々なコントロールについて説明します。

ボタン類

ディスプレイ内のボタンは、右辺と下辺に影の付いた四角形で表示されます。



オン/オフの切り替えボタンは、オンのときに表示が反転します。右の例では「ST」ボタンがオンになっています。



右のフェーズボタンのように、オン/オフの切り替えでボタンの文字表示が変わるものもあります。



選択式のボタンの場合は、複数の選択肢の中から1つだけ、あるいは複数を選択できます。たとえばこの例では、モニターソースに STEREO OUT を選んでいます。どちらか1つを選択することもできますし、両方を同時に選択、不選択とすることもできます。



ボタンの操作は、まず「CURSOR」キーを使ってボタンを選び、「ENTER」キー、または「-1/DEC」キー、「+1/INC」キーを押してオン/オフを切り替えます。

回転ノブ

連続可変のパラメーターは、回転ノブのアイコンで表示されません。右の図はPANPOTページの例です。回転ノブを調整するには、「CURSOR」キーでノブを選択し、「PARAMETER」ダイヤルが「-1/DEC」キー、「+1/INC」キーでノブを回して調整します。



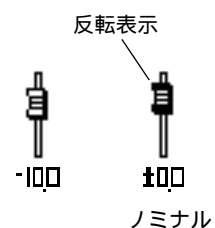
パラメーターボックス

右の例のEFFECT 1 EDITページのように、パラメーターボックス(点線で囲まれた部分)内に表示されるパラメーターもあります。「CURSOR」キーを使ってパラメーターボックスを選択し、「PARAMETER」ダイヤルまたは「-1/DEC」キー、「+1/INC」キーで変更します。設定の確定が必要なパラメーターボックスは、「ENTER」キーを押して確定するまで点滅します。

REV TIME 3.2s	INI.DLY 36.0ms	HI.RATIO 0.3
LO.RATIO 1.4	DIFF. 8	DENSITY 100%
E/R.DLY 2.0ms	E/R.BAL. 44%	GATE.LVL OFF dB

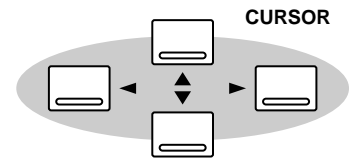
フェーダー

VIEWページやBUS MASTERページなど、いくつかのページではフェーダーがグラフィカルに表示されます。「CURSOR」キーでフェーダーを選択し、「PARAMETER」ダイヤルまたは「-1/DEC」キー、「+1/INC」キーで調整します。フェーダーのノブがユニティゲインの位置になると、ノブは反転表示されます。



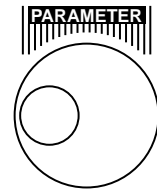
CURSORキー

[CURSOR]キーはディスプレイのカーソルを移動しパラメーターや選択肢などを選ぶときに使用します。ここで言う「カーソル」とは点滅する四角い表示のことで、現在選択されているパラメーターや選択肢などがすぐにわかるようになっています。[CURSOR]キーを押したままにすると、カーソルがそのキーの方向に連続して移動していきます。



PARAMETERダイヤル

[PARAMETER]ダイヤルは、パラメーターの値を変更したり、シーンメモリーやライブラリーのプログラムをスクロールするときに使用します。また、シーンメモリーやエフェクトプログラムなどのタイトルを付けるときには、カーソル移動に使用します。ダイヤルはクリック付きになっているため、迅速で正確なパラメーターの編集ができます。右に回すとパラメーターの値が大きくなり、左に回すと小さくなります。ディレイタイムなど可変範囲の広いパラメーターを操作する場合は速く回せば、素早く値が変化します。



- 1/DECキー、+ 1/INCキー

[PARAMETER]ダイヤルと同様、[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーもパラメーターの値を変更したり、シーンメモリーやライブラリーのプログラムをスクロールするときに使用します。また、シーンメモリーやエフェクトプログラムなどのタイトルを付けるときのスペース挿入、大文字・小文字・数字の切り替えにも使用します。[- 1/DEC]キーを押すたびに値が減少し、[+ 1/INC]キーを押すたびに値が増加します。キーを押したままにすると、パラメーターの設定範囲内で値が素早く変わっていきます。



ENTERキー

[ENTER]キーは、[CURSOR]キーで選んだパラメーターの設定を有効にしたり、EQ ON/OFFなどオン/オフ式のパラメーターを設定します。また、設定内容を確定したり、シーンメモリーやエフェクトプログラムのタイトルを付けるときに文字の入力に使います。さらにEQのページでは[ENTER]キーを使ってEQのオン/オフが切り替えできます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

フェーダーモード

本機の[SEL]キー、[SOLO]キー、[ON]キー、チャンネルフェーダー、STEREO (MASTER)フェーダーはそれぞれ複数の機能を持ち、その動作は現在選択されているフェーダーモードによって決まります。

SELキー

[SEL]キーを使用して、EQ、パン、ダイナミクス、ルーティングなどを操作するチャンネルを選択します。

選択したチャンネルはディスプレイ右下に反転表示されます。

ディスプレイ表示	選択されたチャンネル
CH1 ~ CH24	インプットチャンネル1 ~ 24
ST	ステレオアウト
RTN1 , RTN2	エフェクトリターン1、2
AUX1 ~ AUX4	AUX アウト1 ~ 4
EFF1 , EFF2	エフェクトセンド1、2
1 ~ 16 , MAS	リモート

[SEL]キーを使って、チャンネルペアや、フェーダーグループ、ミュートグループを組んだりすることもできます。詳細は、59ページの「フェーダーのグループ化」、60ページの「ミュートのグループ化」をお読みください。次の表はこのコントロール類の機能を示したものです。

フェーダーモード	[SEL]キー				
	1~8 (17~24)	9~12	13/14,15/16	STEREO (MASTER)	RETURN 1/2
HOME	CH 1~16をセレクト			STEREO OUTをセレクト	RETURN 1/2をセレクト
AUX 1				AUX 1 OUTをセレクト	
AUX 2				AUX 2 OUTをセレクト	
AUX 3				AUX 3 OUTをセレクト	
AUX 4				AUX 4 OUTをセレクト	
EFFECT 1				EFFECT 1マスターをセレクト	
EFFECT 2				EFFECT 2マスターをセレクト	
OPTION I/O				CH 17~24 *1をセレクト	
REMOTE 1	内部パラメーターアサインセレクト			—	
REMOTE 2	MMC (1~6)	—			
REMOTE 3	ユーザー定義MIDIコントローラーセレクト			—	

*1. 4系統のOPTION I/OカードではCH 17~20をセレクトします。

インプットチャンネルの[SEL]キーの使用例

- ・ インプットチャンネル3のEQを選ぶには、[HOME]キーを押してから3の[SEL]キーを押します(ディスプレイ右下に**CH3**と表示されます)。[SELECTED CHANNEL]の[F]と[G]のコントロールを使ってEQを調整します。[HOME]キーのかわりに[OPTION I/O]キー、[REMOTE]キー以外の他のフェーダーモードキーを使っても選べます。
- ・ インプットチャンネル13のパンを選ぶときは、[HOME]キーを押してから、13/14の[SEL]キーを繰り返し押し続けてディスプレイ右下に**CH13**を表示させます。[SELECTED CHANNEL]の[PAN]コントロールを使ってパンを調整します。[HOME]キーのかわりに[OPTION I/O]キー、[REMOTE]キー以外の他のフェーダーモードキーを使っても選べます。
インプットチャンネル13と14(および15と16)のほとんどのファンクションは連動しているので、フェーズやパンをチャンネルごとに個別に設定したいときにだけ、CH13またはCH14(あるいはCH15またはCH16)を選ぶことになります。
- ・ インプットチャンネル20のEQを選ぶには、[OPTION I/O]キーを押してから **20** の[SEL]キーを押します(ディスプレイ右下に**CH20**という表示が出ます)。[SELECTED CHANNEL]の[F]と[G]のコントロールを使ってEQを調整します。

MASTERの[SEL]キーの使用例

- ・ ステレオアウトを選ぶには、[HOME]キーを押してからMASTERの[SEL]キーを押して、ディスプレイ右下に**ST**と表示させます。
- ・ AUX 1アウトを選ぶには、[AUX 1]キーを押してからMASTERの[SEL]キーを押して、ディスプレイ右下に**AUX1**と表示させます。
- ・ エフェクト1マスターを選ぶには、[EFFECT 1]キーを押してからMASTERの[SEL]キーを押して、ディスプレイ右下に**EFF1**と表示させます。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

SOLOキー

[SOLO] キーを使って、モニターチャンネルをソロモードに設定します。詳細は、85ページの「ソロのセットアップ」をご参照ください。次のチャンネルをソロモードに設定できます。

選択したチャンネルはディスプレイ右下に反転表示されます。

ディスプレイ表示	選択されたチャンネル
CH1 ~ CH24	インプットチャンネル1 ~ 24
RTN1 , RTN2	エフェクトリターン1、2

フェーダーモード	[SOLO] キー			
	1 ~ 8 (17 ~ 24)	9 ~ 12	13/14,15/16	RETURN 1/2
HOME	CH 1 ~ 16をソロ			RETURN 1/2をソロ
AUX 1				
AUX 2				
AUX 3				
AUX 4				
EFFECT 1				
EFFECT 2				
OPTION I/O				
REMOTE 1	—			—
REMOTE 2	—			—
REMOTE 3	ユーザー定義MIDIコントローラーセレクト			—

*1. 4系統のOPTION I/OカードではCH 17 ~ 20をセレクトします。

1 ~ 16の[SOLO] キーはREMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

使用例

- ・ インプットチャンネル3をソロモードにするには、[HOME] キーを押してから3の [SOLO] キーを押します。[OPTION I/O] キー、[REMOTE] キー以外の他のフェーダーモードキーを使っても選べます。
- ・ インプットチャンネル13/14をソロモードにするには、[HOME] キーを押してから13/14の [SOLO] キーを押します。[OPTION I/O] キー、[REMOTE] キー以外の他のフェーダーモードキーを使っても選べます。
- ・ インプットチャンネル20をソロモードにするには、[OPTION I/O] キーを押してから **20** の [SOLO] キーを押します。

ONキー

[ON]キーを使って次のチャンネルをオン / オフします。

選択したチャンネルはディスプレイ右下に反転表示されます。

ディスプレイ表示	選択されたチャンネル
CH1 ~ CH24	インプットチャンネル1 ~ 24
ST	ステレオアウト
RTN1 , RTN2	エフェクトリターン1、2
AUX1 ~ AUX4	AUX アウト1 ~ 4
EFF1 , EFF2	エフェクトセンド1、2

バスアウトのオン / オフはPAN/ROUTページ4で行います。

フェーダーモード	[ON] キー				
	1 ~ 8 (17 ~ 24)	9 ~ 12	13/14,15/16	STEREO (MASTER)	RETURN 1/2
HOME	CH 1 ~ 16をオン / オフ	—	—	STEREO OUTをオン / オフ	RETURN 1/2をオン / オフ
AUX 1				AUX 1 OUTをオン / オフ	
AUX 2				AUX 2 OUTをオン / オフ	
AUX 3				AUX 3 OUTをオン / オフ	
AUX 4				AUX 4 OUTをオン / オフ	
EFFECT 1				EFFECT 1マスターをオン / オフ	
EFFECT 2				EFFECT 2マスターをオン / オフ	
OPTION I/O	CH 17 ~ 24 *1をオン / オフ	—	—	STEREO OUTをオン / オフ	—
REMOTE 1	内部パラメーターアサイン				—
REMOTE 2	MMC (1 ~ 6)	—			
REMOTE 3	ユーザー定義MIDIコントローラー				—

*1. 4系統のOPTION I/OカードではCH 17 ~ 20をセレクトします。

1 ~ 16の[ON]キーとMASTERの[ON]キーは、REMOTEページ1でさまざまな内部パラメーターに割り当てたり、REMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」と244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

インプットチャンネルの[ON]キーの使用例

- ・ インプットチャンネル3をオン / オフするには、[HOME]キーを押してから3の[ON]キーを押します。[OPTION I/O]キー、[REMOTE]キー以外の他のフェーダーモードキーを使っても選べます。
- ・ インプットチャンネル13/14をオン / オフするには、[HOME]キーを押してから13/14の[ON]キーを押します。[OPTION I/O]キー、[REMOTE]キー以外の他のフェーダーモードキーを使っても選べます。
- ・ インプットチャンネル20をオン / オフするには、[OPTION I/O]キーを押してから **20** の[ON]キーを押します。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

MASTERの[ON]キーの使用例

- ステレオアウトをオン/オフするには、[HOME]キーを押し、MASTERの[ON]キーを使います。
- AUX 1をオン/オフするには、[AUX 1]キーを押し、MASTERの[ON]キーを使います。
- エフェクト1センドをオン/オフするには、[EFFECT 1]キーを押してからMASTERの[SEL]キーを押し、MASTERの[ON]キーを使います。

フェーダー(および[RETURN]コントロール)

フェーダーを使ってチャンネルレベルを調整します。

フェーダーモード	フェーダー				[RETURN]コントロール
	1~8 (17~24)	9~12	13/14,15/16	STEREO (MASTER)	RETURN 1/2
HOME	CH 1~16レベル			STEREO マスターレベル	RETURN 1/2レベル
AUX 1	CH 1~16 AUX 1センドレベル			AUX 1 マスターレベル	RETURN 1/2 AUX 1 センドレベル
AUX 2	CH 1~16 AUX 2センドレベル			AUX 2 マスターレベル	RETURN 1/2 AUX 2 センドレベル
AUX 3	CH 1~16 AUX 3センドレベル			AUX 3 マスターレベル	RETURN 1/2 AUX 3 センドレベル
AUX 4	CH 1~16 AUX 4センドレベル			AUX 4 マスターレベル	RETURN 1/2 AUX 4 センドレベル
EFFECT 1	CH 1~16 EFFECT 1センドレベル			EFFECT 1 マスターレベル	RETURN 2 EFFECT 1 センドレベル ^{*1}
					RETURN 1レベル
EFFECT 2	CH 1~16 EFFECT 2センドレベル			EFFECT 2 マスターレベル	RETURN 1 EFFECT 2 センドレベル ^{*2}
					RETURN 2レベル
OPTION I/O	CH 17~24 ^{*3} のレベル	—	—	STEREO マスターレベル	RETURN 1/2レベル
REMOTE 1	内部パラメーターアサイン				—
REMOTE 2	—				—
REMOTE 3	ユーザー定義MIDIコントローラー				—

*1. エフェクトリターン1からはエフェクトセンド1には送れません。

*2. エフェクトリターン2からはエフェクトセンド2には送れません。

*3. 4系統のOPTION I/OカードではCH 17~20をセレクトします。

フェーダー1~16とMASTERフェーダーは、REMOTEページ1でさまざまな内部パラメーターに割り当てたり、REMOTEページ3でMIDIコントローラーとして使用することもできます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」と244ページの「ユーザー定義のMIDIコントローラー」をご参照ください。

インプットチャンネルレベルの設定例

インプットチャンネル3のレベルを調整するには、[HOME]キーを押してからフェーダー3を操作します。

インプットチャンネル13/14のレベルを調整するには、[HOME]キーを押してからフェーダー13/14を操作します。

インプットチャンネル20のレベルを調整するには、[OPTION I/O]キーを押してからフェーダー20を操作します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

インプットチャンネルAUXセンドレベルの設定例
 インプットチャンネル3のAUX 1センドレベルを調整するには、[AUX 1]キーを押してからフェーダー3を操作します。

インプットチャンネル13/14のAUX 1センドレベルを調整するには、[AUX 1]キーを押してからフェーダー13/14を操作します。

インプットチャンネル20のAUX 1センドレベルを調整するには、まず[OPTION I/O]キーでOPTIONページ2を表示させ、20 の[SEL]キーを押し、[CURSOR]キーでAUX 1フェーダーを選択してから[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで調整します。

注: インプットチャンネル17~24のAUXセンドレベルは、OPTIONページ2にあるアイコンのフェーダーを使用して調整します。

インプットチャンネルのエフェクトセンドレベルの設定例
 インプットチャンネル3のエフェクト1センドレベルを調整するには、[EFFECT 1]キーを押してからフェーダー3を操作します。

インプットチャンネル13/14のエフェクト1センドレベルを調整するには、[EFFECT 1]キーを押してからフェーダー13/14を操作します。

インプットチャンネル20のエフェクト1センドレベルを調整するには、まず[OPTION I/O]キーでOPTIONページ2を表示させ、20 の[SEL]キーを押し、[CURSOR]キーでEFFECT 1フェーダーを選択してから[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで調整します。

注: インプットチャンネル17~24のエフェクトセンドレベルは、OPTIONページ2にあるアイコンのフェーダーを使用して調整します。

マスターレベルの設定例
 ステレオアウトのレベルを調整するには、[HOME]キーを押し、MASTERフェーダーを操作します。

AUX 1アウトのレベルを調整するには、[AUX 1]キーを押し、MASTERフェーダーを操作します。

エフェクト1マスターセンドレベルを調整するには、[EFFECT 1]キーを押し、MASTERフェーダーを操作します。

BUS OUT 1マスターセンドレベルを調整するには、まず[PAN/ROUT]キーでPAN/ROUTページ3を表示させ、[CURSOR]キーでBUS 1フェーダーを選択してから[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで調整します。

注: バスアウトのマスターレベルは、PAN/ROUTページ3にあるアイコンのフェーダーを使用して調整します。

TITLE EDIT ダイアログボックス

TITLE EDITダイアログボックスは、シーンメモリー、EQプログラム、ダイナミクスプログラム、エフェクトプログラムのタイトルを付けるときに使用します。タイトルには12文字まで使用できます(シーンメモリーは8文字まで)。



1. [CURSOR] ｷｰでカーソルをタイトル欄に移動します。
2. [PARAMETER] ダイアルで文字を選びます。
3. [CURSOR] ｷｰで次のボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押してその機能を実行します。
 - INS カーソルの位置にスペースを挿入し、後続の文字を右にずらします。タイトル欄の右端からはみ出た文字は消去されます。
 - DEL カーソル位置にある文字を削除し、後続の文字を左に詰めます。
4. [+ 1/INC] ｷｰでカーソルの位置にスペースを挿入します。
5. [- 1/DEC] ｷｰでカーソルの位置にある文字の大文字、小文字、数字を切り替えます。
6. [ENTER] ｷｰを押して保存します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

インพุットチャンネル

5

本章の目次

インพุットチャンネルの概要	45
ファンタム電源	46
パッド	46
インพุットチャンネルゲインの設定	46
インพุットチャンネルのメーター	46
入力フェーズの変更	47
インพุットチャンネル信号の減衰	48
インพุットチャンネルのイコライジング	49
インพุットチャンネルのダイナミクスプロセッサー	49
チャンネル信号のディレイ	50
インพุットチャンネルのミュート設定	51
インพุットチャンネルレベルの設定	51
インพุットチャンネルのパン設定	52
インพุットチャンネルのルーティング	54
インพุットチャンネルのモニター	55
インพุットチャンネルとAUXセンド	55
インพุットチャンネルとOMNIアウト	55
インพุットチャンネルとOPTION I/O出力	55
インพุット1~8、17~24の入れ替え(SWAP)	56
インพุットチャンネルのペア	57
フェーダーのグループ化	59
ミュートのグループ化	60

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インพุット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

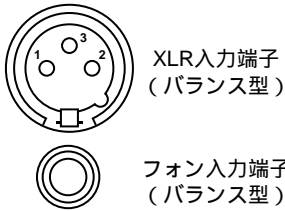
01Vの 世界へ ようこそ!
基本操作
各部の 名称と機能
ユーザー インター フェース の基礎知識
インプット チャンネル
イコライザー
ソロ、 モニター、 メーター
ステレオ アウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵 エフェクト
ダイナミクス プロセッサ
シーン メモリー
その他の 機能
デジタル I/O
MIDI
システム例
付録

インプットチャンネル設定の確認	61
チャンネル設定のコピー、スワップ	63
インプットチャンネルのブロック図	64

本章ではインプットチャンネル1~24について、信号の流れに沿って入力端子からバスに送られるまでの順序で説明します。

インプットチャンネルの概要

インプットチャンネル1～12

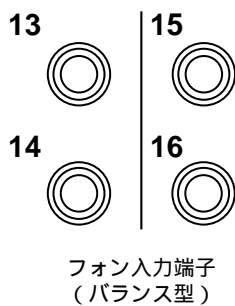


インプットチャンネル1～12にはバランスのXLR-3-31タイプ端子とバランスのTRSフォン端子が搭載されており、いずれも - 60dB ~ + 10dBの入力レベルに対応しています。

XLRタイプ端子にはチャンネル1～6、チャンネル7～12をそれぞれまとめてオン/オフできる +48Vの [PHANTOM ON-OFF]スイッチがあります。フォン端子は、アンバランスのフォンプラグにも対応し、XLRタイプ端子よりも優先されるため、フォンプラグが差し込まれている場合はXLR端子側の接続は遮断されます。

インプットチャンネル1～8をインプットチャンネル17～24とスワップ(入れ替え)することもできます。詳細は、56ページの「インプットチャンネル1～8、17～24の入れ替え(SWAP)」をご参照ください。

インプットチャンネル13～16



ステレオ仕様であることを除けば、他のインプットチャンネル1～12と同じです。

通常はインプットチャンネル13、14の信号はフォン端子13、14から入りますが、PAN/ROUTページ4にあるCH13～14 FLIPボタンを使用すると、DIGITAL STEREO IN端子からの信号をインプットチャンネル13、14に送ることができます。詳細は、216ページの「デジタルステレオイン」をご参照ください。同様に、インプットチャンネル15、16の信号はフォン端子15、16から入りますが、[15/16-2TR IN]スイッチを使用すると、2TR IN端子からの信号がインプットチャンネル15、16にも入ります。詳細は、81ページの「2トラック入力(2TR IN)」をご参照ください。

インプットチャンネル17～24

OPTION I/O

インプットチャンネル17～24には、アナログ入力端子、[PAD]スイッチ、[GAIN]コントロール、ダイレクト出力がなく、アッテネーターと2バンドのパラメトリックイコライザーをのみを搭載し、インプットチャンネル1～16よりはシンプルな仕様となっています。AUXセンド1と2には送れますが、AUXセンド3と4には送ることができません。

このインプットチャンネル17～24への入力、OPTION I/Oスロットのデジタル入力を通して行います。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

インプットチャンネル17～24をインプットチャンネル1～8とスワップ(入れ替え)することもできます。詳細は、56ページの「インプットチャンネル1～8、17～24の入れ替え(SWAP)」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

ファンタム電源

CH 1-6

ON OFF



インプットチャンネル1~12には、コンデンサタイプのマイクロフォンが使用できるよう+48Vの[PHANTOM ON-OFF]スイッチがあります。

ファンタム電源はバランスのXLR-3-31タイプ端子に供給され、チャンネル1~6、チャンネル7~12をそれぞれまとめてオン/オフできます。ファンタム電源を使うのは、コンデンサマイクロフォンとダイレクトボックスです。

[PHANTOM ON-OFF]スイッチがオンになっている端子には、アンバランス機器を接続しないでください。

CH 7-12

ON OFF



パッド



26dB

インプットチャンネル1~12には、26dBの[PAD]スイッチが搭載されています。このスイッチで入力信号を26dB減衰させることにより、レベルの高い信号も入力が可能です。

バスドラムやスネアドラム用マイクからの信号のレベルが高い場合、あるいはラインレベルの信号を処理するときこのスイッチをオンにするといいでしょう。

[PAD]スイッチの設定は、シーンメモリーには保存されません。

インプットチャンネルゲインの設定

[GAIN]コントロールは、入力部のプリアンプのゲインを調整します。このコントロールは、最良のSN比が得られるよう入力信号を最適なレベルに設定するのに使用します。[GAIN]コントロールの調整は、必ずHOMEページに表示されるレベルインジケータを見ながら行ってください。[GAIN]コントロールは、信号レベルをやや高め、CLIPインジケータが点灯しないくらいに設定するのが理想的です。CLIPインジケータが頻繁に点灯する場合は、[GAIN]コントロールを多少下げないと信号が歪みます。このコントロールの設定は慎重に行ってください。レベルが低すぎるとSN比が悪くなり、高すぎると耳障りなクリップによる歪みが生じてしまいます。

インプットチャンネル1~12の[GAIN]コントロールはマイクロフォンの信号にも対応するよう設計されており、-16dB ~ -60dBの範囲の入力レベルに対応してゲインを調節できます。

さらに26dBの[PAD]スイッチと組み合わせると、対応する入力レベルの範囲は+10dB ~ -34dBとなって、ラインレベルの信号やレベルの高いマイクロフォン信号も入力に使用できます。このコントロールはクリック付きとなっているため、同じ設定を繰り返したいときに正確な操作が行えます。

インプットチャンネル13~16の[GAIN]コントロールは、ラインレベルの信号に対応し、入力レベルの範囲は+10dB ~ -20dBです。

[GAIN]コントロールの設定はシーンメモリーには保存されません。

-16 -60
+10 GAIN -34

+10 GAIN -20

インプットチャンネルのメーター

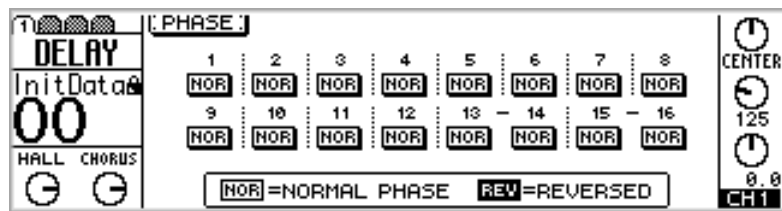
信号のレベルはHOMEページでメーター表示させることができます。詳細は、88ページの「信号レベルメーター」をご参照ください。

入力フェーズの変更

インพุットチャンネル1～16のPHASE欄のボタンは、入力信号の位相を180度反転させます。

フェーズを反転させると、配線が不適切なバランス型ケーブルやマイクロフォンの位相を補正することができます。また、スネアドラムの上下でマイクを設定する場合には、下のマイクを接続したチャンネルの位相を反転させることで、上下マイクの位相を合わせることができます。

1. [/DELAY] ｷｰを使って、次のDELAYページ1を表示させます。



2. 1～16の[SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
[CURSOR] ｷｰでPHASE欄のボタンを選択することもできます。
3. [ENTER] ｷｰまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰを使って選択したチャンネルのフェーズをNOR(ノーマル)かREV(リバース)に設定します。

NOR ノーマル(正相)

REV リバース(逆相)

インพุットチャンネル13と14、15と16のPHASE(フェーズ)ボタンは連動しません。それぞれのチャンネルで個別に設定することができます。インพุットチャンネル1～12はペア(57ページの「インพุットチャンネルのペア」参照)に組まれているときでも、PHASE(フェーズ)ボタンは個別に設定できます。

インพุットチャンネル17～24にはPHASE(フェーズ)ボタンはありません。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インพุット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

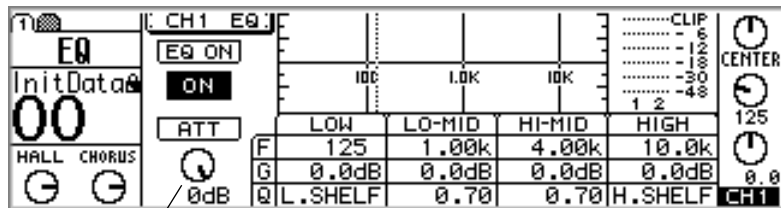
付録

インプットチャンネル信号の減衰

インプットチャンネル1~24はデジタルアッテネーターを搭載し、入力信号を0dB ~ -96dBの範囲、1dB単位で減衰させることができます。

インプットチャンネル1~16

1. [EQ/ATT] ｷｰを押して以下のEQページ1を表示させます。



ATT回転ノブ

2. 1~16の[SEL] ｷｰを使ってチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでATT回転ノブを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで調整してください。

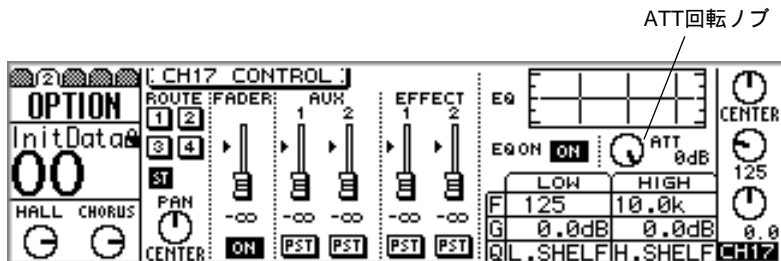
インプットチャンネル13と14、15と16のアッテネーターは常に連動になっています。インプットチャンネル1~12はペア(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)が組まれていると、それぞれのチャンネルのアッテネーターが連動するので、いずれか一方のチャンネルのパラメーターを調整するだけで済みます。

アッテネーターを使用すれば、EQのブーストやダイナミクスプロセッサの効果によるレベルの上昇を抑えることができます。

[GAIN] コントロールでもレベルを下げることは可能ですが、この方法ではA/Dコンバーターに入る信号レベルも低下してしまいます。A/DコンバーターはSN比を最大限にするためにある程度の信号レベルが必要なので、これでは望ましくありません。デジタルアッテネーターはA/Dコンバーターの後段にくるので、A/D変換に影響なく信号を減衰させることができます。

インプットチャンネル17~24

1. [OPTION I/O] ｷｰでOPTIONページ2を表示させます。
2. [17] ~ [24] の[SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。



3. [CURSOR] ｷｰでATT回転ノブを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで調整します。

インプットチャンネルのイコライジング

インプットチャンネル1～16には4バンドのパラメトリックイコライザー、インプットチャンネル17～24には2バンドのパラメトリックイコライザーが搭載されています。詳細は、65ページの「イコライザー」をご参照ください。

EQはオン/オフすることができ、またEQカーブはEQページとVIEWページで表示されます。詳細は、61ページの「インプットチャンネル設定の確認」をご参照ください。

インプットチャンネルのダイナミクスプロセッサ

インプットチャンネル1～16にはダイナミクスプロセッサが搭載されています。詳細は、159ページの「ダイナミクスプロセッサ」をご参照ください。

ダイナミクスはオン/オフすることができます。また、ダイナミクスカーブはDYNAMICSページとVIEWページで表示されます。詳細は、61ページの「インプットチャンネル設定の確認」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

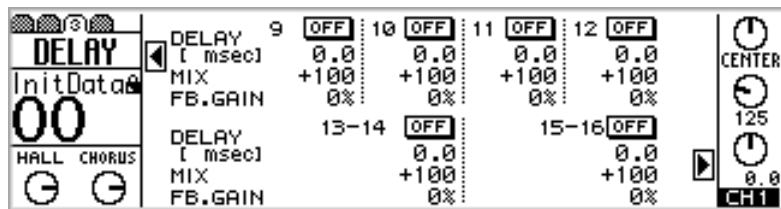
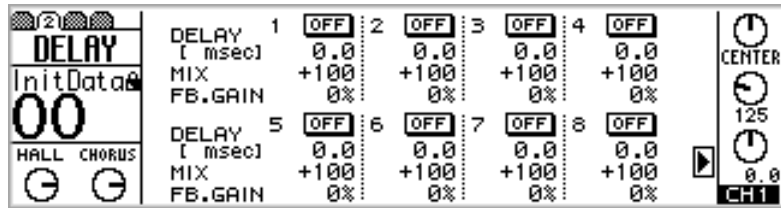
付録

チャンネル信号のディレイ

インプットチャンネル1~16にはディレイがあり、マイクロフォンの距離補正や、単なるエフェクトのディレイとして利用できます。

インプットチャンネル1~8のディレイパラメーターはDELAYページ2に、インプットチャンネル9~16のディレイパラメーターはDELAYページ3にあります。下の画面はこの2つのページです。

1. [/DELAY] ｷｰを使って次のDELAYページ2または3を表示させます。



2. [SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでDELAY(ディレイ)パラメーターを選択し、[ENTER] ｷｰと [PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで値を設定します。

パラメーター	範囲	内容
ON/OFF	ON/OFF	ディレイをオン/オフします。
DELAY	0 ~ 250ms	ミリ秒単位、メートル単位またはサンプル単位でディレイを設定します。(205ページ「プリファレンス」参照)。最大ディレイは11025サンプルで固定されています。ミリ秒単位およびメートル単位の最大ディレイはサンプリング周波数によって異なり、たとえば、サンプリング周波数が44.1kHzのときは250ミリ秒、85.2メートルです。
MIX	-100 ~ +100	ディレイのかかった信号のレベルを指定します。ディレイ信号とドライ信号の比が、0では1:0、+50では1:1、+100では0:1です。マイナスの値の場合は、ディレイ信号の位相が反転します。
FB. GAIN	-99 ~ +99	ディレイ信号をディレイにフィードバックする量を設定します。0はフィードバックなし、+99はフィードバックが最大量です。マイナスの値の場合は、ディレイ信号の位相が反転します。

インプットチャンネル13と14、15と16のディレイは常に連動しています。インプットチャンネル1~12はペア(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)が組まれていると、それぞれのチャンネルのディレイが連動するので、いずれか一方のチャンネルのパラメーターを調整するだけで済みます。

インプットチャンネルのミュート設定



インプットチャンネルは[ON]キーを使ってミュート(消音)させることができます。チャンネルがオンのとき、このキーの上にあるインジケーターが点灯します。

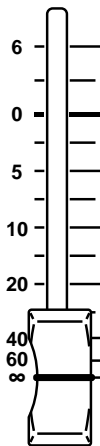
インプットチャンネル1~16をオン/オフするには、OPTION I/O、REMOTE以外のフェーダーモードを選んで、1~16の[ON]キーを押します。

インプットチャンネル17~24をオン/オフするには、[OPTION I/O]キーを押してから [17] ~ [24] の[ON]キーを押します。

インプットチャンネル13と14、15と16の[ON]キーは常に連動しています。インプットチャンネル1~12はペアに組まれていると、それらの[ON]キーは連動します。

[ON]キーを1つだけ使って複数のチャンネルのミュートを同時にコントロールできるように、ONキーをグループ化させることができます。詳細は、60ページの「ミュートのグループ化」をご参照ください。

インプットチャンネルレベルの設定



インプットチャンネルのレベルは60mmのモーターフェーダーを使って調整します。

インプットチャンネル1~16のレベルを調整するには、[HOME]キーを押してからフェーダー1~16を操作します。

インプットチャンネル17~24のレベルを調整するには、[OPTION I/O]キーを押してからフェーダー17~24を操作します。

各フェーダーの機能は、現在選択されているフェーダーモードによって異なります。詳細は、39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。選択したフェーダーモードはディスプレイ上に表示されています。詳細は30ページの「ディスプレイ」をご参照ください。

インプットチャンネル13と14、15と16のフェーダーは常に連動しています。インプットチャンネル1~12はペア(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)に組まれていると、それぞれのチャンネルのフェーダーが連動するので、いずれか一方のフェーダーを操作するだけで済みます。

1つのフェーダーだけで他のチャンネルのフェーダーもコントロールするよう、フェーダーをグループ化することができます。詳細は、59ページの「フェーダーのグループ化」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

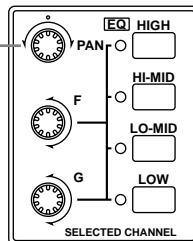
システム例

付録

インプットチャンネルのパン設定

パンはインプットチャンネル1~24(およびエフェクトリターン)に用意されており、ステレオアウトの左右チャンネル、奇数・偶数のバスアウトに信号を振り分けます。[SELECTED CHANNEL]の[PAN]コントロールを使うと瞬時にパンを調整できます。また、PANPOTページで[CURSOR]キー、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キー、[PARAMETER]ダイヤルを使って調整することもできます。

チャンネルを選択してこの[PAN]コントロールを使用すると素早くパン設定ができます。



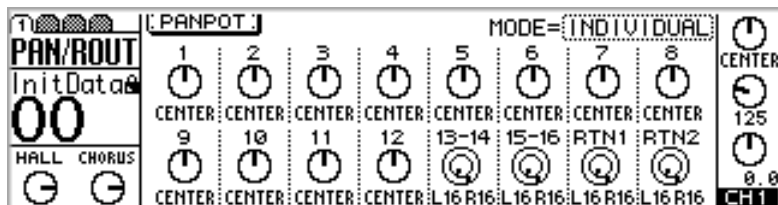
インプットチャンネル1~16およびエフェクトリターン

1. [SEL]キーでチャンネルを選択します。

インプットチャンネル13または14(あるいは15または16)を選択するには、13/14(15/16)の[SEL]キーを繰り返し押ししてください。現在選択されているチャンネル番号がディスプレイに表示されます。エフェクトリターン1(またはエフェクトリターン2)のLまたはRのチャンネルを選択するには、RETURN 1(RETURN 2)の[SEL]キーを繰り返し押ししてください。チャンネルを選択すると、「R」または「L」の文字がパンポット表示の横に現われます。

2. [PAN]コントロールで選択したチャンネルのパンを設定します。

プリファレンス(205ページ「プリファレンス」)でPANPOT AUTO SCREENオプションがオンになっていると、次のようなPAN/ROUTページを表示し、HOMEフェーダーモードが選択されます。このページは[PAN/ROUTING]キーを使って表示させることもできます。



パンの調整は、このページで[PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーを使って行います。また、PAN/ROUTページのパンは[SEL]キーだけでなく、[CURSOR]キーを使用して設定することもできます。

インプットチャンネル17~24

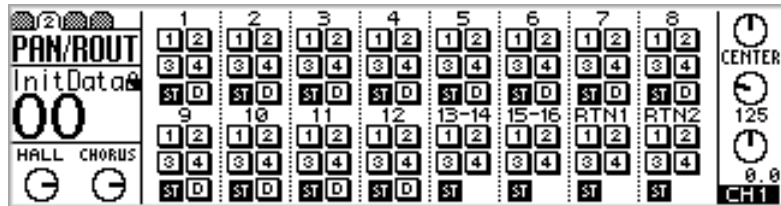
1. [OPTION I/O]キーを押します。
2. [17] ~ [24]の[SEL]キーでチャンネルを選択します。

インプットチャンネルのルーティング

ルーティングボタンはインプットチャンネル1~24(およびエフェクトリターン)に用意されており、4系統のバスアウト、ステレオアウト、ダイレクト出力に信号を送ります。

インプットチャンネル1~16およびエフェクトリターン

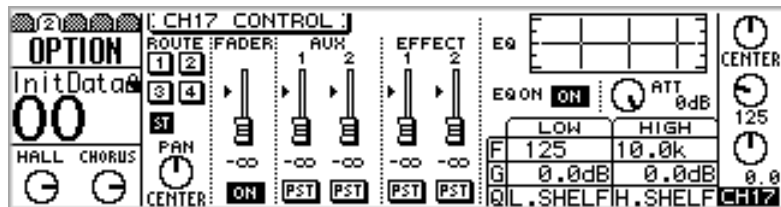
1. [PAN/ROUTING] ｷｰで、次のPAN/ROUTページ2を表示させます。



2. [SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでルーティングボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押して設定します。

インプットチャンネル17~24

1. [OPTION I/O] ｷｰで、次のOPTIONページ2を表示させます。



2. [17] ~ [24] の [SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでルーティングボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押して設定します。

反転表示されているルーティングボタンは、チャンネルの信号がそのバスに送られていることを示しています。



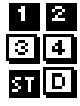



インプットチャンネル1~12には4つのバスアウトルーティングボタン(1,2,3,4)、ステレオアウトルーティングボタン(ST)、ダイレクト出力ルーティングボタン(D)があります。

OPTIONページ4でOPTION I/Oアウトのソース信号としてインプットチャンネルを選択すると、このダイレクト出力ボタン(D)がオンになります。同様に、OPTIONページ4でOPTION I/Oアウトのソース信号としてインプットチャンネルを選択すると、PAN/ROUTページの該当するDボタンがオンになります。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。



インプットチャンネル13~24とエフェクトリターンには4つのルーティングボタン(1,2,3,4)、ステレオアウトルーティングボタン(ST)があります。

ルーティングボタンはパン設定と組み合わせて、ステレオアウトの左右チャンネルおよび偶数・奇数のバスアウトに信号を送ります。次の表はその仕組みを表わしたものです。

ルーティング	パン	信号の送り先
	 CENTER	信号はバスアウト1と2、およびステレオアウトの左右チャンネルに同等に送られます。
	 L16	信号はバスアウト1とステレオアウトの左チャンネルにのみ送られます。
	 R16	信号はバスアウト2とステレオアウトの右チャンネルにのみ送られます。

インพุットチャンネル13と14、15と16のルーティングボタンは常に連動になっています。インพุットチャンネル1～12はペアを組んでも(57ページの「インพุットチャンネルのペア」参照)それぞれのチャンネルのルーティングボタンは連動しません。

インพุットチャンネルのモニター

インพุットチャンネルは、MONITOR OUT端子あるいはPHONES端子でモニターできます。79ページの「ソロ、モニター、メーター」をご参照ください。

インพุットチャンネルとAUXセンド

インพุットチャンネル1～16の信号はAUXセンド1～4に、またインพุットチャンネル17～24の信号はAUXセンド1と2に送ることができます。送る信号はプリフェーダーまたはポストフェーダーのいずれかに設定できます。詳細は、99ページの「AUXアウト」をご参照ください。

インพุットチャンネルとOMNIアウト

インพุットチャンネル1～16の信号は、OMNI OUT端子へ直接送る信号ソースとして選ぶことができます。詳細は、121ページの「OMNIアウト」をご参照ください。OMNIアウトはPAN/ROUTページ2のDボタンには影響を受けません。

インพุットチャンネルとOPTION I/O出力

OPTION I/O出力の信号ソースをインพุットチャンネル1～16より選ぶことができます。詳細は、54ページの「インพุットチャンネルのルーティング」および221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インพุットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

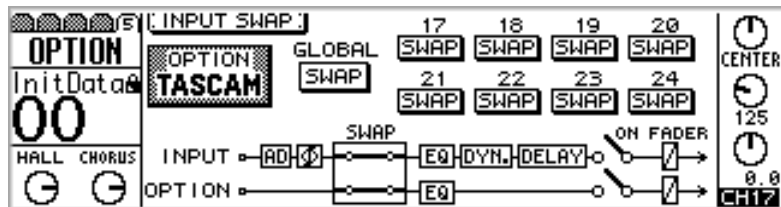
システム例

付録

インプット1～8、17～24の入れ替え(SWAP)

チャンネル1～8への入力をチャンネル17～24への入力に個別に、あるいはまとめてスワップ(入れ替え)できます。こうするとOPTION I/Oデジタル入力信号に4バンドのイコライザー、ダイナミクスプロセッサーとインプットチャンネル1～8に搭載されている機能を使用できるようになります。

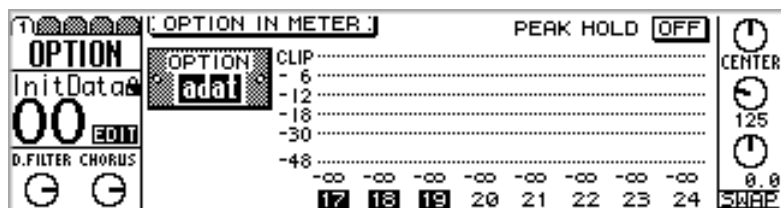
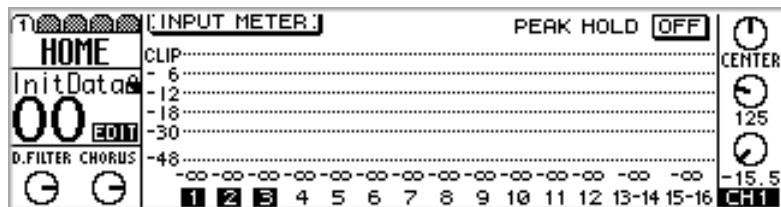
1. [OPTION I/O] 枠を使って、次のOPTIONページ5を表示させます。



2. [CURSOR] 枠で、GLOBALボタンまたはそれぞれのSWAPボタンを選択し、[ENTER] 枠、[PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] 枠、[+ 1/INC] 枠で設定します。

チャンネルが入れ替えられているときは、SWAPボタンが反転表示になります。また、入れ替えられたチャンネルを[SEL] 枠で選ぶと、画面右下の表示にチャンネル番号と“SWAP”が交互に現れます。

チャンネルが入れ替えられているとき、そのレベルメーターは、HOMEページ1とOPTIONページ1で、次の表示のようにチャンネルを示す数字が反転表示されます。



インプットチャンネルのペア

1~12までの奇数と偶数のインプットチャンネルをペアに組んで、ステレオ入力信号の処理ができます。ペアを組めるチャンネルは、奇数とそれに1を加えた偶数のインプットチャンネル同士です(例:1/2、3/4、5/6は可能。2/3、4/5は不可)。

2つのインプットチャンネルをペアに組むと、次のパラメーターが常に連動します。アッテネーター、EQ、ダイナミクス、ディレイ、[ON]キー、[SEL]キー、チャンネルフェーダー、AUXセンド、エフェクトセンド、プリ/ポスト設定。
[SOLO]キー、フェードタイムオン/オフ、ルーティングボタン、フェーズ、パンポット、AUXパンポットは連動しません。

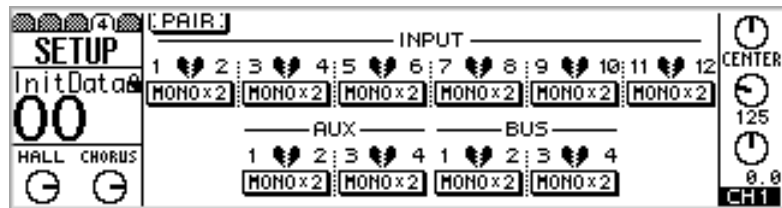
パン操作は選択されたパンモードによって異なります。詳細は、53ページの「パンモード」をご参照ください。

インプットチャンネルのペアの組み方

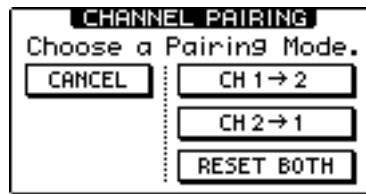
1. 両方のインプットチャンネルの[SEL]キーを同時に押します。

または

[SETUP]キーで次のSETUPページ4を表示させ、[CURSOR]キーでチャンネルペアを選択し、[ENTER]キーを押します。



次のダイアログボックスが表示されます。



CH1 2 インプットチャンネル1の設定をインプットチャンネル2にコピーします。
CH2 1 インプットチャンネル2の設定をインプットチャンネル1にコピーします。
RESET BOTH 両方のインプットチャンネルを初期設定にリセットします。

2. [CURSOR]キーでペアモードを選択し、[ENTER]キーを押します。

ハートマークと「STEREO」の文字が反転表示されて、インプットチャンネルがステレオペアになったことを表わします。



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

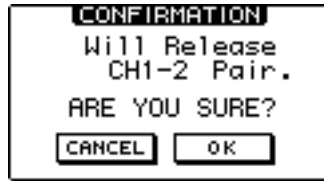
インプットチャンネルペアの解除

1. 両方のインプットチャンネルの[SEL]キーを同時に押します。

または

SETUPページ4で[CURSOR]キーを使ってペアチャンネルのボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。

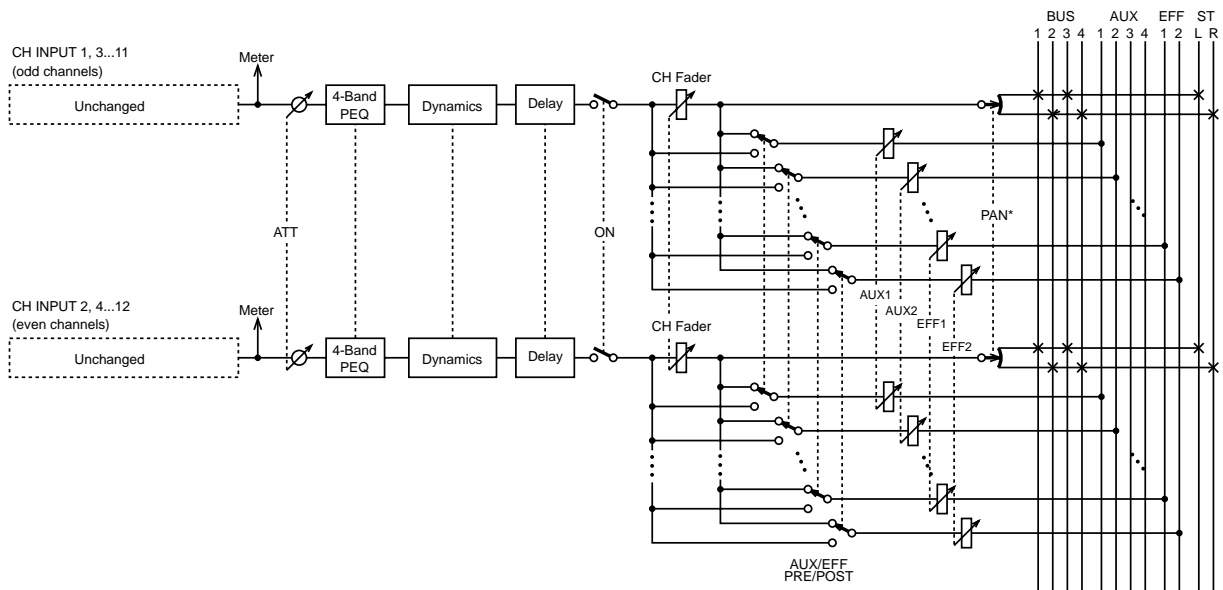
次のダイアログボックスが表示されます。



2. OKを選択してから[ENTER]キーを押します。

ステレオペアが解除され、インプットチャンネルが両方とも別個に操作できるようになります。

インプットチャンネルペアのブロック図



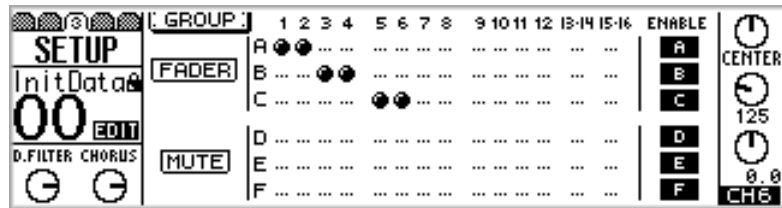
*PAN: INDIVIDUAL/GANG/INV. GANG

フェーダーのグループ化

1つのフェーダーで他のチャンネルのフェーダーもコントロールするように、インプットチャンネルのフェーダー1～16をグループ化することができます。A、B、Cの3グループを編成できます。

フェーダーグループの作成

1. [SETUP] ｷｰで次のSETUPページ3を表示させます。



2. 上下の[CURSOR] ｷｰでフェーダーグループを選択し、[SEL] ｷｰでそのグループにフェーダーを追加したり外したりします。

1つのフェーダーが複数のグループに属することはできません。

インプットチャンネル13/14、15/16とインプットチャンネル1～12の中でペアに組まれたチャンネル(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)のフェーダーはグループにそれぞれ一緒に追加、削除されます。

1つのグループに対し1つのフェーダーを使用します。同じグループで複数のフェーダーを使って調整しようとする、フェーダーに負荷がかかってフェーダーのモーターが故障することがありますので注意してください。

フェーダーグループのオン、オフ

ENABLEボタンでフェーダーグループをオン/オフします。オフになっているグループのチャンネルフェーダーは、グループから外さなくても個々に調整できます。

1. 上下の[CURSOR] ｷｰでオフにしたいフェーダーグループA、B、またはCを選択します。
2. [ENTER] ｷｰ、[PARAMETER] ダイヤル、または[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰで選択したグループをオン/オフします。

A フェーダーグループがオン

A フェーダーグループがオフ

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

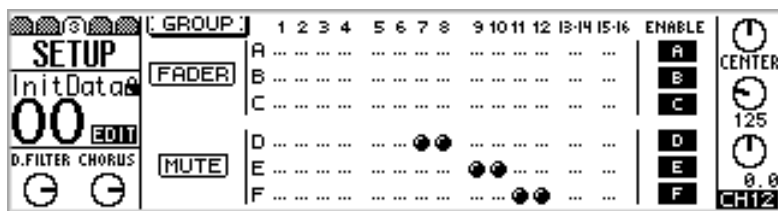
付録

ミュートのグループ化

1つの[ON]キーで他のチャンネルのミュートもコントロールするように、1～16の[ON]キーをグループ化することができます。D、E、Fの3グループが編成できます。ミュートグループは、チャンネル間で簡単に切り替えができるように、オンのチャンネルとオフのチャンネルを共に入れることができます。これを切り替えると、オンチャンネルはオフに、オフチャンネルはオンになります。

ミュートグループの作成

1. [SETUP]キーで次のSETUPページ3を表示させます。



2. 上下の[CURSOR]キーでミュートグループを選択し、[SEL]キーでそのグループにチャンネルを追加したり外したりします。


複数のグループにチャンネルを重複することはできません。


インプットチャンネル13/14、15/16とインプットチャンネル1～12の中でペアに組まれたチャンネル(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)はグループにそれぞれ一緒に追加、削除されます。

ミュートグループのオン、オフ

ENABLEボタンでミュートグループをオン/オフします。オフになっているグループのチャンネルは、グループから外さなくても個々に調整できます。

1. 上下の[CURSOR]キーでオフにしたいミュートグループD、E、またはFを選択します。
2. [ENTER]キー、[PARAMETER]ダイヤル、または[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで選択したグループをオン/オフします。

 ミュートグループがオン

 ミュートグループがオフ

インプットチャンネル設定の確認

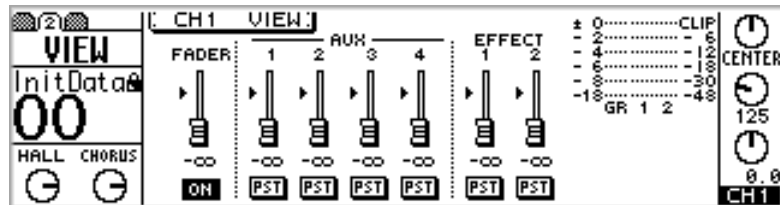
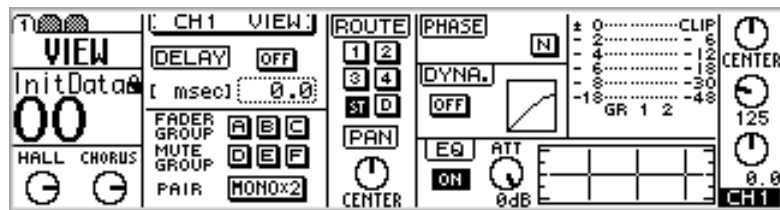
インプットチャンネル1～16の設定をVIEWページ1と2で確認したり、一部パラメーターを調整したりすることができます。

インプットチャンネル17～24の設定確認と調整はOPTIONページ2で行います。

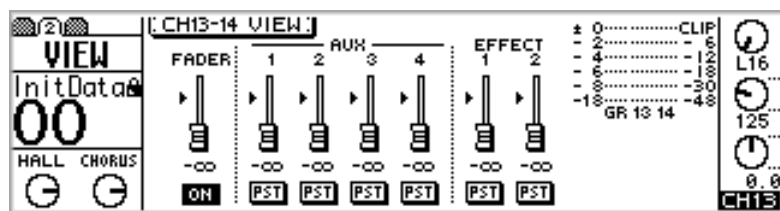
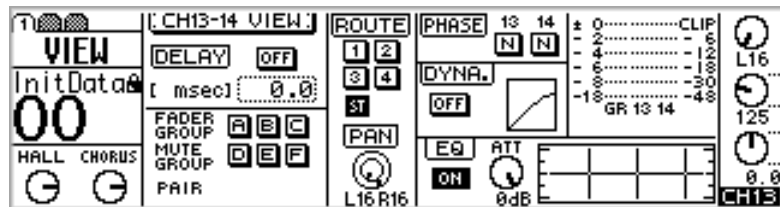
インプットチャンネル1～16

1. [VIEW] ｷｰでVIEWページ1と2を表示させます。

インプットチャンネル1～12のVIEWページは次のように表示されます。



インプットチャンネル13/14と15/16のVIEWページは次のように表示されます。



2. 1～16の[SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤル、[-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰ、[ENTER] ｷｰで設定します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

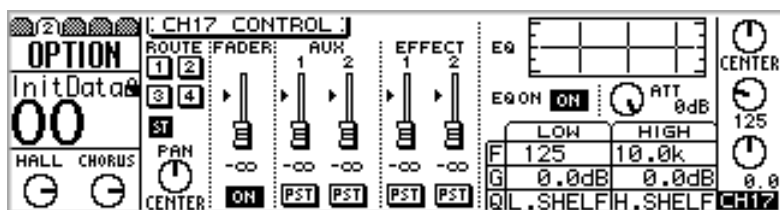
MIDI

システム例

付録

インプットチャンネル17～24

1. [OPTION I/O] ｷｰで次のOPTIONページ2を表示させます。

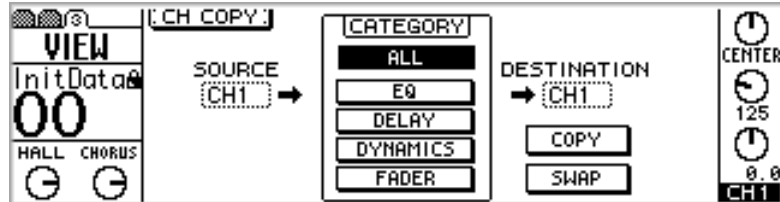


2. [17] ~ [24] の[SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイアル、[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰ、[ENTER] ｷｰで設定します。
インプットチャンネル17～24のパラメーターはほとんど、OPTIONページ2でのみ設定できます。

チャンネル設定のコピー、スワップ

チャンネルコピー機能を使って、インプットチャンネルの設定を別のチャンネルにコピーすることができます。また、チャンネルスワップ機能は、チャンネル同士で設定を入れ替えます。いずれもインプットチャンネル1～16で使用できます。

1. [VIEW] ｷｰで次のVIEWページを表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰと[PARAMETER] ｳﾞァｲｱﾙで、コピー元のSOURCE(ソース)チャンネルとコピー先のDESTINATION(デスティネーション)チャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰと[ENTER] ｷｰでCATEGORY欄のボタンを選択します。
 - ALL - インプットチャンネル設定のすべて
 - EQ - EQ設定のみ
 - DELAY - デイレイ設定のみ
 - DYNAMICS - ダイナミクス設定のみ
 - FADER - フェーダー設定のみ
4. [CURSOR] ｷｰでCOPYまたはSWAPボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押して機能を実行します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

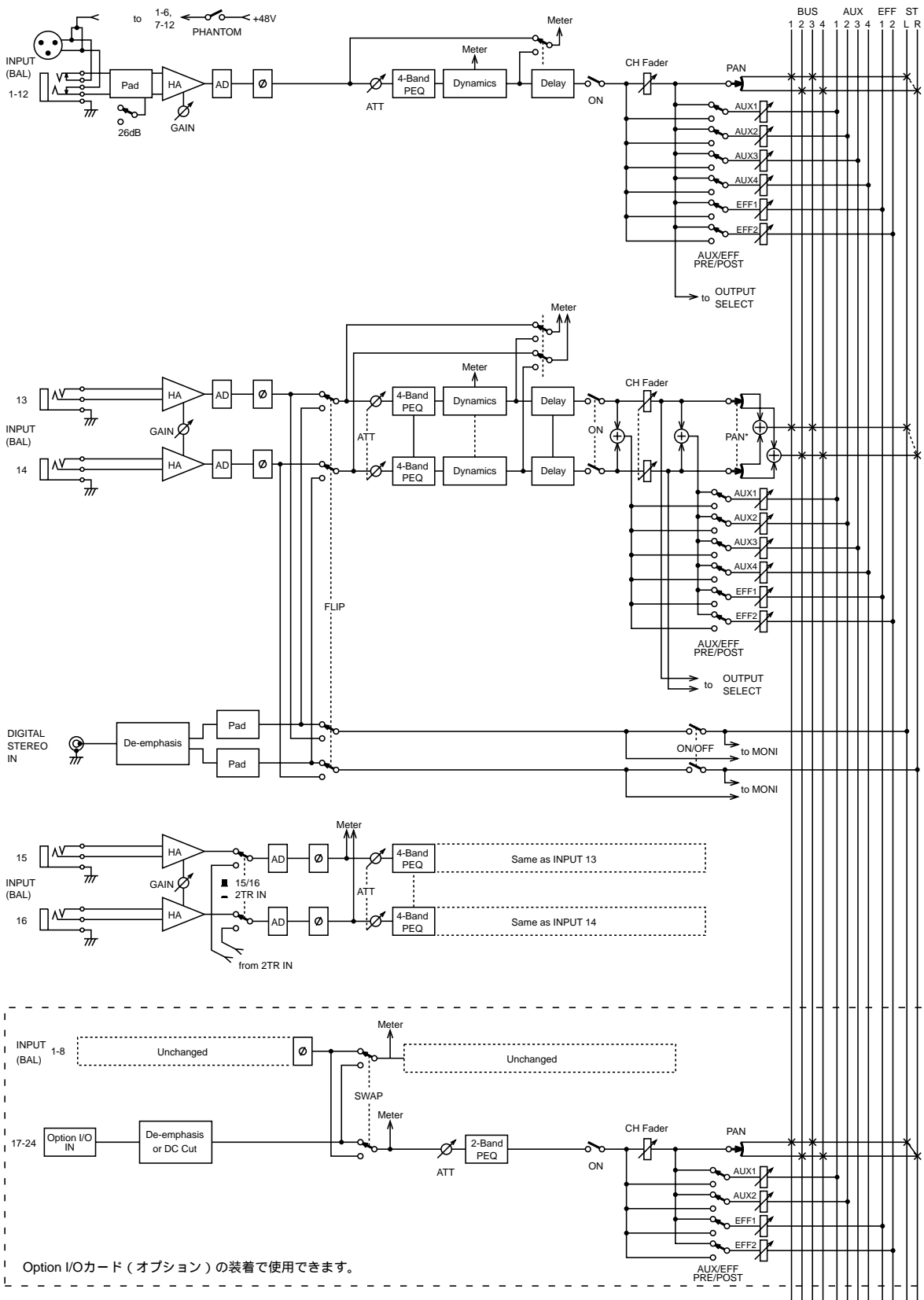
内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

インプットチャンネルのブロック図



*PAN: INDIVIDUAL/GANG/INV. GANG

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

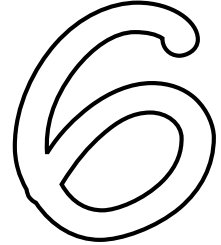
デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

イコライザー



本章の目次

01Vのイコライザーについて	66
イコライザーの調整	67
イコライザーの仕様	70
イコライザーのバイパス	70
EQのリセット	70
EQライブラリー	71
プリセットEQプログラムリスト	71
EQプログラムの保存	72
EQプログラムの呼び出し	73
EQプログラムタイトルのエディット	74
EQライブラリーリスト	75

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vのイコライザーについて

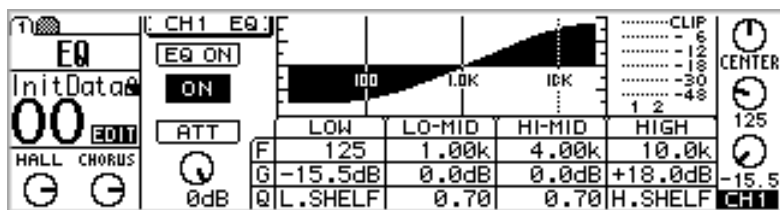
01Vのインプットチャンネル1~16、エフェクトリターン、AUXセンド、ステレオアウトのセクションは4バンドのパラメトリックEQを搭載し、ゲイン(G)、周波数(F)(Q)という可変パラメーターとON/OFFパラメーターが用意されています。またインプットチャンネル17~24にはこれよりシンプルな2バンドのパラメトリックEQを搭載しています。各EQセクションの正確な位置は、26ページのブロック図をご参照ください。各EQのHIGH、LOWバンドはシェルビング、ピーキング、またはHPR(ハイパスフィルター)およびLPR(ローパスフィルター)にそれぞれ設定することも可能です。

EQの設定はプログラムとしてEQライブラリーに保存したり、ミックス設定の一部としてシーンメモリーに保存することができます。EQライブラリーには40のプリセットプログラムと40のユーザープログラムがあります。ユーザープログラムを利用すれば、よく使用するEQ設定にわかりやすいタイトルを付け、保存することができます。また、プリセットプログラムには、特定の用途や楽器にあわせて調節された、個性的なEQプログラムが集められています。EQの調整を行うときに格好の参考例、あるいは開始点として利用できます。

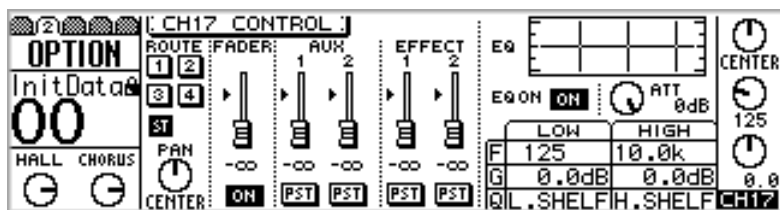
ただしEQライブラリーは、インプットチャンネル17~24の2バンドのEQには使用できません。詳細は、71ページの「EQライブラリー」をご参照ください。

インプットチャンネル13~14(15および16も同様)のEQは常に連動になっています。インプットチャンネル1~12はステレオペア(117ページの「バスアウトのステレオペア」参照)を組むとEQも連動します。

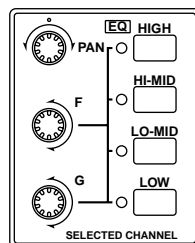
インプットチャンネル1~16、エフェクトリターン、AUXセンド、ステレオアウトのEQパラメーターとEQレスポンスカーブは、次のEQページに表示されます。



インプットチャンネル17~24のEQパラメーターとレスポンスカーブは、次のOPTIONページに表示されます。



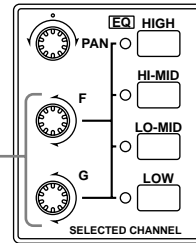
EQを調整する一番手っ取り早い方法は、次の[SELECTED CHANNEL]コントロールを使うことです。



イコライザーの調整

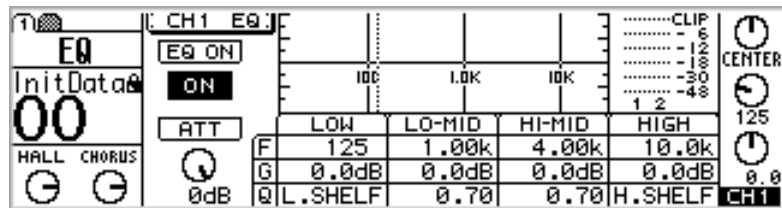
イコライザーは[SELECTED CHANNEL]コントロールを使うと迅速に調整できますが、EQページで[CURSOR]キー、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キー、[PARAMETER]ダイヤルを使用して調整することもできます。

迅速なEQの調整を行うには、チャンネルを選択してEQ [F]、[G]コントロールを使用します。



インプットチャンネル1 ~ 16

1. 1 ~ 16の[SEL]キーを使ってチャンネルを選択します。
2. [HIGH] [HI-MID] [LO-MID] [LOW]のいずれかのキーを使ってEQバンドを選択し、[F]ノブ、[G]ノブで周波数、ゲインをそれぞれ調整します。
プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でEQ AUTO SCREENオプションをオンにすると、次のEQページが表示され、HOMEフェーダーモードが選択されます。このページは[EQ/ATT]キーを使っても表示させることができます。



このページでは[CURSOR]キーを使ってEQパラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーで設定することも可能です。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

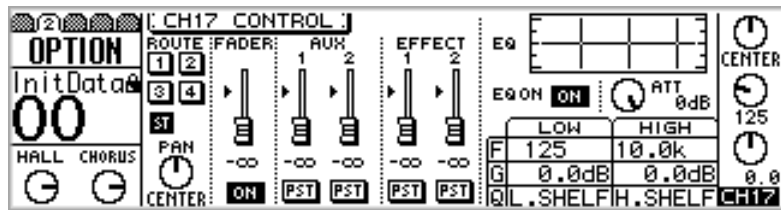
MIDI

システム例

付録

インプットチャンネル17~24

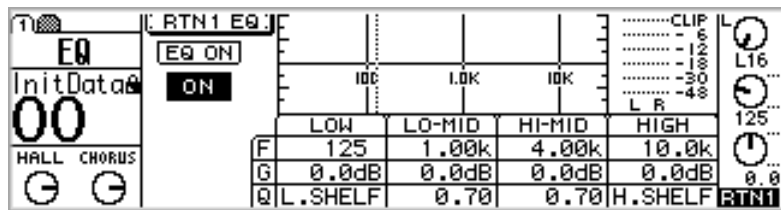
1. [OPTION I/O] ｷｰを押します。
2. [17] ~ [24] の [SEL] ｷｰを使用してチャンネルを選択します。
3. [HIGH] ｷｰまたは [LOW] ｷｰを使ってEQバンドを選択し、[F] および [G] ノブコントロールで周波数、ゲインをそれぞれ調整します。
プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でEQ AUTO SCREENオプションをオンにするか、[OPTION I/O] ｷｰを使うと、次のOPTIONページが表示されます。



このページでは CURSOR ｷｰを使ってEQパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定することも可能です。

エフェクトリターン1、2

1. エフェクトリターン [SEL] ｷｰでエフェクトリターン1または2を選択します。
2. [HIGH] [HI-MID] [LO-MID] [LOW] のいずれかのキーを使ってEQバンドを選択し、[F] ノブ、[G] ノブで周波数、ゲインをそれぞれ調整します。
プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でEQ AUTO SCREENオプションをオンにすると、次のEQページが表示され、HOMEフェーダーモードが選択されます。このページは [EQ/ATT] ｷｰを使っても表示させることができます。

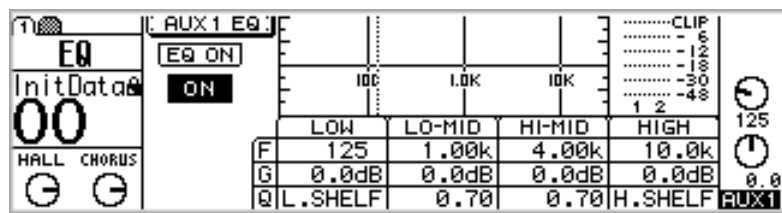


このページでは CURSOR ｷｰを使ってEQパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定することも可能です。

AUXアウト1～4

1. フェーダーモードの[AUX 1]～[AUX 4] 枠ーを使ってAUXアウトを選択します。
2. MASTERの[SEL] 枠ーを押します。
3. [HIGH] [HI-MID] [LO-MID] [LOW] のいずれかのキーを使ってEQバンドを選択し、[F] および [G] コントロールで周波数、ゲインをそれぞれ調整します。

プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でEQ AUTO SCREENオプションをオンにすると、次のEQページが表示され、HOMEフェーダーモードが選択されます。このページは [EQ/ATT] 枠ーを使っても表示させることができます。



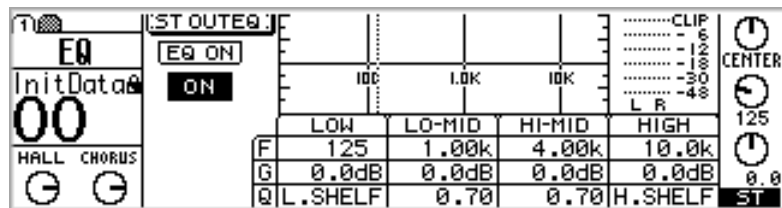
このページでは [CURSOR] 枠ーを使ってEQパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは [-1/DEC] 枠ー、[+1/INC] 枠ーで設定することも可能です。

AUXアウトがステレオペアに組まれているとき、そのEQパラメーターは連動します。

ステレオ出力

1. [HOME] 枠ーを押します。
2. MASTERの[SEL] 枠ーを押します。
STが現在選択されているチャンネルです。
3. [HIGH] [HI-MID] [LO-MID] [LOW] のいずれかのキーを使ってEQバンドを選択し、[F] および [G] コントロールで周波数、ゲインをそれぞれ調整します。

プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でEQ AUTO SCREENオプションをオンにすると、次のEQページが表示され、HOMEフェーダーモードが選択されます。このページは [EQ/ATT] 枠ーを使っても表示させることができます。



このページでは [CURSOR] 枠ーを使ってEQパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは [-1/DEC] 枠ー、[+1/INC] 枠ーで設定することも可能です。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

イコライザーの仕様

EQの仕様は、次の表のとおりです。

	Low	Lo-Mid ¹	Hi-Mid ¹	High
G(ゲイン)	- 18.0dB ~ + 18.0dB(0.5dBごと)			
F(周波数)	21Hz ~ 20.1kHz(1/12オクターブごとに120ステップ)			
Q	HPF, 10.0 ~ 0.10 (41ステップ) L.SHELF	10.0 ~ 0.10(41ステップ)		LPF, 10.0 ~ 0.10 (41ステップ) H.SHELF

1. 4バンドEQのみ(チャンネル17 ~ 24はLOW/HIGHバンドのみ)
2. LOW/HIGH EQバンドをHPF/LPFとして設定すると、ゲインノブがフィルターオン/オフのスイッチとして働きます。

イコライザーのバイパス

選択したチャンネルのEQはEQページ(インプットチャンネル17 ~ 24についてはOPTIONページ2)でEQ ONボタンを使うか、[ENTER]キーを押してバイパスをオン/オフします。EQページが表示されているとき、[ENTER]キーはカーソルの位置に関係なくEQをオン/オフします。



EQのリセット

選択したチャンネルのEQパラメーターをすべて初期設定の値にリセットするには、[HIGH]キーと[LOW]キーを同時に押します。

次の表は初期設定のEQパラメーター値です。

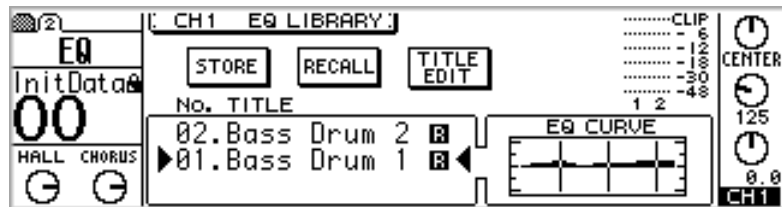
	Low	Lo-Mid ¹	Hi-Mid ¹	High
G(ゲイン)	0dB	0dB	0dB	0dB
F(周波数)	125Hz	1.00kHz	4.00kHz	10.0kHz
Q	L.SHELF	0.70	0.70	H.SHELF

1. 4バンドEQのみ(チャンネル17 ~ 24はLOW/HIGHバンドのみ)

EQライブラリー

EQの設定は、EQライブラリーにプログラムとして保存できます。EQライブラリーには40個のプリセットプログラム(1~40)と、40個のユーザープログラム(41~80)が入っています。ユーザープログラムを利用すれば、よく使用するEQ設定にわかりやすいタイトルを付け、保存することができます。また、EQ設定を別のEQに移すときにもEQライブラリーを使用します。たとえば、ステレオ出力のEQ設定をライブラリープログラムとして保存し、これをAUXアウト用のEQ設定として呼び出します。また、プリセットプログラムには、特定の用途や楽器にあわせて調節された、個性的なEQプログラムが集められています。EQの調整を行うときに格好の参考例、あるいは開始点として利用できます。プリセットのEQプログラムの全リストは、75ページの「EQライブラリーリスト」をご参照ください。

EQライブラリーは次のEQ LIBRARYページから使用します。[EQ/ATT]キーを使用してこのページを表示させてください。



プログラムを選択すると、それに該当するEQカーブがEQ CURVE欄に表示されます。その上には選択したチャンネル信号レベルメーターが表示されます。

プリセットEQプログラムリスト

#	タイトル
01	Bass Drum 1
02	Bass Drum 2
03	Snare Drum 1
04	Snare Drum 2
05	Tom-tom 1
06	Cymbal
07	High Hat
08	Percussion
09	E.Bass 1
10	E.Bass 2
11	Syn.Bass 1
12	Syn.Bass 2
13	Piano 1
14	Piano 2
15	E.G.Clean
16	E.G.Crunch 1
17	E.G.Crunch 2
18	E.G.Dist. 1
19	E.G.Dist. 2
20	A.G.Stroke 1

#	タイトル
21	A.G.Stroke 2
22	A.G.Arpeg. 1
23	A.G.Arpeg. 2
24	Brass Sec.
25	Male Vocal 1
26	Male Vocal 2
27	Female Vo. 1
28	Female Vo. 2
29	Chorus & Harmo
30	Total EQ 1
31	Total EQ 2
32	Total EQ 3
33	Bass Drum 3
34	Snare Drum 3
35	Tom-tom 2
36	Piano 3
37	Piano Low
38	Piano High
39	Fine-EQ Cass
40	Narrator

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

EQプログラムの保存

EQプログラムの保存は、EQのLIBRARYページで行います。EQの設定が保存できるのは、ユーザープログラム41～80までです。プリセットプログラム01～40は読み出し専用です。

1. [EQ/ATT]キーを押して、EQのLIBRARYページを呼び出します。

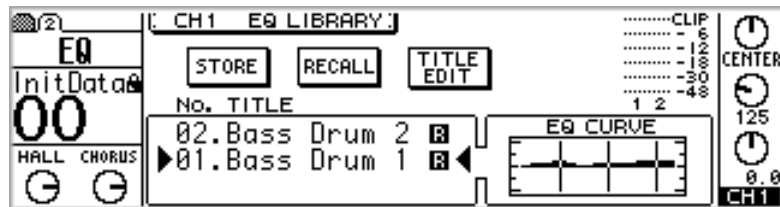


2. [SEL]キーで保存したいEQプログラムのチャンネルを選択します。
 選択できるのは、インプットチャンネル1～16、エフェクトリターン、AUXアウト、ステレオアウトです。インプットチャンネル17～24は選択できません。
3. [PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーで、EQプログラムを選択します。
 プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERオプションを使えば変更することができます。
4. [CURSOR]キーでSTOREボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。
 TITLE EDITダイアログボックスが現われます。
 プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でSTORE CONFIRMATIONオプションがオフになっているときは、TITLE EDITダイアログボックスは表示されず、そのままEQプログラムは保存されます。
5. EQプログラムのタイトルを入力します。
 タイトルの入力方法は41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
6. タイトルを付けたらOKを選択してから[ENTER]キーを押します。
 これでEQプログラムが保存されます。

EQプログラムの呼び出し

EQのプログラムは、EQのLIBRARYページから呼び出します。40個のプリセットプログラムと40個のユーザープログラムが選択できます。

1. [EQ/ATT]キーを押してEQ LIBRARYページを呼び出します。



2. [SEL]キーで呼び出したいEQプログラムのチャンネルを選択します。
 選択できるのは、インプットチャンネル1~16、エフェクトリターン、AUXアウト、ステレオアウトです。インプットチャンネル17~24は選択できません。
3. [PARAMETER]ダイヤルまたは [- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで、EQプログラムを選択します。
 プログラムを選択すると、そのEQカーブがEQ CURVE欄に表示されます。
 プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERオプションで変更することができます。
4. [CURSOR]キーでRECALLボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。
 EQプログラムが呼び出されます。
 プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でRECALL CONFIRMATIONオプションがオンになっているときは、確認のダイアログボックスが表示されます。その場合はOKを選択し、[ENTER]キーを押してEQプログラムを呼び出してください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

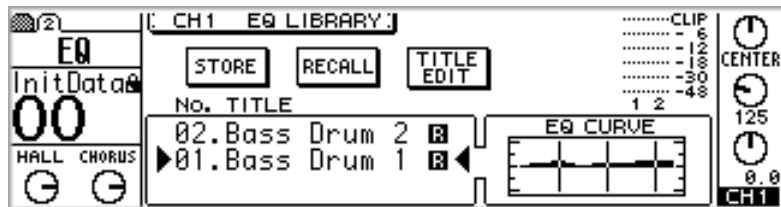
システム例

付録

EQプログラムタイトルのエディット

EQプログラムのタイトルは、タイトルエディット機能を使って変更できます。

1. [EQ/ATT]キーを押して、EQのLIBRARYページを呼び出します。



2. [PARAMETER]ダイヤルを使って、EQプログラムを選択します。
3. [CURSOR]キーでTITLE EDITボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。TITLE EDITダイアログボックスが現われます。
4. プログラムのタイトルをエディットします。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
5. タイトルをエディットしたらOKを選択して[ENTER]キーを押します。
これで新しいタイトルが保存されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

EQライブラリーリスト

No.	タイトル	パラメーター					内容
			LOW	L-MID	H-MID	HIGH	
01	Bass Drum 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	バスドラムの低域成分とピーターが当たるアタック音を強調するセッティングです。
		G	+3.5 dB	- 3.5 dB	0.0 dB	+4.0 dB	
		F	99 Hz	265 Hz	1.05 kHz	5.33 kHz	
		Q	1.2	10	0.9		
02	Bass Drum 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	LPF	バスドラムの80Hz周辺にピークを持たせ、硬めの締まったサウンドにするセッティングです。
		G	+8.0 dB	- 7.0 dB	+6.0 dB	ON	
		F	79 Hz	397 Hz	2.52 kHz	12.6 kHz	
		Q	1.4	4.5	2.2		
03	Snare Drum 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	スネアドラムのサウンドに含まれるスナッピー音やリム音などの中高域を強調するセッティングです。
		G	- 0.5 dB	0.0 dB	+3.0 dB	+4.5 dB	
		F	132 Hz	1.00 kHz	3.17 kHz	5.04 kHz	
		Q	1.2	4.5	0.11		
04	Snare Drum 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	PEAKING	スネアドラムの低域と高域を強調して、いわゆる「ドンシャリ」的なサウンドにするセッティングです。
		G	+1.5 dB	- 8.5 dB	+2.5 dB	+4.0 dB	
		F	177 Hz	334 Hz	2.37 kHz	4.00 kHz	
		Q		10	0.7	0.1	
05	Tom-tom 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	タムのアタック音を強調し、さらに「トゥン」という皮鳴り部分のディケイを伸ばすセッティングです。
		G	+2.0 dB	- 7.5 dB	+2.0 dB	+1.0 dB	
		F	210 Hz	667 Hz	4.49 kHz	6.35 kHz	
		Q	1.4	10	1.2	0.28	
06	Cymbal		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	クラッシュシンバルのアタック感を強調し、キラキラした高域成分のディケイを伸ばすセッティングです。
		G	- 2.0 dB	0.0 dB	0.0 dB	+3.0 dB	
		F	105 Hz	420 Hz	1.05 kHz	13.4 kHz	
		Q		8	0.9		
07	High Hat		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	中域から高域を少し強調させ、低域を抑えたきれのいいハイハット用のセッティングです。L-MIDのG（ゲイン）でアタック成分の増減を調節できます。
		G	- 4.0 dB	- 2.5 dB	+1.0 dB	+0.5 dB	
		F	94 Hz	420 Hz	2.82 kHz	7.55 kHz	
		Q		0.5	1		
08	Percussion		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	シェイカーやカバサ、コンガなどのパーカッションのアタック部分を強調し、高域をくっきりさせるセッティングです。
		G	- 4.5 dB	0.0 dB	+2.0 dB	0.0 dB	
		F	99 Hz	397 Hz	2.82 kHz	16.9 kHz	
		Q		4.5	0.56		
09	E.Bass 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	エレキベースの超低域を少し抑えて、締まった感じにするセッティングです。
		G	- 7.5 dB	+4.5 dB	+2.5 dB	0.0 dB	
		F	35 Hz	111 Hz	2.00 kHz	4.00 kHz	
		Q		5	4.5		
10	E.Bass 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	09とは逆に、低域をやや強調したエレキベース用のバリエーションです。
		G	+3.0 dB	0.0 dB	+2.5 dB	+0.5 dB	
		F	111 Hz	111 Hz	2.24 kHz	4.00 kHz	
		Q	0.1	5	6.3		

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

	No.	タイトル	パラメーター				内容	
				LOW	L-MID	H-MID		HIGH
01Vの世界へようこそ!	11	Syn.Bass 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	低域重視のシンセベース用セッティングです。
基本操作			G	+3.5 dB	+8.5 dB	0.0 dB	0.0 dB	
			F	83 Hz	944 Hz	4.00 kHz	12.6 kHz	
各部の名称と機能			Q	0.1	8	4.5		
ユーザーインターフェースの基礎知識	12	Syn.Bass 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	シンセベース独特のアタック感をやや強調したセッティングです。
			G	+2.5 dB	0.0 dB	+1.5 dB	0.0 dB	
			F	125 Hz	177 Hz	1.12 kHz	12.6 kHz	
インプットチャンネル	13	Piano 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	ピアノ系の音色を明るめの音にしたいときのセッティングです。
イコライザー			G	- 6.0 dB	0.0 dB	+2.0 dB	+4.0 dB	
			F	94 Hz	944 Hz	3.17 kHz	7.55 kHz	
			Q		8	0.9		
ソロ、モニター、メーター	14	Piano 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	コンプレッサーと併用することで、アタック感と低域を強調したピアノサウンドを作るためのセッティングです。
			G	+3.5 dB	- 8.5 dB	+1.5 dB	+3.0 dB	
ステレオアウト			F	223 Hz	595 Hz	3.17 kHz	5.33 kHz	
			Q	5.6	10	0.7		
AUXアウト	15	E.G.Clean		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	ライン録りのエレキギター（クリーン系）や、やや硬めのエレアコギターに向けた明るめのセッティングです。
			G	+2.0 dB	- 5.5 dB	+0.5 dB	+2.5 dB	
バスアウト			F	265 Hz	397 Hz	1.33 kHz	4.49 kHz	
			Q	0.18	10	6.3		
OMNIアウト	16	E.G.Crunch 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	クランチ系（やや歪んだ音）のギターサウンドのツブ立ちを良くします。
			G	+4.5 dB	0.0 dB	+4.0 dB	+2.0 dB	
			F	140 Hz	1.00 kHz	1.88 kHz	5.65 kHz	
			Q	8	4.5	0.63	9	
内蔵エフェクト	17	E.G.Crunch 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	16のバリエーションです。
			G	+2.5 dB	+1.5 dB	+2.5 dB	0.0 dB	
ダイナミクスプロセッサー			F	125 Hz	445 Hz	3.36 kHz	19.0 kHz	
			Q	8	0.4	0.16		
シーンメモリー	18	E.G.Dist. 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	ディストーション系のギターの音抜けを良くするセッティングです。
			G	+5.0 dB	0.0 dB	+3.5 dB	0.0 dB	
その他の機能			F	354 Hz	944 Hz	3.36 kHz	12.6 kHz	
			Q		9	10		
デジタルI/O	19	E.G.Dist. 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	18のバリエーションです。
			G	+6.0 dB	- 8.5 dB	+4.5 dB	+4.0 dB	
			F	315 Hz	1.05 kHz	4.23 kHz	12.6 kHz	
			Q		10	4		
MIDI	20	A.G.Stroke 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	アコースティックギターのきらびやかな部分を強調するセッティングです。
			G	- 2.0 dB	0.0 dB	+1.0 dB	+4.0 dB	
システム例			F	105 Hz	1.00 kHz	1.88 kHz	5.33 kHz	
付録			Q	0.9	4.5	3.5		

No.	タイトル	パラメーター					内容
			LOW	L-MID	H-MID	HIGH	
21	A.G.Stroke 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	20のバリエーションです。エレクトリックギターに使用してもいいでしょう。
		G	- 3.5 dB	- 2.0 dB	0.0 dB	+2.0 dB	
		F	297 Hz	749 Hz	2.00 kHz	3.56 kHz	
		Q		9	4.5		
22	A.G.Arpeg. 1		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	PEAKING	アコースティックギターのアルペジオ奏法を補正するセッティングです。
		G	- 0.5 dB	0.0 dB	0.0 dB	+2.0 dB	
		F	223 Hz	1.00 kHz	4.00 kHz	6.72 kHz	
		Q		4.5	4.5	0.12	
23	A.G.Arpeg. 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	22のバリエーションです。
		G	0.0 dB	- 5.5 dB	0.0 dB	+4.0 dB	
		F	177 Hz	354 Hz	4.00 kHz	4.23 kHz	
		Q		7	4.5		
24	Brass Sec.		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	ハリのあるブラスセクション（トランペット、トロンボーン、サクソ）をイメージしました。単体で使用する場合は、HIGHやHI-MIDのF（フリケンシー）などを調節してください。
		G	- 2.0 dB	- 1.0 dB	+1.5 dB	+3.0 dB	
		F	88 Hz	841 Hz	2.11 kHz	4.49 kHz	
		Q	2.8	2	0.7	7	
25	Male Vocal 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	男性ボーカル用のテンプレートとして利用できるイコライゼーションです。声質に応じてHIGHやHI-MIDのF（フリケンシー）などを調節してください。
		G	- 0.5 dB	0.0 dB	+2.0 dB	+3.5 dB	
		F	187 Hz	1.00 kHz	2.00 kHz	6.72 kHz	
		Q	0.11	4.5	0.56	0.11	
26	Male Vocal 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	25のバリエーションです。
		G	+2.0 dB	- 5.0 dB	- 2.5 dB	+4.0 dB	
		F	167 Hz	236 Hz	2.67 kHz	6.72 kHz	
		Q	0.11	10	5.6		
27	Female Vo. 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	女性ボーカル用のテンプレートとして利用できるイコライゼーションです。声質に応じてHIGHやHI-MIDのF（フリケンシー）などを調節してください。
		G	- 1.0 dB	+1.0 dB	+1.5 dB	+2.0 dB	
		F	118 Hz	397 Hz	2.67 kHz	5.99 kHz	
		Q	0.18	0.45	0.56	0.14	
28	Female Vo. 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	27のバリエーションです。
		G	- 7.0 dB	+1.5 dB	+1.5 dB	+2.5 dB	
		F	111 Hz	334 Hz	2.00 kHz	6.72 kHz	
		Q		0.16	0.2		
29	Chorus&Harmo		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	コーラス用のテンプレートとして利用できるイコライゼーションです。コーラス全体を明るくします。
		G	- 2.0 dB	- 1.0 dB	+1.5 dB	+3.0 dB	
		F	88 Hz	841 Hz	2.11 kHz	4.49 kHz	
		Q	2.8	2	0.7	7	
30	Total EQ 1		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	STEREOパスで使用すること（ミックスダウン時など）を前提にプログラミングされたトータルイコライジングです。コンプレッサーと併用すれば、さらに効果的です。
		G	- 0.5 dB	0.0 dB	+3.0 dB	+6.5 dB	
		F	94 Hz	944 Hz	2.11 kHz	16.0 kHz	
		Q	7	2.2	5.6		

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

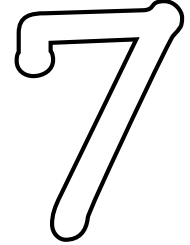
MIDI

システム例

付録

No.	タイトル	パラメーター				内容	
			LOW	L-MID	H-MID		HIGH
基本操作	31 Total EQ 2		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	30のバリエーションです。
		G	+4.0 dB	+1.5 dB	+2.0 dB	+6.0 dB	
		F	94 Hz	749 Hz	1.78 kHz	17.9 kHz	
		Q	7	2.8	5.6		
各部の名称と機能	32 Total EQ 3		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	30のバリエーションです。 30~32のセッティングは、単独のステレオソース、外部エフェクトのリターンに利用してもいいでしょう。
		G	+1.5 dB	+0.5 dB	+2.0 dB	+4.0 dB	
		F	66 Hz	841 Hz	1.88 kHz	15.1 kHz	
		Q		0.28	0.7		
ユーザーインターフェースの基礎知識	33 Bass Drum 3		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	01、02のBass Drum 1/2のバリエーションです。中低域を抜いた感じのサウンドです。
		G	+3.5 dB	- 10.0 dB	+3.5 dB	0.0 dB	
		F	118 Hz	315 Hz	4.23 kHz	20.1 kHz	
		Q	2	10	0.4	0.4	
インプットチャンネル	34 Snare Drum 3		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	PEAKING	03、04のSnare Drum 1/2のバリエーションです。やや太めのサウンドです。
		G	0.0 dB	+2.0 dB	+3.5 dB	0.0 dB	
		F	223 Hz	561 Hz	4.23 kHz	4.00 kHz	
		Q		4.5	2.8	0.1	
イコライザー	35 Tom-tom 2		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	中高域を強調した、Tom-tom 1のバリエーションです。
		G	- 9.0 dB	+1.5 dB	+2.0 dB	0.0 dB	
		F	88 Hz	210 Hz	5.33 kHz	16.9 kHz	
		Q		4.5	1.2		
ソロ、モニター、メーター	36 Piano 3		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	13、14のPiano 1/2のバリエーションです。
		G	+4.5 dB	- 13.0 dB	+4.5 dB	+2.5 dB	
		F	99 Hz	472 Hz	2.37 kHz	10.0 kHz	
		Q	8	10	9		
ステレオアウト	37 Piano Low		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	ピアノを低域/高域に分けてステレオ録音したときの、低域用のイコライゼーションです。38と組み合わせて使用してください。
		G	- 5.5 dB	+1.5 dB	+6.0 dB	0.0 dB	
		F	187 Hz	397 Hz	6.72 kHz	12.6 kHz	
		Q	10	6.3	2.2		
AUXアウト	38 Piano High		PEAKING	PEAKING	PEAKING	PEAKING	ピアノを低域/高域に分けてステレオ録音したときの、高域用のイコライゼーションです。37と組み合わせて使用してください。
		G	- 5.5 dB	+1.5 dB	+5.0 dB	+3.0 dB	
		F	187 Hz	397 Hz	6.72 kHz	5.65 kHz	
		Q	10	6.3	2.2	0.1	
バスアウト	39 Fine-EQ Cass		L.SHELF	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	カセットテープの音をハッキリ聴かせたい場合などに利用できるセッティングです。
		G	- 1.5 dB	0.0 dB	+1.0 dB	+3.0 dB	
		F	74 Hz	1.00 kHz	4.00 kHz	12.6 kHz	
		Q		4.5	1.8		
OMNIアウト	40 Narrator		PEAKING	PEAKING	PEAKING	H.SHELF	原稿を読んでいるような声を録音するときに利用できるセッティングです。
		G	- 4.0 dB	- 1.0 dB	+2.0 dB	0.0 dB	
		F	105 Hz	707 Hz	2.52 kHz	10.0 kHz	
		Q	4	7	0.63		
内蔵エフェクト							
ダイナミクスプロセッサ							
シーンメモリー							
その他の機能							
デジタルI/O							
MIDI							
システム例							
付録							

ソロ、モニター、メーター



本章の目次

モニター / ソロについて	80
モニター出力	81
ヘッドフォン端子	81
2トラック入力(2TR IN).....	81
モニターのセットアップ	82
モニター機能の使い方	83
モニターのブロック図	84
ソロのセットアップ	85
ソロ機能の使い方	86
ソロのブロック図	87
信号レベルメーター	88
ステレオ出力レベルLEDメーター	89
ピークホールド	90
計測点の設定(METERING POINT).....	90
OPTION I/Oメーター(インプットチャンネル17 ~ 24).....	91
エフェクトセンドメーター	92

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

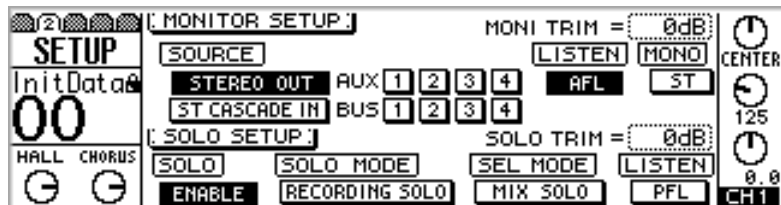
MIDI

システム例

付録

モニター / ソロについて

01Vの柔軟性に富んだモニター機能とソロ機能は、さまざまな状況に応じて使えるように設計されています。たとえば、すべての入出力のプリフェーダーまたはポストフェーダー信号をMONITOR OUT端子とPHONES端子からモニターできます。RECORDING SOLOモードやMIXDOWN SOLOモードも用意され、インプットチャンネルおよびエフェクトリターンを瞬時にモニターできます。モニターパラメーターとソロパラメーターは次のSETUPページ2に表示されます。



MONITOR SETUP:

どのチャンネルもソロに設定していないときは、このページの上半分にあるMONITOR SETUPパラメーターを使ってMONITOR OUT端子出力とPHONES出力の信号ソースを選択します。モニターソースとしてステレオアウト、ステレオカスケードイン、AUXセンド1~4、バスアウト1~4が選択できます。モニターするソースは、プリフェーダー(PFL)またはポストフェーダー(AFL)のどちらの信号でも選べます。また、TRIMパラメーターボックスやMONO/STEREOボタンも含まれています。詳細は、82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。

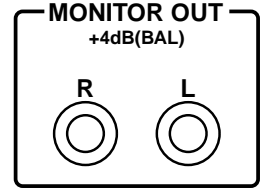
SOLO SETUP:

このページの下半分にあるSOLO SETUPパラメーターを使って、ソロ機能のセットアップを行います。[SOLO] 併-でインプットチャンネル1~24、エフェクトリターンをソロモードにします。このページには2つのソロモード(RECORDING SOLO、MIXDOWN SOLO)があり、SEL MODEボタンの選択に応じて、これらの信号を個別に、あるいはミックスした状態でモニターできます。モニターするソースには、プリフェーダー(PFL)またはポストフェーダー(AFL)のどちらの信号でも選べます。パラメーターにはENABLEボタン、TRIMパラメーターボックスも含まれています。詳細は、85ページの「ソロのセットアップ」をご参照ください。

モニター出力

モニター信号とソロ信号は、MONITOR OUT端子とPHONES端子へ送られます。
[MONITOR-2TR IN]スイッチが「MONITOR()」になっていることを確認してください。詳細は、このページの「2トラック入力(2TR-IN)」をご参照ください。

モニター信号は18ビット、8倍オーバーサンプリングのD/Aコンバーターによりアナログ信号に変換され、定格出力 + 4dBのバランスの1/4インチフォン端子から出力されます。



[MONITOR OUT LEVEL]コントロールでモニター出力信号のレベルを調整します。




ヘッドフォン端子

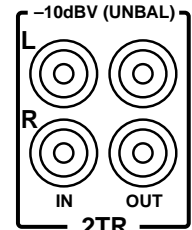
ヘッドフォンでモニターする場合は、ステレオヘッドフォンをステレオ(TRS)フォン端子(PHONES)に接続します。ヘッドフォン端子からは、モニター出力と全く同じ信号が送られます。


[PHONES LEVEL]コントロールでヘッドフォン信号のレベルを調整します。

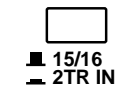


2トラック入力(2TR IN)

[MONITOR-2TR IN]スイッチを「2TR IN()」に設定すると、2TR IN端子の入力信号がMONITOR OUT端子とPHONES端子からモニターできます。ステレオ出力をマスターレコーダーに録音している間のチェック用のモニタリングや、マスター再生時に利用できます。2TR IN入力は、定格レベル - 10dBVのRCAピン端子です。



[15/16-2TR IN]スイッチを「2TR IN()」に設定すると、2TR IN信号がインプットチャンネル15と16に送られ他の信号とミックスされます。通常このインプットチャンネルの入力信号はフォン端子15と16から入ります。



2TR OUT端子については94ページで説明します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

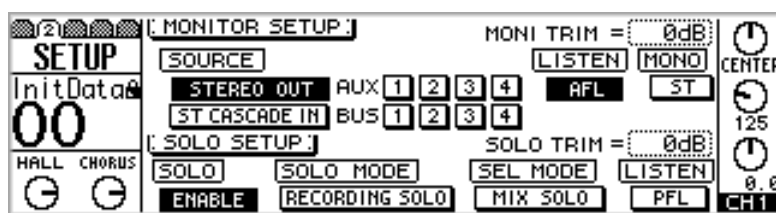
付録

モニターのセットアップ

モニター出力とヘッドフォン出力の信号ソースは、SETUPページ2のMONITOR SETUPパラメーターで選択します。モニターソースとしてステレオアウト、ステレオカスケードイン、AUXアウト1~4、バスアウト1~4を選択できます。

ソロ機能が優先されるので、これらのソースはソロ機能がオフのとき(つまりどのチャンネルもソロになっていないとき)にのみモニターが可能です。プリフェーダー(PFL)、ポストフェーダー(AFL)のどちらの信号もモニターできます。他のパラメーターにはMONI TRIMパラメーターボックス、MONO-STボタンがあります。

1. [SETUP]キーを使って、次のSETUPページ2を表示させます。



2. [CURSOR]キーでMONITOR SETUPパラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤル、[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キー、[ENTER]キーで内容を設定します。

SOURCE モニター出力とヘッドフォン端子からモニターする信号を選択します。STEREO OUT(ステレオアウト)、STEREO CASCADE IN(ステレオカスケードイン)、AUX OUT(AUXアウト)1~4、BUS OUT(バスアウト)1~4から選んでください。複数のソースを同時に選べます。

LISTEN プリフェーダー(PFL)またはポストフェーダー(AFL)のどちらの信号をモニターするかを決定します。ステレオアウト、AUXアウト、バスアウトに共通した設定です。たとえばPFLに設定すると、ステレオマスターフェーダーの位置に関係なくステレオ出力信号をモニターできます。AFLに設定した場合は、フェーダーを上げないとこの信号がモニターできません。

MONI TRIM モニター信号のレベルを - 60dB ~ + 6dBの範囲で調整するパラメーターボックスです。

MONO モニター出力とヘッドフォン端子の信号をモノラル(MONO)またはステレオ(ST)にするボタンです。このボタンがMONOになっていると、ステレオ信号の左右チャンネルがまとめられ、モノミックスとなります。まとめられた信号のレベルは3dB減衰されます。

モニター機能の使い方

例としてステレオアウトのモニター方法を次に説明します。

1. モニターシステム(アンプ、スピーカー)をMONITOR OUT端子に接続します。
2. [MONITOR-2TR IN]スイッチが「 MONITOR()」になっていることを確認します。
3. [MONITOR OUT LEVEL]コントロールを途中まで上げます。
ヘッドフォンでモニターする場合は、[PHONES LEVEL]コントロールを途中まで上げてください。
4. すでに説明したSETUPページ2を[SETUP]キーで表示させます。
5. SOURCEパラメーターをSTEREO OUTに設定します。
MONITOR SETUP: のLISTENがAFLに設定されている場合は、STEREOフェーダーを上げないと音が聞こえません。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

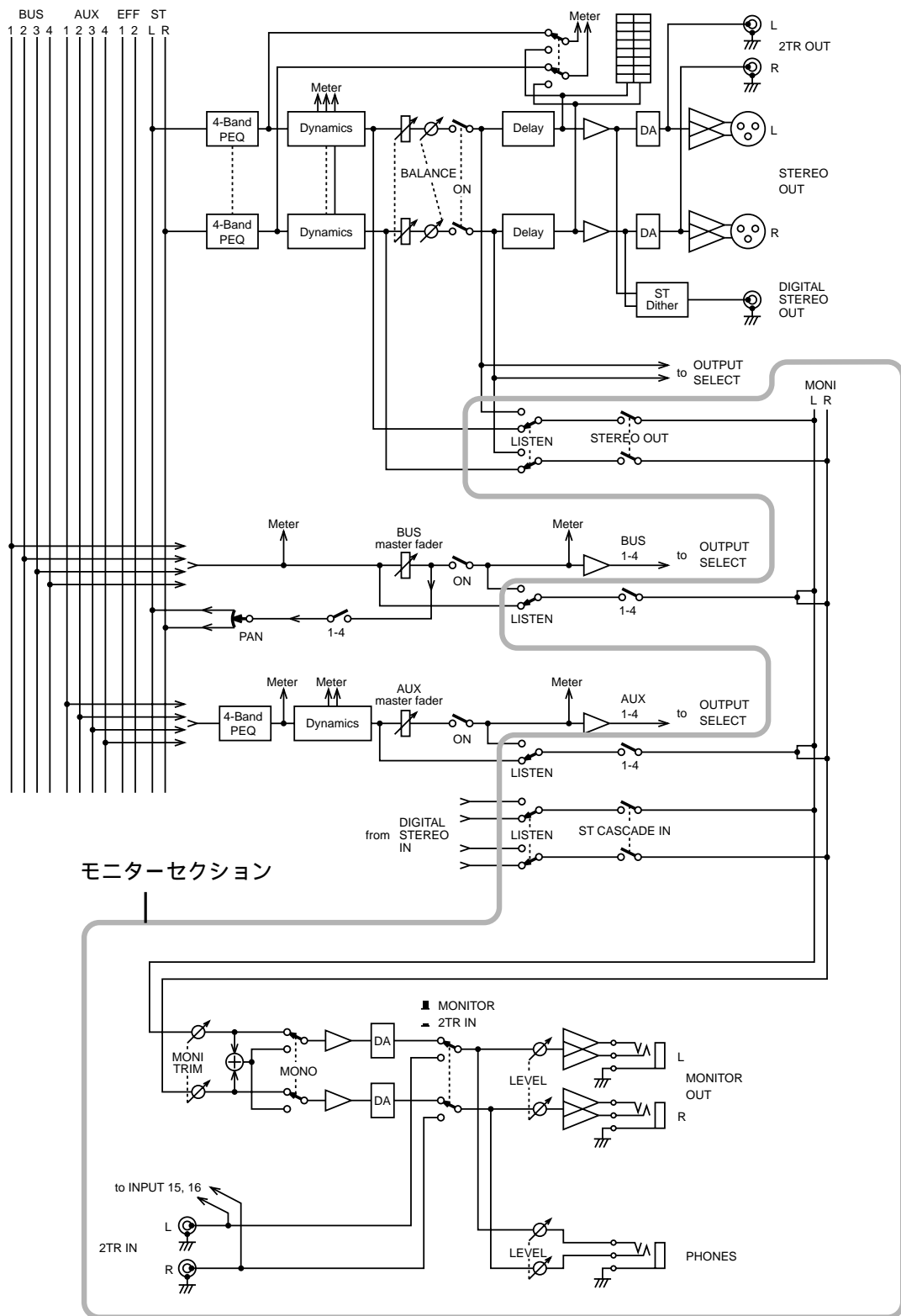
デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

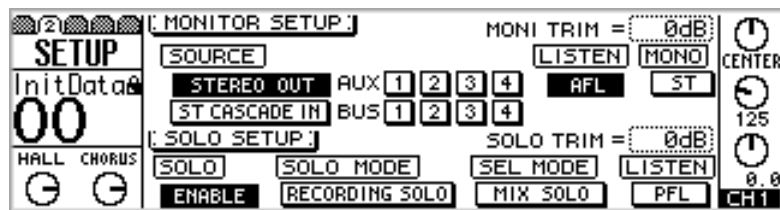
モニターのブロック図



ソロのセットアップ

ソロ機能はインプットチャンネル1~24、エフェクトリターンを個別にモニターします。ソロモードはRECORDING SOLO、MIXDOWN SOLOの2つあり、SETUPページ2のSOLO SETUPパラメーターで設定します。ソロ機能は、MONITOR SETUPパラメーターで選択したソースよりも優先されます。プリフェーダー(PFL)、ポストフェーダー(AFL)のどちらの信号でもソロにできます。インプットチャンネル1~12はペア(57ページ「インプットチャンネルのペア」参照)に組まれていても、[SOLO]キーは個別に設定できます。

1. [SETUP]キーで次のSETUPページ2を表示させます。



2. [CURSOR]キーでMONITOR SETUPパラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤル、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キー、[ENTER]キーで内容を設定します。

SOLO ソロ機能をオン/オフします。DISABLEに設定すると、信号はソロ設定にはなりません。ソロにしたチャンネルの[SOLO]キーのインジケータは点灯しますが、SOLOステータスインジケータは点灯しません。

SOLO MODE ソロモード(RECORDING SOLO、MIXDOWN SOLO)を選択します。
RECORDING SOLOモード:

ソロに設定されたチャンネルの信号がモニターバスに送られ、モニター出力とヘッドフォン端子から出力されます。他の出力には影響しません。オフになっているチャンネルの信号も、ソロに設定することができます。LISTENがAFLの場合は、PFLの信号になります。このモードは通常、録音やPAシステムなどで個々の入力信号をモニターするときに使います。信号がクリップしていないかをチェックしたり、EQ調整だけを行いたい時に便利です。

MIXDOWN SOLOモード:

ソロに設定されたチャンネルの信号がSTEREOバスへ送られ、ステレオアウト、モニター端子、ヘッドフォン端子から出力されます。ソロに設定されていないチャンネルはミュートされます。ステレオバスに送られるチャンネルのみ、ソロに設定できます。オフされているチャンネルの信号は、ソロに設定されるとオンになります。このモードはミックスダウン中に個々のチャンネルを調整している時に使用します。

SEL MODE ソロの選択方法を設定します。LAST SOLOモードでは一度に1チャンネルのみがモニターできます。MIX SOLOモードでは同時に複数のソースが選べます。

LISTEN プリフェーダー(PFL)またはポストフェーダー(AFL)のどちらの信号をモニターするかを設定します。インプットチャンネル1~24、エフェクトリターンのすべてに共通する設定です。なお、MIXDOWN SOLOモードでは、モニター出力とヘッドフォン端子にSTEREOバスからの信号が送られるため、これらのボタンは無効となります。このモードではMONITOR SETUPのLISTENボタンでPFLかAFLを選択します。

SOLO TRIM ソロ信号のレベルを -60dB ~ +6dBの範囲で調整するパラメーターボックスです。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

ソロ機能の使い方

インプットチャンネル1~24とエフェクトリターンを次の手順でソロモードに設定します。

1. モニターシステム(アンプ、スピーカー)をMONITOR OUT端子に接続します。
2. [MONITOR-2TR IN]スイッチが「MONITOR(■)」になっていることを確認します。
3. [MONITOR OUT LEVEL]コントロールを途中まで上げます。
ヘッドフォンでモニターする場合は、[PHONES LEVEL]コントロールを途中まで上げてください。
4. すでに説明したSETUPページ2を[SETUP]キーで表示させ、適宜設定します。

インプットチャンネル1 ~ 16

5. 1~16の[SOLO]キーでチャンネルをソロモードに設定します。

インプットチャンネル17 ~ 24

6. [OPTION I/O]キーを押します。
7. [17] ~ [24] の[SOLO]キーでチャンネルをソロモードに設定します。

エフェクトリターン1と2

8. エフェクトリターンの[SOLO]キーでエフェクトリターン1、2をソロモードに設定します。
[SOLO]キーのインジケータおよびSOLOステータスインジケータが点滅します。
SOLO SETUP: のLISTENがAFLに設定されている場合は、ソロモードのチャンネルフェーダーを上げないと音が聞こえません。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

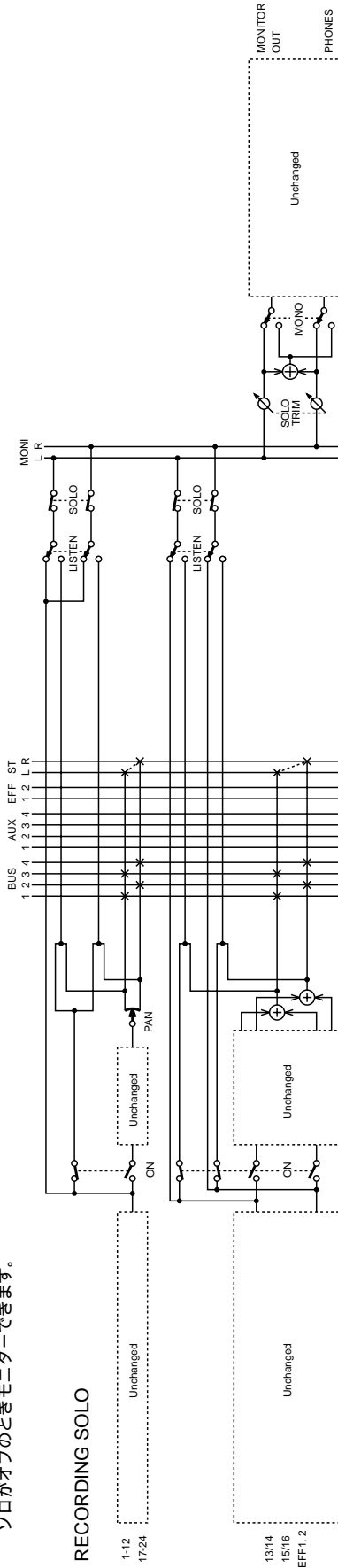
MIDI

システム例

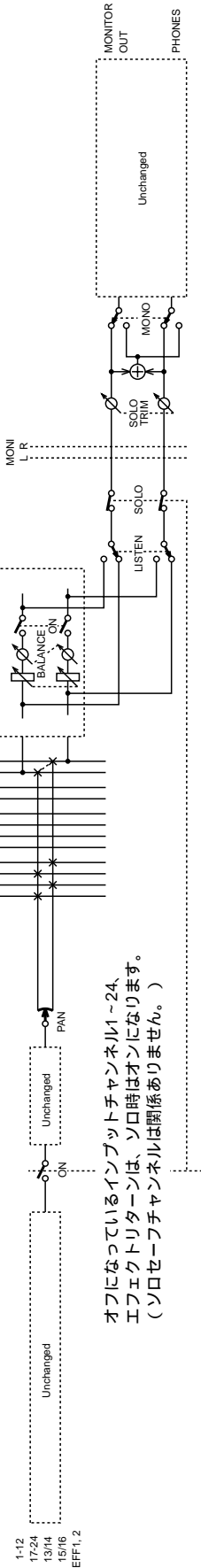
付録

ソロのブロック図

インプットチャンネル1~24、エフェクトリターンはソロにできません。
ステレオアウト、AUXセンド、バスアウト、ステレオカスケードインは
ソロがオフのときモニターできます。



MIX SOLO



オフになっているインプットチャンネル1~24、
エフェクトリターンは、ソロ時はオンになります。
(ソロセーフチャンネルは関係ありません。)

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

信号レベルメーター

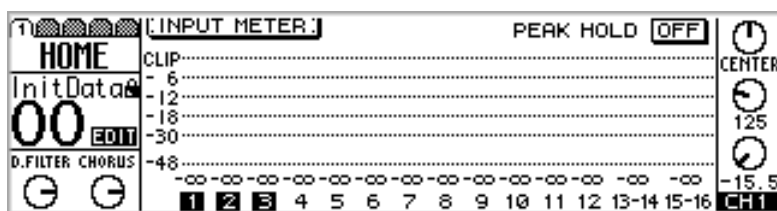
HOMEページでは、インプットチャンネル1～16、エフェクトリターン、AUXアウト、バスアウト、ステレオアウトのレベルメーターが4ページに分かれて表示されます。入力メーターが信号を計測する位置は、HOMEページ5で設定します。ステレオ出力のレベルチェックには、HOMEページ4のステレオ出力レベルLEDメーターを使用します。ピークホールド機能はすべてのメーターに共通に設定できます。インプットチャンネル17～24と8系統のデジタル出力(OPTION I/O)のメーターはOPTIONページに表示されます。どのメーターにもCLIPインジケータが付いており、信号がクリップすると点灯します。CLIPインジケータが点灯するときは、信号が実際にクリッピングして歪みが生じていますので、レベルを若干下げてください。

インプットチャンネル1～16、ステレオアウト、AUXセンド、エフェクトセンドはVIEWページでもレベル監視できます。

1. [HOME]キーで次のHOMEページを表示させます。

インプットチャンネル1～16

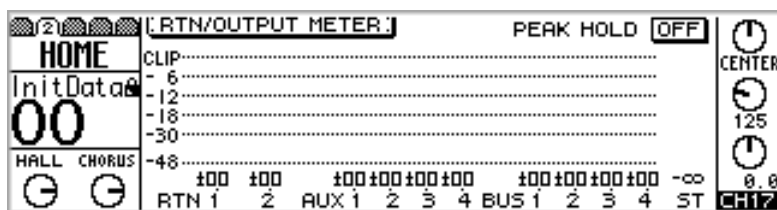
HOMEページ1にはインプットチャンネル1～16のレベルメーターが表示されます。各メーターの下に表示されるデシベル値は、それぞれ対応するチャンネルフェーダーの現在の位置を表わしています。反転表示された1、2、3はインプットチャンネル1、2、3ではなく17、18、19の入れ替え表示を意味します。詳細は、56ページの「インプット1～8、17～24の入れ替え(SWAP)」をご参照ください。



インプットチャンネル1～16のメーターはVIEWページにも表示されます。詳細は、61ページの「インプットチャンネル設定の確認」をご参照ください。

エフェクトリターン、AUXアウト、バスアウト

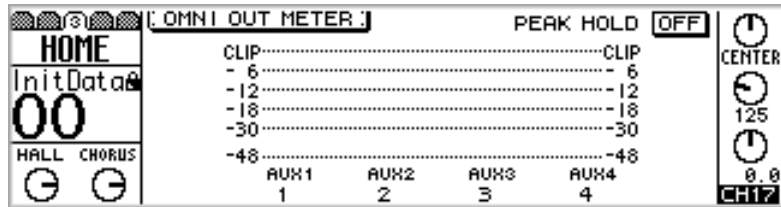
HOMEページ2にはエフェクトリターン、AUXアウト、バスアウトのレベルメーターが表示されます。各メーターの下に表示されるデシベル値は、それぞれ対応するフェーダーの現在の位置を表わしています。またステレオアウトフェーダーの現在の位置も「ST」に表示されます。



エフェクトリターンのメーターはEFFECTページとVIEWページにも表示されます。詳細は、130ページの「エフェクトをかける」136ページの「エフェクトリターン設定の確認」をご参照ください。AUXアウトのメーターもVIEWページに表示されます。詳細は、104ページの「AUXアウト設定の確認」をご参照ください。

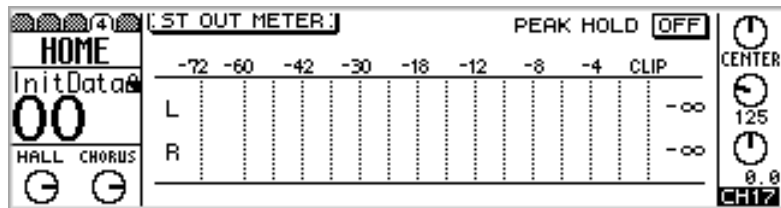
OMNIアウト

HOMEページ3には4系統のOMNIアウトの信号レベルメーターが表示されます。OMNI OUTに送られる信号がそれぞれのメーターの下に表示されます。このアサインはPAN/ROUTページ4で行います。詳細は、122ページの「OMNIアウトのアサイン」をご参照ください。



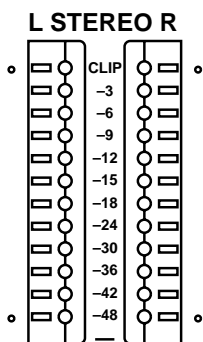
ステレオアウト

HOMEページ4にはステレオアウトのレベルメーターが表示されます。ステレオ出力レベルLEDメーターと比べて -72dB ~ CLIPまでと、範囲が大きくなっています。



ステレオ出力のメーターはVIEWページでも表示されます。詳細は、95ページの「ステレオ出力設定の確認」をご参照ください。

ステレオ出力レベルLEDメーター



HOMEページ4のメーターに加え、ステレオ出力信号レベルは、ピークホールド機能をもつ専用の12セグメントLEDで表示されます。このメーターは -48dB ~ CLIPの範囲を表示できます。CLIPが点灯するときは信号に歪みが生じないようにレベルを下げてください。ステレオ出力レベルLEDメーターは、HOMEページ5のMETERING POINT (計測点) の設定には影響を受けません。

- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサ
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付録

ピークホールド

ピークホールド機能はHOME、OPTION I/O、ステレオ出力レベルLEDメーターに共通で機能します。この機能をオンにすると、信号の最大ピーク点でメーターのセグメントが点灯したままとなるので、一目でピークレベルを確認できます。

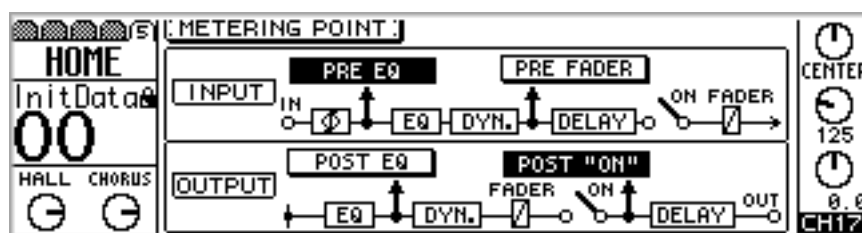
1. [PARAMETER]ダイヤル、[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キー、[ENTER]キーでピークホールド機能をオン/オフします。

ピークホールド機能をリセットするには、これをいったんオフにしたあと再度オンにしてください。

計測点の設定(METERING POINT)

インプットチャンネル1~16とエフェクトリターンの計測点はPRE EQかPRE FADERに設定します。ステレオアウト、AUXアウト、バスアウトのメーターでは、POST EQかPOST ONに設定します。ステレオ出力レベルLEDメーターはこの設定とは関係なく、常にPOST ON信号を計測します。

1. [HOME]キーで次のHOMEページ5を表示させます。



2. [CURSOR]キーでボタンを選択し、[PARAMETER]ダイヤル、[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キー、[ENTER]キーで設定します。

INPUT インプットチャンネル1~16およびエフェクトリターンの計測点をPRE EQかPRE FADERに設定します。

OUTPUT ステレオ出力、AUXアウト、バスアウトのメーターの計測点をPOST EQかPOST ONに設定します。

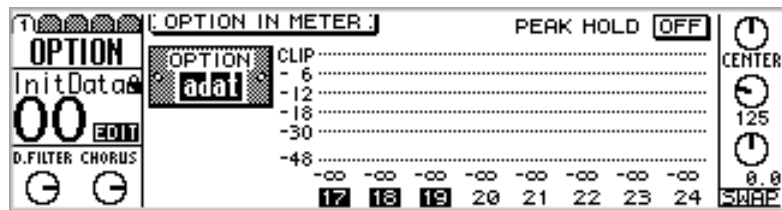
OPTION I/Oメーター(インプットチャンネル17 ~ 24)

インプットチャンネル17~24とOPTION I/O出力の信号レベルメーターはOPTION ページに表示されます。

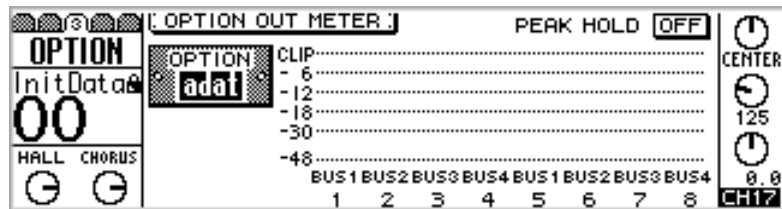
1. [OPTION I/O]でOPTIONページを表示させます。

インプットチャンネル17~24の信号レベルメーターは次のOPTIONページ1に表示されます。

各メーターの下に表示されるデシベル値は、それぞれ対応するチャンネルフェーダーの現在の位置を表わしています。反転表示された20、22はインプットチャンネル20、22ではなく、インプットチャンネル4、6の入れ替え表示を意味します。詳細は、56ページの「インプット1~8、17~24の入れ替え(SWAP)」をご参照ください。



OPTION I/O出力の信号レベルメーターは次のOPTIONページ3に表示されます。各出力にアサインされている信号ソースが各メーターの下に表示されています。このアサインはOPTIONページ4で行います。詳細は、224ページの「信号をOPTION I/O出力に割り当てる」をご参照ください。



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

エフェクトセンドメーター

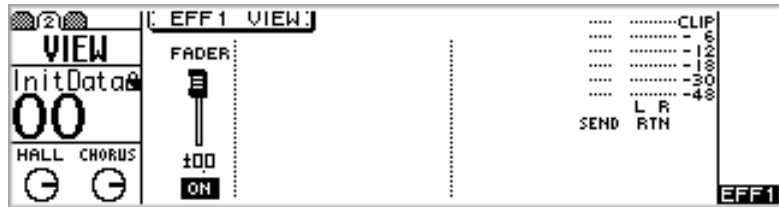
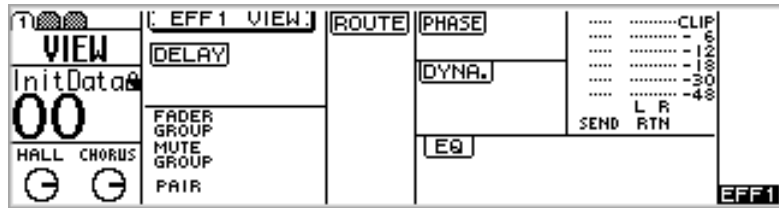
エフェクトセンド1と2のレベルメーターは、VIEWページで表示されます。

1. [EFFECT 1] または [EFFECT 2] 枠でエフェクトセンドを選択し、MASTERの [SEL] 枠を押します。

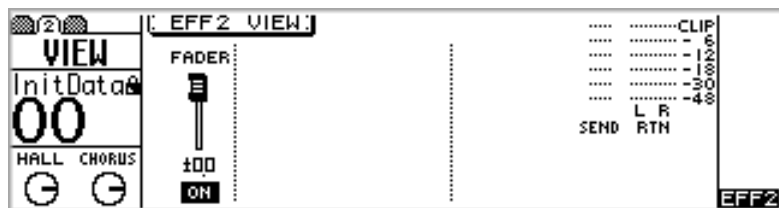
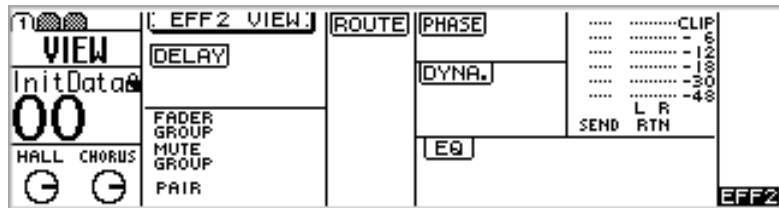
画面右下にEFF 1あるいはEFF 2が表示されエフェクトセンドが選択されたことを表示します。

2. [VIEW] 枠でVIEWページ1または2を表示します。

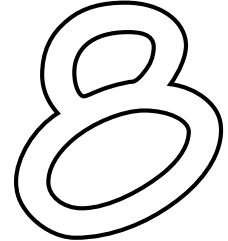
エフェクトセンド1のレベルメーターがVIEWページ1と2で次のように表示されます。



エフェクトセンド2のレベルメーターがVIEWページ1と2で次のように表示されます。



ステレオアウト



本章の目次

- ステレオアウトについて 94
- アナログステレオアウト端子 94
- 2TRアウトとステレオアウト 94
- COAXIALデジタルアウトとステレオアウト 94
- OPTION I/Oとステレオアウト 94
- OMNIアウトとステレオアウト 94
- ソロとステレオアウト 94
- ステレオアウトのモニタリング 95
- ステレオアウトのメーター 95
- ステレオアウトへの信号のルーティング 95
- ステレオアウト設定の確認 95
- ステレオアウトレベルの設定 96
- ステレオアウトのミュート 96
- ステレオアウトのバランス設定 96
- ステレオアウトのイコライジング 96
- ステレオアウトのダイナミクスプロセッサ 97
- ステレオアウトディレイ 97
- ステレオアウトのブロック図 98

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

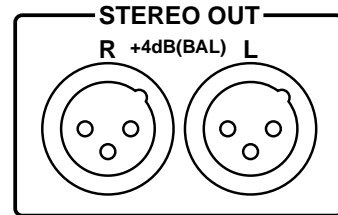
付録

ステレオアウトについて

ステレオアウトには、4バンドのパラメトリックイコライザーとダイナミクスプロセッサー、バランスコントロール、最長300ミリ秒までの可変出力ディレイが搭載されています。ステレオアウト信号は、アナログのXLRタイプ端子、アナログの2TR OUT端子、およびCOAXIALのDIGITAL STEREO OUT端子から出力します。また、OPTION I/Oデジタル出力端子またはOMNI OUTから出力することもできます。

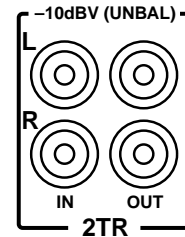
アナログステレオアウト端子

ステレオアウト信号は、20ビット、8倍オーバーサンプリングのD/Aコンバーターによりアナログ変換され、定格出力レベル + 4dBのバランスのXLR-3-32タイプ端子から出力されます。



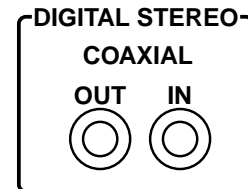
2TRアウトとステレオアウト

ステレオアウト信号は、XLRタイプ端子だけでなく2TR OUT端子にも出力されます。この端子は定格出力レベル - 10dBVのRCAピン端子で、通常はステレオカセットデッキ、DATレコーダー、MiniDiscレコーダーのアナログ入力端子に接続して、ステレオミックス録音を行います。



COAXIALデジタルアウトとステレオアウト

ステレオアウト信号は、COAXIALフォーマットでDIGITAL STEREO OUT端子からデジタル出力されます。通常は、DATレコーダーやMiniDiscレコーダーのデジタル入力端子に接続して、ステレオミックス録音を行います。詳細は、215ページの「デジタルステレオアウト」をご参照ください。



OPTION I/Oとステレオアウト

ステレオアウト信号はOPTION I/Oデジタル出力からも出力できます。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

OMNIアウトとステレオアウト

ステレオアウト信号はOMNIアウトからも出力できます。詳細は、121ページの「OMNIアウト」をご参照ください。

ソロとステレオアウト

MIXDOWN SOLOモードでは、ステレオアウトも併せて使用できます。詳細は、85ページの「ソロのセットアップ」をご参照ください。

ステレオアウトのモニタリング

ステレオアウトは、MONITOR OUT端子またはPHONES端子よりモニターできます。詳細は、88ページの「信号レベルメーター」をご参照ください。

ステレオアウトのメーター

ステレオアウト信号のレベルは12セグメントのステレオ出力レベルLEDメーター、あるいはHOMEページ4のメーターで確認できます。詳細は、82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。

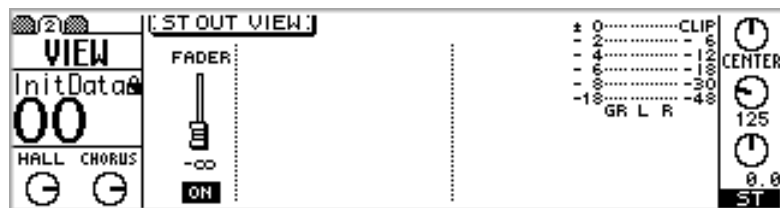
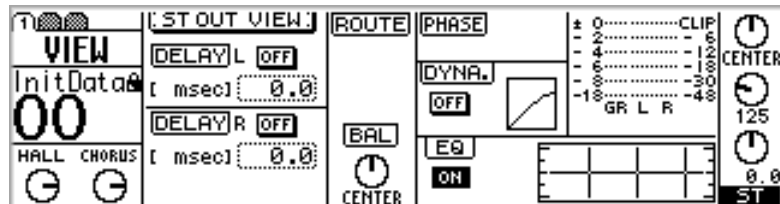
ステレオアウトへの信号のルーティング

インプットチャンネル1~24とエフェクトリターンの各信号をステレオアウトに送ることができます。詳細は、54ページの「インプットチャンネルのルーティング」をご参照ください。

ステレオアウト設定の確認

ステレオアウトの各設定はVIEWページの1と2で確認でき、一部パラメーターもここで調節することができます。

- [HOME] ｷｰを押してからMASTER [SEL] ｷｰを押します。
ディスプレイにSTが表示され、ステレオアウトを選択したことを表わします。
- [VIEW] ｷｰで次の図のようなVIEWページ1と2を表示させます。



- [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤル、[- 1 / DEC] ｷｰ、[+ 1 / INC] ｷｰ、[ENTER] ｷｰを使って設定します。
パラメーターの内容は次の各セクションで説明します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

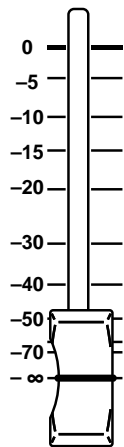
内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

ステレオアウトレベルの設定



STEREO
MASTER

ステレオアウトのレベルは、STEREOフェーダーで調整します。このフェーダーはAUXセンド、エフェクトセンドの各マスターレベル設定にも使用するので、ステレオアウトレベルを調整したいときは、まず[HOME]キーを押してください。詳細は、39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。

ステレオアウトのミュート



STEREO[ON]キーを使ってステレオアウトをミュートできます。ステレオアウトがオンになっているときは、このキーのインジケータが点灯します。このキーはAUXセンド、エフェクトセンドの各マスター出力のミュートにも使うので、ステレオアウトをオン/オフしたいときは、まず[HOME]キーを押してください。詳細は、37ページの「ONキー」をご参照ください。

ステレオアウトのバランス設定

ステレオアウト信号の左右チャンネルは、次のようにバランスを調整できます。

1. [HOME]キーを押してからSTEREO[SEL]キーを押します。
ディスプレイにSTが表示され、ステレオアウトを選択したことを表わします。
2. PAN回転ノブでバランスを調整します。
バランスはVIEWページでも調整できます。詳細は、95ページの「ステレオアウト設定の確認」をご参照ください。

ステレオアウトのイコライジング

ステレオアウトには、4バンドのパラメトリックイコライザーが搭載されています。詳細は、65ページの「イコライザー」をご参照ください。
EQをオン/オフしたり、EQカーブをVIEWページで確認したりすることができます。詳細は、95ページの「ステレオアウト設定の確認」をご参照ください。

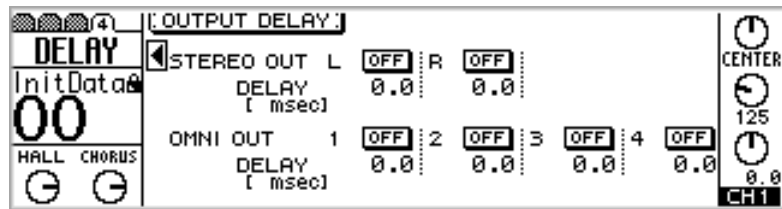
ステレオアウトのダイナミクスプロセッサ

ステレオアウトには、ステレオのダイナミクスプロセッサが搭載されています。詳細は、159ページの「ダイナミクスプロセッサ」をご参照ください。
ダイナミクスをオン/オフしたり、ダイナミクスカーブをVIEWページで確認したりすることができます。詳細は、95ページの「ステレオアウト設定の確認」をご参照ください。

ステレオアウトディレイ

ステレオアウト信号の左右チャンネルは、それぞれ独立して最長300ミリ秒までのディレイをかけることができます。複数のスピーカーシステムを用いたPAシステムなどで信号の遅延を補正するときに使用できます。

1. [/DELAY]キーを使ってDELAYページ4を表示させます。



2. [CURSOR]キーでディレイパラメーターを選択し、[ENTER]キー、[PARAMETER]ダイヤル、または [-1/DEC]キー、[+1/INC]キーで値を設定します。

パラメーター	範囲	内容
ON/OFF	ON/OFF	ディレイのオン/オフを切り替えるボタンです。
DELAY	0 ~ 300ms	ミリ秒単位、メートル単位またはサンプル単位でディレイを設定します。(205ページ「プリファレンス」参照) 最大ディレイは13229サンプルで固定されています。ミリ秒単位およびメートル単位での最大ディレイはサンプリング周波数によって異なり、たとえば、サンプリング周波数が44.1kHzのときは300ミリ秒、102.2メートルです。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

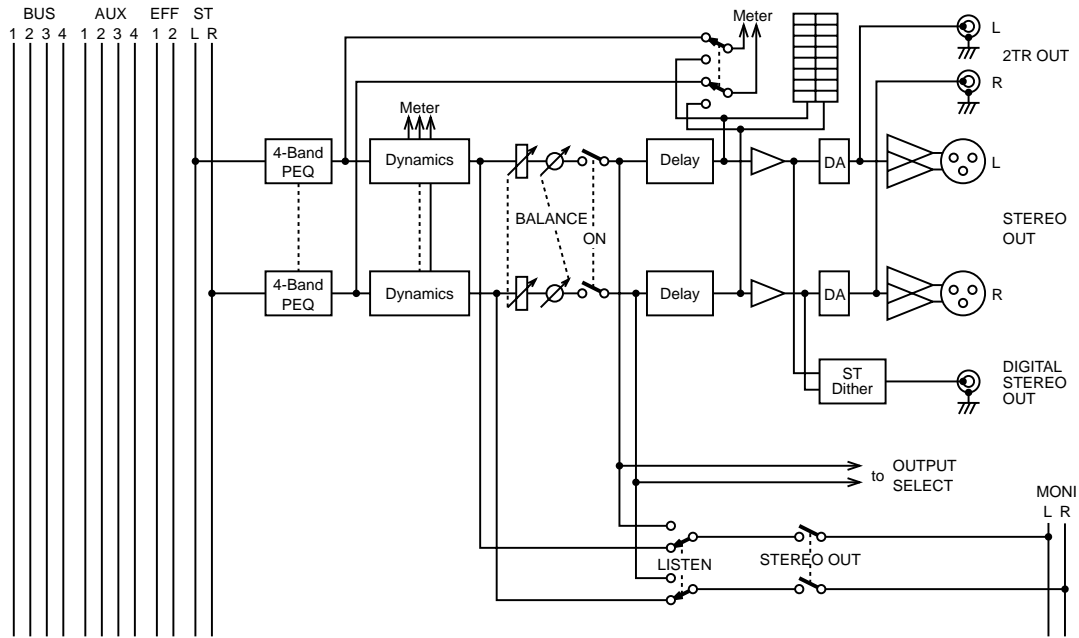
デジタル
I/O

MIDI

システム例

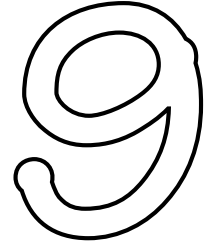
付録

ステレオアウトのブロック図



01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

AUXアウト



本章の目次

AUXアウトについて	100
OMNIアウトとAUXアウト	100
OPTION I/OとAUXアウト	100
AUXアウトのモニター	100
AUXアウトのメーター	100
チャンネルの信号をAUXアウトへ送る	101
プリフェーダー / ポストフェーダーAUXセンド	103
AUXアウト設定の確認	104
AUXアウトのマスターレベル設定	105
AUXアウトのミュート	106
AUXアウトのイコライジング	106
AUXアウトのダイナミクスプロセッサ	106
AUXアウトのステレオペア	107
AUXアウトのブロック図	110
ステレオペア時のAUXアウトのブロック図	111

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

AUXアウトについて

01Vの4系統のAUXアウトには、4バンドのパラメトリックイコライザーとダイナミクスプロセッサが搭載されています。インプットチャンネル1～16、エフェクトリターンの各信号をAUXアウト1～4へ、インプットチャンネル17～24の信号はAUXアウト1～2へ送ることができます。

各チャンネルのAUXセンドは個別にプリフェーダー、ポストフェーダーの設定が可能です。AUXアウトは個別に使用することもステレオペアを組むことも可能です。01VにはAUXアウト専用の出力端子はありませんので、OMNIアウトかOPTION I/Oデジタルアウトに出力してください。

01Vには専用のAUXリターン入力端子はありません。AUXのリターン信号の入力には、インプットチャンネルを使用してください。ステレオリターン信号はインプットチャンネル13/14、15/16に入力することができます。

内蔵エフェクトについては、別の章で説明します。詳細は、125ページの「内蔵エフェクト」をご参照ください。

OMNIアウトとAUXアウト

AUXアウト信号はOMNI OUT端子から出力できます。詳細は、122ページの「OMNIアウトのアサイン」をご参照ください。

OPTION I/OとAUXアウト

AUXアウト信号はOPTION I/Oデジタル出力端子から出力できます。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

AUXアウトのモニター

AUXアウトはMONITOR OUT端子またはPHONES端子からモニターできます。詳細は、82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。

AUXアウトのメーター

AUXアウト信号のレベルは、HOMEページで確認できます。詳細は、88ページの「信号レベルメーター」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

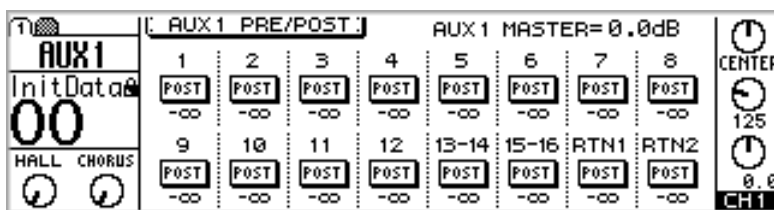
チャンネルの信号をAUXアウトへ送る

インプットチャンネル1~16、エフェクトリターン各チャンネルからAUXアウト1~4に、またはインプットチャンネル17~24からAUXアウト1,2に信号を送ることができます。

インプットチャンネル1~16

1. [AUX 1]~[AUX 4]キーでAUXセンドを選択します。

これでフェーダーを使って選択したAUXセンドのレベルをコントロールできます。次のようなAUXページが表示されます。



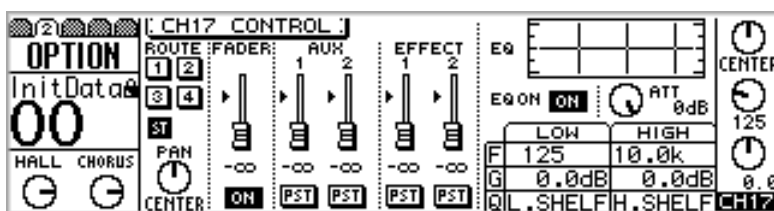
2. 信号をAUXに送りたいチャンネルのフェーダーを上げます。

AUXセンドをポストフェーダーに設定している場合(103ページの「プリフェーダー/ポストフェーダーAUXセンド」参照)チャンネルフェーダーも上げないと信号がAUXバスに送られません。[HOME]キーを押して該当フェーダーを上げてください。

インプットチャンネル13/14(15/16)のAUXセンドは常に連動しています。インプットチャンネル1~12はペアに組むと(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)そのAUXセンドも連動します。

インプットチャンネル17~24

1. [OPTION I/O]キーで次のOPTIONページ2を表示させます。



2. [17] ~ [24] の [SEL] キーでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] キーでAUXフェーダーを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは [-1/DEC] キー、[+1/INC] キーでセンドレベルを設定します。

AUXセンドをポストフェーダーに設定している場合(103ページの「プリフェーダー/ポストフェーダーAUXセンド」参照)通常のチャンネルフェーダーも上げないと信号がAUXバスに送られません。フェーダーモードのOPTION I/Oがまだ選択されている場合は、フェーダーを上げてください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

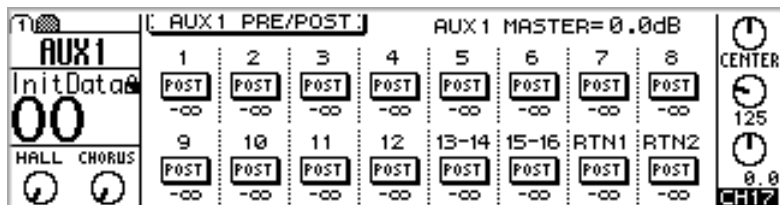
システム例

付録

エフェクトリターン1、2

1. [AUX 1]~[AUX 4] 枠でAUXセンドを選択します。

エフェクトリターン回転ノブで、選択したAUXセンドのエフェクトリターンAUXセンドレベルを調整できるようになります。次のようなAUXページが表示されます。



2. 信号をAUXセンドに送りたいエフェクトリターンの回転ノブを上げます。
AUXセンドをポストフェーダーに設定している場合(103ページの「プリフェーダー/ポストフェーダーAUXセンド」参照)通常のエフェクトリターンのコントロールも上げないと信号がAUXバスに送られません。[HOME] 枠を押して該当コントロールを上げてください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

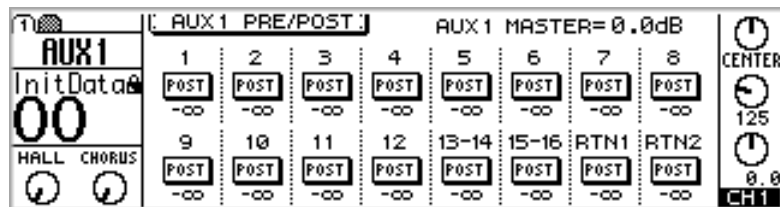
プリフェーダー / ポストフェーダーAUXセンド

インプットチャンネル1~24、エフェクトリターンのAUXセンドは、それぞれプリフェーダーまたはポストフェーダーのセンドとして設定できます。この設定は、AUX画面のPRE/POSTページで行います。

プリフェーダー信号とは、通常のチャンネルフェーダーで調整する前の信号のことで、フェーダーの設定には影響を受けません。ポストフェーダー信号とは、チャンネルフェーダーを通過した信号のことで、フェーダーの設定によって影響を受けます。ポストフェーダーセンドでは、通常のチャンネルフェーダーを使って、チャンネルレベルとAUXセンドレベルを同時に調整することができます。

インプットチャンネル1~16およびエフェクトリターン

1. [AUX 1]~[AUX 4]キーを使ってAUX PRE/POSTページを表示させます。



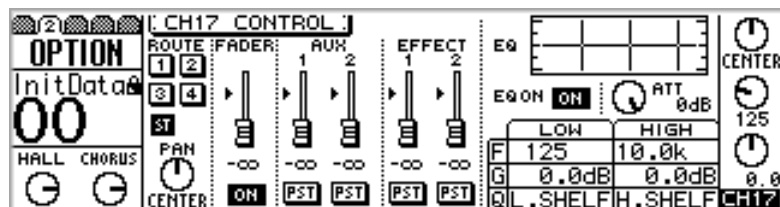
PRE/POSTボタンの下には、選択されたAUXアウトのフェーダーレベル値が表示されます。また、該当するAUXアウトマスターフェーダーのレベル値は、ページの右上に表示されます。

2. [SEL]キーまたは[CURSOR]キーでPRE/POSTボタンを選択し、[ENTER]キー、[PARAMETER]ダイヤル、または[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーで設定します。

インプットチャンネル13/14(15/16)のPRE/POSTボタンは常に連動しています。インプットチャンネル1~12はペアに組んだり、AUXアウトをステレオペアとして設定すると(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)、そのPRE/POSTボタンも連動します。

インプットチャンネル17~24

1. [OPTION I/O]キーで次のOPTIONページ2を表示させます。



2. [17]~[24]の[SEL]キーでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR]キーでAUX PRE/POSTボタンを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーでセンドレベルを設定します。
AUX 1と2をステレオペアに組むと(107ページの「AUXアウトのステレオペア」参照)、このPRE/POSTボタンも連動します。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

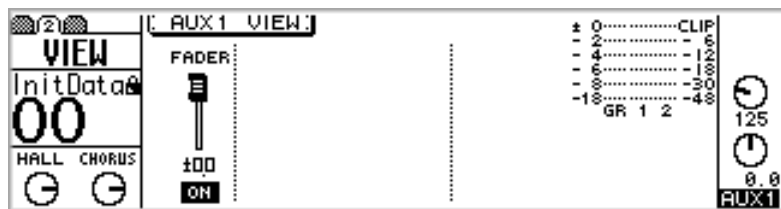
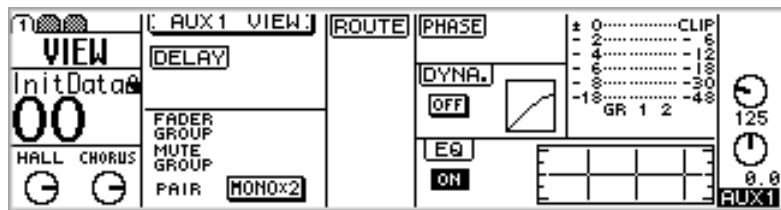
AUXアウト設定の確認

VIEWページ1と2では、AUXアウトの設定内容を確認したり、一部パラメーターを調整したりします。

1. [AUX 1]~[AUX 4]キーでAUXアウトを選択し、MASTERの[SEL]キーを押します。

AUX 1(またはAUX 2~AUX 4)ページが表示されて、AUXアウトが選択されたことを示します。

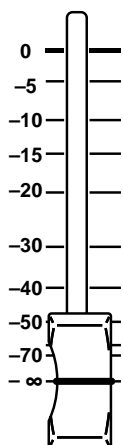
2. [VIEW]キーで次のVIEWページ1、2を表示させます。



3. [CURSOR]キーでパラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤル、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キー、[ENTER]キーで設定します。

パラメーターは次のセクションで説明します。

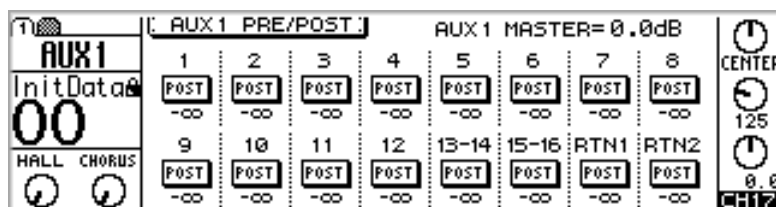
AUXアウトのマスターレベル設定



STEREO
MASTER

MASTERフェーダーを使ってAUXアウトマスターレベルを調整できます。このフェーダーの機能は、現在選択されているフェーダーモードによって異なります。詳細は、39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。

1. [AUX 1]~[AUX 4]キーでAUXセンドを選択します。



上のようなAUX 1(またはAUX 2~AUX 4)ページが表示されます。

2. MASTERフェーダーでAUXセンドマスターレベルを設定します。

AUXセンドマスターフェーダーのレベル値がAUX PRE/POST画面の右上に表示されます。

AUXセンドをステレオペアに組むと(107ページの「AUXアウトのステレオペア」参照)マスターフェーダーも連動します。

AUXセンドのマスターレベルはVIEWページで確認、調整できます。詳細は、104ページの「AUXアウト設定の確認」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

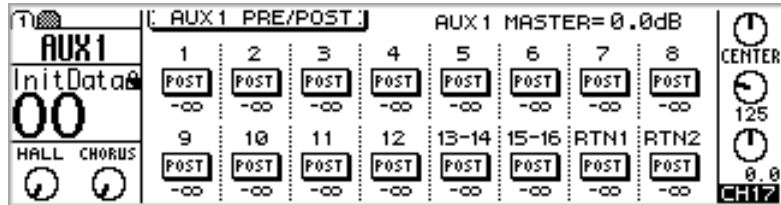
付録

AUXアウトのミュート



MASTERの[ON]キーでAUXアウトマスターをミュートします。このキーにはインジケーターが付いており、AUXアウトがオンになると点灯します。このキーの機能は選択したフェーダーモードによって異なります。詳細は、37ページの「ONキー」をご参照ください。

1. [AUX 1]~[AUX 4]キーでAUXセンドを選択します。



上のようなAUX 1(またはAUX 2~AUX 4)ページが表示されます。

2. MASTERの[ON]キーでAUXアウトをオン/オフします。

AUXアウトをステレオペアに組むと(107ページの「AUXアウトのステレオペア」参照)、オン/オフも連動します。

AUXアウトのミュート状態はVIEWページで確認、設定できます。詳細は、104ページの「AUXアウト設定の確認」をご参照ください。

AUXアウトのイコライジング

それぞれのAUXアウトには、4バンドのパラメトリックイコライザーが搭載されています。詳細は、65ページの「イコライザー」をご参照ください。VIEWページではイコライザーをオン/オフ設定したり、EQカーブを確認したりすることができます。詳細は、104ページの「AUXアウト設定の確認」をご参照ください。

AUXアウトのダイナミクスプロセッサ

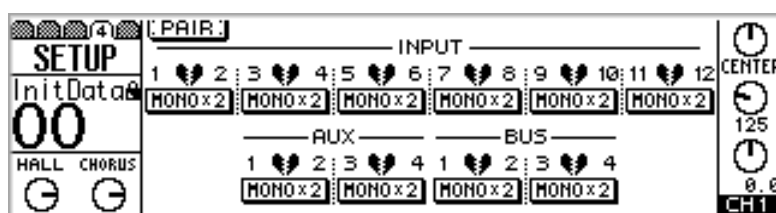
それぞれのAUXアウトには、ダイナミクスプロセッサが搭載されています。詳細は、159ページの「ダイナミクスプロセッサ」をご参照ください。VIEWページではダイナミクスをオン/オフ設定したり、ダイナミクスカーブを確認したりすることができます。詳細は、104ページの「AUXアウト設定の確認」をご参照ください。

AUXアウトのステレオペア

AUXアウト1/2、AUXアウト3/4はそれぞれステレオペアに設定できます。AUXアウトをペアに組むと、EQ、ダイナミクスプロセッサー、マスターフェーダー、[ON]キー、モニターのAUXアウトパラメーターが連動します。AUXアウトマスターパラメーターの連動だけでなく、ペアを組むことによってインプットチャンネル1~24とエフェクトリターンも影響を受けます。これらのチャンネルでは、AUXセンドのコントロール類とプリ/ポスト設定が連動し、AUXセンドパン設定が表示されます。

AUXアウトのステレオペアの組み方

1. [SETUP]キーで次のSETUPページ4を表示させます。



2. [CURSOR]キーで1/2のペア、または3/4のペアを選択し、[ENTER]キーを押します。

次のダイアログボックスが表示されます。



AUX 1 2 AUXアウト1の設定をAUXセンド2にコピーします。
 AUX 2 1 AUXアウト2の設定をAUXセンド1にコピーします。
 RESET BOTH AUXアウトを初期設定に戻します。

3. [CURSOR]キーでペアモードを選択し、[ENTER]キーを押します。

ハートマークと“STEREO”の文字が反転表示され、AUXアウトがステレオペアになったことを示します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

AUXアウトのステレオペアの解除

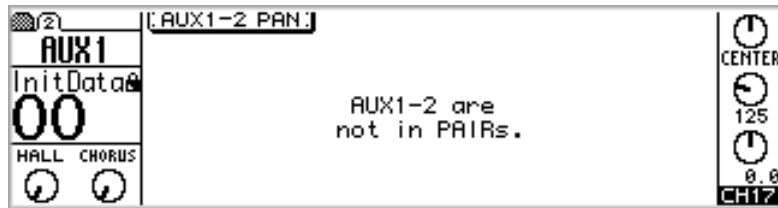
1. SETUPページ4で [CURSOR] ｷｰを使ってペアになっているAUXボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。
次のダイアログボックスが表示されます。



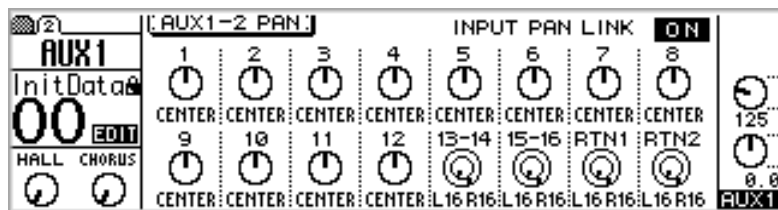
2. OKを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。
ステレオペアが解除され、それぞれのAUXセンドが別個に設定できるようになります。

AUXセンドのチャンネルパン設定

1. [AUX 1] または [AUX 2] ｷｰでAUX 1-2 PANページを表示させるか、[AUX 3] または [AUX 4] ｷｰでAUX 3-4 PANページを表示させます。
AUXアウトでステレオペアを組んでいない場合は、次のようにAUX PANページには何も表示されません。



ペアを組んでいる場合(107ページの「AUXアウトのステレオペア」参照)、AUX PANページにはインプットチャンネル1～16とエフェクトリターンのパン設定が表示されます。



2. [SEL]キーまたは[CURSOR]キーでチャンネルのパンを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで設定します。

インプットチャンネル13/14、15/16とエフェクトリターンについては、[SEL]キーを繰り返し押し、奇数 / 左チャンネルと偶数 / 右チャンネルを選択してください。

INPUT PAN LINKのON/OFFボタンで、AUXセンドのパン設定を該当するチャンネルパン設定にリンクさせます。このボタンがオンの場合、AUX PANページで行ったパン設定が、PAN/ROUTページ1にも影響し、逆にPAN/ROUTページ1で行ったパン設定が、AUX PANページにも影響します。またAUXセンドのパン設定は、PAN/ROUTページ1のパンモード(INDIVIDUAL, GANG, INV. GANG)に影響を与えます。

パンには、センター位置を含めて全部で33個のポジションがあります。

Left Center Right
L16←L15←...←L2←L1← CENTER →R1→R2→...→R15→R16

インプットチャンネル1～12にはそれぞれパン回転ノブがあります。



インプットチャンネル13/14と15/16、エフェクトリターンには内、外の2連のパン回転ノブがあり、内側は奇数 / 左チャンネル用、外側は偶数 / 右チャンネル用です。このパン回転ノブを使って、ステレオ信号の定位を調整します。

この図のように内側の回転ノブをL16に、外側の回転ノブをR16に設定すると、音像の幅は最大となります。

この図のように両方の回転ノブをC(センター)にすると、音像の幅はゼロ(モノラル)になります。

回転ノブをこれら2種類の設定値の間に合わせれば、ステレオ信号の広がりを変えられます。ただし、中央に定位させるためには、内側のノブのLの値を外側のノブのRノブの値を同じにしてください。たとえば、L8とR8、あるいはL10とR10といった組み合わせです。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

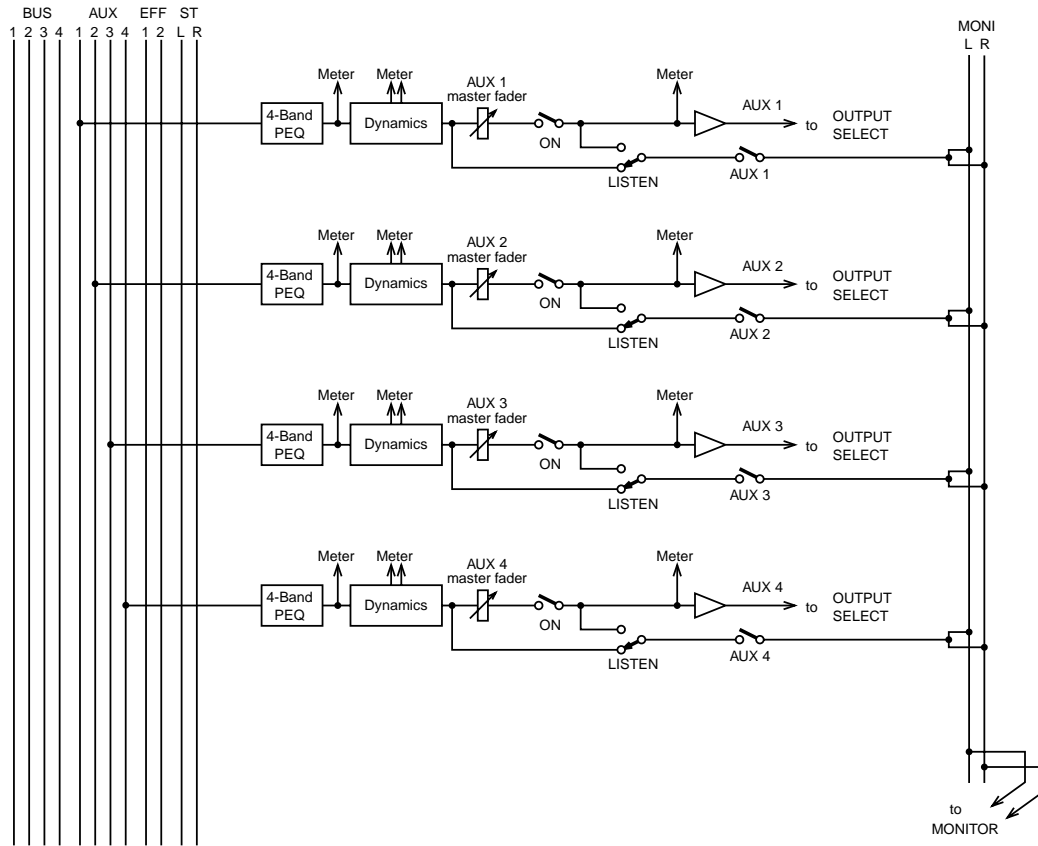
デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

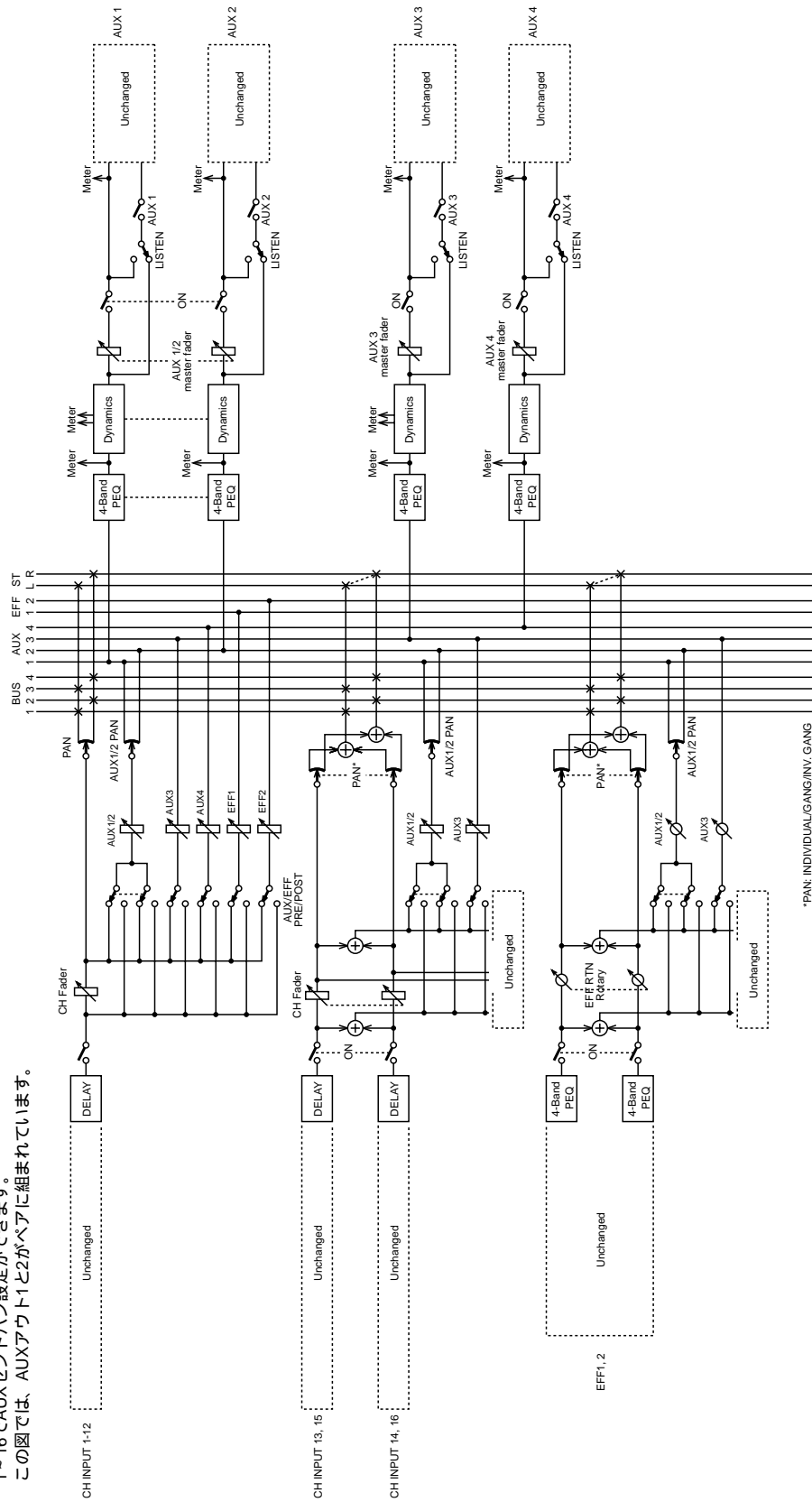
AUXアウトのブロック図



- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト**
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサ
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付録

ステレオペア時のAUXアウトのブロック図

AUXセンドがベアに組まれると、インプットチャンネル1~16でAUXセンドパン設定ができます。この図では、AUXアウト1と2がベアに組まれています。



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

バスアウト

10

本章の目次

バスアウトについて	114
OPTION I/Oとバスアウト	114
OMNIアウトとバスアウト	114
バスアウトのモニター	114
バスアウトのメーター	114
チャンネル信号をバスアウトへ送る	114
バスアウトのマスターレベル設定	115
バスアウトのミュート	115
バス信号をステレオバスへ送る	116
バスアウトのステレオペア	117
バスアウトのブロック図	119
ステレオペアのバスアウトのブロック図	120

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

バスアウトについて

01Vの4系統のバスアウトは個別に使用することもステレオペアを組むことも可能です。インプットチャンネル1~24、エフェクトリターンの各信号をバスアウト1~4へ送ることができます。詳細は、54ページの「インプットチャンネルのルーティング」をご参照ください。01Vにはバスアウト専用の出力端子はありませんので、OPTION I/OデジタルアウトかOMNI OUTに出力してください。

OPTION I/Oとバスアウト

バスアウト信号はOPTION I/Oデジタル出力端子から出力できます。詳細は、221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。

OMNIアウトとバスアウト

バスアウト信号はOMNI OUT端子から出力できます。詳細は、122ページの「OMNIアウトのアサイン」をご参照ください。

バスアウトのモニター

バスアウトはMONITOR OUT端子またはPHONES端子からモニターできます。詳細は、82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。

バスアウトのメーター

バスアウト信号のレベルは、HOMEページで確認できます。詳細は、88ページの「信号レベルメーター」をご参照ください。

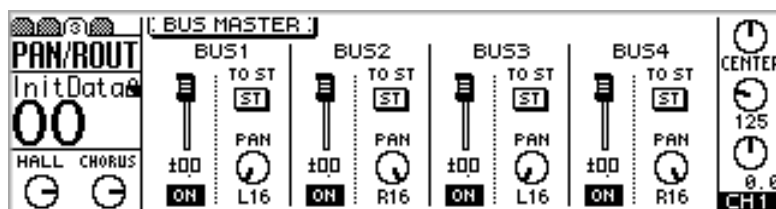
チャンネル信号をバスアウトへ送る

インプットチャンネル1~24、エフェクトリターンの各チャンネルからバスアウト1~4に送ることができます。詳細は、54ページの「インプットチャンネルのルーティング」、137ページの「エフェクトリターンのルーティング」をご参照ください。

バスアウトのマスターレベル設定

PAN/ROUTページ3のBUS MASTERのアイコンのフェーダーを使ってバスアウトマスターレベルを調整できます。

1. [PAN/ROUTING]キーで次のPAN/ROUTページ3を表示させます。



2. [CURSOR]キーでバスアウトのマスターフェーダーを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーでレベルを設定します。

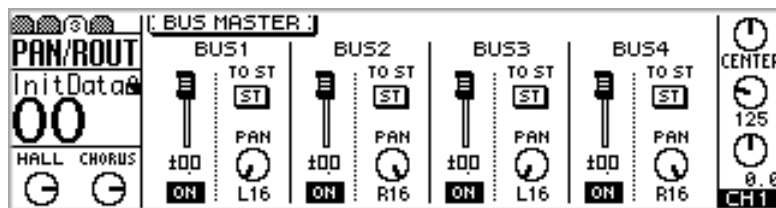
バスアウトをステレオペアに組むと(117ページの「バスアウトのステレオペア」参照)マスターフェーダーが連動します。

バス出力のマスターレベルは、REMOTEページ1で通常のフェーダーを使用して調整することができます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」をご参照ください。

バスアウトのミュート

PAN/ROUTページ3のBUS MASTERのONボタンでバスアウトをミュートします。

1. [PAN/ROUTING]キーで次のPAN/ROUTページ3を表示させます。



2. [CURSOR]キーでバスアウトのONボタンを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーで設定します。

バスアウトをステレオペアに組むと(117ページの「バスアウトのステレオペア」参照)ONボタンが連動します。

バス出力は、REMOTEページ1で通常の[ON]キーを使用してミュートすることができます。詳細は、196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

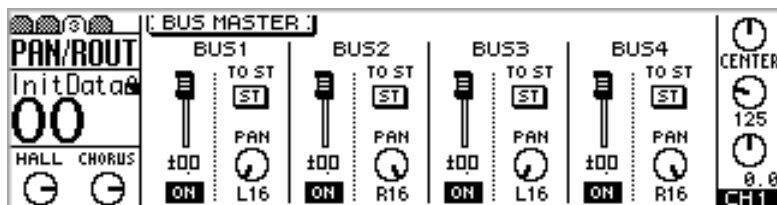
システム例

付録

バス信号をステレオバスへ送る

バスアウト信号をステレオバスに送って、ミックスダウン中にサブグループとして使用することができます。初期設定では、奇数のバスアウト信号が左へ、また偶数のバスアウト信号が右へパンされます。

1. [PAN/ROUTING] キーで次のPAN/ROUTページ3を表示させます。



2. [CURSOR] キーでTO STボタンを選択し、[ENTER] キー、[PARAMETER] ダイアル、または [- 1/DEC] キー、[+ 1/INC] キーでオンに設定します。
3. [CURSOR] キーでパンポットを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは [- 1/DEC] キー、[+ 1/INC] キーで設定します。

パンには、センター位置を含めて全部で33個のポジションがあります。

Left Center Right
L16←L15←...←L2←L1← CENTER →R1→R2→...→R15→R16

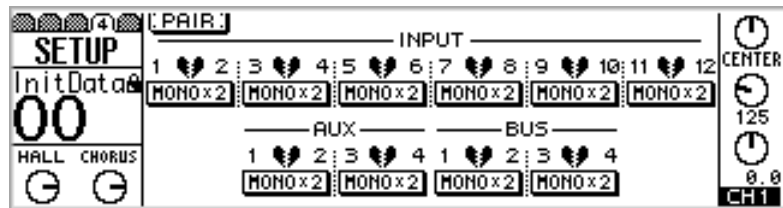
01Vの 世界へ ようこそ!
基本操作
各部の 名称と機能
ユーザー インター フェース の基礎知識
インプット チャンネル
イコライザー
ソロ、 モニター、 メーター
ステレオ アウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵 エフェクト
ダイナミクス プロセッサー
シーン メモリー
その他の 機能
デジタル I/O
MIDI
システム例
付録

バスアウトのステレオペア

バスアウト1/2、バスアウト3/4はそれぞれステレオペアに設定できます。バスアウトをペアに組むと、MASTERフェーダーと[ON]キーがそれぞれ連動します。

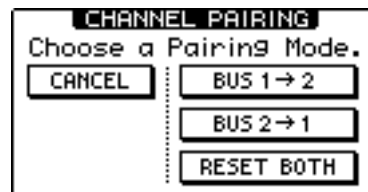
バスアウトのステレオペアの組み方

1. [SETUP]キーで次のSETUPページ4を表示させます。



2. [CURSOR]キーで1/2のペア、または3/4のペアを選択し、[ENTER]キーを押します。

次のダイアログボックスが表示されます。



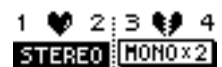
BUS 1 2 バスアウト1の設定をバスアウト2にコピーします。

BUS 2 1 バスアウト2の設定をバスアウト1にコピーします。

RESET BOTH バスアウトを初期設定に戻します。

3. [CURSOR]キーでペアモードを選択し、[ENTER]キーを押します。

ハートマークと“STEREO”の文字が反転表示され、バスアウトがステレオペアになったことを示します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

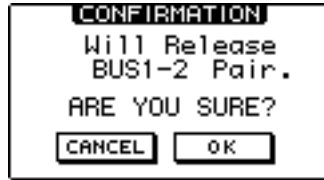
MIDI

システム例

付録

バスアウトのステレオペアの解除

1. SETUPページ4で[CURSOR]キーを使ってペアになっているBUSボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。
次のダイアログボックスが表示されます。



2. OKを選択し、[ENTER]キーを押します。
ステレオペアが解除され、それぞれのバスアウトが別個に設定できるようになります。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

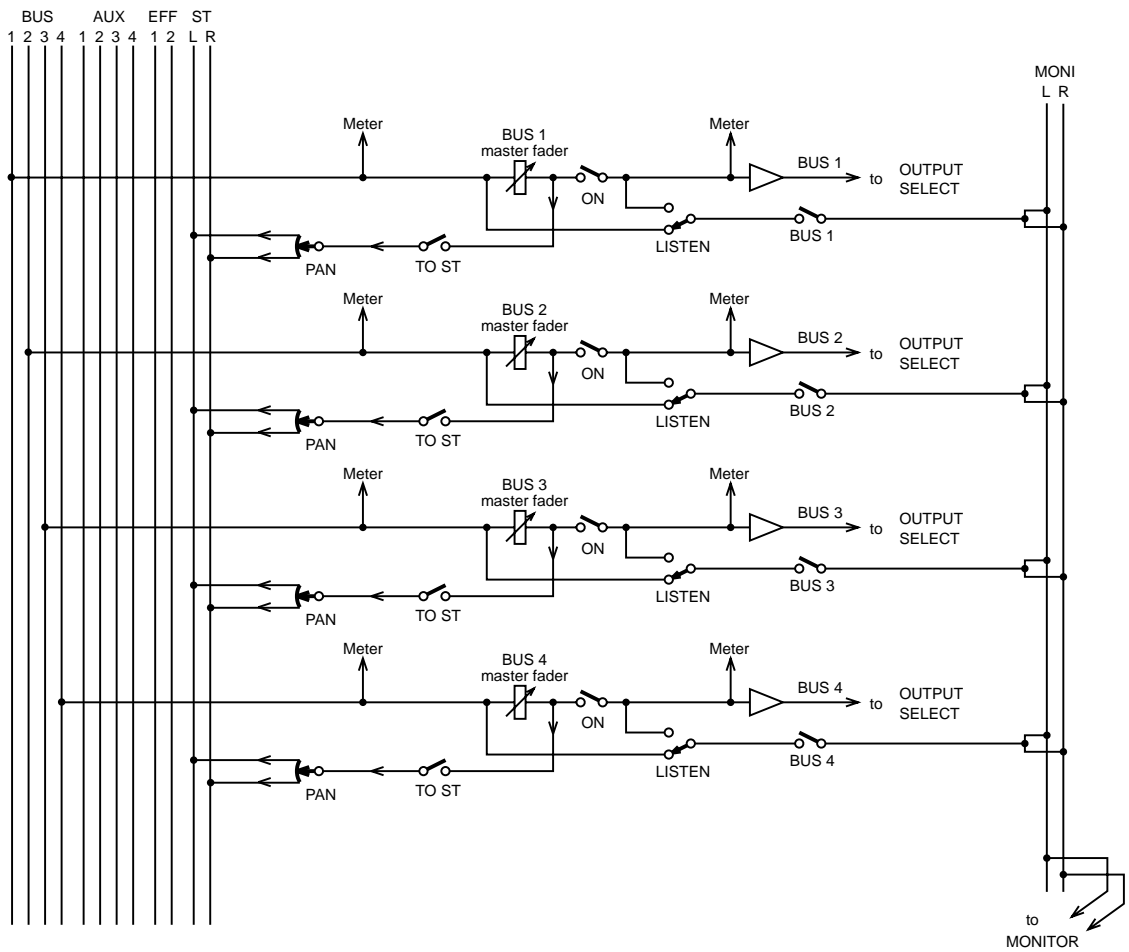
内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

バスアウトのブロック図



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

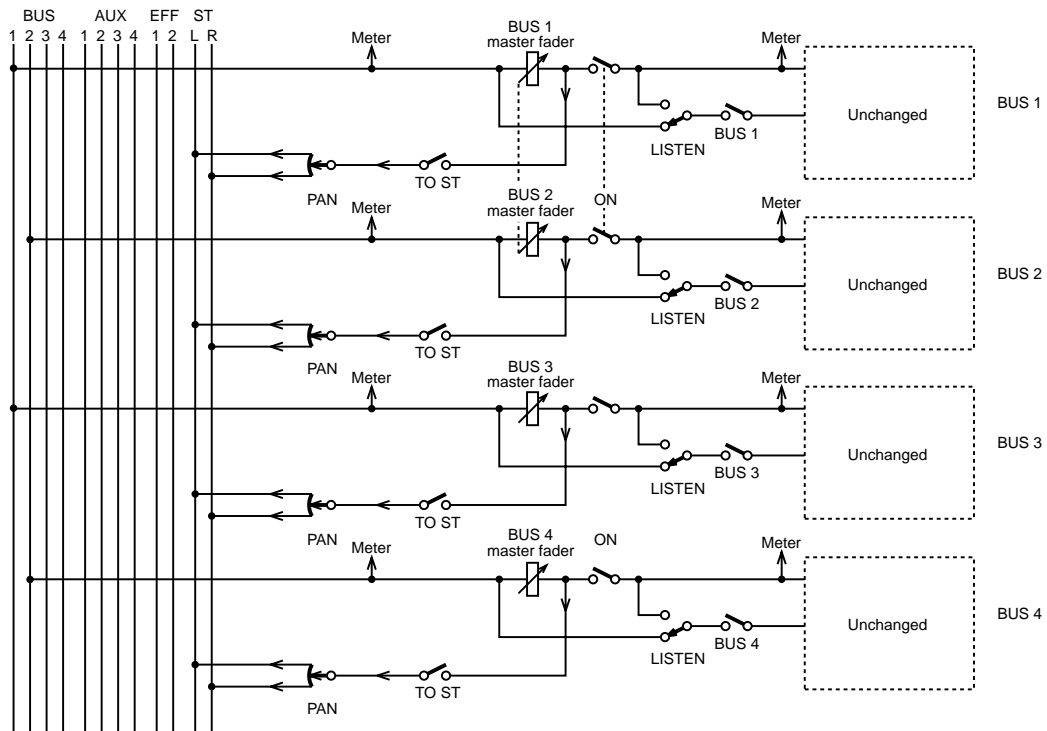
MIDI

システム例

付録

ステレオペアのバスアウトのブロック図

この図では、バスアウト1と2がペアに組まれています。



01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

入力チャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

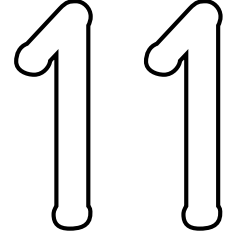
デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

OMNI アウト



本章の目次

OMNIアウトについて	122
OMNIアウト	122
OMNIアウトのアサイン	122
OMNIアウトのディレイ	123
OMNIアウトのブロック図	124

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

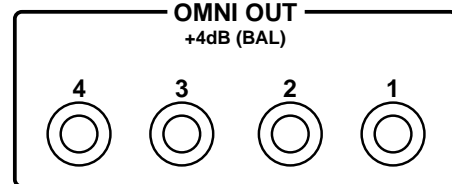
付 録

OMNIアウトについて

01Vの4系統のOMNIアウトは、AUXアウト、バスアウト、ステレオアウト、あるいはインプットチャンネル1～16のポストフェーダー信号のダイレクト出力として使用することができます。各OMNIアウトには最高300ミリ秒まで可変の出力ディレイが搭載されています。

OMNIアウト

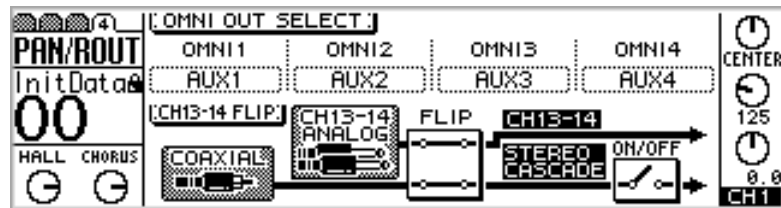
OMNIアウト信号は18ビットのD/Aコンバータでアナログに変換し、定格出力レベル+4dB、バランスの1/4インチフォン端子から出力します。



OMNIアウトのアサイン

OMNIアウトは初期設定ではAUXアウト1～4にアサインされていますが、バスアウト、ステレオアウトの左右チャンネル、インプットチャンネル1～16のポストフェーダー信号のダイレクトアウトにアサインすることもできます。

1. [PAN/ROUTING] キーで次のPAN/ROUTページ4を表示させます。

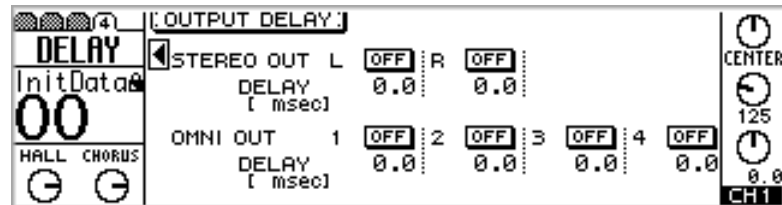


2. [CURSOR] キーでOMNI OUTパラメーターボックスを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは[- 1/DEC] キー、[+ 1/INC] キーでOMNIアウトの信号ソースを選択します。
3. [ENTER] キーで選択を確定します。

OMNIアウトのディレイ

OMNIアウトは個別に300ミリ秒までのディレイをかけることができます。これを利用すれば、複数のスピーカーを使ったPAシステムでの信号の遅延補正などができます。

1. [/DELAY]キーで次のDELAYページ4を表示させます。



2. [CURSOR]キーでディレイパラメーターを選択し、[ENTER]キー、[PARAMETER]ダイヤル、または [-1/DEC]キー、[+1/INC]キーで設定します。

パラメーター	範囲	内容
ON/OFF	ON/OFF	ディレイをオン/オフします。
DELAY	0 ~ 300ms	ミリ秒単位、メートル単位またはサンプル単位でディレイを設定します。(205ページ「プリファレンス」参照) 最大ディレイは13229サンプルで固定されています。ミリ秒単位およびメートル単位での最大ディレイはサンプリング周波数によって異なり、たとえば、サンプリング周波数が44.1kHzのときは300ミリ秒、102.2メートルです。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

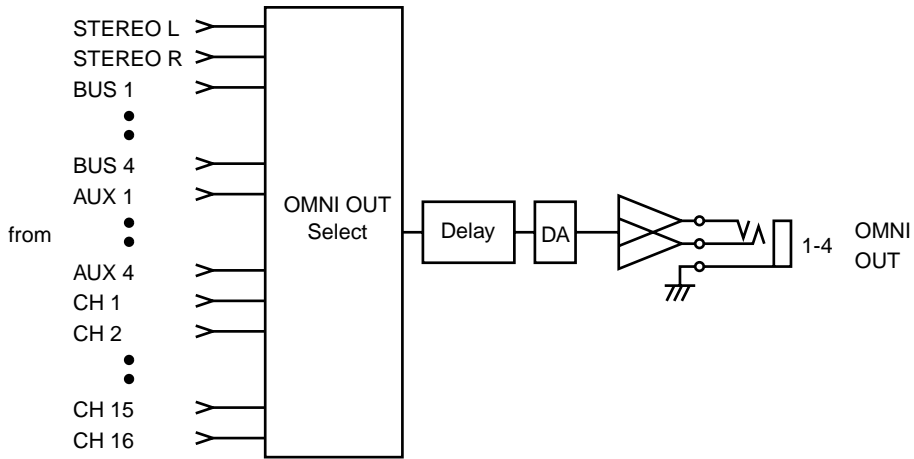
内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

OMNIアウトのブロック図



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

内蔵エフェクト

12

本章の目次

内蔵エフェクトについて	126
エフェクトライブラリーリスト	127
エフェクトをかける	130
エフェクトセンドのプリフェーダー / ポストフェーダー切り替え	133
エフェクトセンドマスター設定の確認	134
エフェクトセンドマスターレベルの設定	135
エフェクトセンドマスターのミュート	135
エフェクトリターン設定の確認	136
エフェクトリターンのメーター	136
エフェクトリターンのイコライジング	136
エフェクトリターンのミュート	137
エフェクトリターンレベルの設定	137
エフェクトリターンのパン設定	137
エフェクトリターンのルーティング	137
エフェクトリターンのモニター	137
エフェクトリターンとAUXアウト	137
エフェクトライブラリー	138
エフェクトプログラムの保存	139
エフェクトプログラムの呼び出し	140
エフェクトプログラムタイトルのエディット	141
エフェクトのエディット	142
DELAY(ディレイ) \ FREQ(周波数) \ NOTE(ノート) \ TEMPO(テンポ) のパラメーター設定	143
エフェクトパラメーターリスト	144
エフェクトのブロック図	158

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

内蔵エフェクトについて

01Vには2系統のステレオマルチエフェクトプロセッサ(エフェクト1とエフェクト2)が内蔵されており、リバース、ディレイ、コーラス、フランジャー、アンブシミュレーター、フリーズなど、多彩で高品位なエフェクトが利用できます。使用できるエフェクトのタイプは全部で42種類あります。エフェクトプロセッサには、エフェクト1バスとエフェクト2バスから信号が送られ、エフェクト処理された信号はエフェクトリターン1とエフェクトリターン2を通して返されます。エフェクトは、インプットチャンネル1~24とエフェクトリターンの両方の信号にかけることができます。

エフェクトの設定は、プログラムとしてエフェクトライブラリーに保存できます。エフェクトライブラリーには42のプリセットプログラムと57のユーザープログラムが含まれています。詳細は、138ページの「エフェクトライブラリー」をご参照ください。また、エフェクト設定はシーンメモリーにも保存されます。詳細は、185ページの「ミックスシーンの保存」をご参照ください。

エフェクトプロセッサは、下の図のEFFECT 1ページ1とEFFECT 2ページ2でエディットします。[EFFECT 1]キーでEFFECT 1ページ、[EFFECT 2]キーでEFFECT 2ページが呼び出されます。EFFECT 1ページを選択すると、エフェクトリターン1の回転ノブアイコンが反転表示され、EFFECT 2ページを選択すると、エフェクトリターン2の回転ノブアイコンが反転表示されます。



LCD画面の一番上の行には、現在選択されているエフェクトのプログラム名とタイプが、その下にはエフェクトパラメーターが表示されます。使用可能なパラメーターは、選択されているエフェクトのタイプによって異なります。エフェクトのタイプはLCD画面左下、回転ノブアイコンの上にも表示されています。上のLCD画面では、エフェクト1にHALL(REVERB HALL)、エフェクト2にCHORUSエフェクトが表示されています。上のLCD画面例で、パラメーター表示の左わきにある下向きの矢印のように上下の矢印があると、表示以外のパラメーターがあることを示しているのので、上下の[CURSOR]キーでパラメーターを選択してください。右上のL、Rメーターは、選択されているエフェクトプロセッサのエフェクトリターン信号レベルを表示しています。

エフェクトライブラリーリスト

本機にあらかじめ内蔵されているエフェクトプログラムのリストです。パラメーターについての詳細は、144ページの「エフェクトパラメーターリスト」をご参照ください。HQ. PITCHまたはFREEZEのエフェクトタイプを使用しているエフェクトプログラムは、エフェクト2のみで使用可能でエフェクト1へ呼び出すことはできません。

リバーブ系のエフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
01	Reverb Hall	REVERB HALL	コンサ - トホ - ルなどの広い空間をシミュレ - トしたリバ - ブです。
02	Reverb Room	REVERB ROOM	REVERB HALLよりも小さな空間(部屋)での響きをシミュレ - トしたリバ - ブです。
03	Reverb Stage	REVERB STAGE	ポ - カル用を意識したリバ - ブです。
04	Reverb Plate	REVERB PLATE	鉄板エコ - のシミュレ - ションです。硬めの残響感が得られます。
05	Early Ref.	EARLY REF.	残響も初期反射音(ER)のみを取り出したエフェクトです。リバ - ブよりも派手な効果が得られます。
06	Gate Reverb	GATE REVERB	いわゆるゲ - トリバ - ブとして使うことを意識したERのタイプです。
07	Reverse Gate	REVERSE GATE	逆回転風のERタイプです。

ディレイ系のエフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
08	Mono Delay	MONO DELAY	シンプルな操作性のモノディレイです。複雑なパラメ - ター設定の必要がないときにお使いください。
09	Stereo Delay	STEREO DELAY	左右独立のステレオディレイです。
10	Mod.Delay	MOD.DELAY	モジュレ - ション付きのMONO DELAYです。
11	Delay LCR	DELAY LCR	Lch, センターch, Rch, 3タップのディレイです。
12	Echo	ECHO	STEREO DELAYにさらに細かいパラメ - ターをコントロールできるようにしたものです。LchからRchまたRchからLchへのフィ - ドバックも可能です。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

モジュレーション系のエフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
13	Chorus	CHORUS	3相のステレオコ - ラスです。
14	Flange	FLANGE	いわゆるフランジ効果が得られるエフェクトです。
15	Symphonic	SYMPHONIC	CHORUSよりも複雑でリッチな変調効果が得られるヤマハ独自のエフェクトです。
16	Phaser	PHASER	2~16段の位相シフトを使ったステレオフェイザ - です。
17	Auto Pan	AUTOPAN	同期的に左右に音像が移動するエフェクトです。
18	Tremolo	TREMOLO	同期的に音量が変化するエフェクトです。
19	HQ.Pitch	HQ.PITCH	1音のみのピッチシフトですが安定した効果が得られます。
20	Dual Pitch	DUAL PITCH	左右で別々の音程に設定できるステレオピッチシフトです。
21	Rotary	ROTALY	ロ - タリ - スピ - カーのシミュレ - ションです。
22	Ring Mod.	RING MOD.	入力に高周波の振幅変調をかけて音程を変化させるエフェクトです。01Vではさらに変調周波数もモジュレ - ションで変化させることもできます。
23	Mod.Filter	MOD.FILTER	フィルターの周波数をLFOで変化させるエフェクトです。

ディストーションのエフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
24	Distortion	DISTORTION	入力音を歪ませるいわゆるディストーションです。
25	Amp simulate	AMP SIMULATE	ギターアンプをシミュレートしたエフェクトです。

ダイナミクス系のエフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
26	Dyna.Filter	DYNA.FILTER	入力レベルに応じて周波数の動くフィルターです。SOURCE = MIDIとするとMIDIノートオンメッセージに反応します。
27	Dyna.Flange	DYNA.FLANGE	入力レベルに応じてDelayTimeの動くフランジです。SOURCE = MIDIとするとMIDIノートオンメッセージに反応します。
28	Dyna.Phaser	DYNA.PHASER	入力レベルに応じてPhaseShiftPointの動くフェイザーです。SOURCE = MIDIとするとMIDIノートオンメッセージに反応します。

複合エフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
29	Rev+Chorus	REV+CHORUS	REVERBとCHORUSをパラレル接続した複合エフェクトです。
30	Rev->Chorus	REV->CHORUS	REVERBとCHORUSをシリーズ接続した複合エフェクトです。
31	Rev+Flange	REV+FLANGE	REVERBとFLANGEをパラレル接続した複合エフェクトです。
32	Rev->Flange	REV->FLANGE	REVERBとFLANGEをシリーズ接続した複合エフェクトです。
33	Rev+Sympho.	REV+SYMPHO.	REVERBとSYMPHONICをパラレル接続した複合エフェクトです。
34	Rev->Sympho.	REV->SYMPHO.	REVERBとSYMPHONICをシリーズ接続した複合エフェクトです。
35	Rev->Pan	REV->PAN	REVERBとAUTO PANをシリーズ接続した複合エフェクトです。
36	Delay+ER.	DELAY+ER.	DELAY(2 TAP)とEARLY REF.をパラレル接続した複合エフェクトです。
37	Delay->ER.	DELAY->ER.	DELAY(2 TAP)とEARLY REF.をシリーズ接続した複合エフェクトです。
38	Delay+Rev	DELAY+REV	DELAY(2 TAP)とREVERBをパラレル接続した複合エフェクトです。
39	Delay->Rev	DELAY->REV	DELAY(2 TAP)とREVERBをシリーズ接続した複合エフェクトです。
40	Dist->Delay	DIST->DELAY	DISTORTIONとMOD. DELAYをシリーズ接続した複合エフェクトです。

その他のエフェクト

No.	タイトル	タイプ	エフェクトの効果
41	Multi.filter	MULTI.FILTER	3バンドのパラレルフィルターです。REMOTEページ1の“INTERNAL PARAMETER”と組み合わせて使うと効果的です。196ページの「フェーダーと[ON]キーの機能割り当て」をご参照ください。
42	Freeze	FREEZE	簡易サンプラーです。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

エフェクトをかける

信号にエフェクトをかける手順は、1)インプットチャンネル信号をエフェクトプロセッサに送出する、2)処理された信号をミックスに戻す、という2段階に分かれます。

次の3つのセクションでは、インプットチャンネル1~16、17~24、エフェクトリターンからの信号をそれぞれエフェクトプロセッサに送り出す方法を説明します。そして、最後のセクションでは、処理した信号をミックスに戻す方法について説明します。

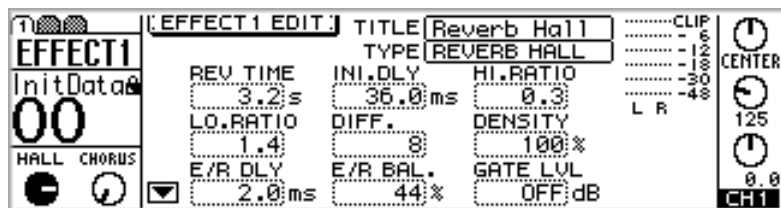
インプットチャンネル1~16信号

1. [HOME]キーを押してから、エフェクトをかけたいチャンネルのフェーダーを上げます。

エフェクトセンドは初期設定ではポストフェーダー信号なので、この手順が必要です。チャンネルフェーダーを上げないと信号がエフェクトセンドに入りません。詳細は、133ページの「エフェクトセンドのプリフェーダー/ポストフェーダー切り替え」をご参照ください。

2. [EFFECT 1]キーまたは[EFFECT 2]キーを押してエフェクトプロセッサを選択します。

次のようなEFFECTページが表示され、フェーダーでエフェクトセンド信号を調整できるようになります。

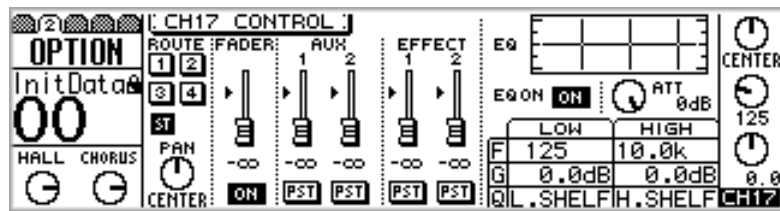


3. チャンネルフェーダー(エフェクトセンドレベルコントロール)を上げます。これでチャンネル信号が、選択したエフェクトプロセッサに送られます。エフェクトリターンメーターに、エフェクトリターン信号のレベルが表示されます。

各エフェクトプロセッサはモノ入力ですので、インプットチャンネル13と14(15と16も同様)の信号はモノミックスとしてまとめられてからエフェクトプロセッサに送られます。また、インプットチャンネル1~12をステレオペアに組むと(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)そのエフェクトセンドコントロールも連動します。

インプットチャンネル17～24信号

1. [OPTION I/O] 鍵で次のOPTIONページ2を表示させます。



2. [17] ~ [24] の [SEL] 鍵でチャンネルを選択します。
3. エフェクトをかけたいチャンネルのフェーダーを上げます。
エフェクトセンドは初期設定ではポストフェーダー信号なので、この手順が必要です。チャンネルフェーダーを上げないと信号がエフェクトセンドに入りません。詳細は、133ページの「エフェクトセンドのプリフェーダー/ポストフェーダー切り替え」をご参照ください。
4. [CURSOR] 鍵でEFFECTフェーダーを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] 鍵、[+1/INC] 鍵でエフェクトセンドのレベルを設定します。

エフェクトリターン1&2

信号のループを避けるため、エフェクトリターン1の信号はエフェクトセンド1には送れません。また、エフェクトリターン2の信号はエフェクトセンド2には送れません。

1. [HOME] 鍵を押してから、エフェクトをかけたいエフェクトリターンの [RETURN] コントロールを上げます。
エフェクトセンドは初期設定ではポストフェーダー信号なので、この手順が必要です。チャンネルフェーダーを上げないと信号がエフェクトセンドに入りません。詳細は、133ページの「エフェクトセンドのプリフェーダー/ポストフェーダー切り替え」をご参照ください。
2. [EFFECT 1] 鍵または [EFFECT 2] 鍵を押してエフェクトプロセッサを選択します。
次のようなEFFECTページが表示され、エフェクトリターンの回転ノブアイコンでエフェクトセンド信号を調整できるようになります。



3. [RETURN] コントロール(エフェクトセンドレベルコントロール)を上げます。
これでエフェクトリターン信号が、選択したエフェクトプロセッサに送られます。エフェクトセンドメーターに、エフェクトリターン信号のレベルが表示されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

エフェクトのかかった信号のリターン

エフェクトをかけた信号をミックスに戻します。

1. [HOME]キーを押します。
フェーダーは通常のチャンネルフェーダーとして機能します。
2. 使用しているエフェクトに対応するエフェクトリターンのコントロールを上げます。(エフェクト1なら[RETURN]1、エフェクト2なら[RETURN]2)
エフェクト処理された信号がミックスに戻ります。
3. 該当エフェクトリターンチャンネルのEQ、パンなどを設定します。
エフェクトプログラムはエフェクトライブラリーから呼び出すことができます。詳細は、140ページの「エフェクトプログラムの呼び出し」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

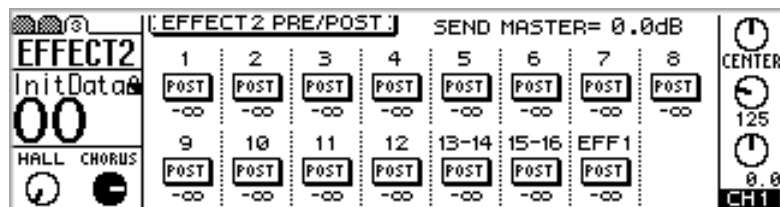
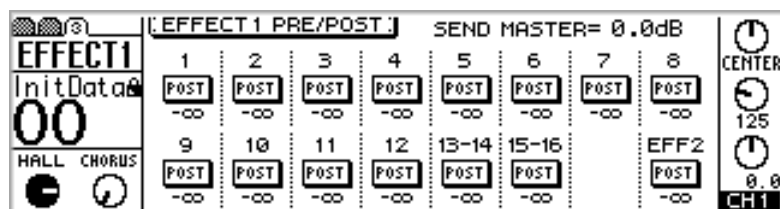
エフェクトセンドのプリフェーダー / ポストフェーダー切り替え

インプットチャンネル1~24とエフェクトリターン1,2のエフェクトセンドは、プリフェーダー信号にもポストフェーダー信号にも設定できます。

プリフェーダー信号とは、通常のチャンネルフェーダーで調整する前の信号のことで、チャンネルフェーダーの設定には影響を受けません。ポストフェーダー信号とは、チャンネルフェーダーを通過した信号のことで、フェーダーの設定によって影響を受けます。ポストフェーダーセンドでは、通常のチャンネルフェーダーを使って、チャンネルレベルとエフェクトセンドレベルを同時に調整することができます。

インプットチャンネル1~16およびエフェクトリターン

1. [EFFECT 1] 鍵でエフェクト1のPRE/POSTページを、または[EFFECT 2] 鍵でエフェクト2のPRE/POSTページを表示させます。それぞれ次のような画面が表示されます。



四角で囲まれたPRE/POSTボタンの下にある値は、エフェクトセンドフェーダーの位置を表わしています。該当するエフェクトセンドマスターフェーダーの位置の値は、ページの一番上の行にdB表示されています。

信号ループを避けるため、エフェクトリターン1はエフェクト2にのみ、またエフェクトリターン2はエフェクト1にのみ送られます。EFFECT 1ページ3にエフェクト1のPRE/POSTボタンがなく、またEFFECT 2ページ3にエフェクト2のPRE/POSTボタンがないのはそのためです。

2. [SEL] 鍵が[CURSOR] 鍵でPRE/POSTボタンを選択し、[ENTER] 鍵、[PARAMETER]ダイヤル、または[-1/DEC] 鍵、[+1/INC] 鍵で設定します。

インプットチャンネル13と14(15と16も同様)のPRE/POSTボタンは常に連動します。インプットチャンネル1~12はステレオペアを組むと(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)そのPRE/POSTボタンも連動します。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

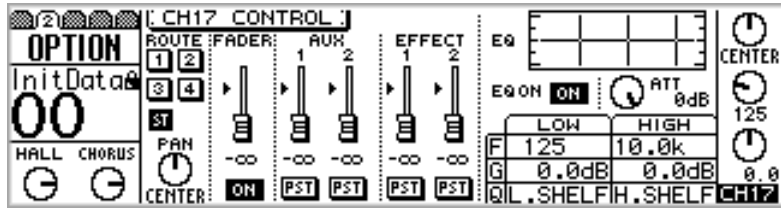
MIDI

システム例

付録

インプットチャンネル17~24

- [OPTION I/O] ｷｰで次のOPTIONページ2を表示させます。

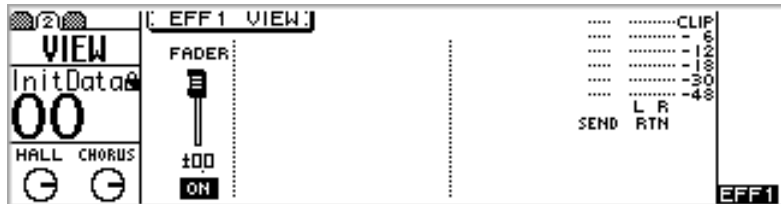
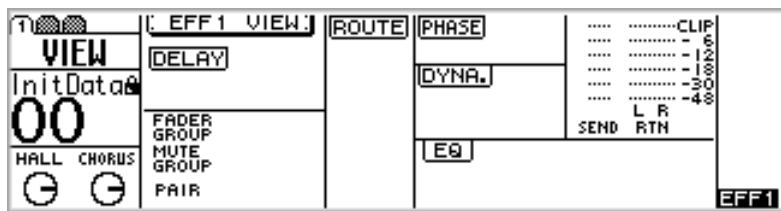


- [17] ~ [24] の [SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
- [CURSOR] ｷｰでEFFECT PRE/PST (POST) ボタンを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰで設定します。

エフェクトセンドマスター設定の確認

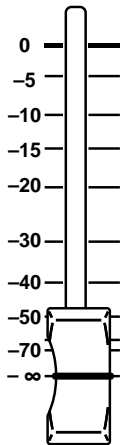
VIEWページ1と2ではエフェクトセンドマスターの設定を確認したり、一部パラメーターを調整したりすることができます。またエフェクトセンドのレベルも画面のメーターで確認できます。

- [EFFECT 1] ｷｰまたは [EFFECT 2] ｷｰでエフェクトセンドマスターを選択し、MASTERの [SEL] ｷｰを押します。
画面にEFF1またはEFF2と表示され、エフェクトセンドマスターが選択されたことがわかります。
- [VIEW] ｷｰで次のVIEWページ1と2を表示させます。



- [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤル、[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰ、[ENTER] ｷｰで設定します。
パラメーターについては次のセクションで説明します。

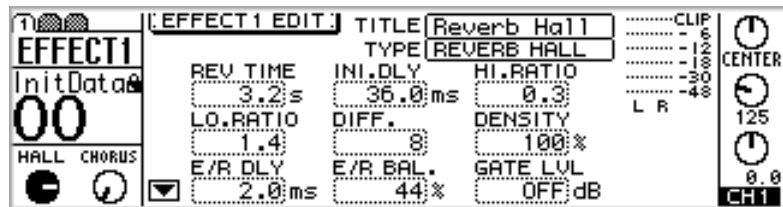
エフェクトセンドマスターレベルの設定



STEREO
MASTER

エフェクトセンドマスターレベルはMASTERフェーダーで調整します。このフェーダーの機能は、選択しているフェーダーモードによって異なります。詳細は、39ページの「フェーダー(および RETURN)コントロール」をご参照ください。

1. [EFFECT 1] ｷｰまたは[EFFECT 2] ｷｰでエフェクトセンドを選択します。次のようなEFFECTページが表示されます。



2. MASTERフェーダーでエフェクトセンドのマスターレベルを調整します。エフェクトセンドマスターフェーダーの設定値は、EFFECT PRE/POSTページの一番上の行にdB表示されます。

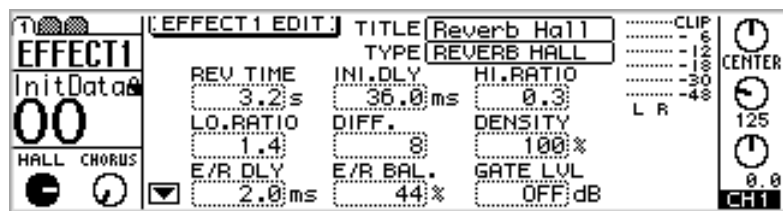
エフェクトセンドマスターレベルはVIEWページでも確認、調整できます。詳細は、134ページの「エフェクトセンドマスター設定の確認」をご参照ください。

エフェクトセンドマスターのミュート



エフェクトセンドマスターはMASTERの[ON] ｷｰでミュートすることができます。エフェクトセンドがオンのときは、このキーについているインジケータが点灯します。このキーの機能は、選択しているフェーダーモードによって異なります。詳細は、37ページの「ONキー」をご参照ください。

1. [EFFECT 1] ｷｰまたは[EFFECT 2] ｷｰでエフェクトセンドを選択します。次のようなEFFECTページが表示されます。



MASTERの[ON] ｷｰが選択したエフェクトセンドのマスターオン/オフとして機能します。

2. MASTERの[ON] ｷｰでエフェクトセンドマスターをオン/オフします。エフェクトセンドマスターボタンはVIEWページで確認、設定できます。詳細は、134ページの「エフェクトセンドマスター設定の確認」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

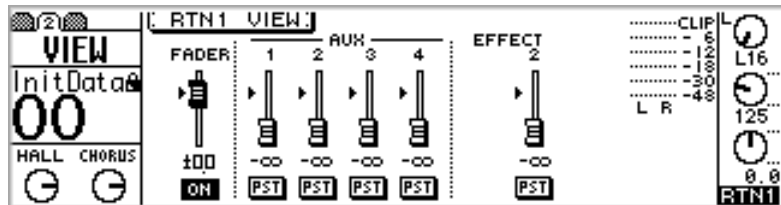
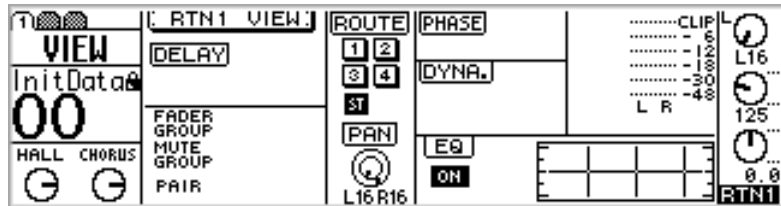
システム例

付録

エフェクトリターン設定の確認

VIEWページ1と2ではエフェクトリターンの設定を確認したり、一部パラメーターを調整したりすることができます。

- RETURNの[SEL]キーでエフェクトリターンを選択します。
画面にRTN1またはRTN2と表示され、エフェクトリターンが選択されたことがわかります。
- [VIEW]キーで次のVIEWページ1と2を表示させます。



- [CURSOR]キーでパラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤル、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キー、[ENTER]キーで設定します。
パラメーターについては次のセクションで説明します。

エフェクトリターンのメーター

エフェクトリターン信号のレベルは、HOMEページで見ることができます。詳細は、88ページの「信号レベルメーター」をご参照ください。

エフェクトリターンのイコライジング

エフェクトリターンは4バンドのパラメトリックイコライザーを搭載しています。詳細は、65ページの「イコライザー」をご参照ください。VIEWページではEQをオン/オフしたりEQカーブを確認したりすることができます。詳細は、このページの「エフェクトリターン設定の確認」をご参照ください。

エフェクトリターンのミュート



エフェクトリターンはRETURNの[ON]キーでオン/オフ(ミュート)することができます。エフェクトリターンがオンのときは、[ON]キーの上についているインジケータが点灯します。

エフェクトリターンレベルの設定



エフェクトリターンレベルは、[RETURN]コントロールで調整します。調整には、まず[HOME]キーを押してからコントロールを操作します。

このコントロールの機能は、選択しているフェーダーモードによって異なります。詳細は、39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。選択しているフェーダーモードはディスプレイ上に表示されます。詳細は、30ページの「ディスプレイ」をご参照ください。

エフェクトリターンのパン設定

エフェクトリターンのパンを設定して、ステレオアウトの左右チャンネル間またはバスアウトの奇数・偶数間で信号を振ります。詳細は、52ページの「インプットチャンネルのパン設定」をご参照ください。

エフェクトリターンのルーティング

エフェクトリターンは4系統のバスおよびステレオアウトに送ることができます。詳細は、54ページの「インプットチャンネルのルーティング」をご参照ください。

エフェクトリターンのモニター

エフェクトリターンはMONITOR OUT端子またはPHONES端子からモニターできます。詳細は、82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。

エフェクトリターンとAUXアウト

エフェクトリターン1と2からの信号をAUXアウト1~4に送ることができます。また、プリフェーダーセンドにもポストフェーダーセンドにも設定できます。AUXアウトをステレオペアに組むと、AUXセンドのパン設定を各エフェクトリターンで調整することができます。詳細は、99ページの「AUXアウト」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

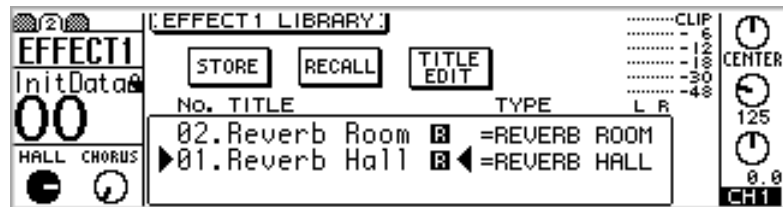
システム例

付録

エフェクトライブラリー

エフェクトの設定は、エフェクトライブラリーにプログラムとして保存できます。エフェクトライブラリーには42のプリセットプログラム(1~42)と57のユーザープログラム(43~99)が含まれています。自分のエフェクト設定をユーザープログラムに保存し、さらに区別しやすいようにタイトルを付けることができます。また、特定のエフェクトの設定を別のエフェクトにコピーしたいときにもエフェクトライブラリーを利用します。たとえば、エフェクト1の設定をライブラリープログラムとして保存し、これをエフェクト2に読み込むことが可能です。プリセットプログラムには、特定の用途や楽器にあわせて調節された、個性的なエフェクトプログラムが集められています。エフェクトの設定を行うときに格好の参考例、あるいは開始点として利用できます。プリセットのエフェクトライブラリーリストは、127ページをご参照ください。

エフェクトライブラリーの操作は、下の画面、LIBRARYページで行います。このページを呼び出すには[EFFECT 1]キーまたは[EFFECT 2]キーを使用します。どちらのキーでも呼び出すことができますが、ライブラリー自体は両方のエフェクトに共通です。[EFFECT 1]キーでライブラリーを選択した場合はエフェクト1が、[EFFECT 2]キーで選択した場合はエフェクト2が保存/呼び出し操作の対象となります。



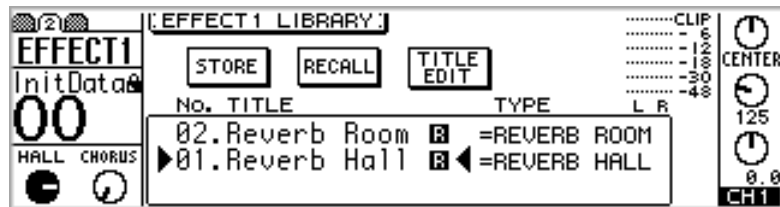
LIBRARYページの上半分には、STORE、RECALL、TITLE EDITの各ボタンが表示されます。その下にはライブラリー欄があり、[PARAMETER]ダイヤルを使ってスクロールします。各プリセットプログラムの横にある「B」という表示は「リードオンリー(読み出し専用)」という意味です。右上のL、Rメーターは選択したエフェクトプロセッサのエフェクトリターン信号レベルを表示します。

エフェクトプログラムの保存

カスタムのエフェクト設定を保存できるのはユーザープログラム43～99です。

1. [EFFECT 1] ｷｰまたは [EFFECT 2] ｷｰを使ってLIBRARYページを表示させます。

エフェクト1のエフェクト設定を保存する場合は [EFFECT 1] ｷｰを、またエフェクト2のエフェクト設定を保存する場合は [EFFECT 2] ｷｰを使用してください。



2. [PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰでユーザープログラム43～99から選びます。
プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERオプションで変更することができます。
3. [CURSOR] ｷｰでSTOREボタンを選択してから、[ENTER] ｷｰを押します。
TITLE EDITダイアログボックスが現われます。
プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でSTORE CONFIRMATIONオプションがオフになっているときは、TITLE EDITダイアログボックスは表示されず、そのままエフェクトプログラムは保存されます。
4. エフェクトプログラムのタイトルを入力します。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
5. OKを選択し [ENTER] ｷｰを押します。
エフェクトプログラムが保存されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

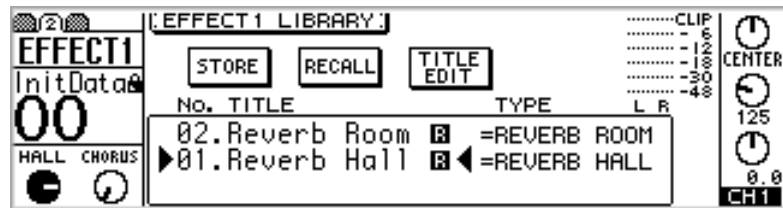
付録

エフェクトプログラムの呼び出し

エフェクトプログラム1～99の中から任意のプログラムが呼び出せます。ただし、HQ.PITCHまたはFREEZEのエフェクトタイプを使用しているエフェクトプログラムは、エフェクト2のみで使用可能です。

1. [EFFECT 1]キーまたは[EFFECT 2]キーを使ってLIBRARYページを表示させます。

エフェクト1のエフェクト設定を呼び出す場合は[EFFECT 1]キーを、またエフェクト2のエフェクト設定を呼び出す場合は[EFFECT 2]キーを使用してください。



2. [PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーでエフェクトプログラム1～99から選びます。

プログラムを選択すると、そのプログラムで使用しているエフェクトのタイプが表示されます。

プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERオプションで変えることができます。

3. [CURSOR]キーでRECALLボタンを選択してから、[ENTER]キーを押します。

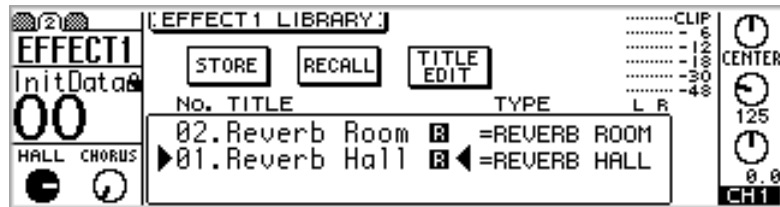
エフェクトプログラムが呼び出されます。

プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でRECALL CONFIRMATIONオプションがオンになっているときは、確認のダイアログボックスが表示されます。その場合はOKを選択し、[ENTER]キーを押してエフェクトプログラムを呼び出してください。

エフェクトプログラムタイトルのエディット

タイトルエディット機能でユーザープログラムのタイトルをエディットします。

1. [EFFECT 1] ｷｰまたは [EFFECT 2] ｷｰを使ってLIBRARYページを表示させます。



2. [PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰでユーザープログラム43～99から選びます。
3. [CURSOR] ｷｰでTITLE EDITボタンを選択してから、[ENTER] ｷｰを押します。
TITLE EDITダイアログボックスが現われます。
4. エフェクトプログラムのタイトルを変更します。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
5. OKを選択し [ENTER] ｷｰを押します。
これでプログラムに新しいタイトルが付きました。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

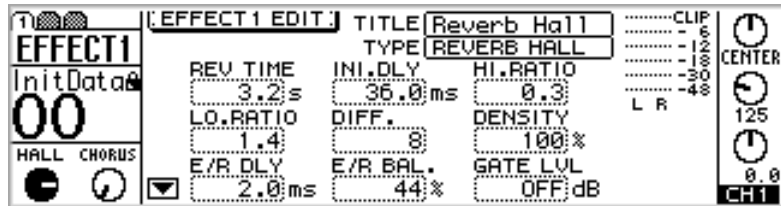
システム例

付録

エフェクトのエディット

エフェクトプログラムを編集し、これをユーザープログラムとして保存することができます。

1. エディットしたいエフェクトに応じて、[EFFECT 1] 鍵—または [EFFECT 2] 鍵—を押して EFFECT 1 ページ1 または EFFECT 2 ページ1 を表示させます。
次の例は EFFECT 1 ページです。



2. [CURSOR] 鍵—でエフェクトパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは [-1/DEC] 鍵—、[+1/INC] 鍵—で設定します。

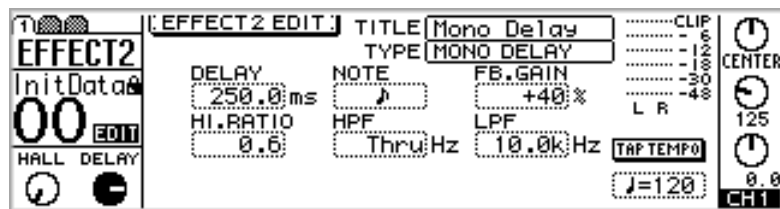
この例でパラメーター表示左わきにある下向きの矢印のように上下の矢印があると、表示以外のパラメーターがあることを示しているため、上下の [CURSOR] 鍵—を使って表示以外のパラメーターを選択できます。

エフェクトパラメーターの名称と、可変範囲、内容については、144ページの「エフェクトパラメーターリスト」をご参照ください。

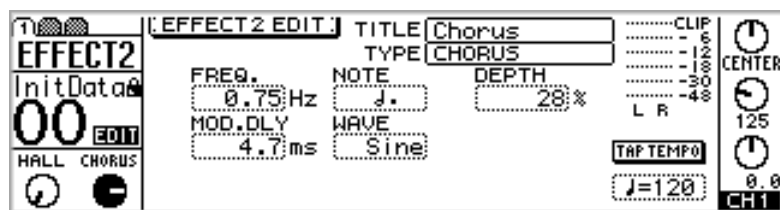
エディットしたプログラムを保存する手順については、139ページの「エフェクトプログラムの保存」をご参照ください。

DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定

DELAY(ディレイ)パラメーターの設定は、ミリ秒単位でディレイタイムを直接入力するか、NOTEパラメーターおよびTEMPOパラメーターを入力して自動で設定する二つの方法があります。たとえば、下の画面のようにTEMPOパラメーターを毎分120拍、NOTEパラメーターを8分音符に設定すると、ディレイは250ミリ秒に自動で設定されます。また、下の画面のように設定されていた場合、DELAYパラメーターを変更するとTEMPOパラメーターの設定に基づいてNOTEパラメーターが自動で設定されます。TEMPOが120に設定されていますからDELAYパラメーターが500.0に変化すると、NOTEは4分音符に自動で設定されます。同じように、NOTEを変更したときは、逆にTEMPOからDELAYが算出されます。たとえばNOTEが16分音符になると、DELAYは125.5に設定されます。さらに、TEMPOを変更するとその直前にDELAYが設定されたときのDELAYとTEMPOの値を基準にした比率でDELAYが自動で更新されます。たとえば、TEMPOを100にすると、DELAYは $250.0 \times 120/100$ で300.0msになります。TEMPOは25～300に設定できますが、このような算出方法からDELAYの最大値を超えた場合は、設定範囲がせまくなることもあります。



モジュレーションタイプのエフェクトでも、FREQ(周波数)パラメーターをマニュアルまたは自動で設定できます。例として、下の画面のようにTEMPOを毎分120拍、NOTEを4分音符に設定すると、FREQ.パラメーターは自動で2.00ヘルツに設定されます。また、上述のディレイパラメーターの設定と同じようにこのモジュレーションタイプのエフェクトでも、FREQ.パラメーターを変更すると、TEMPOパラメーターの設定に基づいてNOTEが自動で設定され、あるいはNOTEを変更するとTEMPOに基づいてFREQ.パラメーターが設定され、あるいはTEMPOパラメーターを変更すると変更前のFREQ.とTEMPOの設定値に基づいてFREQ.が算出されます。



TEMPOパラメーターはマニュアルで入力するか、タップテンポ機能を使って設定します。タップテンポ機能の使い方は、TAP TEMPOボタンを選択し、各ビートで[ENTER]キーを押します。キーを押す間隔をもとにTEMPOが計算されます。

注: MIDIコントロールチェンジとシステムエクスクルーシブパラメーターチェンジメッセージは、DELAYまたはFREQ.パラメーターのみ送信します。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

エフェクトパラメーターリスト

各エフェクトをエディットするときに使うパラメーターです。

タイプ: REVERB HALL, REVERB ROOM, REVERB STAGE, REVERB PLATE

パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.0 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
LO.RATIO	0.1 ~ 2.4	リバーブの低域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DIFF.	0 ~ 10	リバーブ音の左右のひろがりです。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
E/R DLY	0.0 ~ 100.0 [ms]	初期反射音(ER)からリバーブまでの遅延時間です。
E/R BAL.	0 ~ 100 [%]	初期反射音とリバーブの音量バランスです。
GATE LVL	OFF, -60 ~ 0 [dB]	ゲートのスレッシュホールドレベルです。
ATTACK	0 ~ 120 [ms]	ゲートが開くのにかかる時間です。
HOLD	*1	ゲートが閉じ始めるまでの時間です。
DECAY	*2	ゲートが閉じる速さです。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1 0.02ms ~ 2.13s (@fs=44.1kHz), 0.02ms ~ 1.96s (@fs=48kHz)

*2 6.0ms ~ 46.0s (@fs=44.1kHz), 5.0ms ~ 42.3s (@fs=48kHz)

タイプ: EARLY REF.

パラメーター	設定範囲	機能
TYPE	*1	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1 ~ 20.0	部屋の大きさつまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0 ~ 10	反射音の減衰のしかたを表わします。0:dead, 10:live
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DIFF.	0 ~ 10	反射音の左右のひろがりです。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	反射音の密度です。
ER NUM.	1 ~ 19	反射音の本数です。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1 S-Hall, L-Hall, Random, Reverse, Plate, Spring

タイプ: GATE REVERB, REVERSE GATE

パラメーター	設定範囲	機能
TYPE	Type-A, Type-B	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1 ~ 20.0	部屋の大きさつまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0 ~ 10	反射音の減衰のしかたを表わします。0:dead, 10:live
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DIFF.	0 ~ 10	反射音の左右のひろがりです。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	反射音の密度です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
ER NUM.	1 ~ 19	反射音の本数です。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

タイプ: MONO DELAY

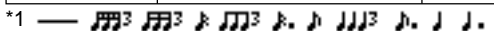
パラメーター	設定範囲	機能
DELAY	0.0 ~ 2730.0 [ms]	ディレイタイムです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からDELAYを換算するための値です。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1  ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ: STEREO DELAY

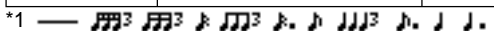
パラメーター	設定範囲	機能
DELAY L	0.0 ~ 1350.0 [ms]	Lチャンネルのディレイタイムです。
NOTE L	*1	TEMPO(*2)からDELAY Lを換算するための値です。
FB.G L	-99 ~ +99 [%]	Lチャンネルのフィードバックの量です。
DELAY R	0.0 ~ 1350.0 [ms]	Rチャンネルのディレイタイムです。
NOTE R	*1	TEMPO(*2)からDELAY Rを換算するための値です。
FB.G R	-99 ~ +99 [%]	Rチャンネルのフィードバックの量です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。


*1  ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ: MOD.DELAY

パラメーター	設定範囲	機能
DELAY	0.0 ~ 2725.0 [ms]	ディレイタイムです。
DLY NOTE	*1	TEMPO(*3)からDELAYを換算するための値です。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00k [Hz]	モジュレーションのスピードです。
MOD NOTE	*2	TEMPO(*3)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1  ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*2 

*3 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

タイプ:CHORUS

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:FLANGE

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:SYMPHONIC

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:PHASER

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
OFFSET	0 ~ 100	フェイズシフトのかかる周波数のオフセットです。
STAGE	2, 4, 8, 10, 12, 14, 16	フェイズシフトの段数です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

タイプ:AUTOPAN

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*3)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
DIR.	*2	パンニング効果の方向です。
WAVE	Sine, Tri, Square	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波、Square:矩形波)

*1

*2 L R, L R, L R, Turn L, Turn R

*3 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:TREMOLO

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
WAVE	Sine, Tri, Square	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波、Square:矩形波)

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:HQ.PITCH(エフェクト2のみ)

パラメーター	設定範囲	機能
PITCH	- 12 ~ + 12	ピッチチェンジの変化量(半音単位)です。
FINE	- 50 ~ + 50 [ct]	ピッチチェンジの微調整(1セント単位)です。
MODE	1 ~ 10	ピッチチェンジの精度です。
DELAY	0.1 ~ 1000.0 [ms]	ピッチチェンジのディレイタイムです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からDELAYを換算するための値です。
FB.GAIN	- 99 ~ + 99 [%]	フィードバックの量です。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:DUAL PITCH

パラメーター	設定範囲	機能
PITCH L	- 24 ~ + 24	ピッチチェンジLの変化量(半音単位)です。
FINE L	- 50 ~ + 50 [ct]	ピッチチェンジLの微調整(1セント単位)です。
LEVEL L	- 100 ~ + 100 [%]	ピッチチェンジLのレベルです。
PITCH R	- 24 ~ + 24	ピッチチェンジRの変化量(半音単位)です。
FINE R	- 50 ~ + 50 [ct]	ピッチチェンジRの微調整(1セント単位)です。
LEVEL R	- 100 ~ + 100 [%]	ピッチチェンジRのレベルです。
DELAY L	0.0 ~ 1000.0 [ms]	ピッチチェンジLのディレイタイムです。
NOTE L	*1	TEMPO(*2)からDELAY Lを換算するための値です。
FB.G L	- 99 ~ + 99 [%]	ピッチチェンジLのフィードバックの量です。
DELAY R	0.0 ~ 1000.0 [ms]	ピッチチェンジRのディレイタイムです。
NOTE R	*1	TEMPO(*2)からDELAY Rを換算するための値です。
FB.G R	- 99 ~ + 99 [%]	ピッチチェンジRのフィードバックの量です。
MODE	1 ~ 10	ピッチチェンジの精度です。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:ROTARY

パラメーター	設定範囲	機能
ROTATE	STOP, START	STOP:停止、START:回転
SPEED	SLOW, FAST	回転の速さの切り替えです。 SLOW:SLOWパラメーターで設定した速度で回転します。 FAST:FASTパラメーターで設定した速度で回転します。
DRIVE	0 ~ 100	ディストーションの深さです。
ACCEL	0 ~ 10	設定速度までに到達する速さが変化します。
LOW	0 ~ 100	低域成分のレベルです。
HIGH	0 ~ 100	高域成分のレベルです。
SLOW	0.05 ~ 10.00 [Hz]	SPEED=SLOWのときの回転速度を設定します。
FAST	0.05 ~ 10.00 [Hz]	SPEED=FASTのときの回転速度を設定します。

タイプ:RING MOD.

パラメーター	設定範囲	機能
SOURCE	OSC, SELF	変調に使うソースを選択します。(OSC:発振器、SELF:入力自身で変調します。このときは以下のパラメーターはすべて無効になります。)
OSC FREQ	0.0 ~ 3000.0 [Hz]	リング変調に使う発振器の周波数です。
FM FREQ	0.05 ~ 40.00 [Hz]	OSC FREQを変化させる周期を設定します。
NOTE FM	*1	TEMPO(*2)からFM FREQを換算するための値です。
FM DEPTH	0 ~ 100 [%]	OSC FREQの変化幅を設定します。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:MOD.FILTER

パラメーター	設定範囲	機能
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
TYPE	LPF, HPF, BPF	フィルターのタイプです。(LPF:ローパスフィルター、HPF:ハイパスフィルター、BPF:バンドパスフィルター)
OFFSET	0 ~ 100	フィルターの周波数のオフセットです。
RESO.	0 ~ 20	フィルターのレゾナンスです。
PHASE	0.00 ~ 354.38 [dg]	LFOの左右の位相差です。
LEVEL	0 ~ 100	出力レベルです。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:DISTORTION

パラメーター	設定範囲	機能
DST TYPE	*1	ディストーションのタイプを選択します。
DRIVE	0 ~ 100	ディストーションの深さです。
MASTER	0 ~ 100	マスターレベルのコントロールです。
TONE	-10 ~ +10	トーンコントロールです。
N.GATE	0 ~ 20	ノイズゲートの効きです。

*1 DST1, DST2, OVD1, OVD2, CRUNCH

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

タイプ:AMP SIMULATE

パラメーター	設定範囲	機能
AMP TYPE	*1	アンプのタイプを選択します。
DST TYPE	*2	ディストーションのタイプを選択します。
N.GATE	0 ~ 20	ノイズゲートの効きです。
DRIVE	0 ~ 100	ディストーションの深さです。
MASTER	0 ~ 100	マスターレベルのコントロールです。
CAB DEP	0 ~ 100 [%]	スピーカーシミュレーションの深さです。
BASS	0 ~ 100	低域成分のトーンコントロールです。
MIDDLE	0 ~ 100	中域成分のトーンコントロールです。
TREBLE	0 ~ 100	高域成分のトーンコントロールです。
EQ F	99 ~ 8.0k [Hz]	パラメトリックイコライザーの周波数です。
EQ G	- 12 ~ + 12 [dB]	パラメトリックイコライザーのゲインです。
EQ Q	10.0 ~ 0.10	パラメトリックイコライザーのバンド幅です。

*1 STK-M1, STK-M2, THRASH, MIDBST, CMB-PG, CMB-VR, CMB-DX, CMB-TW, MINI, FLAT

*2 DST1, DST2, OVD1, OVD2, CRUNCH

タイプ:DYNA.FILTER

パラメーター	設定範囲	機能
SOURCE	INPUT, MIDI	変調用の入力ソースを選びます。(INPUT:入力信号、MIDI:MIDIノートオンメッセージ)
SENSE	0 ~ 100	入力感度です。
TYPE	LPF, HPF, BPF	フィルターのタイプです。(LPF:ローパスフィルター、HPF:ハイパスフィルター、BPF:バンドパスフィルター)
OFFSET	0 ~ 100	フィルターの周波数のオフセットです。
RESO.	0 ~ 20	フィルターのレゾナンスです。
LEVEL	0 ~ 100	出力レベルです。
DIR.	UP, DOWN	入力に応じてフィルターの周波数の動く方向です。
DECAY	*1	フィルターの周波数の動く速さです。

*1 6.0ms ~ 46.0s (@fs=44.1kHz), 5.0ms ~ 42.3s (@fs=48kHz)

タイプ:DYNA.FLANGE

パラメーター	設定範囲	機能
SOURCE	INPUT, MIDI	変調用の入力ソースを選びます。(INPUT:入力信号、MIDI:MIDIノートオンメッセージ)
SENSE	0 ~ 100	入力感度です。
FB GAIN	- 99 ~ + 99 [%]	フィードバックの量です。
OFFSET	0 ~ 100	ディレイタイムのオフセット量です。
DIR.	UP, DOWN	入力に応じて共鳴周波数の動く方向です。
DECAY	*1	共鳴周波数の動く速さです。

*1 6.0ms ~ 46.0s (@fs=44.1kHz), 5.0ms ~ 42.3s (@fs=48kHz)

タイプ:DYNA.PHASER

パラメーター	設定範囲	機能
SOURCE	INPUT, MIDI	変調用の入力ソースを選びます。(INPUT:入力信号、MIDI:MIDIノートオンメッセージ)
SENSE	0 ~ 100	入力感度です。
FB GAIN	- 99 ~ + 99 [%]	フィードバックの量です。
OFFSET	0 ~ 100	フェイズシフトのかかる周波数のオフセットです。
DIR.	UP, DOWN	入力に応じてフェイズシフトの周波数の動く方向です。
STAGE	2, 4, 8, 10, 12, 14, 16	フェイズシフトの段数です。
DECAY	*1	フェイズシフトの周波数の動く速さです。

*1 6.0ms ~ 46.0s (@fs=44.1kHz), 5.0ms ~ 42.3s (@fs=48kHz)

タイプ:REV + CHORUS

パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
REV/CHO	0 ~ 100 [%]	REVERBとCHORUSのバランスです。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:REV CHORUS

パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
REV BAL.	0 ~ 100 [%]	REVERBとCHORUSのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:REV + FLANGE

パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0. ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波)
REV/FLG	0 ~ 100 [%]	REVERBとFLANGEのバランスです。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

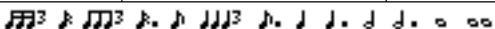
MIDI

システム例

付録

タイプ:REV FLANGE

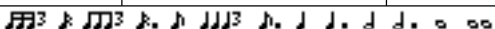
パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波, Tri:三角波)
REV BAL.	0 ~ 100 [%]	REVERBとFLANGEのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1 

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:REV + SYMPHO.

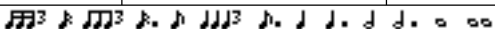
パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波, Tri:三角波)
REV/SYM	0 ~ 100 [%]	REVERBとSYMPHONICのバランスです。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1 

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:REV SYMPHO.

パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*2)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
MOD.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	ディレイタイムです。
WAVE	Sine, Tri	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波, Tri:三角波)
REV BAL.	0 ~ 100 [%]	REVERBとSYMPHONICのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1 

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ.(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:REV PAN

パラメーター	設定範囲	機能
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
NOTE	*1	TEMPO(*3)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。
DIR.	*2	パンニング効果の方向です。
WAVE	Sine, Tri, Square	モジュレーションの波形です。(Sine:正弦波、Tri:三角波、Square:矩形波)
REV BAL.	0 ~ 100 [%]	REVERBとAUTO PANのかかったREVERBのバランスです。100%でREVERBのみになります。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1

*2 L R, L R, L R, Turn L, Turn R

*3 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:DELAY + ER.

パラメーター	設定範囲	機能
DELAY L	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Lチャンネルのディレイタイムです。
NOTE L	*1	TEMPO(*3)からDELAY Lを換算するための値です。
FB.GAIN	-99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
DELAY R	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Rチャンネルのディレイタイムです。
NOTE R	*1	TEMPO(*3)からDELAY Rを換算するための値です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FB.DLY	0.0 ~ 1000.0 [ms]	フィードバックのディレイタイムです。
NOTE FB	*1	TEMPO(*3)からFB.DLYを換算するための値です。
DLY/ER	0 ~ 100 [%]	DELAYとERのバランスです。
TYPE	*2	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1 ~ 20.0	部屋の大きさつまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0 ~ 10	反射音の減衰のしかたを表わします。0:dead、10:live
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	初期反射音が出るまでの遅延時間です。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	反射音の密度です。
ER NUM.	1 ~ 19	反射音の本数です。

*1 ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*2 S-Hall, L-Hall, Random, Revers, Plate, Spring

*3 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

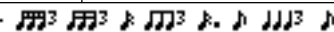
MIDI

システム例

付録

タイプ:DELAY ER.

パラメーター	設定範囲	機能
DELAY L	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Lチャンネルのディレイタイムです。
NOTE L	*1	TEMPO(*3)からDELAY Lを換算するための値です。
FB.GAIN	- 99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
DELAY R	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Rチャンネルのディレイタイムです。
NOTE R	*1	TEMPO(*3)からDELAY Rを換算するための値です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FB.DLY	0.0 ~ 1000.0 [ms]	フィードバックのディレイタイムです。
NOTE FB	*1	TEMPO(*3)からFB.DLYを換算するための値です。
DLY BAL.	0 ~ 100 [%]	DELAYとERのかかったDELAYのバランスです。100%でDELAYのみになります。
TYPE	*2	初期反射音(ER)のパターンのタイプです。
ROOMSIZE	0.1 ~ 20.0	部屋の大きさつまり反射音の間隔を表わします。
LIVENESS	0 ~ 10	反射音の減衰のしかたを表わします。0:dead, 10:live
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	初期反射音がでるまでの遅延時間です。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	反射音の密度です。
ER NUM.	1 ~ 19	反射音の本数です。

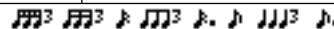
*1  ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*2 S-Hall, L-Hall, Random, Revers, Plate, Spring

*3 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:DELAY + REV

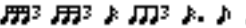
パラメーター	設定範囲	機能
DELAY L	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Lチャンネルのディレイタイムです。
NOTE L	*1	TEMPO(*2)からDELAY Lを換算するための値です。
FB.GAIN	- 99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
DELAY R	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Rチャンネルのディレイタイムです。
NOTE R	*1	TEMPO(*2)からDELAY Rを換算するための値です。
DLY HI	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FB.DLY	0.0 ~ 1000.0 [ms]	フィードバックのディレイタイムです。
NOTE FB	*1	TEMPO(*2)からFB.DLYを換算するための値です。
DLY/REV	0 ~ 100 [%]	DELAYとREVERBのバランスです。
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
REV HI	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1  ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:DELAY REV

パラメーター	設定範囲	機 能
DELAY L	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Lチャンネルのディレイタイムです。
NOTE L	*1	TEMPO(*2)からDELAY Lを換算するための値です。
FB.GAIN	- 99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
DELAY R	0.0 ~ 1000.0 [ms]	Rチャンネルのディレイタイムです。
NOTE R	*1	TEMPO(*2)からDELAY Rを換算するための値です。
DLY HI	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FB.DLY	0.0 ~ 1000.0 [ms]	フィードバックのディレイタイムです。
NOTE FB	*1	TEMPO(*2)からFB.DLYを換算するための値です。
DLY BAL	0 ~ 100 [%]	DELAYとREVERBのかかったDELAYバランスです。100%でDELAYのみになります。
REV TIME	0.3 ~ 99.9 [s]	リバーブの残響の長さです。
INI.DLY	0.0 ~ 500.0 [ms]	リバーブの初期反射音が出るまでの遅延時間です。
REV HI	0.1 ~ 1.0	リバーブの高域成分の残響時間をREV TIMEに対する比率で表しています。
DENSITY	0 ~ 100 [%]	リバーブの密度です。
HPF	Thru, 21 ~ 8.0k [Hz]	ハイパスフィルターのカットオフ周波数です。
LPF	50 ~ 16.0k, Thru [Hz]	ローパスフィルターのカットオフ周波数です。

*1  ただし最大値はTEMPOの設定によります。


*2 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

タイプ:DIST DELAY

パラメーター	設定範囲	機 能
DST TYPE	*1	ディストーションのタイプを選択します。
DRIVE	0 ~ 100	ディストーションの深さです。
MASTER	0 ~ 100	マスターレベルのコントロールです。
TONE	- 10 ~ +10	トーンコントロールです。
N.GATE	0 ~ 20	ノイズゲートの効きです。
DLY BAL	0 ~ 100 [%]	ディレイの量です。
DELAY	0.0 ~ 2725.0 [ms]	ディレイタイムです。
DLY NOTE	*2	TEMPO(*4)からDELAYを換算するための値です。
FB.GAIN	- 99 ~ +99 [%]	フィードバックの量です。
HI.RATIO	0.1 ~ 1.0	フィードバックの高域成分の量です。
FREQ.	0.05 ~ 40.00 [Hz]	モジュレーションのスピードです。
MOD NOTE	*3	TEMPO(*4)からFREQ.を換算するための値です。
DEPTH	0 ~ 100 [%]	モジュレーションの深さです。

*1 DST1, DST2, OVD1, OVD2, CRUNCH

*2  ただし最大値はTEMPOの設定によります。

*3 

*4 詳細は、143ページの「DELAY(ディレイ)、FREQ(周波数)、NOTE(ノート)、TEMPO(テンポ)のパラメーター設定」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

タイプ: MULTI FILTER

パラメーター	設定範囲	機能
TYPE 1	HPF, LPF, BPF	フィルター1のタイプを設定します。
TYPE 2	HPF, LPF, BPF	フィルター2のタイプを設定します。
TYPE 3	HPF, LPF, BPF	フィルター3のタイプを設定します。
FREQ. 1	28 ~ 16.0k [Hz]	フィルター1の周波数を設定します。
FREQ. 2	28 ~ 16.0k [Hz]	フィルター2の周波数を設定します。
FREQ. 3	28 ~ 16.0k [Hz]	フィルター3の周波数を設定します。
LEVEL 1	0 ~ 100	フィルター1のレベルを設定します。
LEVEL 2	0 ~ 100	フィルター2のレベルを設定します。
LEVEL 3	0 ~ 100	フィルター3のレベルを設定します。
RESO. 1	0 ~ 20	フィルター1のレゾナンスを設定します。
RESO. 2	0 ~ 20	フィルター2のレゾナンスを設定します。
RESO. 3	0 ~ 20	フィルター3のレゾナンスを設定します。

タイプ: FREEZE(エフェクト2のみ)

パラメーター	設定範囲	機能
REC MODE	MANUAL, INPUT	録音のモードを設定します。MANUALでは[ENTER]キーで、INPUTでは入力信号をトリガーに録音を始めます。詳しくは、下の手順を参照してください。
START	*1	再生を開始するポイントをms単位で設定します。
[SAMPLE]	0 ~ 131070	再生を開始するポイントをsample単位で設定します。
PLY MODE	MOMENT, CONTINUE, INPUT	再生のモードを設定します。MOMENTは[ENTER]キーを押している間再生、CONTINUEでは[ENTER]キーを押すと、設定した回数だけ繰り返し再生、INPUTではその動作を入力信号でスタートさせます。詳しくは、下の手順を参照してください。
END	*1	再生を終了するポイントをms単位で設定します。
[SAMPLE]	0 ~ 131070	再生を終了するポイントをsample単位で設定します。
LOOP NUM	0 ~ 100	ループする回数を設定します。
LOOP	*1	ループポイントをms単位で設定します。
[SAMPLE]	0 ~ 131070	ループポイントをsample単位で設定します。
TRG LVL	-60 ~ 0 [dB]	入力トリガーのレベルを設定します。
TRG DLY	-1000 ~ +1000 [ms]	トリガーのかかる時間と録音が始まる時間差を設定します。+値ではトリガーを受けたあとに録音が始まり、-値ではトリガーを受ける前に録音が始まります。
TRG MASK	0 ~ 1000 [ms]	次のトリガーが受けられるまでにかかる時間を設定します。
MIDI TRG	OFF, C1 ~ C6, ALL	MIDIノートオンメッセージでトリガーをかける設定をおこないます。
PITCH	-12 ~ +12	再生ピッチの変化量を半音単位で設定します。
FINE	-50 ~ +50 [ct]	再生ピッチの微調整を1セント単位で設定します。

*1 0.0 ~ 2972.1ms (@fs=44.1kHz), (0.0 ~ 2730.6ms (@fs=48kHz)

次の手順でサンプル録音/再生を行ってください。

1. チャンネル信号をエフェクト2に送り、FREEZEエフェクトを呼び出します。
詳細は、130ページの「エフェクトをかける」と140ページの「エフェクトプログラムの呼び出し」をご参照ください。
2. [EFFECT 2]キーで次のEFFECT 2ページ1を表示させます。




3.  録音 ボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。

注: [ENTER] ｷｰを押した時点で新しいデータの録音が始まり、メモリーのデータは上書きされますのでご注意ください。

録音ボタンが反転表示され、入力信号が聞こえます。

4.  再生 ボタンを選択し、[ENTER] ｷｰで録音を開始します。

録音が進むにつれて、録音ボタンと再生ボタンの下にある棒グラフが埋っていきます。REC MODEパラメーターがINPUTになっていると、入力信号がTRG LVLで設定したレベルを越えたときに自動的に録音が始まります。

5. 録音したサンプルは、 再生 ボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押して再生します。

PLY MODEがINPUTになっていると、入力信号がTRG LVLで設定したレベルを越えた時点で自動的に再生が始まります。

PLY MODEパラメーターで再生タイプを設定し、START、END、LOOPの各パラメーターで録音サンプルを編集してください。

注: 録音した音はエフェクトタイプの変更、F α サンプリング周波数 α の変更、あるいは電源のオフで消去されてしまいますのでご注意ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

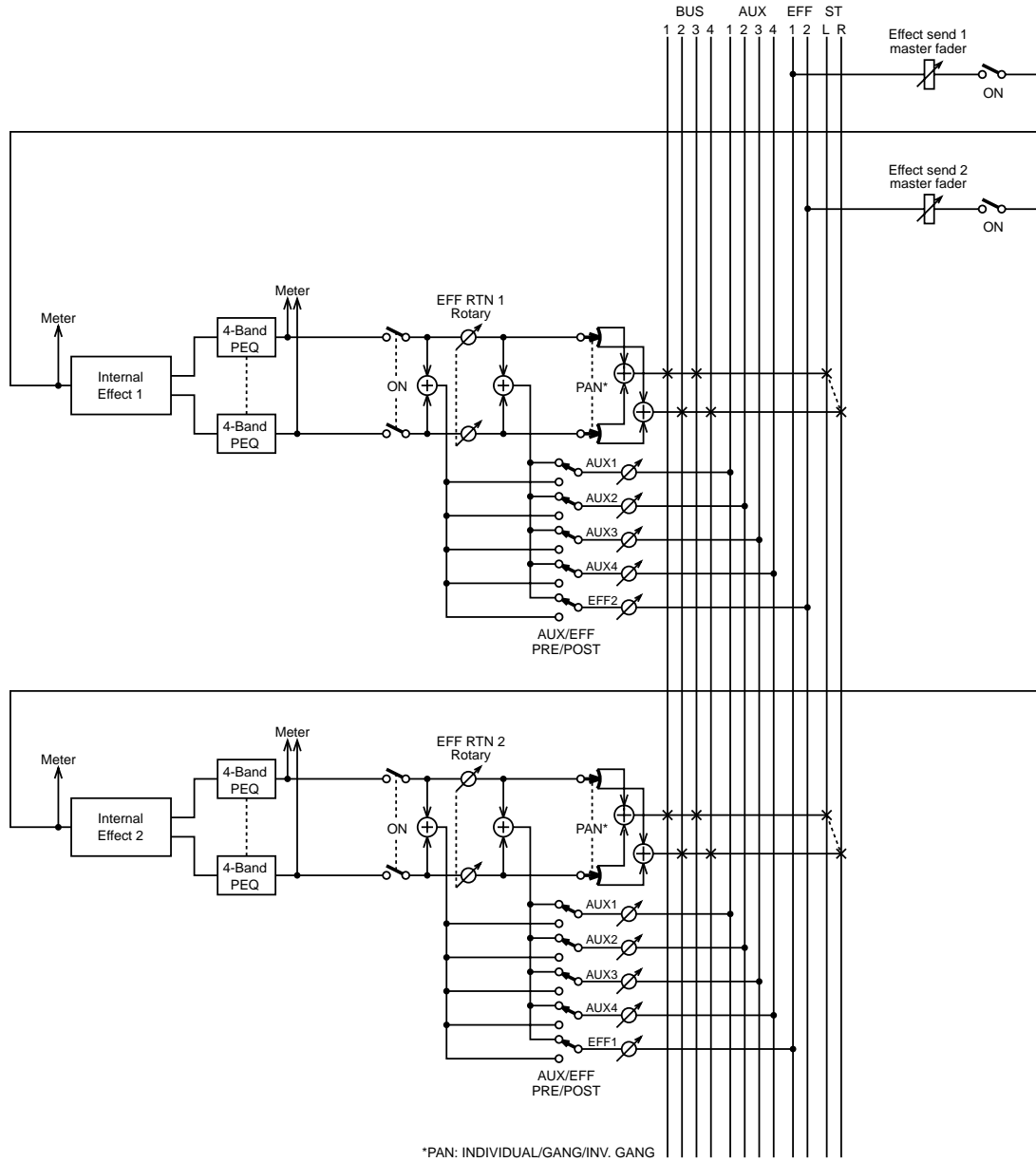
デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

エフェクトのブロック図



*PAN: INDIVIDUAL/GANG/INV. GANG

- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサ
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付録

ダイナミクスプロセッサー

13

本章の目次

ダイナミクスプロセッサーについて	160
プリセットのダイナミクスライブラリー	161
ダイナミクスプロセッサーのオン / オフ	162
ダイナミクスプロセッサーのエディット	164
ダイナミクスプロセッサーのタイプ	165
ダイナミクスライブラリー	172
ダイナミクスプログラムの保存	173
ダイナミクスプログラムの呼び出し	174
ダイナミクスプログラムタイトルのエディット	175
ダイナミクスライブラリーリスト	176

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

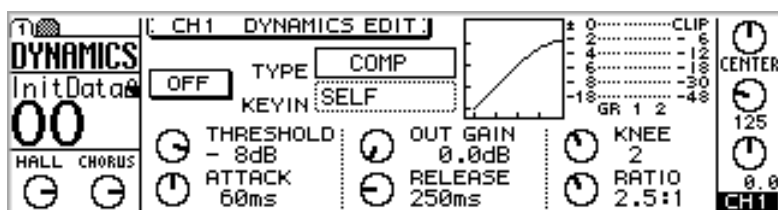
付 録

ダイナミクスプロセッサについて

ダイナミクスプロセッサは、インプットチャンネル1~16、AUXアウト、ステレオ出力で、コンプレッサ、リミッター、ゲート、ダッキング、コンパンダーが使用できます。ダイナミクスプロセッサが挿入される正確な位置については、26ページの「ブロック図」をご参照ください。インプットチャンネルのプロセッサは、セルフトリガー（加工する信号自体をトリガー信号として使用する）はもちろん、他のチャンネルからの信号をトリガーにすることも可能です。

ダイナミクスの設定は、プログラムとしてダイナミクスライブラリーに保存できません。ダイナミクスライブラリーには40のプリセットプログラムと40のユーザープログラムが含まれています。詳細は、172ページの「ダイナミクスライブラリー」をご参照ください。ダイナミクスの設定はシーンメモリーにも保存できます。詳細は、185ページの「ミックスシーンの保存」をご参照ください。

ダイナミクスプロセッサのエディットは、次の画面、DYNAMICSページ1で行います。このページを表示させるには、[DYNAMICS] キーを使用します。



ダイナミクスプロセッサのタイプ名は画面中央、ダイナミクスカーブの横に表示されています。その左にはプロセッサのON/OFFボタンがあります。この下半分にはダイナミクスパラメーターがあり、パラメーターの種類は選択しているプロセッサのタイプによって異なります。右上のGRメーターは選択チャンネルにかかるゲインリダクションの量を表示します。このGRメーターの右横には、選択チャンネルとその隣のチャンネルのレベルメーターが表示されています。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

プリセットのダイナミクスライブラリー

次の表は、プリセットのダイナミクスライブラリーのタイトルを示したものです。パラメーターの詳細については、176ページの「ダイナミクスライブラリーリスト」をご参照ください。

No.	タイトル	No.	タイトル
01	Comp [COMP]	21	E.Guitar [COMP]
02	Gate [GATE]	22	A.Guitar [COMP]
03	Expand [EXPAND]	23	Strings1 [COMP]
04	Ducking [DUCKING]	24	Strings2 [COMP]
05	Compander(H) [COMPANDER (H)]	25	Strings3 [COMP]
06	Compander(S) [COMPANDER (S)]	26	BrassSection [COMP]
07	A.Dr.BD [COMP]	27	Syn.Pad [COMP]
08	A.Dr.BD [GATE]	28	SamplingPerc [COMPANDER (S)]
09	A.Dr.BD [COMPANDER (H)]	29	Sampling BD [COMP]
10	A.Dr.SN [COMP]	30	Sampling SN [COMP]
11	A.Dr.SN [EXPAND]	31	Hip Comp [COMPANDER (S)]
12	A.Dr.SN [GATE]	32	Solo Vocal1 [COMP]
13	A.Dr.SN [COMPANDER (S)]	33	Solo Vocal2 [COMP]
14	A.Dr.Tom [EXPAND]	34	Chorus [COMP]
15	A.Dr.OverTop [COMPANDER (S)]	35	Click Erase [EXPAND]
16	E.B.Finger [COMP]	36	Announcer [COMPANDER (H)]
17	E.B.Slap [COMP]	37	Limiter1 [COMPANDER (S)]
18	Syn.Bass [COMP]	38	Limiter2 [COMP]
19	Piano1 [COMP]	39	Total Comp2 [COMP]
20	Piano2 [COMP]	40	Total Comp3 [COMP]

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

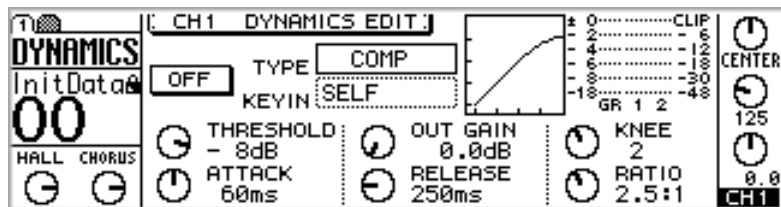
ダイナミクスプロセッサのオン/オフ

インプットチャンネル1～16、AUXセンド、ステレオ出力ではダイナミクスプロセッサを使用することができます。

プログラムをダイナミクスライブラリーから呼び出す方法は、174ページの「ダイナミクスプログラムの呼び出し」をご参照ください。ダイナミクスプログラムのエディットは、164ページの「ダイナミクスプロセッサのエディット」をご参照ください。

インプットチャンネル1～16

1. 1～16の[SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
2. [DYNAMICS] ｷｰで次のDYNAMICSページ1を表示させます。

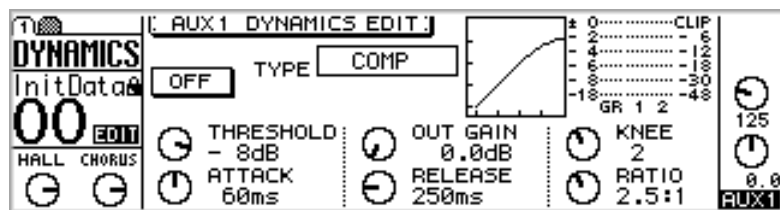


3. [ENTER] ｷｰを押してダイナミクスプロセッサをオンにします。
オンになると、ON/OFFボタンが反転表示されます。DYNAMICSページ1が表示されているときは、カーソルの位置に関係なく[ENTER] ｷｰがダイナミクスプロセッサのオン/オフスイッチとして働きます。
4. [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定します。

インプットチャンネル13と14(15と16も同様)のダイナミクスプロセッサは常に連動します。インプットチャンネル1～12はステレオペアを組むと(57ページの「インプットチャンネルのペア」参照)ダイナミクスプロセッサがリンクされるので、片方のチャンネルだけを調整するだけで両方のチャンネル設定が同時に調整できます。

AUXアウト1～4

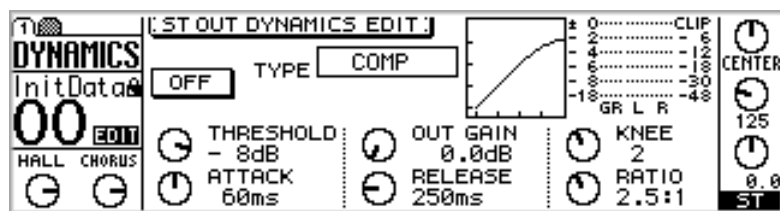
- [AUX 1]～[AUX 4] ｷｰでAUXセンドを選択し、MASTERの[SEL] ｷｰを押します。
ディスプレイにAUXが表示され、AUXアウトが選択されたことを示します。
- [DYNAMICS] ｷｰで次のDYNAMICSページ1を表示させます。



- [ENTER] ｷｰを押してダイナミクスプロセッサをオンにします。
オンにすると、ON/OFFボタンが反転表示されます。DYNAMICSページ1が表示されているときは、カーソルの位置に関係なく[ENTER] ｷｰがダイナミクスプロセッサのオン/オフスイッチとして働きます。
- [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは[-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定します。
AUXアウトでステレオペアを組むと(107ページの「AUXアウトのステレオペア」参照)ダイナミクスプロセッサが連動します。

ステレオ出力

- [HOME] ｷｰを押してからMASTERの[SEL] ｷｰを押します。
ディスプレイにSTが表示され、ステレオ出力が選択されたことを示します。
- [DYNAMICS] ｷｰで次のDYNAMICSページ1を表示させます。



- [ENTER] ｷｰを押してダイナミクスプロセッサをオンにします。
オンにすると、ON/OFFボタンが反転表示されます。DYNAMICSページ1が表示されているときは、カーソルの位置に関係なく[ENTER] ｷｰがダイナミクスプロセッサのオン/オフスイッチとして働きます。
- [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは[-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

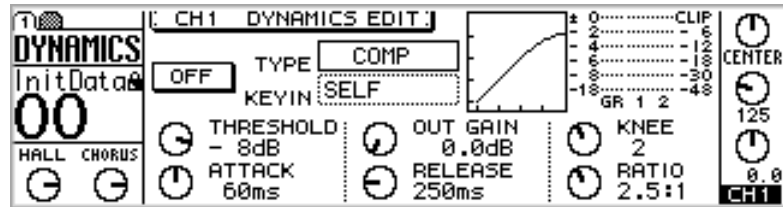
システム例

付録

ダイナミクスプロセッサのエディット

ダイナミクスプロセッサのエディットは、次のDYNAMICSページ1で行います。

1. [DYNAMICS] ｷｰで次のDYNAMICSページ1を表示させます。

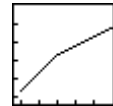


2. 1～16の[SEL] ｷｰ、MASTERの[SEL] ｷｰでチャンネルを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰで設定します。

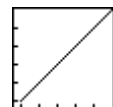
TYPE 現在選択しているダイナミクスプロセッサのタイプを表示します。COMP (コンプレッサー) \ GATE (ゲート) \ DUCKING (ダッキング) \ EXPAND (エクパンダー) \ COMPANDER (H) (ハードコンパンダー) \ COMPANDER (S) (ソフトコンパンダー) の各タイプがあります。

ON/OFF ダイナミクスプロセッサをオン/オフするボタンです。DYNAMICS ページ1が表示されているときは、カーソル位置に関係なく [ENTER] ｷｰでダイナミクスプロセッサのオン/オフができます。

カーブ この欄にはダイナミクスプロセッサが動作するカーブが表示され、ダイナミクスプロセッサの設定内容が一目で確認できます。グラフの横軸は入力信号、縦軸は出力信号を表わしています。



グラフ左下の隅から45度の角度で上がっていく直線は、入力信号がダイナミクスプロセッサの影響を受けずに通過することを表わしています。たとえばコンプレッサーのレシオ(圧縮比)が1:1に設定されているときにこのカーブが表示されます。



パラメーターノブアイコン ダイナミクスプロセッサのパラメーターを調整する回転ノブです。使用可能なパラメーターの数と種類は、選択されているダイナミクスプロセッサのタイプによって異なります。

メーター 選択チャンネルにかかるGR(ゲインリダクション)量を表わすメーターです。その右横には、選択チャンネルとその隣のチャンネルの信号レベルが表示されません。GRメーターは上から下へ動作します。COMP、DUCKING、EXPAND、COMPANDERの各タイプでは、実際に信号が加工されているときにのみ、GRメーターにゲインリダクション量が表示されます。タイプがGATEの場合は、入力信号のレベルがスレッシュホールドより低いときにエフェクトが有効となるため、入力信号のレベルがスレッシュホールドに達していないとき、および無音時のみにゲインリダクション量が表示されます。

ダイナミクスプロセッサのパラメーターについては165ページで説明します。

ダイナミクスプロセッサのタイプ

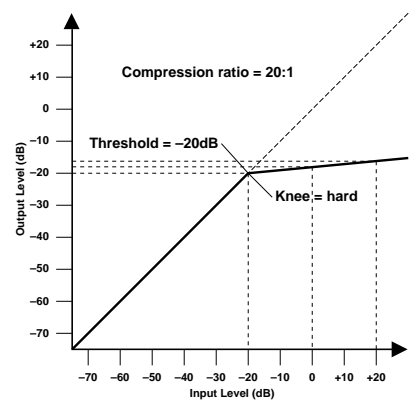
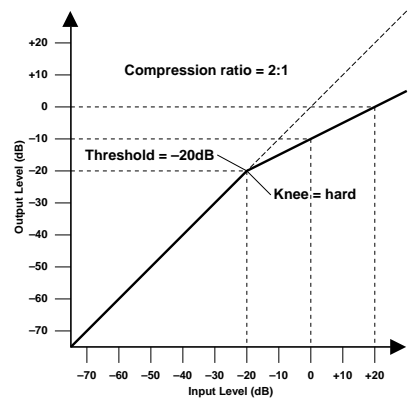
通常ダイナミクスプロセッサは、信号のレベルの補正や制御に使用しますが、サウンドのエンベロープそのものを変化させるような、よりクリエイティブな用途にも利用できます。ここではCOMP(コンプレッサー)、GATE(ゲート)、DUCKING(ダッキング)、EXPAND(エキスパンダー)、COMPANDER(H/S)(ハード/ソフトコンパンダー)の各ダイナミクスプロセッサのパラメーター、一般的な用途について説明します。

COMP(コンプレッサー)

COMPタイプのダイナミクスプロセッサにはコンプレッサーとリミッターとがあり、どちらもレベルを自動調整します。

コンプレッサーは特定のレベル(スレッシュホールド)を越えた信号レベルを減衰させます。たとえば、ボーカリストが歌うときにマイクに近付いたり離れたりとすると、音量があるときは大きく、あるときは小さくなり、一定しません。同じようにダイナミックレンジの広いアコースティック楽器も、ピアノシモからフォルティシモまで、音量が大きく変化します。このような場合、楽曲の最初から最後まで通してボーカルやアコースティック楽器のサウンドがはっきり聞こえるように、フェーダーを平均的な値に設定するのは非常に困難です。そこで登場するのが、自動レベル調整機能を備えたコンプレッサーです。コンプレッサーでレベルの高い信号を抑えて、つまりダイナミックレンジを制限することで、信号の制御や適切なフェーダーレベル設定が簡単にできるようになります。ダイナミックレンジを制限するということは、必然的に録音レベルを高く設定できるため、SN比も向上します。

リミッターはコンプレッサーの圧縮率を高くしたもので、原理は同じです。圧縮率が10:1を越えると「信号を圧縮する」というより「信号を制限する」と考えることができます。入力信号レベルがスレッシュホールドを越えると、リミッターが働いて、出力レベルをスレッシュホールドまで下げため、出力レベルはスレッシュホールドを越えることはありません。リミッターは、アンプやテープレコーダーへの過大入力を防ぐ用途で頻繁に使われます。たとえば、リミッターのスレッシュホールドをやや高めに設定してステレオ出力に挿入すれば、アンプやスピーカーの過負荷を防ぐことができます。



パラメーター	設定範囲
THRESHOLD	- 54dB ~ 0dB(55ステップ)
OUT GAIN	0.0dB ~ +18.0dB(0.5dBステップ)
KNEE	hard, 1, 2, 3, 4, 5
ATTACK	0 ~ 120ms(1msステップ)
RELEASE	5ms ~ 42.3(サンプル周波数 @48kHz) 6ms ~ 46(サンプル周波数 @44.1kHz)
RATIO	1:1, 1.1:1, 1.3:1, 1.5:1, 1.7:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 5:1, 6:1, 8:1, 10:1, 20:1, ∞:1(16ステップ)

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

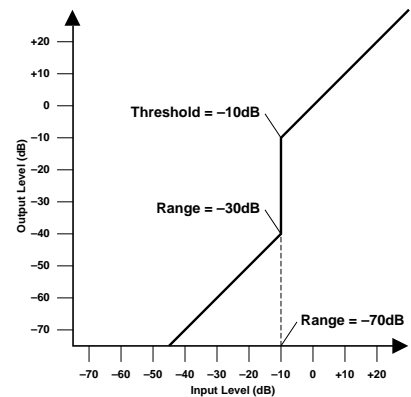
システム例

付録

01Vの世界へようこそ!	
基本操作	<p>THRESHOLD コンプレッサーが作用する入力信号レベルを設定します。レベルがスレッシュホールドまで到達しない信号は、圧縮されません。</p> <p>レベルがスレッシュホールドを越えた信号は、RATIOパラメーターで指定した比率に応じて圧縮されます。コンプレッサーをトリガーする信号は、KEY INパラメーターで選択します。</p>
各部の名称と機能	<p>OUT GAIN コンプレッサーの出力信号レベルを設定します。圧縮によって生じる全体的なレベルの変化を補正するために使用します。</p>
ユーザーインターフェースの基礎知識	<p>KNEE 信号がスレッシュホールドを越えてから、どのように圧縮されるかを設定します。HARDに設定すると、入力信号のレベルがスレッシュホールドを越えたらすぐに指定されたレシオにしたがって圧縮されます。また、1~5の設定では、スレッシュホールドを越えてから少しずつ圧縮がかかっていくので、より自然なサウンドになります。これを「ソフトニー圧縮」と呼びます。</p>
インプットチャンネル	
イコライザー	<p>ATTACK コンプレッサーがトリガーされてから、どのくらいの時間で信号が圧縮されるかを設定します。アタックタイムが速い場合は、信号がほぼ瞬時に圧縮されます。アタックタイムが遅い場合は、サウンドの初期アタック部分は圧縮されません。アタックタイムの設定は、1~5ミリ秒程度から始めてみるといいでしょう。</p>
ソロ、モニター、メーター	
ステレオアウト	<p>RELEASE トリガー信号のレベルがスレッシュホールドより下がってから、どのくらいの時間でコンプレッサーが通常のゲインに戻るかを設定します。リリースタイムが短すぎると、ゲインが急激に戻るため、音が飛び出すように聞こえます(ゲインの変動が耳につきま)。ところがリリースが長すぎると、ゲインが戻らないうちに次のレベルの高い信号が入力されてしまい、圧縮が適切に行われないうちにおそれがあります。リリースタイムの設定は、0.1~0.5秒程度から始めるといいでしょう。</p>
AUXアウト	
バスアウト	
OMNIアウト	<p>RATIO 圧縮率を指定します。これは入力信号のレベル変化に対する出力信号のレベル変化の比率を表わしたものです。たとえばレシオが2:1の場合、スレッシュホールドを越えた入力信号のレベルが10dB変化すると、出力レベルは5dB変化します。また、5:1のレシオでは、入力レベルが10dB変化すると、出力レベルは2dB変化します。</p>
内蔵エフェクト	
ダイナミクスプロセッサ	
シーンメモリー	
その他の機能	
デジタルI/O	
MIDI	
システム例	
付録	

GATE(ゲート)

ゲート、またはノイズゲートと呼ばれるこのタイプは、本来スレッシュホールドレベルより低い信号をミュートさせるオーディオスイッチのようなものです。録音中のマイクでどうしても拾ってしまうバックグラウンドの雑音、真空管のギターアンプやコンパクトエフェクターから発生するノイズ、ヒスノイズ、ドラム用マイク同士の音のカブリをカットする用途で使用できます。たとえばディケイタイムを短くしてドラムサウンドにゲートをかければ、サウンドがタイトに仕上がります。また、シンセベースのチャンネルにゲートをかけ、これをバスドラムのチャンネルからトリガーすれば、バスドラムを鳴らしたときだけシンセベースの音が出て、ビートにノリが加わります。



パラメーター	設定範囲
THRESHOLD	- 54dB ~ 0dB(55ステップ)
RANGE	- 70dB ~ 0dB(71ステップ)
HOLD	0.02ms ~ 1.96s(サンプル周波数 @48kHz) 0.02ms ~ 2.13s(サンプル周波数 @44.1kHz)
ATTACK	0 ~ 120ms(1msステップ)
DECAY	5ms ~ 42.3s(サンプル周波数 @48kHz) 6ms ~ 46s(サンプル周波数 @44.1kHz)

THRESHOLD ゲートが閉じて信号がカットされるレベルを設定します。スレッシュホールドを越えた信号は影響を受けずにそのまま通過し、スレッシュホールドよりレベルの低い信号ではゲートが閉じます。トリガー信号は、KEY INパラメーターで選択します。

RANGE ゲートを閉じたときのレベルを設定します。ちょうど少し開いた門をブロックで固定するようなもので、常に一定量の信号が通過するように設定できます。
- 70dBの設定では、入力信号がスレッシュホールドより低い場合はゲートが完全に閉じます。
- 30dBの設定ではゲートがそのレベルまで閉じ、0dBの設定ではゲートが無効となります。ゲートをかけすぎると、信号が突然消えるために響きが不自然になることがあります。このパラメーターを使えば、ゲートで信号を完全にカットしてしまうのではなく、信号レベルを減衰させる用途に利用できます。

HOLD トリガー信号がスレッシュホールドより下がってから、どのくらいの時間ゲートを開けておくかを設定します。

ATTACK 信号がスレッシュホールドを越えてから、どのくらいの時間でゲートが開くかを設定します。アタックタイムを遅くすれば、パーカッションサウンドの最初の立ち上がり部分を除去する用途に使えます。あまり遅くしすぎると、サウンドが逆方向に再生されているように聞こえることがあります。

DECAY 上記のホールドタイムが終わってから、どのくらいの時間でゲートを閉じるかを設定します。ディケイタイムが長いほど自然なゲートの効果が得られ、楽器の自然な減衰音を再現できます。ディケイタイムを最長(サンプル周波数に応じて 42 ~ 63秒)に設定すれば、フェードアウト効果を作ることができます。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

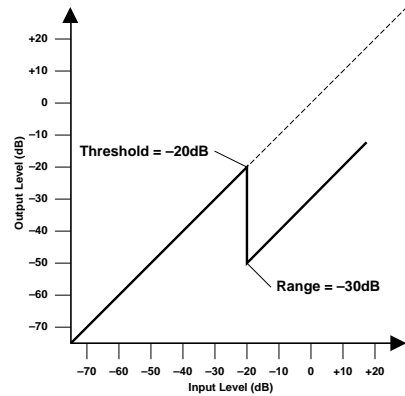
MIDI

システム例

付録

DUCKING(ダッキング)

通常ダッキングは、音楽に声を重ねる用途に使用し、話し手の声が入力されたときにバックの音楽の音量を自動的に抑えます。ダッキング効果は、コンプレッサーを別の音源でトリガーすることで得られます。たとえばバックの音楽のチャンネルにダッキングをかけ、キーイン信号を話し手のマイクチャンネルに設定すれば、マイクから入力される声のレベルがスレッシュホールドを越えた時点で、バックの音楽のレベルが下がり、話し手の声ははっきり聞こえます。同じテクニックをミックス内のボーカルにも使うことができます。たとえばボーカルパートがあるときだけ、リズムギターやシンセパッドなどをダッキングさせればボーカルがはっきり聞こえるようになります。ミックス内のソロ楽器の演奏部分に使ってもいいでしょう。



パラメーター	設定範囲
THRESHOLD	- 54dB ~ 0dB(55ステップ)
RANGE	- 70dB ~ 0dB(121ステップ)
HOLD	0.02ms ~ 1.96s(サンプル周波数 @48kHz) 0.02ms ~ 2.13s(サンプル周波数 @44.1kHz)
ATTACK	0 ~ 120ms(1msステップ)
DECAY	5ms ~ 42.3s(サンプル周波数 @48kHz) 6ms ~ 46s(サンプル周波数 @44.1kHz)

THRESHOLD ダッキングを作動させるトリガー信号(KEY IN)のレベルを設定します。スレッシュホールドより低い場合は、ダッキングが作動しません。信号がスレッシュホールドを越えるとダッキングが作動し、RANGEパラメーターの設定に応じて信号が減衰します。トリガーとなる信号の種類はKEY INパラメーターで選択します。

RANGE 信号をダッキングしたときのレベルを設定します。- 70dBに設定すると、実際には信号がカットされます。また - 30dBの設定では信号が30dB減衰し、0dBの設定ではダッキング効果が起こらなくなります。

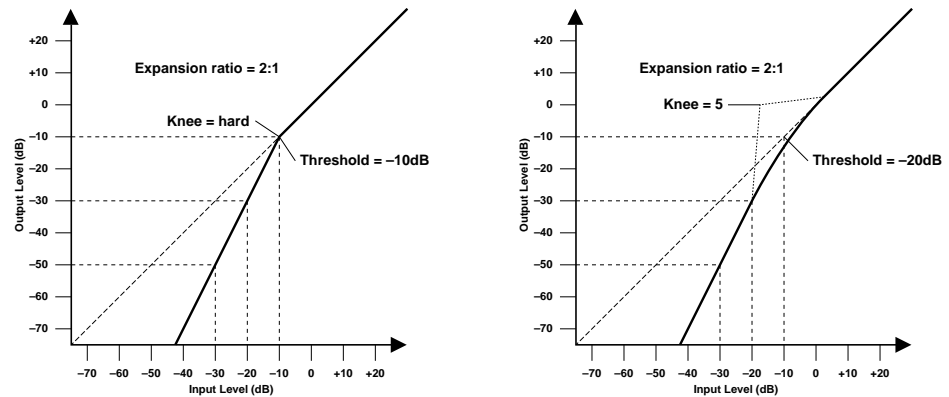
HOLD トリガー信号がスレッシュホールドより下がってからどのくらいの時間ダッキングの動作を続けるかを設定します。

ATTACK ダッキングがトリガーされてからどのくらいの時間で信号をダッキングさせるかを設定します。アタックタイムが早い場合は、信号がほぼ瞬時にダッキングされます。また、アタックタイムが遅い場合は、ダッキング効果により信号がフェードインします。アタックタイムが速すぎるとレベル変化が唐突に聞こえますので、ご注意ください。

DECAY トリガー信号のレベルがスレッシュホールドより下がってからどのくらいの時間で、ダッキングが信号を通常のゲインに戻すかを設定します。

EXPAND(エクスパンダー)

エクスパンダーはコンプレッサーに似ていますが、スレッシュホールドより低い信号に対して動作する点が異なります。スレッシュホールドより低い信号を抑えることで、無演奏時のレベルを軽減させ、その結果ダイナミックレンジとSN比を向上させます。エクスパンダーのレシオを無限大に設定すれば(∞) 機能的にはゲートと変わりません。次の2つのグラフは典型的なエクスパンダーのカーブを表わしたものです。左のグラフはレシオが2:1、KNEE設定がハードエクスパンダー、右のグラフはレシオが2:1、KNEE設定がソフトエクスパンダーに設定した場合のカーブです。



パラメーター	設定範囲
THRESHOLD	- 54dB ~ 0dB(55ステップ)
OUT GAIN	0.0dB ~ +18.0dB(0.5dBステップ)
KNEE	hard, 1, 2, 3, 4, 5
ATTACK	0 ~ 120ms(1msステップ)
RELEASE	5ms ~ 42.3s(サンプル周波数 @48kHz) 6ms ~ 46s(サンプル周波数 @44.1kHz)
RATIO	1:1, 1.1:1, 1.3:1, 1.5:1, 1.7:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 5:1, 6:1, 8:1, 10:1, 20:1, ∞(16ステップ)

THRESHOLD エクスパンダーをトリガーする入力信号のレベルを設定します。スレッシュホールドを越えた信号にはエクスパンダーはかかりません。レベルがスレッシュホールドより低い信号は、RATIOパラメーターで指定されたレシオに応じて減衰します。トリガー信号の種類は、KEY INパラメーターで選択します。

OUT GAIN エクスパンダーの出力信号レベルを設定します。伸長によって生じる全体的なレベルの変化を補正するために使用します。

KNEE 信号がスレッシュホールドより下がってからどのように伸長されるかを設定します。HARDに設定すると、入力信号のレベルがスレッシュホールドより下がったらすぐに指定されたレシオで伸長されます。また、1~5の設定では、スレッシュホールドより下がってから少しずつ伸長されていくので、より自然なサウンドになります。

ATTACK エクスパンダーがトリガーされてから、どのくらいの時間で信号を伸長するかを設定します。アタックタイムが速い場合は、信号がほぼ瞬時に伸長されます。アタックタイムが遅い場合は、サウンドのアタック部分は伸長されません。アタックタイムを設定するには1~5ミリ秒程度から始めるといいでしょう。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

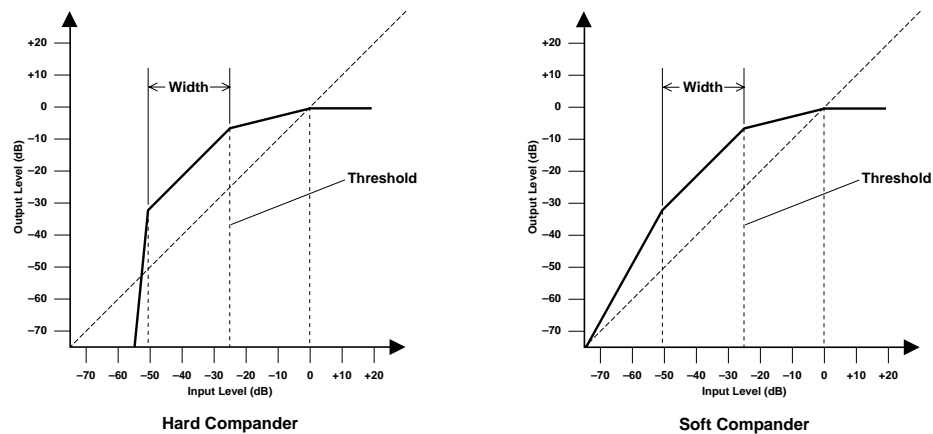
付録

RELEASE トリガー信号のレベルがスレッシュホールドを越えてから、どれくらいの時間でエキスパンダーが通常のゲインに戻るかを設定します。リリースタイムが短すぎると、ゲインが急激に戻るため音が飛び出すように聞こえます(ゲインの変動が耳につきます)。ところがリリースが長すぎると、ゲインが戻らないうちに次のレベルの低い信号が入力されてしまい、伸長が適切に行われぬおそれがあります。リリースタイムを設定するには0.1~0.5秒程度から始めるといいでしょう。

RATIO エクスパンダーの比率を指定します。これは入力信号のレベル変化に対する出力信号のレベル変化の比率を表わしたものです。比率が2:1の場合、入力レベルがスレッシュホールドより低い領域で5dB変化すると、出力レベルは10dBの変化となります。また、5:1の比率では入力レベルが2dB変化すると、出力レベルが10dB変化します。

COMPANDER(HARD&SOFT)(ハード / ソフトコンパンダー)

ハード / ソフトコンパンダーは、コンプレッサー、エキスパンダー、リミッターを組み合わせた効果です。リミッターは出力信号が0dBを越えるのを防ぎ、コンプレッサーはスレッシュホールドレベルを越える信号を圧縮します。また、エキスパンダーはTHRESHOLDとWIDTH幅パラメーターで設定したレベルよりも低い信号を減衰させます。ソフトコンパンダーの伸長率は1.5:1、ハードコンパンダーの伸長率は5:1です。次の2つのグラフは、典型的なコンパンダーのカーブで、左のグラフはハードコンパンダー、右のグラフはソフトコンパンダーを表わしています。



パラメーター	設定範囲
THRESHOLD	- 54dB ~ 0dB(55ステップ)
OUT GAIN	- 18.0dB ~ 0.0dB(0.5dBステップ)
WIDTH	1dB ~ 90dB(1dBステップ)
ATTACK	0 ~ 120ms(1msステップ)
RELEASE	5ms ~ 42.3(サンプル周波数 @48kHz) 6ms ~ 46(サンプル周波数 @44.1kHz)
RATIO	1:1, 1.1:1, 1.3:1, 1.5:1, 1.7:1, 2:1, 2.5:1, 3:1, 3.5:1, 4:1, 5:1, 6:1, 8:1, 10:1, 20:1(15ステップ)

THRESHOLD 圧縮 / 伸長を行う入力信号のレベルを設定します。THRESHOLD + WIDTHの設定よりも低い信号は、エキスパンダーにより減衰されます。スレッシュホールドを越えた信号は、RATIOパラメーターで指定した比率に応じて圧縮されます。トリガー信号は、KEY INパラメーターで選択します。

OUT GAIN コンパンダーの出力信号レベルを設定します。圧縮 / 伸長によって生じる全体的なレベルの変化を補正するために使用します。

WIDTH スレッシュホールドレベルよりどれだけ下のレベルから伸長を開始するかを設定します。この幅を90dBに設定すると、エクスパンダーは実質的にオフになります。

ATTACK コンパンダーがトリガーされてからどのくらいの時間で信号を圧縮 / 伸長するかを設定します。アタックタイムが速いと、信号はほぼ瞬時に圧縮 / 伸長されます。アタックタイムが遅いと、サウンドの最初のアタック部分は圧縮 / 伸長されません。アタックタイムを設定するには1~5ミリ秒程度から始めるといいでしょう。

RELEASE トリガー信号のレベルがスレッシュホールドより下がってからどれくらいの時間でコンプレッサーとエクスパンダーが通常のゲインに戻るかを設定します。リリースタイムが短すぎると、ゲインが急激に戻るため音が飛び出すように聞こえます(ゲインの変動が耳につきます)。ところがリリースが長すぎると、ゲインが戻らないうちに次のレベルの高い信号が入力されてしまい、圧縮が適切に行われぬおそれがあります。リリースタイムを設定するには0.1~0.5秒程度から始めるといいでしょう。

RATIO 圧縮率を指定します。これは入力信号のレベル変化に対する出力信号のレベル変化の比率を表わしたものです。レシオが2:1の場合、スレッシュホールドを越える入力レベルが10dB変化すると、出力レベルは5dBの変化となります。また、5:1のレシオでは入力レベルが10dB変化すると、出力レベルが2dB変化します。エクスパンダーの伸長率は固定されており、ソフトコンパンダーでは1.5:1、ハードコンパンダーでは5:1となります。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

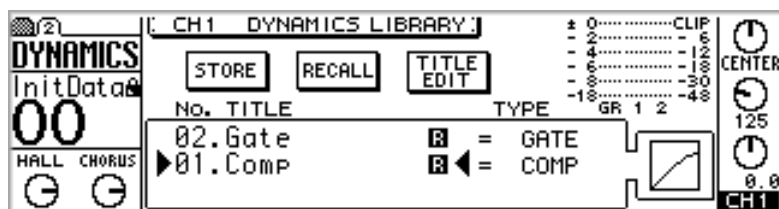
付録

ダイナミクスライブラリー

ダイナミクスプロセッサの設定は、ダイナミクスライブラリーにプログラムとして保存できます。ダイナミクスライブラリーには40のプリセットプログラム(01~40)と40のユーザープログラム(41~80)が含まれています。

ダイナミクスプロセッサのカスタム設定をユーザープログラムに保存し、さらに区別しやすいようにタイトルを付けることができます。また、特定のダイナミクスの設定を別のダイナミクスプロセッサにコピーしたいときにも、ダイナミクスライブラリーを利用できます。たとえば、ステレオ出力のダイナミクス設定をライブラリーにプログラムとして保存し、これをAUXアウトのダイナミクスプロセッサに読み込むことが可能です。プリセットプログラムには、特定の用途や楽器に合わせて調節された、個性的なダイナミクスプログラムが集められています。プリセットのダイナミクスライブラリーリストは176ページを参照してください。

ダイナミクスライブラリーの操作は、次の画面、LIBRARYページで行います。このページを呼び出すには、[DYNAMICS] 罫ーを使用します。

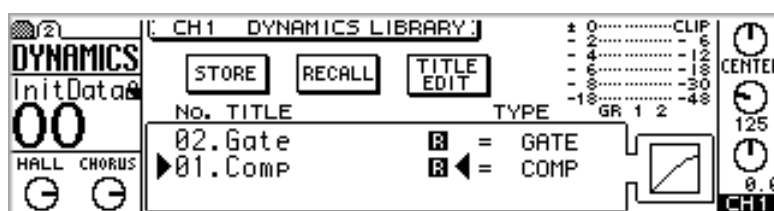


LIBRARYページの上半分にはSTORE、RECALL、TITLE EDITの各ボタンがあり、その下のライブラリー欄は、[PARAMETER]ダイヤルを使ってスクロールします。プリセットプログラムの横に表示されている **G** の文字は読み出し専用ということです。プログラムを選択すると、そのダイナミクス曲線が表示されます。GRメーターは、選択チャンネルにかかるゲインリダクションの量を表示し、その横には選択チャンネルとその隣のチャンネルのレベルメーターが表示されています。

ダイナミクスプログラムの保存

エディットしたダイナミクスプログラムはユーザープログラム41～80に保存できません。

1. ダイナミクスプロセッサ設定を保存したいチャンネルを選択します。
1～16の[SEL]キーでインプットチャンネル1～16を選びます。AUXセンドを選ぶには、[AUX 1]～[AUX 4]キーを押し、MASTERの[SEL]キーを押します。ステレオ出力を選択するには、[HOME]キーを押してからMASTERの[SEL]キーを押します。
2. [DYNAMICS]キーで次のLIBRARYページを表示させます。



3. [PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーでユーザープログラム41～80から選択します。
プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンスのLIBRARY LIST ORDERオプションで変更することができます(205ページの「プリファレンス」参照)。
4. [CURSOR]キーでSTOREボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。
TITLE EDITダイアログボックスが現われます。プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERオプションをオフにしてあると、TITLE EDITダイアログボックスが現われずにダイナミクスプログラムが保存されます。
5. ダイナミクスプログラムのタイトルを入力します。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
6. OKを選択して[ENTER]キーを押します。
ダイナミクスプログラムが保存されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

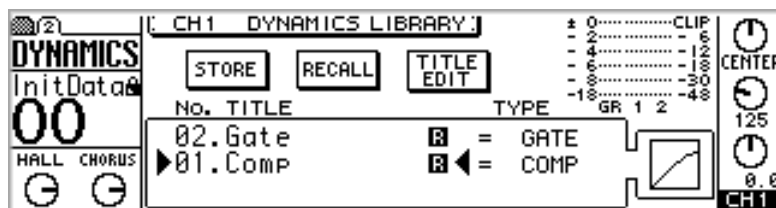
システム例

付録

ダイナミクスプログラムの呼び出し

ダイナミクス1~80から任意のプログラムが呼び出せます。

- ダイナミクスプログラムを呼び出したいチャンネルを選択します。
1~16の[SEL]キーでインプットチャンネル1~16を選びます。AUXセンドを選ぶには、[AUX 1]~[AUX 4]キーを押し、MASTERの[SEL]キーを押します。ステレオ出力を選択するには、[HOME]キーを押してからMASTERの[SEL]キーを押します。
- [DYNAMICS]キーで次のLIBRARYページを表示させます。



- [PARAMETER]ダイヤルまたは[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーでプログラムを選択します。
プログラムを選択すると、そのダイナミクス曲線が表示されます。
プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンスのLIBRARY LIST ORDERオプションで変更することができます(205ページの「プリファレンス」参照)。
- [CURSOR]キーでRECALLボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。
ダイナミクスプログラムが呼び出されます。プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のRECALL CONFIRMATIONオプションをオンにしてあると、確認のダイアログボックスが現われるので、OKを選択してから[ENTER]キーを押して呼び出しを確定します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

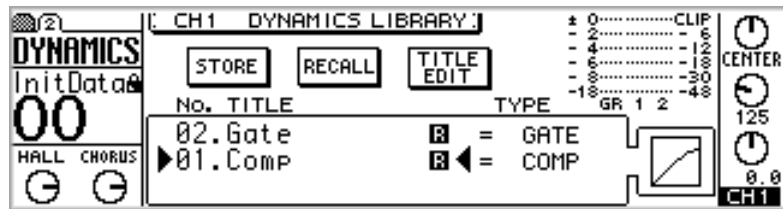
システム例

付録

ダイナミクスプログラムタイトルのエディット

ユーザープログラムのタイトルはタイトルエディット機能でエディットします。

1. [DYNAMICS] ｷｰで次のLIBRARYページを表示させます。



2. [PARAMETER]ダイヤルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰでユーザープログラム41～80から選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでTITLE EDITボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。TITLE EDITダイアログボックスが現われます。
4. プログラムのタイトルをエディットします。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
5. OKを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。
新しいタイトルの付いたプログラムが保存されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

ダイナミクスライブラリーリスト

本機にあらかじめ内蔵されているダイナミクスプログラムのリストです。
Release、Hold、Decayの各パラメーターはいずれもfs = 44.1kHzでの値です。これらはサンプリング周波数によって動作時間や可変範囲が変化しますのでご注意ください。

No. タイトル [タイプ] コンプレッサーの効果および設定値

01 Comp [COMP] トータルミックスに使用するコンプレッサーのテンプレート的なプリセットです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
01	- 8	2.5		60	0.0	2		250		

02 Gate [GATE] ゲートのテンプレート的なプリセットです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
02	- 26		- 56	0					2.56	331

03 Expand [EXPAND] エクスパンダーのテンプレート的なプリセットです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
03	- 23	1.7		1	3.5	2		70		

04 Ducking [DUCKING] ダッキングのテンプレート的なプリセットです。たとえば司会の声でキーインして、BGMの音量を下げるなどことができます。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
04	- 19		- 22	93					1.20s	6.32s

05 Compander(H) [COMPANDER (H)] コンパンダーのテンプレート的なプリセットです。

06 Compander(S) [COMPANDER (S)]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
05	- 10	3.5		1	0.0		6	250		
06	- 8	4		25	0.0		24	180		

07 A.Dr.BD [COMP] 生ドラムキットのベースドラムにそれぞれCOMP、GATE、COMPANDER (H)を使ったプリセットです。

08 A.Dr.BD [GATE]

09 A.Dr.BD [COMPANDER (H)]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
07	- 24	3		9	5.5	2		58		
08	- 11		- 53	0					1.93	400
09	- 11	3.5		1	- 1.5		7	192		

- 10 A.Dr.SN[COMP] プリセットプログラム7、3、8、9をスネアドラムに応用したものです。
- 11 A.Dr.SN[EXPAND]
- 12 A.Dr.SN[GATE]
- 13 A.Dr.SN[COMPANDER (S)]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
10	- 17	2.5		8	3.5	2		12		
11	- 23	2		0	0.5	2		151		
12	- 8		- 23	1					0.63	238
13	- 8	1.7		11	0.0		10	128		

- 14 A.Dr.Tom[EXPAND] 生ドラムのタムに使用すると、タムをたたいているとき以外は音量を下げ、スネアやベースドラムの音の分離が良くなります。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
14	- 20	2		2	5.0	2		749		

- 15 A.Dr.OverTop[COMPANDER (S)] 生ドラムのシンバルの上方にセットしたマイクで録音した音のアタックや空気感を強調する効果とともに、シンバル等が鳴っていないときに少し音量を下げて他のキットの音の分離を良くします。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
15	- 24	2		38	- 3.5		54	842		

- 16 E.B.Finger[COMP] エレキベースを指弾きした音のアタックや音量を均一化するためのコンプレッサです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
16	- 12	2		15	4.5	2		470		

- 17 E.B.Slap[COMP] エレキベースをスラップでプレイした音のアタックや音量を均一化するためのコンプレッサです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
17	- 12	1.7		6	4.0	hard		133		

- 18 Syn.Bass[COMP] シンセベースの音のレベルを揃えるとともに強調する効果のコンプレッサです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
18	- 10	3.5		9	3.0	hard		250		

- 19 Piano1[COMP] Piano1は、少し音を立たせて音色を明るめにします。それに対し、Piano2は、深めのスレッシュホールドで全体のレベルやアタック感を揃えるような効果があります。
- 20 Piano2[COMP]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
19	- 9	2.5		17	1.0	hard		238		
20	- 18	3.5		7	6.0	2		174		

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

21 E.Guitar[COMP]

エレキギターのカットングやアルペジオ等バックングに向いています。また、音色やプレイによっていろいろと調整してみると良いでしょう。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
21	- 8	3.5		7	2.5	4		261		

22 A.Guitar[COMP]

アコースティックギターのストロークやアルペジオ等のバックングに向いています。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
22	- 10	2.5		5	1.5	2		238		

23 Strings1[COMP]

ストリングスに適しているコンプレッサーでNo.24やNo.25などは、音域が低い楽器(チェロ、コントラバス)にも使用できます。

24 Strings2[COMP]

25 Strings3[COMP]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
23	- 11	2		33	1.5	2		749		
24	- 12	1.5		93	1.5	4		1.35s		
25	- 17	1.5		76	2.5	2		186		

26 BrassSection[COMP]

割と立ち上がりの速い音、アタック感の強い音に向いています。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
26	- 18	1.7		18	4.0	1		226		

27 Syn.Pad[COMP]

拡散しがちな音をおさえる効果があります。たとえばシンセパッドのように耳ざわりが良い分、音色によっては音が拡散してしまう楽器に適しています。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
27	- 13	2		58	2.0	1		238		

28 SamplingPerc[COMPANDER (S)]

CD-ROM等のサンプリング音源のいろいろな音色を生楽器の中で使用しても迫力や音の抜け方でおとらないようにしたいとき

29 Sampling BD[COMP]

に使用すると効果的です。バリエーションとしてPerc, BD, SN,と

30 Sampling SN[COMP]

ループ素材(Hip Comp)の4つがあります。

31 Hip Comp[COMPANDER (S)]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
28	- 18	1.7		8	- 2.5		18	238		
29	- 14	2		2	3.5	4		35		
30	- 18	4		8	8.0	hard		354		
31	- 23	20		15	0.0		15	163		

32 Solo Vocal1[COMP] Solo Vocalソースに適しているバリエーションです。
 33 Solo Vocal2[COMP]

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
32	- 20	2.5		31	2.0	1		342		
33	- 8	2.5		26	1.5	3		331		

34 Chorus[COMP] Vocalのバリエーションとして、コーラス向けのプリセットです。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
34	- 9	1.7		39	2.5	2		226		

35 Click Erase[EXPAND] ミュージシャンの聞いているクリック音は意外に大きく、それらの音を消したいときにゲートとして使用すると良いでしょう。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
35	- 33	2		1	2.0	2		284		

36 Announcer[COMPANDER (H)] アナウンスの声の間をゲートでレベルを下げ、かつアナウンスの声のレベルを揃えます。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
36	- 14	2.5		1	- 2.5		18	180		

37 Limiter1[COMPANDER (S)] リミッターのテンプレートです。1はスローリリース、2はPEAK STOP
 38 Limiter2[COMP] タイプになっています。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
37	- 9	3		20	- 3.0		90	3.90s		
38	0			0	0.0	hard		319		

39 Total Comp1 [COMP] 全体のレベルを押えたり、全体の音の立ち方を良くさせたりの効果が
 40 Total Comp2 [COMP] 得られるため、ミックスダウン時のステレオアウトに使用すると良いプリセットです。また、ステレオソースに使用すると調整によりおもしろい効果が得られます。

No.	Threshold (dB)	Ratio (:1)	Range (dB)	Attack (ms)	Outgain (dB)	Knee	Width (dB)	Release (ms)	Hold (ms)	Decay (ms)
39	- 18	3.5		94	2.5	hard		447		
40	- 16	6		11	6.0	1		180		

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

シーンメモリー

14

本章の目次

シーンメモリーについて	182
シーンメモリーに保存できるもの	183
エディットバッファ / EDITインジケータについて	184
シーンメモリー00	184
シーンメモリーの表示領域	184
ミックスシーンの保存	185
ミックスシーンの呼び出し	186
MIDIプログラムチェンジメッセージを使用したミックスシーンの 呼び出し	187
ミックスシーン呼び出し操作の取り消し	188
シーンメモリーの書き込み禁止	189
シーンメモリータイトルのエディット	190
シーンメモリーの並び替え	191
フェードタイムの設定	192
シーンデータのリコールセーフ機能	193

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

シーンメモリーについて

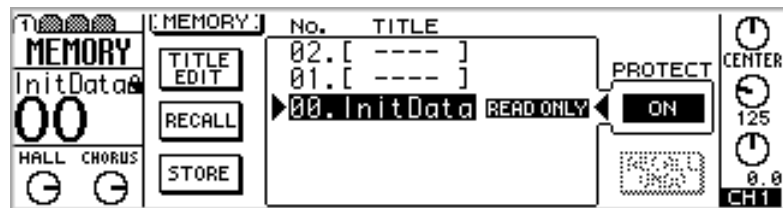
シーンメモリーとは、ミックスシーンを保存するメモリー領域です。ミックスシーンは01Vのミックスのすべての設定(EQ、フェーダーの位置、エフェクト、ダイナミクスなど)から構成されます。01Vには全部で100のシーンメモリーがあり、01～99には区別しやすいようにタイトルを付けることもできます。シーンメモリーを誤って呼び出してしまうたり、2つのミックスを比較するときなどには、リコールアンドゥ機能が使えます。クロスフェードは0～25秒の範囲でフェードタイム機能を使って設定します。また、チャンネルを個別に「セーフチャンネル」として設定すれば、別のミックスシーンを呼び出しても特定チャンネルのミックス設定は更新されないようにすることもできます。

シーンメモリーの保存や呼び出しには、次の2種類の方法が使えます。

- ・ MEMORYページ1を使用してマニュアルで行う。
- ・ コンピューターまたはMIDIシーケンサーからMIDIプログラムチェンジメッセージを送信する。

シーンメモリーのデータは、MIDIバルクダンプを使ってMIDIデータファイラーなどの外部MIDI機器にバックアップできます。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。また、「MIDIプログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表」が277ページに掲載されています。

ミックス設定は次のMEMORYページ1で保存、呼び出しを行います。[MEMORY]キーでこのページを表示させてください。



このページの左側にはTITLE EDIT、RECALL、STOREの各ボタンがあり、その横にはシーンメモリーのリストが表示されています。このリストは[PARAMETER]ダイヤルを使ってスクロールします。プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でINC/DEC MEMORY RECALLをオンにすると、[-1/DEC]キー、[+1/INC]キーを押すだけでシーンメモリーの選択、呼び出しができるようになります。シーンメモリー00は初期設定の入った読み出し専用のメモリーなので、呼び出すことしかできません。各シーンメモリーを選択すると、PROTECTボタンの表示でそのシーンメモリーが書き込み禁止になっているかがわかります。その下にはRECALL UNDOボタンがあり、リコールのアンドゥ操作を行うことができます。ただし、01Vを初期化したあと次にシーンメモリーを呼び出すまでは、アンドゥするためのデータがないのでこのボタンはグレー表示となっています。

シーンメモリーに保存できるもの

シーンメモリーには、実質的にすべての01Vのミックス設定が保存されます。保存できない設定は、主にアナログのコントロール類とスイッチ類で、26dB [PAD]スイッチ、[GAIN]コントロール、[15/16-2TR IN]スイッチ、[MONITOR-2TR IN]スイッチ、[MONITOR OUT LEVEL]コントロール、[PHONES LEVEL]コントロール、ディスプレイのコントラスト調整、さらにリアパネルの[PHANTOM ON-OFF]スイッチが含まれます。

次のタイプのデータはシーンメモリーには保存されません。

- ・ 01Vセットアップデータ
- ・ MIDIプログラムチェンジマップ
- ・ MIDIコントロールチェンジマップ
- ・ シーンメモリーデータ
- ・ EQライブラリー
- ・ ダイナミクスライブラリー
- ・ エフェクトライブラリー

ただし、MIDIバルクダンプを使って、MIDIデータファイラーなどの外部MIDI機器にデータをバックアップすることは可能です。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

エディットバッファ / EDITインジケータについて

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

「エディットバッファ」とは、現在のミックス設定が入っている01Vの内部メモリーのことです。ミックス設定を保存すると、エディットバッファ内のミックス設定が選択したシーンメモリーに書き込まれます。逆にシーンメモリーを呼び出すと、選択したシーンメモリーの内容がエディットバッファに入り、それが現在のミックス設定となります。

シーンメモリーを呼び出した後でパラメーターを変更すると、ディスプレイのシーンメモリー表示部にEDITインジケータが現われます。この表示は、現在のミックス設定(つまりエディットバッファに入っている設定)が、呼び出した時点のミックス設定から変更されていることを表わします。



シーンメモリー02が呼び出されたところです。現在のエディットバッファの内容は、シーンメモリー02の内容と一致している。



シーンメモリー02を呼び出した後にパラメーターを変更したことを意味します。エディットバッファの内容は、シーンメモリーの内容と異なるため、EDITインジケータが表示されている。

エディットバッファの設定は01Vの電源を切っても記憶されますので、必ずしも電源を切る前にシーンメモリーに保存する必要はありません。

シーンメモリー00

シーンメモリー00はシーンメモリー1~99とは多少異なり、読み出し専用で01Vの初期設定データが入っています。このシーンメモリーは呼び出すことはできても、保存することはできません。ミックスの設定をすべてリセットしたい場合は、シーンメモリー00を呼び出してください。

シーンメモリーの表示領域



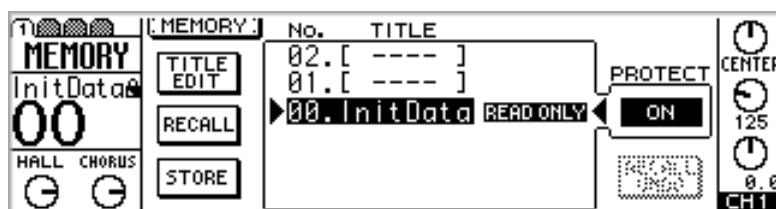
ディスプレイ内のシーンメモリーの表示領域には、選択されているシーンメモリーの番号、タイトル、シーンメモリーが読み出し専用か、書き込み禁止されているか(書き込み禁止の場合は、キーロックのアイコンが表示されます)、エディットバッファの内容が変更されているか、などを表示します。シーンメモリー1~99は、誤って上書きしてしまわないよう、個別に書き込み禁止を設定できます。シーンメモリー00のみ読み出し専用となっています。最後に呼び出したシーンメモリー以外のシーンメモリーが選択されると、シーンメモリー番号が点滅します。最後に呼び出したシーンメモリーをもう一度選択した場合や、別のシーンメモリーを呼び出した場合は、番号の点滅が止まります。また、シーンメモリー表示領域にはMIDIインジケータとHOSTインジケータがあり、MIDIデータをMIDI IN端子またはTO HOST端子で受信するとそれぞれ表示されます。詳細は、231ページの「MIDIデータ受信インジケータ」をご参照ください。

ミックスシーンの保存

ミックスシーンはシーンメモリー1~99に保存します。

注: ミックスシーンを保存するときは、エディットバッファーにあるミックスシーンが保存したい内容かどうかを確かめてください。知らない間にパラメーターを変更していたり、誰か別の人が内容を変更してしまった場合も考えられます。エディットバッファーの内容に確信が持てない場合は、最後に呼び出したシーンメモリーを再度呼び出して、必要な変更のみを行い、それからシーンメモリーに保存するようにしてください。このような場合は、万一のためにも、現在のミックス設定を未使用のシーンメモリーに保存しておくといいでしょう。

1. [MEMORY] ｷｰで次の図のMEMORYページ1を表示させます。



2. [PARAMETER] ダイアルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰを使用してシーンメモリー1~99を選択します。
シーンメモリーリストの昇順・降順は、プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERで変更することができます。
3. [CURSOR] ｷｰでSTOREボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。
TITLE EDITダイアログボックスが現われます。プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)でSTORE CONFIRMATIONをオフにしてあると、TITLE EDITダイアログボックスが表示されずにミックスシーンが保存されます。
4. シーンメモリーのタイトルを入力します。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
5. OKを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。
現在のミックスシーンが選択したシーンメモリーに保存され、シーンメモリー番号の点滅が止まります。また、ディスプレイ上のEDITインジケーターが消えます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

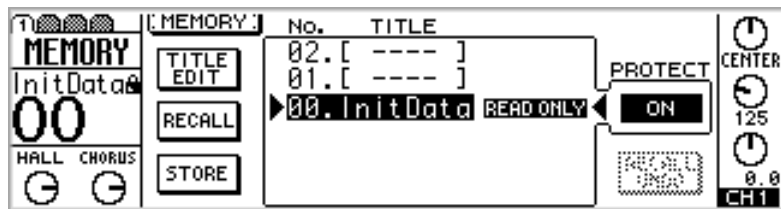
付録

ミックスシーンの呼び出し

ミックスシーンをシーンメモリー0～100から呼び出すには、MEMORYページでマニュアルで行うか、MIDIプログラムチェンジメッセージを使用します。

注: ミックスシーンを呼び出すと、チャンネルのオン/オフが切り替わったり、フェーダーが動いたりするため、音量レベルが急激に変化して耳やスピーカーを痛める原因となることがありますのでご注意ください。

1. [MEMORY] ｷｰで次のMEMORYページ1を表示させます。



2. [PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰを使用してシーンメモリーを選択します。
シーンメモリーを選択すると、シーンメモリーの番号とタイトルが点滅します。
プログラムリストの昇順・降順は、プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のLIBRARY LIST ORDERオプションで変更することができます。
3. [CURSOR] ｷｰでRECALLボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。

ミックスシーンが呼び出され、シーンメモリー番号の点滅が止まります。またディスプレイ上のEDITインジケータが消えます。

プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のRECALL CONFIRMATIONをオンにしてあると、確認のダイアログボックスが表示されますので、その場合はOKを選択してから[ENTER] ｷｰを押して呼び出し操作を確定してください。

プリファレンス(205ページの「プリファレンス」参照)のINC/DEC MEMORY RECALLをオンにしてあると、[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰを使用してシーンメモリーの選択、呼び出しができるようになります。[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰを押すと、ミックスシーンの入った次のシーンメモリーが順に選択、呼び出されます。

ミックスシーンの呼び出し操作はリコールアンドゥ機能で取り消すことができます。詳細は、188ページの「ミックスシーン呼び出し操作の取り消し」をご参照ください。

MIDIプログラムチェンジメッセージを使用したミックスシーンの呼び出し

ミックスシーンは、MIDIプログラムチェンジメッセージを使って呼び出すことが可能です。これにより、シーンをスナップショットとして切り替えていく方法でミックスオートメーションが行えます。01Vに接続したコンピューターやMIDIシーケンサー、MIDIキーボードなどの外部機器からプログラムチェンジを送信して、ミックスシーンを呼び出します。たとえば、ほとんどのMIDIキーボードでは、音色プログラムを選択するとプログラムチェンジメッセージが送信されますので、これを利用して01Vのミックスシーンを呼び出すことができます。この方法を使えば、キーを1つ押すだけで、シンセサイザーと01Vを次のソングやシーン用にセットアップすることが可能となります。

MIDIプログラムチェンジメッセージを使ってミックスシーンを呼び出すには、次の手順に従ってください。

1. プログラムチェンジメッセージを送信できるMIDI機器を01Vに接続します。
2. プログラムチェンジメッセージが受信できるように、01Vをセットアップします。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。
3. シーンメモリーにプログラムチェンジメッセージを割り当てます。詳細は、233ページの「プログラムチェンジによるシーンの呼び出し」をご参照ください。

プログラムチェンジのTxボタンをオンにすると(231ページの「MIDIセットアップ」参照)ミックスシーンを呼び出すごとに01Vからプログラムチェンジメッセージが送信されます。これは、外部エフェクターのエフェクトプログラムやシンセサイザーの音色など、他のMIDI機器のプログラムを切り替える用途にも利用できます。たとえばシーンメモリー#10を呼び出すことで、シンセサイザーの音色プログラム#10を呼び出すことも可能です。01Vから送信されるプログラムチェンジメッセージは、MIDIシーケンサーに記録できるので、このシーケンサーを再生させれば、ミックスシーンを自動的に呼び出せます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

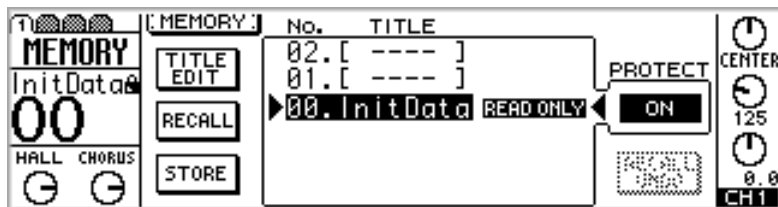
システム例

付録

ミックスシーン呼び出し操作の取り消し

ミックスシーンの呼び出し操作は、リコールアンドゥ機能を使って取り消すことができます。

1. [MEMORY] ｷｰで次のMEMORYページ1を表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰでRECALL UNDOボタンを選択します。

01Vを初期化したあとシーンメモリーを呼び出すまでは、RECALL UNDOボタンはグレー表示となっています。

3. [ENTER] ｷｰを押します。

ミックスシーンが呼び出される前のミックス設定に戻ります。

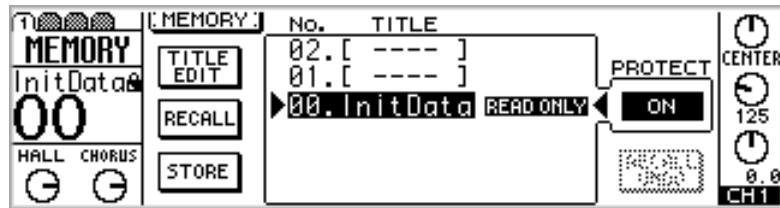
[ENTER] ｷｰをもう一度押すと、ミックスシーンの呼び出しが再度行われます。更に [ENTER] ｷｰをもう一度押せば、今度はまた呼び出し操作が取り消されます。

リコールアンドゥ機能は、ミックスシーンを誤って呼び出したときにも使えますが、ミックスのA/B比較にも利用できます。たとえば異なるミックス設定を比較したい場合、それぞれのミックスを2つのシーンメモリーに保存し、まず片方のシーンメモリーを呼び出してから、もう一方のシーンメモリーを呼び出します。その後はリコールアンドゥ機能でこの2つのミックスを瞬時に切り替えます。

シーンメモリーの書き込み禁止

誤ってミックスシーンを消してしまわないように、プロテクト機能を使ってシーンメモリーの書き込み禁止ができます。書き込み禁止されたシーンメモリーには、ミックスシーンを保存することはできません。MIDIバルクダンプデータとしてシーンメモリーのデータを受信した場合でも、該当するシーンメモリーが書き込み禁止されているときは無視されます。

1. [MEMORY] 鍵で次のMEMORYページ1を表示させます。



2. [PARAMETER] ダイアルまたは [- 1/DEC] 鍵、[+ 1/INC] 鍵でシーンメモリーを選択します。

ミックスシーンの入ったシーンメモリーに対してのみ、書き込み禁止設定ができます。

3. [CURSOR] 鍵を使用してPROTECTボタンを選択します。

4. [ENTER] 鍵を押します。

シーンメモリーを書き込み禁止にすると、PROTECTという表示がシーンメモリーリスト内のタイトルの横に、またキーロックアイコンがディスプレイ左のシーンメモリー表示領域にそれぞれ現われます。

書き込み禁止を解除するには、もう一度PROTECTボタンを選択してから、[ENTER] 鍵を押します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

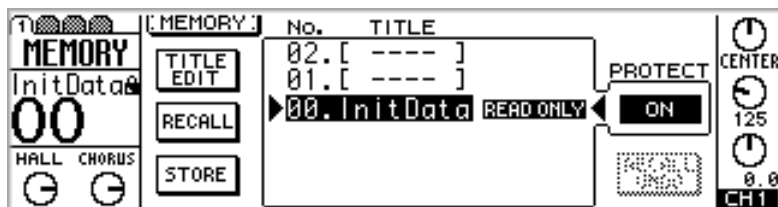
システム例

付録

シーンメモリータイトルのエディット

シーンメモリーのタイトルは、タイトルエディット機能でエディットできます。

1. [MEMORY] ｷｰを使用して次のMEMORYページ1を表示させます。



2. [PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰでシーンメモリーを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰでTITLE EDITボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。TITLE EDITダイアログボックスが現われます。
4. シーンメモリーのタイトルをエディットします。
詳細は、41ページの「TITLE EDITダイアログボックス」をご参照ください。
5. OKを選択して[ENTER] ｷｰを押します。
新しいタイトルの付いたシーンメモリーが保存されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

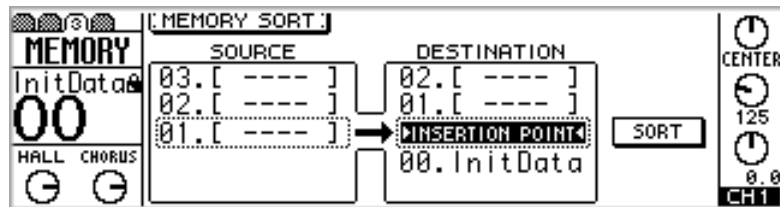
システム例

付録

シーンメモリーの並び替え

ソート機能でシーンメモリーを並び替えることができます。

1. [MEMORY] ｷｰで次のMEMORYページ3を表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰで左のリストを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰでシーンメモリーを選択します。
3. [CURSOR] ｷｰで右のリストを選択し、[PARAMETER] ダイアルまたは [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで、シーンメモリーを挿入する位置を選択します。
4. [CURSOR] ｷｰでSORTボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。
選択したシーンメモリーの番号が変わります。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

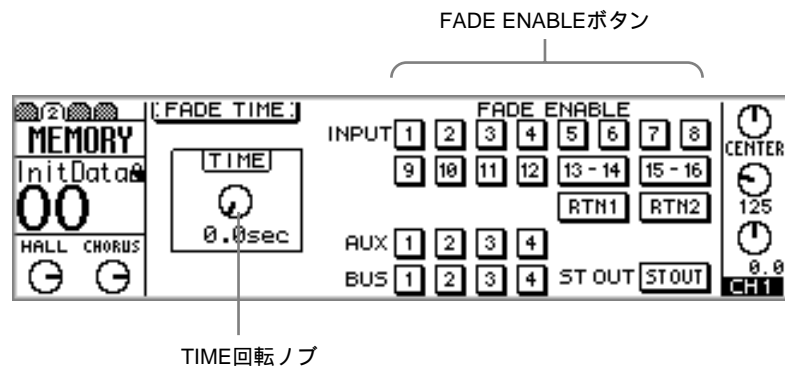
システム例

付録

フェードタイムの設定

フェードタイム機能を使用すると、ミックスシーンを呼び出すだけでクロスフェード、フェードアウト、フェードイン(0~25秒)を自動で実行することができます。フェードタイム設定を有効にするには、まずミックスシーンと一緒に保存する必要があります。インプットチャンネル1~16、エフェクトリターン、AUXアウトマスター、バスアウトマスター、ステレオ出力のフェーダーは個別にフェードタイムの採否を設定できます。

1. [MEMORY] 枠で次のMEMORYページ2を表示させます。



2. [CURSOR] 枠でTIME回転ノブを選択し、[PARAMETER] ダイヤルまたは [- 1/DEC] 枠、[+ 1/INC] 枠でフェードタイムを設定します。フェードタイムは、0.0秒から25.0秒まで0.1秒単位で設定できます。
3. [CURSOR] 枠でFADE ENABLE欄のボタンを選択し、[ENTER] 枠を押します。これでチャンネルのフェードタイムの設定が有効となります。チャンネルのフェードタイムが設定されたチャンネルのFADE ENABLEボタンが回転表示されます。
4. 現在のミックス設定をシーンメモリーに保存します。詳細は、185ページの「ミックスシーンの保存」をご参照ください。

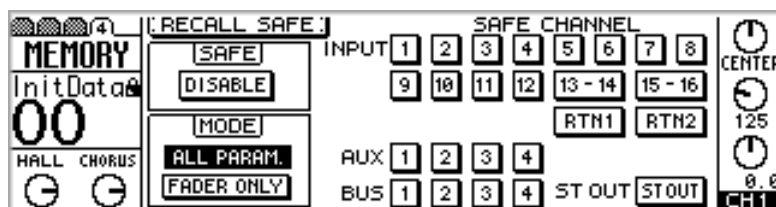
注: フェードタイム設定は、ミックスシーンと一緒に保存してからでないとは有効になりません。

5. ミックスシーンを呼び出します。詳細は、186ページの「ミックスシーンの呼び出し」をご参照ください。
ミックスシーンを呼び出すと、フェードタイムを設定したフェーダーは、設定された時間をかけて新しい位置に移動します。たとえばフェードタイムが5秒の場合、フェードタイム設定したフェーダーが新しい位置に移動するまでに5秒かかります。一般的なクロスフェード設定では、1つのチャンネルがフェードアウトする間に別のチャンネルがフェードインします。

シーンデータのリコールセーフ機能

ミックスシーンを呼び出すと、現在エディットバッファにあるミックス設定と一致しない設定はすべて更新されます。特定のチャンネルのみ、現在のミックス設定を保持したい場合は、リコールセーフ機能を使用します。リコールセーフを設定したチャンネルのミックス設定は、ミックスシーンを呼び出しても更新されません。

1. [MEMORY]キーで以下のMEMORYページ4を表示させます。



2. [CURSOR]キーでSAFE CHANNEL欄のボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。これで該当するチャンネルがリコールセーフの対象となります。リコールセーフを設定したチャンネルのSAFE CHANNELボタンが反転表示されます。
3. [CURSOR]キーでMODE(ALL PARAMまたはFADER ONLY)ボタンを選択し、[ENTER]キーを押して確定します。

ALL PARAMモード:

すべてのパラメーターはリコールされません。

FADER ONLYモード:

フェーダー設定のみリコールされなくなり、ミックスシーンを呼び出すと、その他のすべてのパラメーターは更新されます。

4. SAFEボタンをENABLEにしてください。

SAFEボタン:

リコールセーフ機能のマスターのオン/オフスイッチとして機能します。シーンのリコール操作ですべてのチャンネル設定を更新したい場合でも、このSAFEボタンをDISABLEにしておけばチャンネル1つ1つのリコールセーフを解除する必要はありません。

5. ミックスシーンを呼び出します。詳細は、186ページの「ミックスシーンの呼び出し」をご参照ください。

ミックスシーンを呼び出したとき、SAFEボタンがENABLEになっていれば、リコールセーフに設定されたチャンネルのミックス設定は更新されません。

ステレオペアまたはフェーダーグループ、ミュートグループ設定を含むミックスシーンを呼び出し、そのステレオペアやグループ内の1チャンネルのみがセーフチャンネルとして設定されている場合、ペアまたはグループが解除され、残りのチャンネルのみミックス設定が更新されます。

リコールセーフの設定は、01Vのセットアップデータとして保存され、個々のシーンメモリーには保存されません。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

その他の機能

15

本章の目次

フェーダーと[ON]キーの機能割り当て	196
内蔵オシレーターの使い方	204
プリファレンス	205
01Vの初期化	207
フェーダーのキャリブレーション	207

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

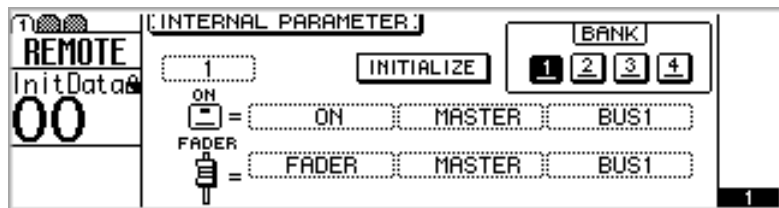
システム例

付録

フェーダーと[ON]キーの機能割り当て

インプットチャンネル1~16とSTEREO(MASTER)フェーダー、および[ON]キーに、通常とは異なる機能を割り当てることができます。たとえば、専用フェーダーのないバス出力を、インプットチャンネル1~4のフェーダーで調整できるよう設定できます。この割り当て機能は、REMOTEページ1が表示されているときにのみ有効です。別のページを選択すると、[ON]キーもフェーダーも元の機能に戻ります。4種類の機能設定をバンク1~4に保存することができます。

1. [REMOTE]キーで次のREMOTEページ1を表示させます。



このページが表示されているときは、フェーダーと[ON]キーは通常の機能ではなく、割り当てられた機能を実行します。

2. 1~16の[SEL]キーおよびMASTERの[SEL]キーを使用して、機能を割り当てたい[ON]キー、フェーダーのチャンネルを選択します。
3. [CURSOR]キーでパラメーターボックスを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーでパラメーターを設定します。
割り当てられる機能は、次頁以降のリストをご参照ください。
4. [CURSOR]キーでBANK欄のボタンを選択し、[ENTER]キーを押して選択バンクを有効にします。
有効になったバンクのボタンが反転表示されます。

カスタムの割り当て設定とバンクは、他のバンクを選択したときにMIDIバルクバンクを使って保存できます。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

バンクを初期設定の割り当てに戻すには、まずそのバンクを有効(反転表示にする)にしてからINITIALIZEボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。確認のダイアログボックスが表示されるので、OKを選択し[ENTER]キーを押して操作を確定します。選択したバンクが初期設定の割り当てに戻ります。

フェーダーの機能割り当て

フェーダー1～16とマスターフェーダーは次のパラメーターに割り当てることができます。

パラメーター		チャンネル
NO ASSIGN	-	-
FADER	CHANNEL	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2
	MASTER	AUX 1～4, BUS 1～4, EFFECT 1, EFFECT 2, ST OUT
	AUX 1 SEND, AUX 2 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2
	AUX 3 SEND, AUX 4 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, RETURN 1, RETURN 2
	EFF 1 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 2
	EFF 2 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1
DELAY	TIME	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, ST OUT L, ST OUT R, OMNI 1～4
	MIX	
	FB GAIN	
EQ (F, G, Q)	F LOW	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2, AUX 1～4, ST OUT
	G LOW	
	Q LOW	
	F L-MID	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, RETURN 1, RETURN 2, AUX 1～4, ST OUT
	G L-MID	
	Q L-MID	
	F H-MID	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, RETURN 1, RETURN 2, AUX 1～4, ST OUT
	G H-MID	
	Q H-MID	
	F HIGH	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2, AUX 1～4, ST OUT
	G HIGH	
	Q HIGH	
ATT	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24	
DYNAMICS	RATIO	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, AUX 1～4, ST OUT
	KNEE/HOLD	
	THRESHOLD	
	ATTACK	
	G/RANGE	
	REL/DECAY	
EFFECT	EFFECT 1	PARAM 1～19
	EFFECT 2	
PAN	CHANNEL	CH 1～24, RETURN 1 L, RETURN 1 R, RETURN 2 L, RETURN 2 R
	AUX 1, 2	
	AUX 3, 4	CH 1～16, RETURN 1 L, RETURN 1 R, RETURN 2 L, RETURN 2 R
	BUS TO ST	BUS 1～4
	BALANCE	ST OUT

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

[ON] 弁の機能割り当て

1～16の[ON] 弁とMASTERの[ON] 弁は次のパラメーターに割り当てることができます。

	パラメーター	チャンネル
	NO ASSIGN	-
ON (channel on/off)	CHANNEL	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2
	MASTER	AUX 1～4, BUS 1～4, EFFECT 1, EFFECT 2, ST OUT
	BUS TO ST	BUS 1～4
PHASE (normal/reverse)	CHANNEL	CH 1～16
PRE/POST (pre/post)	AUX 1 SEND, AUX 2 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2
	AUX 3 SEND, AUX 4 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, RETURN 1, RETURN 2
	EFF 1 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 2
	EFF 2 SEND	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1
DELAY (on/off)	CHANNEL	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16
	OUTPUT	ST OUT L, ST OUT R, OMNI 1～4
EQ (on/off)	CHANNEL	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16, CH 17～24, RETURN 1, RETURN 2
	OUTPUT	AUX 1～4, ST OUT
DYNAMICS (on/off)	CHANNEL	CH 1～12, CH 13-14, CH 15-16
	OUTPUT	AUX 1～4, ST OUT

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

バンク1～4の初期設定

フェーダーと[ON]キーの機能は初期設定では次のように割り当てられています。

バンク1

操作子 (コントロール)		パラメーター		
1	[ON] button	ON	MASTER	BUS 1
	Fader	FADER	MASTER	BUS 1
2	[ON] button	ON	MASTER	BUS 2
	Fader	FADER	MASTER	BUS 2
3	[ON] button	ON	MASTER	BUS 3
	Fader	FADER	MASTER	BUS 3
4	[ON] button	ON	MASTER	BUS 4
	Fader	FADER	MASTER	BUS 4
5	[ON] button	ON	MASTER	AUX 1
	Fader	FADER	MASTER	AUX 1
6	[ON] button	ON	MASTER	AUX 2
	Fader	FADER	MASTER	AUX 2
7	[ON] button	ON	MASTER	AUX 3
	Fader	FADER	MASTER	AUX 3
8	[ON] button	ON	MASTER	AUX 4
	Fader	FADER	MASTER	AUX 4
9	[ON] button	ON	MASTER	EFFECT 1
	Fader	FADER	MASTER	EFFECT 1
10	[ON] button	ON	MASTER	EFFECT 2
	Fader	FADER	MASTER	EFFECT 2
11	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	NO ASSIGN		
12	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	NO ASSIGN		
13-14	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	NO ASSIGN		
15-16	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	NO ASSIGN		
MASTER	[ON] button	ON	MASTER	ST OUT
	Fader	FADER	MASTER	ST OUT

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

バンク2

	操作子 (コントロール)		パラメーター		
基本操作	1	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 1
		Fader	DELAY	TIME	CH 1
各部の 名称と機能	2	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 2
		Fader	DELAY	TIME	CH 2
ユーザー インター フェース の基礎知識	3	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 3
		Fader	DELAY	TIME	CH 3
インプット チャンネル	4	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 4
		Fader	DELAY	TIME	CH 4
イコライザー	5	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 5
		Fader	DELAY	TIME	CH 5
ソロ、 モニター、 メーター	6	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 6
		Fader	DELAY	TIME	CH 6
ステレオ アウト	7	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 7
		Fader	DELAY	TIME	CH 7
AUXアウト	8	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 8
		Fader	DELAY	TIME	CH 8
バスアウト	9	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 9
		Fader	DELAY	TIME	CH 9
OMNIアウト	10	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 10
		Fader	DELAY	TIME	CH 10
内蔵 エフェクト	11	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 11
		Fader	DELAY	TIME	CH 11
ダイナミクス プロセッサ	12	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 12
		Fader	DELAY	TIME	CH 12
シーン メモリー	13-14	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 13-14
		Fader	DELAY	TIME	CH 13-14
その他の 機能	15-16	[ON] button	DELAY	CHANNEL	CH 15-16
		Fader	DELAY	TIME	CH 15-16
デジタル I/O	MASTER	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	NO ASSIGN		
MIDI					
システム例					
付録					

バンク3

操作子 (コントロール)		パラメーター		
1	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 1
2	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 2
3	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 3
4	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 4
5	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 5
6	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 6
7	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 7
8	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 8
9	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 9
10	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 10
11	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 11
12	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 12
13-14	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 13
15-16	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 14
MASTER	[ON] button	NO ASSIGN		
	Fader	EFFECT	EFFECT 1	PARAM 15

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

バンク4

操作子 (コントロール)		パラメーター			
基本操作	1	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 1
各部の 名称と機能	2	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 2
ユーザー インター フェース の基礎知識	3	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 3
インプット チャンネル	4	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 4
イコライザー	5	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 5
ソロ、 モニター、 メーター	6	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 6
ステレオ アウト	7	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 7
AUXアウト	8	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 8
バスアウト	9	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 9
OMNIアウト	10	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 10
内蔵 エフェクト	11	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 11
ダイナミクス プロセッサ	12	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 12
シーン メモリー	13-14	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 13
その他の 機能	15-16	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 14
デジタル I/O	MASTER	[ON] button	NO ASSIGN		
		Fader	EFFECT	EFFECT 2	PARAM 15

ユーザー割り当て表

次の表を利用して自分の割り当て設定を記録してください。

操作子 (コントロール)		パラメーター		
1	[ON] button			
	Fader			
2	[ON] button			
	Fader			
3	[ON] button			
	Fader			
4	[ON] button			
	Fader			
5	[ON] button			
	Fader			
6	[ON] button			
	Fader			
7	[ON] button			
	Fader			
8	[ON] button			
	Fader			
9	[ON] button			
	Fader			
10	[ON] button			
	Fader			
11	[ON] button			
	Fader			
12	[ON] button			
	Fader			
13-14	[ON] button			
	Fader			
15-16	[ON] button			
	Fader			
MASTER	[ON] button			
	Fader			

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

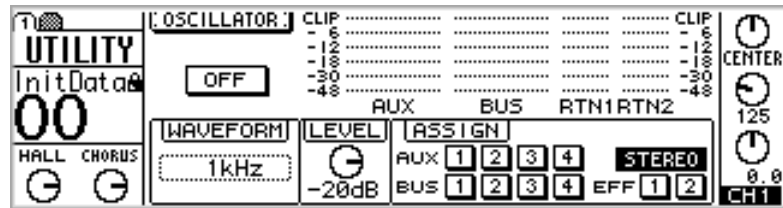
システム例

付録

内蔵オシレーターの使い方

01Vには100Hz、1kHz、10kHzのサイン波トーン、ピンクノイズ、バーストピンクノイズから選択できる便利なオーディオオシレーターが内蔵されており、バス出力、AUX出力、ステレオ出力、内蔵エフェクトにオシレーターの出力を送ることができます。このオシレーターはレベル調節や試聴テストに利用できます。たとえば、バーストノイズの波形を内蔵エフェクターに割り当てれば、リバーブ設定を簡単に試聴できます。

1. [UTILITY] ｷｰで次のUTILITYページ1を表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰでパラメーターを選択し、[ENTER] ｷｰ、[PARAMETER] ﾀﾞイアル、[-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定します。

ON/OFF オシレーターのオン/オフを切り替えます。

注：突然大音量で再生されてスピーカーやヘッドフォンに悪影響が及ばないように、オシレーターレベル、ステレオアウト、AUXアウト、バスアウト、エフェクトリターンは小さめにしておいてください。

WAVEFORM オシレーターが発生する波形の種類を次の中から選択します。

- ・ 100Hzのサイン波
- ・ 1kHzのサイン波
- ・ 10kHzのサイン波
- ・ ピンクノイズ
- ・ バーストピンクノイズ(4秒間隔でノイズパルスを200ミリ秒生成)

LEVEL オシレーターが生成する信号のレベルを0dB ~ -96dBの範囲で調整します。

ASSIGN オシレーター信号をバスアウト、AUXアウト、ステレオアウト、内蔵エフェクトに割り当てるボタンです。

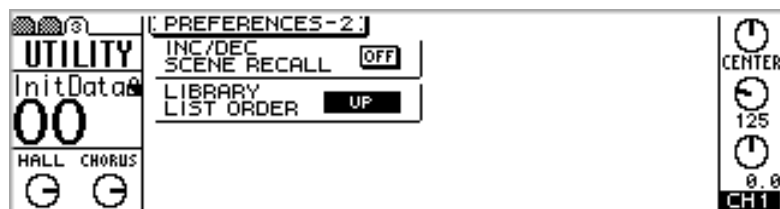
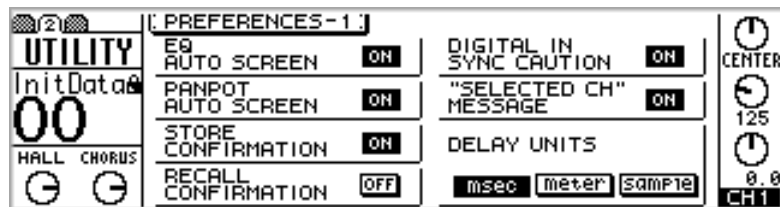
OSCILLATORページには、バスアウト、AUXアウト、エフェクトリターンのレベルメーターも表示されます。

オシレーターをバスに割り当てると、オシレーターの信号が優先され、そのバスを経由する他の信号はすべてミュートされます。

プリファレンス

次のPREFERENCESページでは、01Vのさまざまな環境設定を行います。

1. [UTILITY] 鍵で次のUTILITYページ2または3を表示させます。



2. [CURSOR] 鍵でパラメーターを選択し、[ENTER] 鍵、[PARAMETER] ダイヤル、[- 1/DEC] 鍵、[+ 1/INC] 鍵で設定します。

EQ AUTO SCREEN(EQ自動表示)

このプリファレンスをオンにしておくと、[F] または [G] コントロールを調整したときや、[LOW] [LO-MID] などのEQのバンド選択キーを押したときに、EQページまたはOPTIONページが表示されます。詳細は、67ページの「イコライザーの調整」をご参照ください。

PANPOT AUTO SCREEN(パンポット自動表示)

このプリファレンスをオンにしておくと、[PAN] コントロールを調整したときに、PAN/ROUTページまたはOPTIONページが表示されます。詳細は、52ページの「インプットチャンネルのパン設定」をご参照ください。

STORE CONFIRMATION(保存の確認)

このプリファレンスをオンにしておくと、ミックスシーンやライブラリープログラムを保存するときには、常に確認のTITLE EDITダイアログボックスが現われます。ミックスシーンやライブラリープログラムを誤って保存することを防ぐのに便利な機能です。

RECALL CONFIRMATION(リコールの確認)

このプリファレンスをオンにしておくと、ミックスシーンやライブラリープログラムを呼び出したときに、常に確認のダイアログボックスが現われます。ミックスシーンやライブラリープログラムを誤って呼び出すのを防ぐのに便利な機能です。

DIGITAL IN SYNC CAUTION

このプリファレンスをオンにしておくと、DIGITAL STEREO IN端子やOPTION I/Oのデジタル入力信号とワ - ドクロックとの同期がとれないときに、警告のメッセージを表示します。詳細は、213ページの「ワ - ドクロックのセットアップ」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

“ SELECTED CH ”MESSAGE

このプリファレンスをオンにしておくと、フェーダーモードを切り替えた際に、選択チャンネルが強制的に変更されたことを示すメッセージが表示されます。

DELAY UNITS(ディレイ単位)

インプットチャンネル、ステレオ出力、OMNI出力のディレイ値の単位をミリ秒、メートル、サンプルの中から選択します。詳細は、50ページの「チャンネル信号のディレイ」、97ページの「ステレオアウトディレイ」、123ページの「OMNIアウトのディレイ」をご参照ください。

INC/DEC MEMORY RECALL([- 1/DEC] \uparrow 、[+ 1/INC] \downarrow によるメモリー呼び出し)

このプリファレンスをオンにしておくと、MEMORYページ1が表示されているときに [- 1/DEC] \uparrow 、[+ 1/INC] \downarrow を使ってシーンメモリーを選択・呼び出しすることができます。[- 1/DEC] \uparrow 、[+ 1/INC] \downarrow を押すたびに、ミックスシーンデータの入ったシーンメモリーが順に選択・呼び出されます。詳細は、186ページの「ミックスシーンの呼び出し」をご参照ください。

LIBRARY LIST ORDER(ライブラリーリストの順番)

このプリファレンスをUPにしておくと、EQ、エフェクト、ダイナミクス、シーンメモリーのリストには、プログラム、シーンが上から番号の大きい順に並びます。またDOWNを選択すると、上から番号の小さい順に並びます。

初期設定

プリファレンス	オプション	初期設定
EQ AUTO SCREEN	ON/OFF	ON
PANPOT AUTO SCREEN	ON/OFF	ON
STORE CONFIRMATION	ON/OFF	ON
RECALL CONFIRMATION	ON/OFF	OFF
DIGITAL IN SYNC CAUTION	ON/OFF	ON
“ SELECTED CH ”MESSAGE	ON/OFF	ON
DELAY UNITS	msec, meter, sample	msec
INC/DEC MEMORY RECALL	ON/OFF	OFF
LIBRARY LIST ORDER	UP/DOWN	UP

01Vの初期化

01Vの設定を初期設定値に初期化し、EQライブラリー、エフェクトライブラリー、ダイナミクスライブラリーのプログラム、およびシーンメモリーすべてをクリアします。またMIDIプログラムチェンジアサイン・コントロールチェンジアサインなどもすべて初期設定値に初期化します。

注: ミックス設定のみを初期設定値にリセットし、プログラムとシーンメモリーはそのままだけにしたい場合は、ミックスシーン00をリコールしてください。詳細は、184ページの「シーンメモリー00」をご参照ください。

1. 01Vの電源を切ります。
2. [MEMORY]キーを押さえたまま電源を入れます。
《INITIALIZE MEMORY?》というメッセージが表示されます。
3. [MEMORY]キーを放します。
4. [+1/INC]キーを押して初期化します。操作をキャンセルしたいときは[-1/DEC]キーを押します。
初期化を実行すると、ミックス設定は工場出荷時の初期設定に戻り、EQライブラリー、エフェクトライブラリー、ダイナミクスライブラリーのプログラムとシーンメモリーがクリアされ、フェーダーのキャリブレーションが行われます。

フェーダーのキャリブレーション

01Vを長期間使用しない場合、別の場所へ移動する場合、あるいはフェーダーの動きがおかしくなった場合は、フェーダーのキャリブレーションが必要です。キャリブレーションを実行すれば、各フェーダーのモーターが正確でスムーズな動きをするようにトルクが調整されます。

1. 01Vの電源を切ります。
2. [ENTER]キーを押したまま再度電源を入れます。
3. [ENTER]キーを放します。
フェーダーのキャリブレーションが始まります。フェーダーが元の位置まで戻ればキャリブレーションが完了です。キャリブレーションが完了するまでは01Vを使用しないでください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

デジタル I/O

16

本章の目次

ワードクロックについて	210
ワードクロックのセットアップ	213
デジタルステレオアウト	215
出力ディザー	216
デジタルステレオイン	216
01Vのカスケード接続	218
OPTION I/Oカード	221
OPTION I/Oカードの装着	223
信号をOPTION I/O出力に割り当てる	224
OPTION I/Oブロック図	225

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

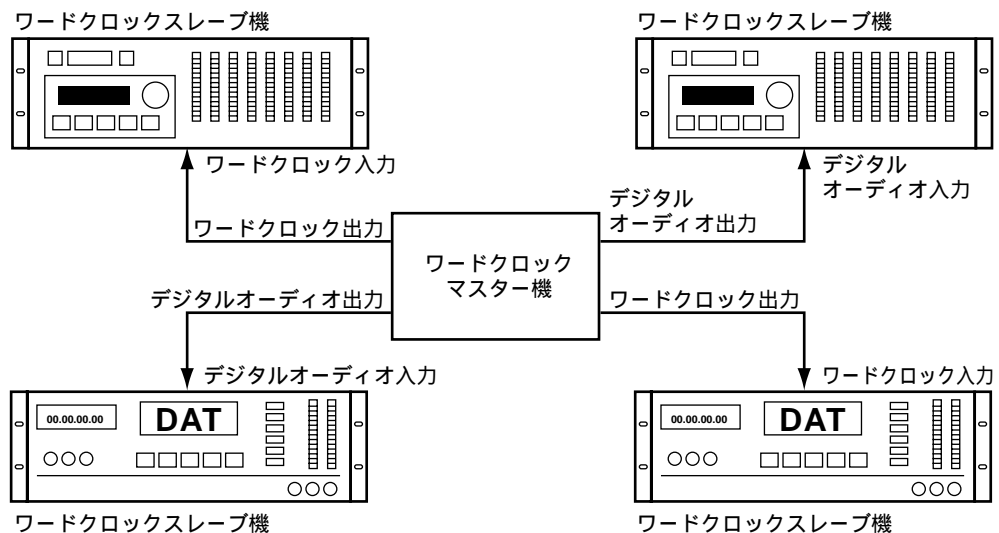
ワードクロックについて

デジタルオーディオ機器はアナログオーディオ機器とは異なり、デジタルオーディオを機器間で転送するときには必ず同期させる必要があります。これを行わないと、データが正しく受信されなかったり、耳でもわかるようなノイズが生じたりします。このデジタル機器の同期にはワードクロックと呼ばれる信号を使用します。これはシステム内のデジタルオーディオワードをすべて同期させるクロック信号です。ワードクロックの同期とは、オーディオレコーダーやMIDIシーケンサーなどの同期に使われるSMPTEタイムコードやMIDIタイムコードとは異なり、各オーディオ機器内でデジタルオーディオを処理する回路がお互いに同期した状態を指します。

通常は、1台のデジタルオーディオ機器がワードクロックのマスターとなり、その他の機器がスレーブとなってマスターのワードクロックに同期します。システム内で01Vが唯一のデジタルオーディオ機器であれば、特別なワードクロック設定は不要で01Vは内蔵ワードクロックに同期します。ところがDATレコーダーやデジタルMTRをシステムに加えると、まずどの機器をワードクロックのマスター、スレーブにするかを決定する必要があります。この指定を行ってシステム設定を済ませてからも、DATやCDプレーヤーから録音する時など、特定の場合にワードクロックの設定を変更する必要があります。

ワードクロックの周波数は、選択されているサンプリング周波数と一致します。01Vの内蔵ワードクロックジェネレーターでは、音楽CDなどの業界標準のサンプリング周波数である44.1kHzが使用でき、01Vをワードクロックのマスターとして設定できます。また、周波数が44.1kHz - 10% ~ 48kHz + 6%の範囲の外部ワードクロックに対し、01Vを同期させることも可能です。デジタルオーディオのサンプリング周波数の変換は複雑な工程なので、特にCD用に音楽を作成する場合は44.1kHzを使用することが最適です。

ワードクロック信号は専用のケーブルで分岐したり、次の図のように標準のデジタルオーディオ接続で受信します。AES/EBUおよびCOAXIALのデジタルオーディオ接続では、オーディオ信号がなくてもワードクロック信号を送信することができます。

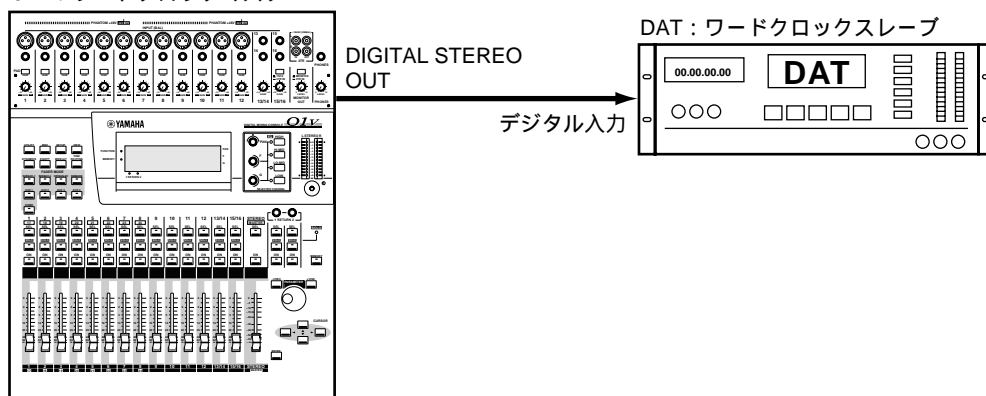


各機器で同一のワードクロックを共有するシステムでは、たとえ使用しない機器があっても、必ずすべての機器の電源をオンにすることが重要です。ワードクロックのマスターとなる機器の電源を最初に入れ、次にスレーブ機器の電源を入れます。電源を切るときは逆にスレーブ機器から順に電源を切ってください。録音や演奏を始める前に、ワードクロックのスレーブ機器がマスター機器のワードクロックにロックしていることを確認してください。大半の機器ではワードクロックにロックしているかを表示するインジケータがフロントパネルにあるので、詳細は該当機器の取扱説明書をご参照ください。

次の3種類のシステム例は01Vを使った典型的なワードクロックのセットアップです。特定の機器のシステム例についての詳細は、247ページの「システム例」をご参照ください。

DATへデジタル録音

01V : ワードクロックマスター



このシステムでは01Vのステレオ出力信号がDATレコーダーにデジタル送信されます。01Vはワードクロックのマスターで内蔵ワードクロックを使用し、DATはスレーブ機として01VのDIGITAL STEREO OUT端子から入力されるワードクロック信号に従います。両機器ともサンプリング周波数は44.1kHzです。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

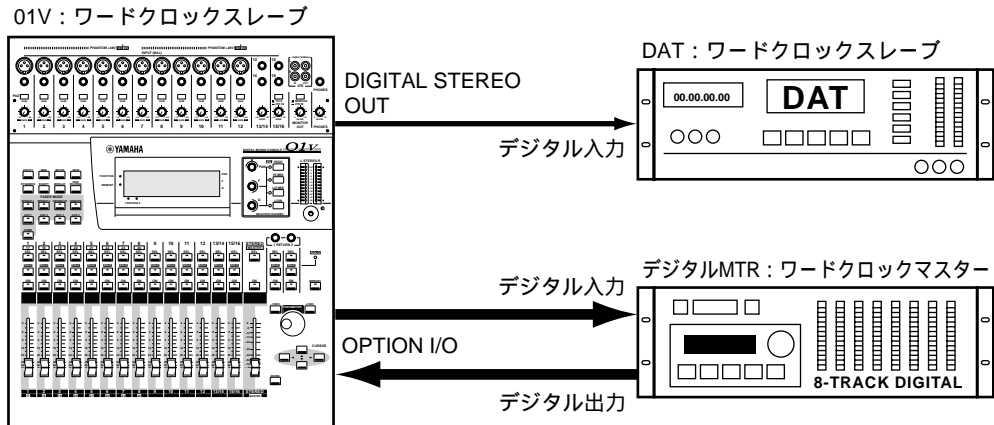
デジタル
I/O

MIDI

システム例

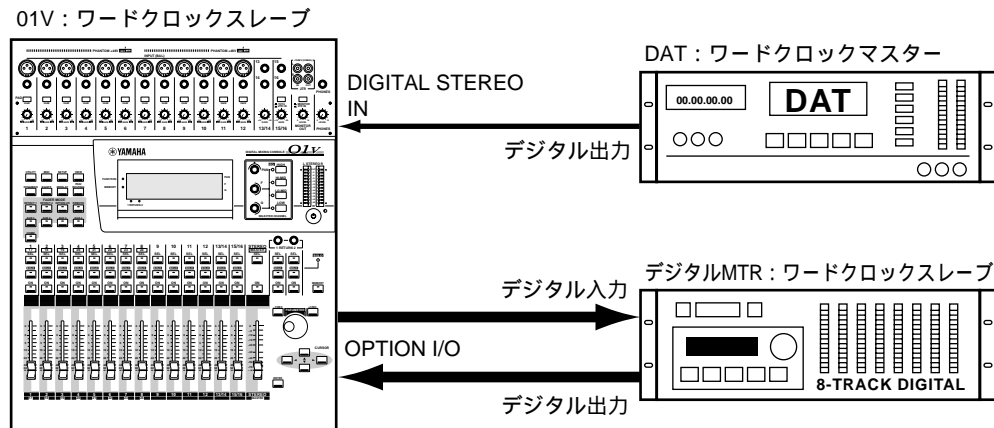
付録

マルチトラックレコーディング



このシステムではオーディオをデジタルMTRに録音し、またレコーダーからミックスを行います。01Vのステレオ出力信号がDATレコーダーにデジタル送信されます。デジタルMTRはワードクロックのマスターとして、また01VとDATレコーダーはスレーブとして機能します。01VはOPTION I/Oデジタル入力からのワードクロックに従い、DATは01VのDIGITAL STEREO OUT端子からのワードクロック信号に従います。サンプリング周波数はデジタルMTRのテープがフォーマットまたは録音されたときと同じ周波数です。

デジタルDATソースを使ったマルチトラック録音



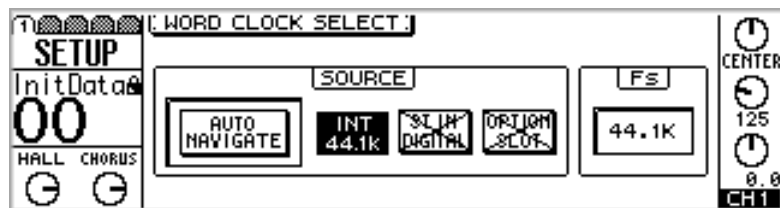
このシステムではオーディオをデジタルMTRに録音し、またレコーダーからミックスを行います。DAT出力信号は01Vにデジタル送信し、デジタルMTRに録音されます。DATレコーダーはワードクロックマスター、01VとデジタルMTRはワードクロックスレーブです。01VはDIGITAL STEREO IN端子から入るワードクロックに従い、デジタルMTRは01VのOPTION I/O接続からのワードクロックに従います。サンプリング周波数はDATテープが録音されたときと同じです。DATレコーダーの代わりにCDプレーヤーを接続することもできます。その場合のサンプリング周波数はCD用の業界標準サンプリング周波数、44.1kHzで固定されます。

ワードクロックのセットアップ

01Vの内蔵ワードクロックジェネレーターでは、音楽CDなどの標準のサンプリング周波数である44.1kHzが使用できます。また周波数が44.1kHz - 10% ~ 48kHz + 6%の範囲の外部ワードクロックに対し、01Vを同期させることも可能です。外部ワードクロックは、DIGITAL STEREO IN端子あるいはOPTION I/Oカードのデジタル入力から受信できます。

注：システム内で01Vが唯一のデジタルオーディオ機器である場合は、ワードクロックソースを変更する必要はありません。INT 44.1Kのままにしてください。

1. [SETUP]キーを使用して次のSETUPページ1を表示させます。



注：この機能を使用する前に必ずモニターアンプやヘッドフォンのボリュームをしばらく、音が出力されない状態にしてください。ワードクロックを連続的に切り替えるため、ノイズが発生することがあるからです。

2. [CURSOR]キーでSOURCEの欄から選択ボタンを選び、[ENTER]キーで設定します。

AUTO NAVIGATE 使用可能なすべてのワードクロックソースをチェックして、推奨ワードクロックをダイアログボックスに表示する機能です。ただし、この機能が常に完璧とは限りませんのでご注意ください。この機能を選ぶと、次の図のようなダイアログボックスが現われます。OKを選択し、[ENTER]キーを押してデジタル入力のスキャンを開始します。



ワードクロックソースをマニュアルで選択するには、次のボタンを使用します。

**INT
44.1k**

44.1kHzの内蔵ワードクロックを選択します。左の表示のようにボタンが反転表示されていると、01Vはワードクロックソースに同期し、待機状態であることを示します。

**ST IN
DIGITAL**

ワードクロックソースとしてデジタルステレオインを選択します。左の表示のように斜めの線が1本入っていると、表示の入力端子にワードクロック信号が入っているが01Vは現在これに同期していないことを示します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録



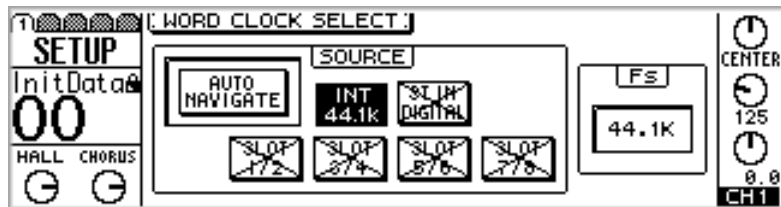
ワードクロックソースとしてOPTION I/Oカードを選択します。左の表示のように2本の線がクロスしている場合は、ワードクロック信号がこの入力端子に入っていないことを示します。



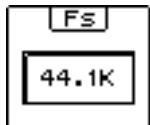
反転表示で2本の線がクロスしている場合は、選択されているソースからワードクロックが受信されていないことを示します。このときFs欄にはUNLOCK(アンロック)と表示されているはずですが、01Vを使用する前に外部ワードクロックを修正するか、別のソースを選択してください。通常は、外部ワードクロックソースの電源が切れているか、ワードクロック信号を送信するケーブルの接続が切れていると、この表示になります。

プリファレンス(205ページ「プリファレンス」参照)のDIGITAL IN SYNC CAUTION オプションをオンにしてあると、DIGITAL STEREO IN端子あるいはOPTION I/Oのデジタル入力信号が01Vとワードクロック同期がとれていない場合、警告のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、接続されているデジタル機器をワードクロックマスターにしてください。

OPTION I/Oカード、MY8-AEを装着すると、次のようにOPTION SLOTボタンが4つのSLOTボタンに変わります。



このボタンを使用して、ワードクロックソースとしてAES/EBUデジタル入力のペアを選択します。



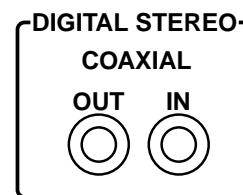
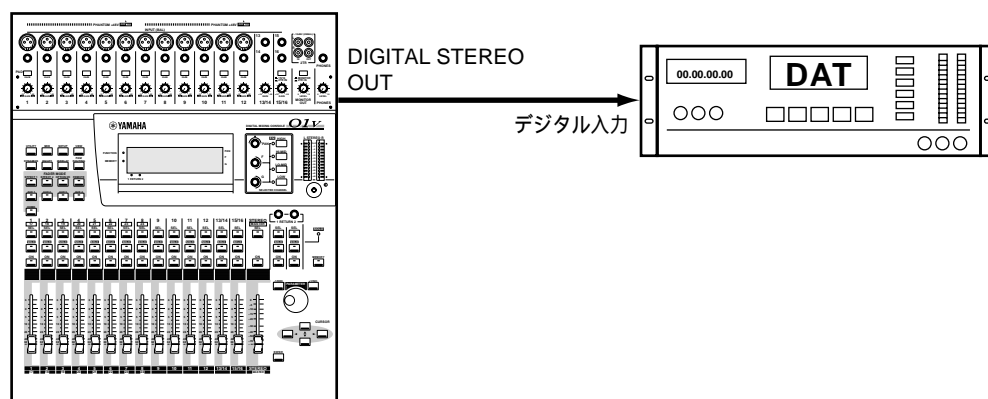
この表示欄には01Vのワードクロックの状態が表示されます。44.1kは、44.1kHzのサンプリング周波数にロックすることを示し、ワードクロックソースを変更するとLOCKという表示が現われて新しいソースへロック中であることを示します。外部ワードクロックソースがなくなるとUNLOCKという表示が出ます。これは通常、外部ワードクロックソースの電源が切れているか、ワードクロック信号を送信するはずのケーブルの接続が切れていると、現われます。

CDプレーヤーをデジタルステレオインに接続すると、選択できるサンプリング周波数は44.1kHzのみとなります。DATを接続した場合は、使用DATによってサンプリング周波数が決まります。固定のサンプリング周波数で録音する機種や、ユーザーが44.1kHz、48kHzなどから選択した周波数で録音する機種があるからです。

デジタルステレオアウト

ステレオアウト信号は、DIGITAL STEREO OUT端子から民生フォーマットでデジタル出力されます。通常これはDATやMiniDiscデッキのデジタル入力端子に接続して、ステレオミックス録音を行ったり、もう1台の01VのDIGITAL STEREO IN端子にカスケード接続したりします。詳細は、218ページの「01Vのカスケード接続」をご参照ください。デジタルステレオアウトCOAXIAL信号のワードクロックは、ディザ機能を使って設定します。詳細は、216ページの「出力ディザ」をご参照ください。

次の例では01VのDIGITAL STEREO OUT端子をDATレコーダーのデジタル入力端子に接続して、デジタルミックスダウン録音を行う接続です。01Vはワードクロックマスター、DATはワードクロックスレーブとなっています。詳細は、210ページの「ワードクロックについて」をご参照ください。DATレコーダーのデジタル入力を録音ソースとして選択すると、DATは01Vからのワードクロック信号に自動で同期するはずですが、一部DATレコーダーでは、ワードクロックソースを別個に設定するものもありますので、詳細は、お使いのDATレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

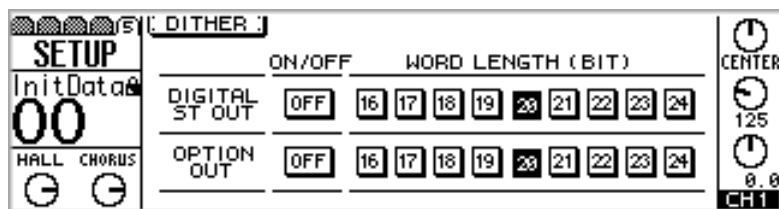
付録

出力ディザー

解像度の高いデジタルオーディオ信号が解像度の低いシステムに転送された場合、受信側のシステムで最下位ビット(LSB)を含む下位のビットの一部が無視されます。このようなビット切り捨てにより、信号のレベルが低いときに粒が粗く階段状のサウンドとなり、まるで解像度の低いデジタルリバーブをかけた信号をフェードイン/アウトさせたように聞こえます。デジタルオーディオ信号のワード長は、受信側のシステムで対応するワード長に一致するように短くしなければなりません。この工程を最適化するために、01Vでは業界標準のテクニックであるデジタルディザー機能を使用しています。

ディザーはDIGITAL STEREO OUT端子とOPTION I/O出力に対し、個別に設定できます。デジタル機器が対応するワード長と一致するように設定してください。たとえば、16ビットのDATレコーダーを01VのDIGITAL STEREO OUT端子に接続する場合は、ワード長を16に設定し、20ビットのデジタルマルチトラックレコーダーをOPTION I/Oに接続する場合は、OPTION OUTボタンを20に設定します。

1. [SETUP] ｷｰで次のSETUPページ5を表示させます。

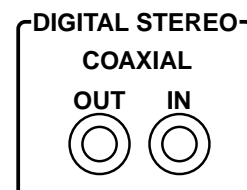


2. [CURSOR] ｷｰでWORD LENGTH欄のボタンを選択し、[ENTER] ｷｰで設定します。

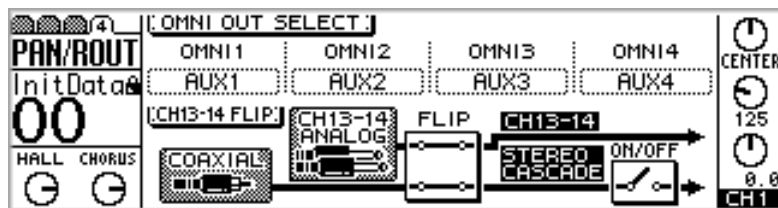
ディザー機能は、擬似乱数シーケンスジェネレーターの出力を、短くされたデータワードの最下位ビット、およびそれ以下のビットと比較し、D/Aコンバーターに入る前で切り上げまたは切り捨てを行います。これにより、デジタル出力信号が、解像度の低いシステムでも使用できるように最適化されます。ディザー機能を使用すると、デジタル信号に理論上最小限度のノイズが加わります。クラシック音楽の録音などダイナミックレンジがワイドな用途ではこの機能をオフにするオーディオプロもいますが、使用すべきか不確かな場合は、オンにすることをおすすめします。

デジタルステレオイン

DIGITAL STEREO IN端子を使って、01Vに民生フォーマットのデジタルオーディオ信号を入力します。CDプレーヤー、DAT、MiniDiscデッキのデジタル出力を接続したり、もう1台の01Vのデジタルステレオ出力を接続してカスケード操作を行ったりします。詳細は、218ページの「01Vのカスケード接続」をご参照ください。



1. [PAN/ROUTING]キーで次のPAN/ROUTページ4を表示させます。



2. [CURSOR]キーでFLIPボタン、ON/OFFボタンを選択し、[ENTER]キーで設定します。

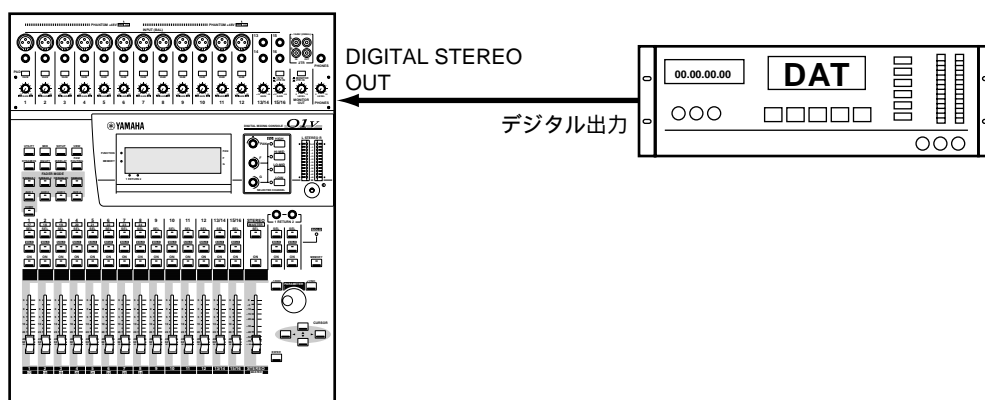
FLIP インプットチャンネル13と14の入力をデジタルステレオインに切り替えるボタンです。通常はアナログ入力13と14がインプットチャンネル13と14に入り、デジタルステレオインがステレオパスに入りますが、これを切り替えると、インプットチャンネル13と14がステレオパスに入り、デジタルステレオインがインプットチャンネル13と14に入ります。

ON/OFF ステレオカスケード信号をオン / オフするボタンです。ステレオカスケードされる信号の種類は、FLIPボタンで決定します。ステレオカスケード信号はこのボタンの前後の信号をモニターやヘッドフォンから聴くことができます。詳細は、82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。

注: DIGITAL STEREO IN端子に外部機器を接続する場合、ノイズ発生などのトラブルを避けるために送信側の機器と01Vのワーククロックを同期させなければなりません。詳細は、210ページをご参照ください。

エンファシスのかかったデジタルオーディオ信号は、自動的にディエンファシス処理を行います。

次の例はDIGITAL STEREO IN端子とDATレコーダーのデジタル出力を接続して、デジタルソースからのミキシングを行う接続です。01Vはワーククロックのスレーブ、DATはマスターとなっています。01VのSETUPページ1でワーククロックソースをST IN DIGITALに設定してください。詳細は、213ページの「ワーククロックのセットアップ」をご参照ください。



01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

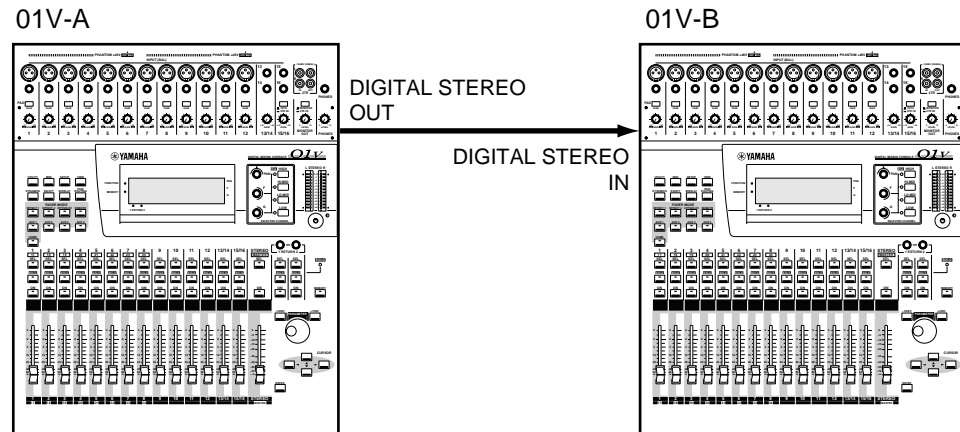
システム例

付録

01Vのカスケード接続

01VのDIGITAL STEREO IN/OUT端子を使って、次の図のように2台の01Vを48系統の入力を持つミキシングコンソールとすることができます。

01V-Aのオーディオ信号はステレオミックスされて、DIGITAL STEREO OUT端子から01V-Bに送信され、01V-Bのオーディオ信号とミックスされます。01V-Aはワードクロックマスターとして、INT 44.1Kに設定。01V-BはワードクロックスレーブとしてワードクロックソースをST IN DIGITALに設定します。詳細は、213ページの「ワードクロックのセットアップ」をご参照ください。



カスケード操作では、01V-BのCOAXIAL入力を切り替えず、ステレオカスケードをオンにします。詳細は、216ページの「デジタルステレオイン」をご参照ください。

MIDIローカルコントロール

MIDIローカルコントロール機能を使用すると、01V-Aのコントロール類を使って01V-Bを操作することができます。01V-Bのローカルコントロールをオフにすると、01V-Aのフェーダー、キー、ディスプレイページが通常の該当機能ではなく01V-Bをコントロールするようになります。また、01V-Aのメーターが01V-Bの信号レベルを表示します。詳細は、240ページの「ローカルコントロール」をご参照ください。

リンク機能

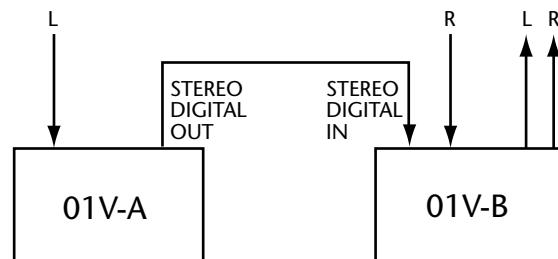
カスケード接続した複数の01VをTO HOST端子(またはMIDI端子)同士で接続することによって、SOLOを連動させたり、フェーダーモードやディスプレイページの切り替えなどを同時に行うことができます。詳しくは、245ページの「01Vのリンク」をご参照ください。

AUXアウトを使用したカスケード接続

AUXアウトを使用してカスケード接続ができます。たとえば01V-A(サブミキサー)のAUXアウト1をMONI OUTに送って、01V-B(メインミキサー)のインプットチャンネル13に接続します。01V-Bではインプットチャンネル13からAUXセンド1のプリフェーダーへと信号を送ります。これで01V-BのAUXアウト1からは両方の01VのAUXアウト1信号が出力されます。同様に、01V-Bのインプットチャンネル14、15、16を使ってAUXアウト2、3、4をカスケード接続することができます。

カスケードディレイ

01V-Aでのデジタルオーディオデータの処理に数百マイクロ秒かかるため、01V-Bの入力信号を若干遅らせないと、01V-Aからの信号の位相に合いません。次の図で、この位相の修正が必要である理由がわかります。



信号Lは01V-Aと01V-Bで処理されているため、信号Rとは位相がずれています。位相が合うようにするには、01V-B上で入力信号Rを14サンプル分だけ遅らせます。

このような位相修正は01Vだけの問題に限りません。どのデジタルオーディオ機器も、デジタルオーディオデータを処理するのに数百マイクロ秒から数ミリ秒かかります。01V-Bのディレイ機能(50ページの「チャンネル信号のディレイ」)を使用して、01V-Bのすべてのインプットチャンネル信号を14サンプル遅らせてください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

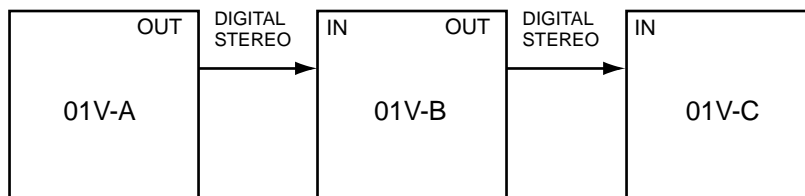
MIDI

システム例

付録

3台のカスケード接続

この例では、01V-C上でのカスケードディレイを28サンプルに、01V-Bでのディレイを14サンプルに設定します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

OPTION I/Oカード

01VにはオプションのOPTION I/Oカード用スロットが1つ装備されており、このカードによって8系統のデジタル入力(インプットチャンネル17~24)と8系統のアサインブルデジタル出力が使用できるようになります。OPTION I/Oを使用すると、ADAT、Tascam、AES/EBUの各フォーマットに対応したカードを使って、デジタルMTRへダイレクト接続ができます。アナログの入出力を提供する各種OPTION I/Oカードもあります。

OPTION I/Oカードの最新情報は、ヤマハ・プロ用音響機器のホームページをご覧ください。
< <http://www.yamaha.co.jp/product/proaudio/> >

01VのOPTION I/Oカードは、ヤマハ02R、03Dの各デジタルレコーディングコンソールで使用するCD8-ATなどのYGDAIカードとは互換性がありません。

MY8-AT ADAT

MY8-AT ADATカードには、2つのAlesis ADATマルチチャンネルオプティカルデジタルインターフェースコネクタが搭載されており、Alesis ADAT、Alesis ADAT-XT、Fostex D-90HDレコーダーなど、8トラックのデジタルMTRを接続できます。

MY8-TD Tascam

MY8-TDカードには、Tascamデジタルオーディオインターフェース(TDIF-1) 25ピンD-subコネクタが搭載されており、Tascam DA-88やDA-38など、8トラックのデジタルMTRを接続できます。

MY8-TDカードには、接続機器を選択するスイッチがあります。Tascam DA-88は“EXT:88”に、DA-38あるいはその他の機器は“INT:38”にそれぞれスイッチを設定してください。

MY8-AE AES/EBU

MY8-AEカードには、25ピンD-subコネクタが搭載されており、AES/EBUフォーマットのデジタル入出力に対応するデジタルオーディオ機器を接続できます。コネクタのピンアサインについては、MY8-AEの説明書をご参照ください。

MY4-DAアナログ出力

MY4-DAカードには、4系統のアナログXLRタイプ端子が搭載されています。このカードを使用して、たとえば4系統のバス出力をOMNI出力に割り当て、4系統のAUXセンドをMY4-DAアナログ出力に割り当てることによって、合計8系統のアナログ出力を使用することができます。

MY8-AD 8アナログ入力

MY8-ADカードには、8系統のアナログフォン端子が搭載されており、8系統のアナログ信号をインプットチャンネル17~24に入力できます。

MY4-AD 4アナログ入力

MY4-ADカードには、4系統のアナログXLRタイプ端子が搭載されており、4系統のアナログ信号をインプットチャンネル17~20に入力できます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

カード仕様

カード	機能	入力	出力	端子
MY8-AT	ADATデジタルI/O	8 (CH17 ~ 24)	8 (バス、AUX、ステレオ、チャンネルダイレクト)	オプティカルx2
MY8-TD	Tascam TDIF-1デジタルI/O	8 (CH17 ~ 24)		25ピンD-subx1
MY8-AE*1	AES/EBUデジタルI/O	8 (CH17 ~ 24)		25ピンD-subx1
MY4-DA	アナログ出力		4 (バス、AUX、ステレオ、チャンネルダイレクト)	XLRタイプ端子x4
MY8-AD	アナログ入力	8 (CH17 ~ 24)		フォン端子x8
MY4-AD	アナログ入力	4 (CH17 ~ 20)		XLRタイプ端子x4

*1. ケーブルは含まれていません。

8系統のOPTION I/Oデジタル入力はインプットチャンネル17~24に入ります。詳細は、45ページの「インプットチャンネル17~24」をご参照ください。チャンネル1~8への入力を別個に、あるいはまとめてインプットチャンネル17~24と入れ替えることができます。これによって、OPTION I/Oデジタル入力の信号に4バンドのEQやダイナミクスプロセッサーをかけたり、インプットチャンネル1~8の機能をデジタル信号に使用することができます。詳細は、56ページの「インプットチャンネル1~8と17~24の入れ替え(SWAP)」をご参照ください。エンファシスのかかったOPTION I/Oデジタルオーディオ信号は、自動的にディエンファシス処理されます。

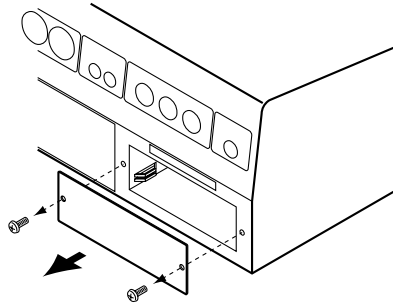
8系統のOPTION I/Oデジタル出力を、バス出力1~4、AUXセンド1~4、ステレオ出力の左右チャンネル、あるいはインプットチャンネル1~16のポストフェーダーダイレクト出力に割り当てることもできます。詳細は、224ページの「信号をOPTION I/O出力に割り当てる」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサー
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

OPTION I/Oカードの装着

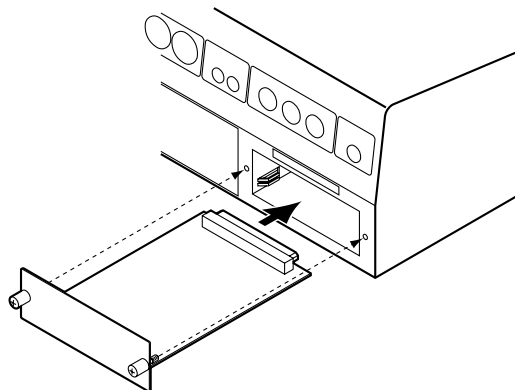
重要注意: OPTION I/Oカードを取り付ける前に、必ず01Vの電源を切ってください。これを守らないと、感電の危険があり、また本体やカードが損傷する場合があります。

1. 01Vの電源をオフにします。
2. 次の図のように2本のネジをゆるめてスロットカバーを取り外します。



カバーは今後のために安全な場所に保管してください。

3. 次の図のようにカードをスロットに挿入します。カードの端子部分が01V内部の端子に正しくはまるよう、カードをいっぱいまで押し込んでください。

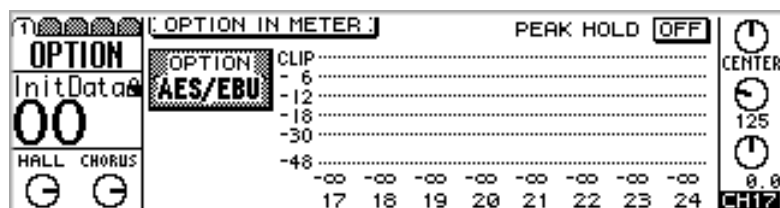


4. 2本のネジでカードを固定します。

注: ネジをしっかり締めずゆるいままにしておくと、正しくアースがとれないことがありますので注意してください。

5. 01Vの電源を入れます。

電源が入ると01Vは装着されているOPTION I/Oカードの種類を点検します。カードが正しく装着され、正常に作動する場合は、OPTIONページ1にカードの種類が表示されます。



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

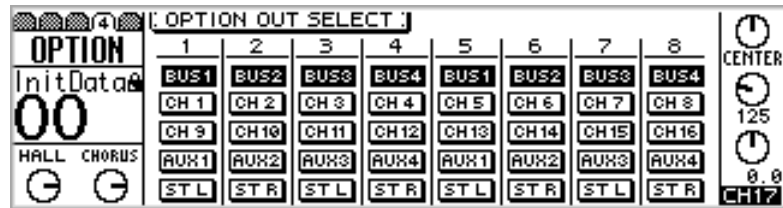
システム例

付録

信号をOPTION I/O出力に割り当てる

8系統のOPTION I/Oデジタル出力には、バス出力1~4、AUXセンド1~4、左右のステレオ出力、インプットチャンネル1~16のポストフェーダーダイレクト出力を割り当てることができます。01Vのバスは4系統ですが、4系統のバス出力と4系統のAUXセンドをデジタル出力に割り当てることによって、合計8トラックの同時録音が可能となります。

1. [OPTION I/O] ｷｰでOPTIONページ4を表示させます。

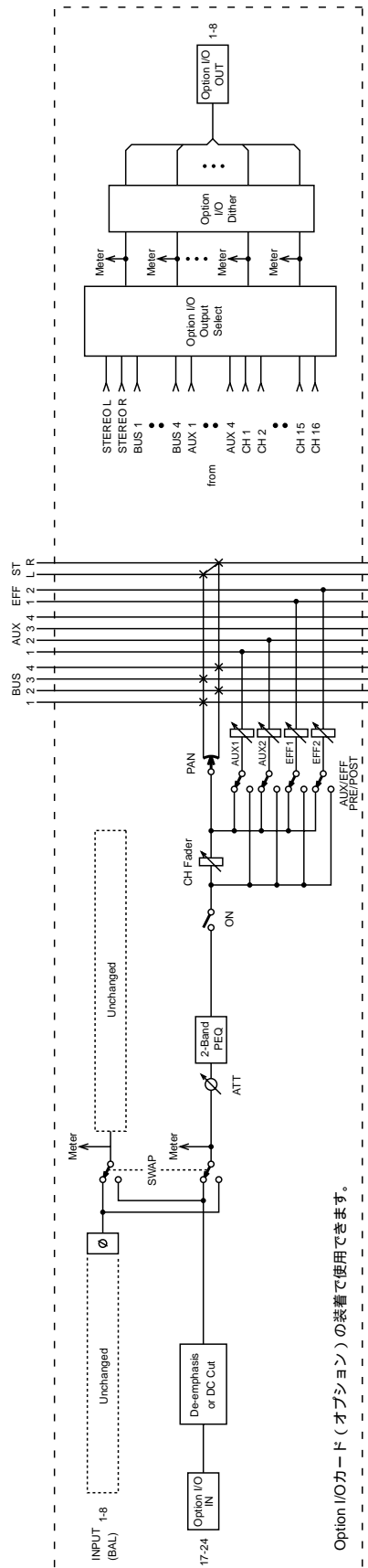


2. [CURSOR] ｷｰでボタンを選択し、[ENTER] ｷｰ、[PARAMETER] ダイヤル、[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰで設定します。

出力ソースとして選択すると、ボタンが反転表示されます。

OPTION I/Oデジタル出力は、PAN/ROUTページ1の該当するDボタンがオンになっているとき、インプットチャンネル1~12のポストフェーダーダイレクト出力に自動で割り当てられます。同様に、このページでOPTION I/O出力のソースとしてダイレクト出力を選択すると、PAN/ROUTページの該当Dボタンがオンになります。詳細は、54ページの「インプットチャンネルのルーティング」をご参照ください。

OPTION I/Oブロック図



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

MIDI

17

本章の目次

MIDIと01V	228
MIDI端子	228
MIDIデータ受信インジケータ	231
MIDIセットアップ	231
プログラムチェンジによるシーンの呼び出し	233
コントロールチェンジによるパラメータのコントロール	235
システムエクスクーシブによるパラメータのコントロール	237
バルクダンプ	238
ローカルコントロール	240
MIDIマシンコントロール	242
ユーザー定義のMIDIコントローラー	244
01Vのリンク	245

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

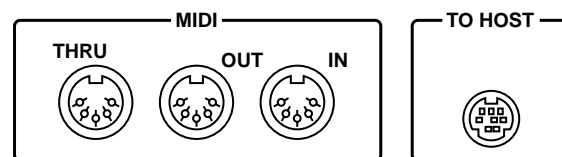
MIDIと01V

01Vでは、次のようなMIDIの使用方法があります。

- ・ プログラムチェンジを使ったシーンメモリの呼び出し操作(233ページ「プログラムチェンジによるシーンの呼び出し」参照)
- ・ コントロールチェンジを使ったミックスパラメーターのリアルタイムコントロール(235ページ「コントロールチェンジによるパラメーターのコントロール」参照)
- ・ システムエクスクルーシブを使ったパラメーターのコントロール(237ページ「システムエクスクルーシブによるパラメーターのコントロール」参照)
- ・ システムエクスクルーシブバルクダンプを使ったデータのバックアップ、および複数の01V間でのデータ転送(238ページ「バルクダンプ」参照)
- ・ MMX(MIDIマシンコントロール)を使った外部レコーダーのリモートコントロール(242ページ「MIDIマシンコントロール」参照)
- ・ MIDIリンクによる同時リンク操作(245ページ「01Vのリンク」参照)
- ・ ローカルコントロールをオフすることによる01Vのリモート操作(240ページ「ローカルコントロール」参照)
- ・ ユーザーの定義したMIDIコントローラーによるリモート操作(244ページ「ユーザー定義のMIDIコントローラー」参照)
- ・ MIDIノートオンメッセージを使ったDYNA.FILTER、DYNA.FLANGE、DYNA.PHASE、FREEZEの各エフェクトの制御(144ページ「エフェクトパラメーターリスト」参照)

MIDI端子

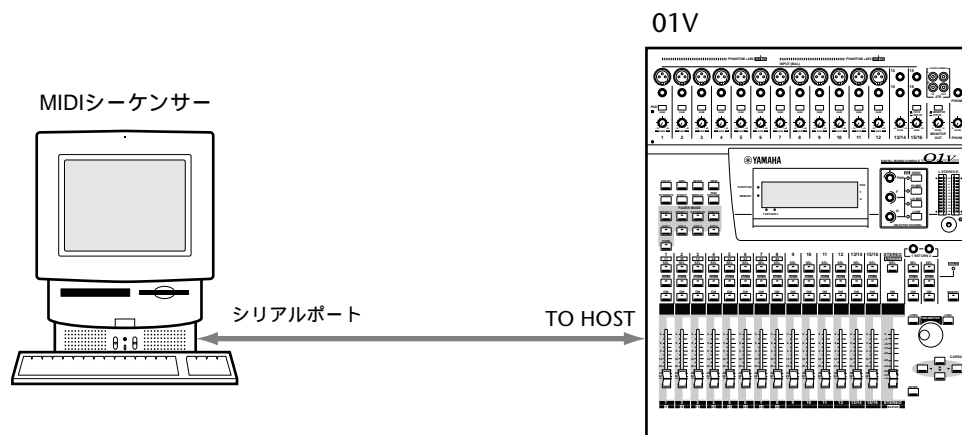
MIDI IN端子はMIDIメッセージを受信しMIDI OUT端子は送信します。MIDI THRU端子はMIDI IN端子で受信したMIDIメッセージをそのまま送信します。01VにはこれらMIDI端子に加え、TO HOST端子が備わっています。この端子を使えば、MIDIインターフェースを使用せずに01Vをパソコンと直接つなぐことができます。



TO HOST端子はMIDIメッセージを送受信します。MIDI端子とTO HOST端子は全く同じ機能を持っており、PORTパラメーターの設定でどちらを使用するかを、使用するシステムや用途によって選択します(231ページ「MIDIセットアップ」参照)。どちらか一方をPORTに設定すると、もう一方の端子は自動的にLINK PORTとなります。PORTに設定された端子は通常MIDI信号の送受信に使用され、LINK PORTに設定された端子はもう一台の01Vと接続して、リンク操作のために使用されます。2つの端子を同時に同じ機能に使用することはできません。リンク操作についての詳細は、245ページの「01Vのリンク」をご参照ください。

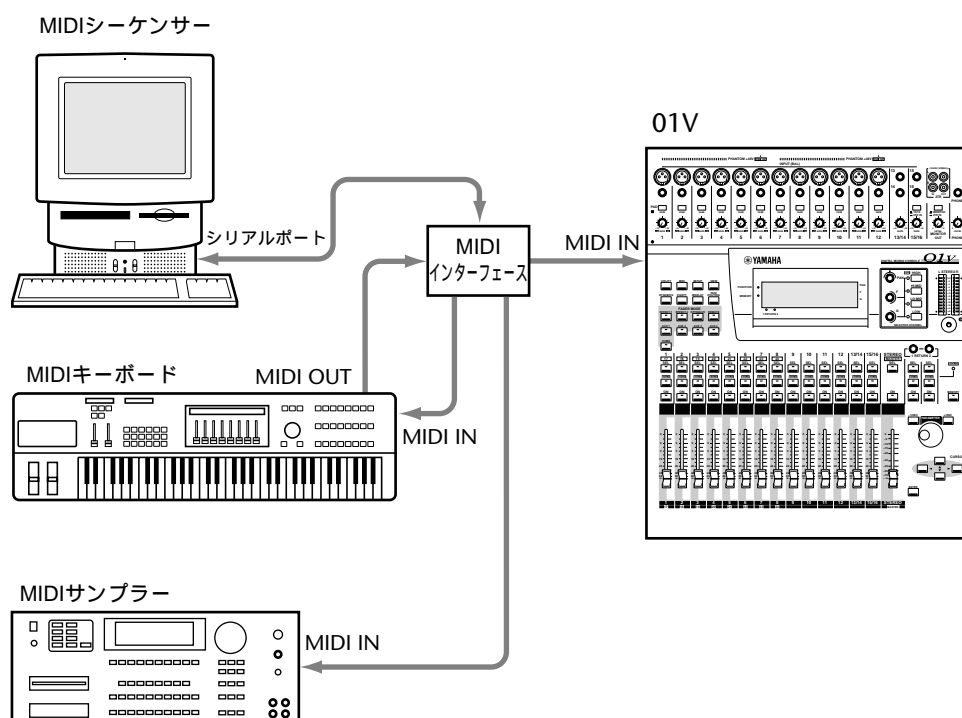
TO HOST端子のMIDI機能としての使い方

下の例では、01VとコンピューターをTO HOST端子でつなぎ、コンピューターをMIDIシーケンサーとして使います。MIDIページのPORTパラメーターはコンピューターのタイプに合わせて選びます(PC-1、PC-2、Mac)。01Vの動作はMIDIメッセージとしてMIDIシーケンサーに記録され、シーケンサーを再生すると記録されたMIDIメッセージが送信され、01Vにオートメーション動作を行わせることができます。



MIDI端子のMIDI機能としての使い方

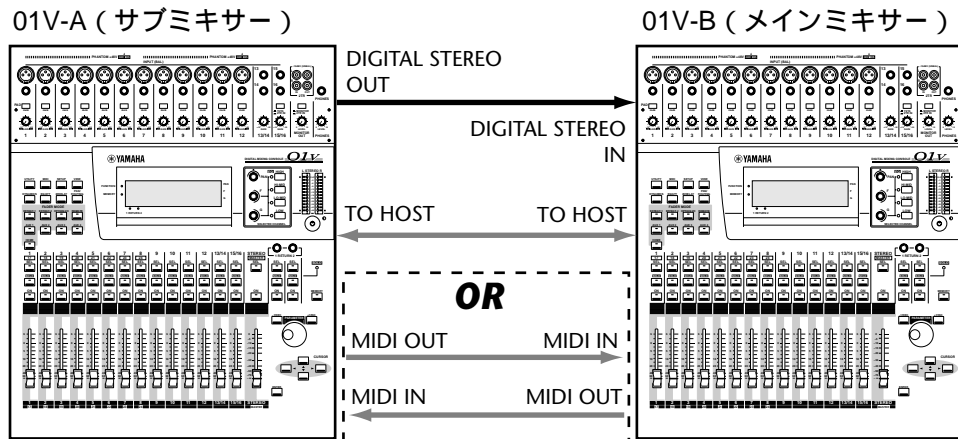
このシステムでは、01V、MIDIキーボード、MIDIサンプラーが、標準のMIDIインターフェースを介してコンピューターに接続されています。MIDIインターフェースにはMIDI IN端子が1つしかなく、これがMIDIキーボードのMIDI OUT端子に接続されているので、01VからのMIDIメッセージを記録するときは、接続し直す必要があります。あるいは複数のMIDI IN端子のあるMIDIインターフェースを使用してもいいでしょう。



- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサー
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付録

TO HOST端子やMIDI端子のリンク機能としての使い方

下図の例は2台の01Vをリンクさせて使用する場合の接続です。LINK PORTに設定された方の端子をお互いにつなぎ合わせます。2台の動作がリンクして、たとえばシーンメモリのリコールやストアなどのわずらわしい操作がどちらか一方の01Vの操作だけで行えるようになります(245ページ「01Vのリンク」参照)。



- 2台の01VをTO HOST端子とMIDI端子を両方ともつなぎ合う場合には、必ずMIDI Program ChangeのTxとRxを共にOFFにしてください。シーンメモ리를リコールしたときにMIDI信号がループして、シーンリコールが止まらなくなってしまう(231ページ「MIDIセットアップ」参照)。

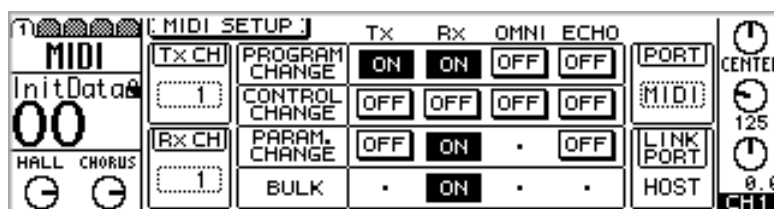
MIDIデータ受信インジケータ

- MIDI** MIDI IN端子からMIDIデータを受信すると、ディスプレイ上のMIDIインジケータが点滅します。
- HOST** TO HOST端子からデータを受信すると、ディスプレイ上のHOSTインジケータが点滅します。

MIDIセットアップ

送信チャンネル(Tx)、受信チャンネル(Rx)、OMNI、エコーなどのMIDIパラメータはMIDIページ1で設定します。

1. [MIDI] ｷｰで次のMIDIページ1を表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰでパラメータを選択し、[ENTER] ｷｰ、[PARAMETER] ｸﾞダイヤル、または [-1/DEC] ｷｰ、[+1/INC] ｷｰで設定します。

PORT/LINK PORT

PORTの欄では、基本となる送受信ポートをMIDI端子またはTO HOST端子に設定します。LINK PORTパラメータはリンク機能(245ページ「01Vのリンク」参照)で使用し、未使用の端子が自動的に選択されます。たとえばPORTをMIDIに設定すると、LINK PORTがHOSTに設定されます。TO HOST端子をPORTに使用する場合は、01Vに接続されているコンピューターのタイプに合うように設定してください。

設定	コンピューターのプラットフォーム	PORT	送信速度
MIDI	MIDI標準	MIDI IN、OUT、THRU	31.25 kbps
PC1	NEC PC9800シリーズ*	TO HOST	31.25 kbps
PC2	IBM PC互換、NEC PC9800シリーズ*	TO HOST	38.4 kbps
Mac	Macintosh (CLOCK = 1MHZ)	TO HOST	31.25 kbps

* ご使用になるドライバーによってPC1かPC2を選んでください。

Tx CH

送信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを1~16のいずれかに設定します。MIDIメッセージを受信する機器も、同じMIDIチャンネルを設定することが必要です。ただし、データ送信のリクエストに対する送信の際には、受信したMIDIチャンネルでMIDIデータを送信します。

Rx CH

受信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを1~16のいずれかに設定します。01VにMIDIメッセージを送信する機器も同じMIDIチャンネルに設定してください。PROGRAM CHANGE OMNI、またはCONTROL CHANGE OMNIがオンになっていると、この設定に関係なくプログラムチェンジメッセージとコントロールチェンジメッセージが受信されます。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vの 世界へ ようこそ!
基本操作
各部の 名称と機能
ユーザー インター フェース の基礎知識
インプット チャンネル
イコライザー
ソロ、 モニター、 メーター
ステレオ アウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵 エフェクト
ダイナミクス プロセッサ
シーン メモリー
その他の 機能
デジタル I/O
MIDI
システム例
付録

PROGRAM CHANGE

プログラムチェンジメッセージを使用して、ミックスシーンを呼び出します。詳細は、233ページの「プログラムチェンジによるシーンの呼び出し」をご参照ください。このグループ内の4つのON/OFFボタンは、次の機能を持っています。

Txは、ミックスシーンを呼び出すときに01Vからプログラムチェンジメッセージを送信するかどうか、Rxはプログラムチェンジを受信したときにミックスシーンを呼び出すかどうかを設定します。OMNIIは、01Vがプログラムチェンジメッセージを16本のMIDIチャンネルすべてで受信するか(ON)またはRx(受信)チャンネルのみで受信するか(OFF)どうかを設定します。

ECHOは、受信したプログラムチェンジメッセージをMIDI OUT端子にエコー出力するかどうかを設定します。ECHOをONにすると、MIDIチャンネル設定に関係なく、受信したプログラムチェンジメッセージをMIDI OUT端子にエコー出力します。

CONTROL CHANGE

コントロールチェンジメッセージを使用して01Vのパラメーターをリアルタイムでコントロールします。詳細は、235ページの「コントロールチェンジによるパラメーターのコントロール」をご参照ください。このグループ内の4つのON/OFFボタンは次の機能を持っています。

Txは、ミックスパラメーターを調整するときに01Vからコントロールチェンジメッセージを送信するかどうか、Rxはコントロールチェンジを受信したときにミックスパラメーターを調整するかどうかを設定します。OMNIIは、01Vがコントロールチェンジメッセージを16本のMIDIチャンネルすべてで受信するか(ON)またはRx(受信)チャンネルのみで受信するか(OFF)どうかを設定します。

ECHOは、受信したコントロールチェンジメッセージをMIDI OUT端子にエコー出力するかどうかを設定します。ECHOをONにすると、MIDIチャンネル設定に関係なく、受信したコントロールチェンジメッセージをMIDI OUT端子にエコー出力します。

PARAM. CHANGE

システムエクスクルーシブメッセージを使用して、01Vのパラメーターをリアルタイムでコントロールします。詳細は、237ページの「システムエクスクルーシブによるパラメーターコントロール」をご参照ください。このグループ内の3つのON/OFFボタンは次の機能を持っています。

Txは、ミックスパラメーターを調整するときに01Vからパラメーターチェンジシステムエクスクルーシブメッセージを送信するかどうか、Rxはパラメーターチェンジシステムエクスクルーシブメッセージを受信したときにミックスパラメーターを調整するかどうかを設定します。Rxをオンにすると、Txがオフになっていても、リクエストにตอบสนองしてパラメーターチェンジシステムエクスクルーシブメッセージを送信します。

ECHOは、受信したシステムエクスクルーシブメッセージをMIDI OUT端子にエコー出力するかどうかを設定します。ECHOをONにすると、MIDIチャンネル設定に関係なく、受信したシステムエクスクルーシブメッセージをMIDI OUT端子にエコー出力します。

BULK

01VがMIDIバルクリクエストメッセージとMIDIバルクダンブデータを受信するかどうかを設定するボタンです。これをオンにすると、01Vはバルクダンブリクエストに応じてバルクダンブメッセージを送信します。バルクダンブメッセージとバルクダンブリクエストはエコーされません。バルクダンブメッセージはこの設定に関係なく、01Vから送信することができます。詳細は、238ページの「バルクダンブ」をご参照ください。

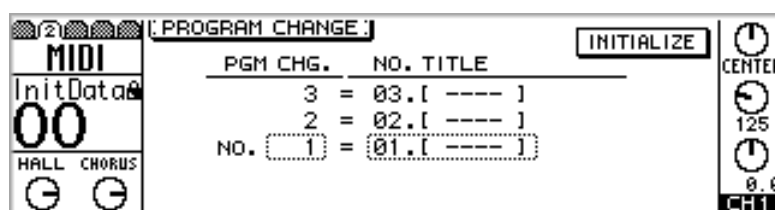
プログラムチェンジによるシーンの呼び出し

MIDIプログラムチェンジメッセージを受信すると、プログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表に従って、ミックスシーンが呼び出されます。また、ミックスシーンを呼び出すと、01Vからプログラムチェンジメッセージが送信され、もう1台の01Vでミックスシーンを呼び出したたり、MIDIシーケンサーに記録して自動的にシーンの呼び出しができるようにすることができます。詳細は、187ページの「MIDIプログラムチェンジメッセージを使用したミックスシーンの呼び出し」をご参照ください。

初期設定では、シーンメモリー1～99が、277ページの「MIDIプログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表」にあるプログラムチェンジ1～99に対して順番に割り当てられています。ただしこの割り当てはMIDIページ2で変更することができます。この割り当てを送受信に使用するので、プログラムチェンジ#10がシーンメモリー20に割り当てられている場合は、プログラムチェンジ#10を受信するとシーンメモリー20が呼び出されます。また、シーンメモリー20を呼び出すとプログラムチェンジ#10が送信されます。

01VがMIDIプログラムチェンジメッセージを送受信できるようにするには、MIDIページ1でプログラムチェンジRxとTxの各ボタンをオンしておく必要があります。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。

1. [MIDI] 鍵で次のMIDIページ2を表示させます。



2. [CURSOR] 鍵でPGM CHG.の欄を選択し、[PARAMETER]ダイヤルが[-1/DEC] 鍵、[+1/INC] 鍵でプログラムチェンジナンバーを選択します。
3. 右カーソルでNO. TITLEの欄を選択し、[PARAMETER]ダイヤルが[-1/DEC] 鍵、[+1/INC] 鍵でシーンメモリーを選択します。

プログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表は255ページにあります。プログラムチェンジの割り当てを初期設定に戻したい場合は、[CURSOR] 鍵でINITIALIZEボタンを選択し、[ENTER] 鍵を押してください。ダイアログボックスが現われます。OKをクリックして初期化します。



現在のプログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表は、MIDIバルクダンプを使ってMIDIデータファイラーなどの外部MIDI機器にバックアップできます。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

シーンメモリーが複数のプログラムチェンジに割り当てられていると、そのシーンメモリーを呼び出したときに番号の一番小さいプログラムチェンジが送信されます。

プログラムチェンジに割り当てられていないシーンメモリーを呼び出すと、システムエクスクルーシブパラメーターチェンジシーンリコールメッセージが送信されます。詳細は、237ページの「システムエクスクルーシブによるパラメーターコントロール」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

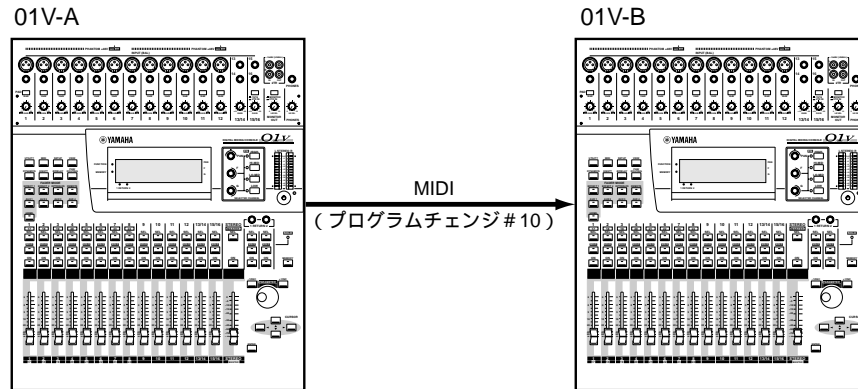
MIDI

システム例

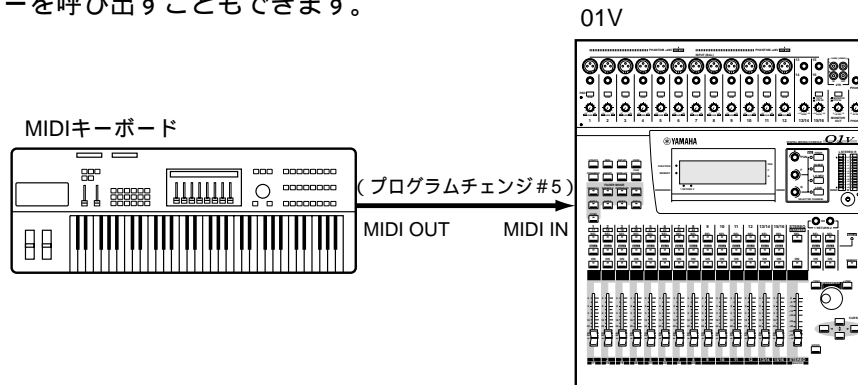
付録

プログラムチェンジの使い方

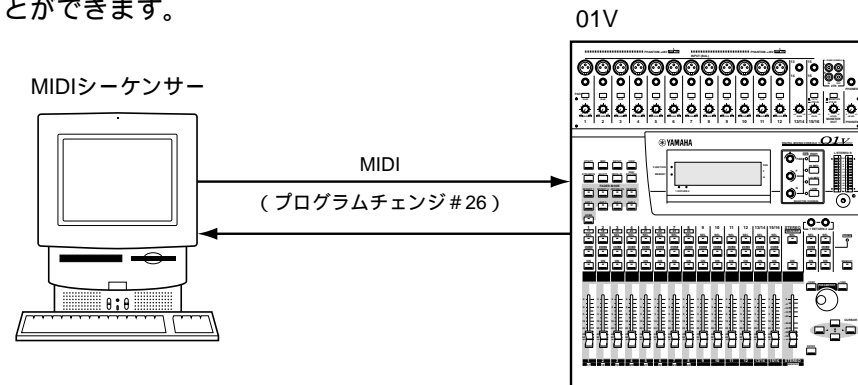
次の例では、01V-Aでシーンメモリー #10を呼び出すと、MIDIプログラムチェンジ #10が送信されるので、01V-Bでもシーンメモリー #10が呼び出されます。ただしこれは初期設定のプログラムチェンジアサイン表をそのまま使用した場合です。アサイン表を変更することで、プログラムチェンジ #10を使って01V-B上では別のシーンメモリーを呼び出したり、シーンメモリー #10を呼び出したときに01V-Aから別のプログラムチェンジを送信したりする設定が可能です。



次の例では、MIDIキーボード上でプログラムまたはパッチ #5を選択すると、MIDIプログラムチェンジ #5が送信されるため、01V上でシーンメモリー #5が呼び出されます。ただしこれは初期設定のプログラムチェンジアサイン表をそのまま使用した場合です。アサイン表を変更することで、プログラムチェンジ #5を使って異なるシーンメモリーを呼び出すこともできます。



次の例では、プログラムチェンジ #26がMIDIシーケンサーのソングに入っています。このソングを演奏すると、MIDIプログラムチェンジ #26が指定の位置で送信され、01Vのシーンメモリー #26が自動的に呼び出されます。01Vではミックスシーンを呼び出すとプログラムチェンジメッセージが送信されるので、このミックスシーンの呼び出しをMIDIシーケンサーにリアルタイムで記録することができます。



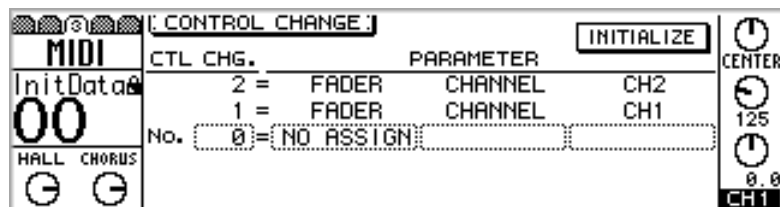
コントロールチェンジによるパラメーターのコントロール

MIDIコントロールチェンジメッセージを受信すると、パラメーターとコントロールチェンジのアサイン表に従って、ミックスパラメーターが調整されます。また、ミックスパラメーターを調整すると、01Vはコントロールチェンジメッセージを送信し、もう1台の01Vをコントロールしたり、MIDIシーケンサーに記録して自動的にパラメーターのコントロールができるようになります。

最大114個までのミックスパラメーターをコントロールチェンジ0～95、および102～119に割り当てます(コントロールチェンジ96～101は使えません)。初期設定では、パラメーターが、278ページの「MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表」にあるように割り当てられています。ただしこの割り当てはMIDIページ3で変更することができます。この割り当てを送受信に使用するので、コントロールチェンジ#10がフェーダー10に割り当てられている場合は、コントロールチェンジ#10を受信するとチャンネルフェーダー10が調整されます。また、チャンネルフェーダー10を調整すると、コントロールチェンジ#10が送信されます。ヤマハデジタルミキサーProMix01およびヤマハ03Dのアサイン表も本書巻末の付録にありますのでご参照ください。

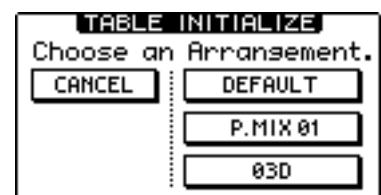
01VがMIDIコントロールチェンジメッセージを送受信できるようにするには、MIDIページ1でコントロールチェンジRxとTxの各ボタンをオンしておく必要があります。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。

1. [MIDI] ｷｰで次のMIDIページ3を表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰでCTL CHG.の欄を選択し、[PARAMETER] ﾀﾞｲｱﾙｶﾞ[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰでコントロールチェンジナンバーを選択します。コントロールチェンジ0と32はプログラムチェンジおよびバンクセレクトメッセージと一緒に使用するので、MIDIシーケンサーの機種によってはこのコントロールチェンジを正しく記録しないことがあります。その場合は、コントロールチェンジ0と32をNO ASSIGNに設定してください。
3. 右カーソルでPARAMETERの欄を選択し、[PARAMETER] ﾀﾞｲｱﾙｶﾞ[- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰでパラメーターを選択します。

「MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表」は278ページにあります。コントロールチェンジの割り当てを初期設定に戻したい場合は、[CURSOR] ｷｰでINITIALIZEボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押してください。ダイアログボックスが現われます。DEFAULTを選んで初期化します。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

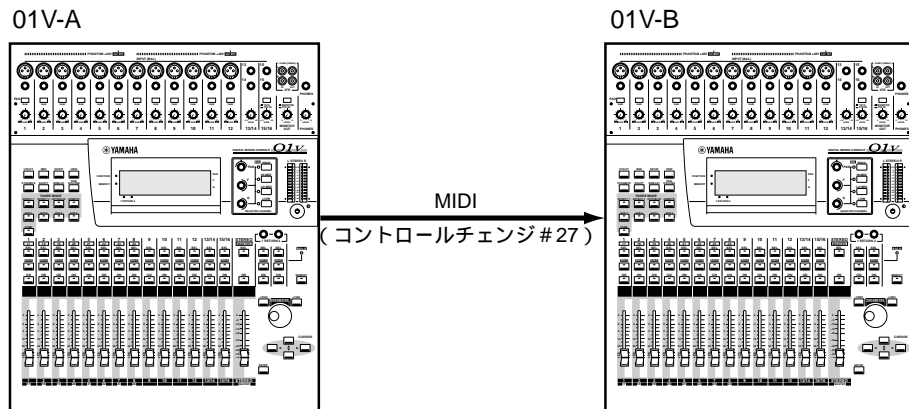
P.MIX01ボタンと03Dボタンは、ヤマハデジタルミキサーProMix01やヤマハ03Dデジタルミキサーを併用したときのコントロールチェンジを設定するために使用します。このコントロールチェンジとパラメーターのアサイン表は、281ページをご参照ください。

現在のパラメーターとコントロールチェンジのアサイン表は、MIDIバルクダンプを使ってMIDIデータファイラーなどの外部MIDI機器にバックアップできます。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

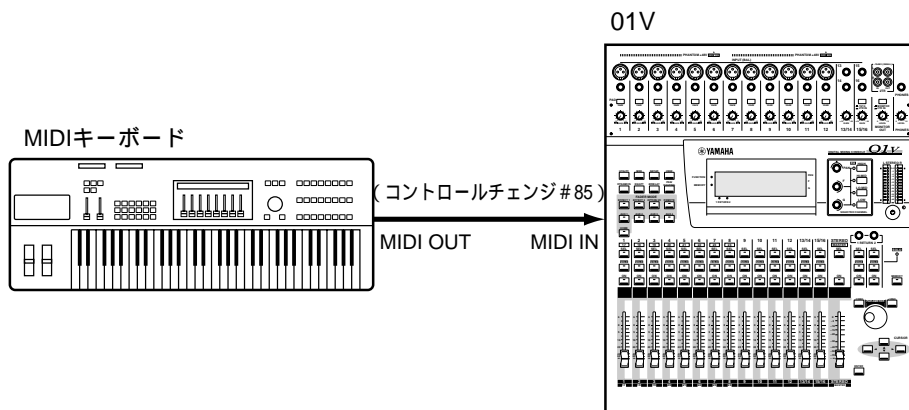
MIDIページ3が表示されているときにコントロールチェンジメッセージを受信すると、そのコントロールチェンジが自動的に選択されるので、たとえば外部MIDIコントローラーのスライダーを動かしたときに、どのコントロールチェンジが送信されるかを簡単に設定することができます。

コントロールチェンジの使い方

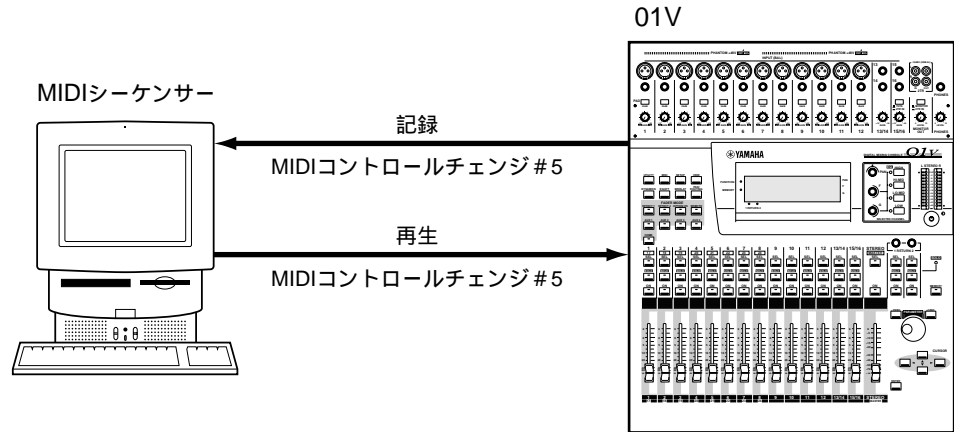
次の例では、01V-Aのマスターフェーダーを操作するとMIDIコントロールチェンジ#27が送信され、01V-Bのマスターフェーダーも作動します。ただしこれは初期設定のコントロールチェンジアサイン表をそのまま使用した場合です。アサイン表を変更することで、コントロールチェンジ#27を使って01V-Bの別のパラメーターをコントロールしたり、マスターフェーダーを操作したときに01V-Aが異なるコントロールチェンジを送信したりする設定ができます。



次の例では、MIDIキーボード上のアサイン可能なMIDIコントローラーがコントロールチェンジ#85に割り当てられています。このコントローラーを調整すると、コントロールチェンジ#85が送信されるため、インプットチャンネル9のエフェクト1センドレベルが調整されます。ただしこれは初期設定のコントロールチェンジアサイン表をそのまま使用した場合です。アサイン表を変更することで、MIDIコントローラーを使って01Vの様々なパラメーターを制御することができます。



次の例ではインプットチャンネル5のフェーダーの動きを、コントロールチェンジ#5を使ってMIDIシーケンサーにリアルタイムで記録します。再生中、シーケンサーは01Vにコントロールチェンジ#5メッセージを送信し、フェーダー5はそれに従って作動します。このテクニックはON/FF、パンポット、エフェクトにも適用してオートメーションミックスが行えます。



システムエクスクルーシブによるパラメーターのコントロール

01Vのミックスパラメーターは、MIDIシステムエクスクルーシブメッセージを使ってリアルタイムでコントロールすることも可能です。ミックスパラメーターを調整すると、01Vはシステムエクスクルーシブパラメーターチェンジメッセージを送信します。MIDIページ5のTRANSMIT機能とREQUEST機能では、システムエクスクルーシブメッセージを使って他の01Vからのパラメーター設定をリクエストします。

プログラムチェンジに割り当てられていないシーンメモリーを呼び出すと、システムエクスクルーシブパラメーターチェンジシーンリコールメッセージが送信されます。

EQやDYNAMICS、EFFECTのライブラリーをリコールすると、システムエクスクルーシブパラメーターチェンジライブラリーリコールメッセージが送信されます。

SOLOをON/OFFすると、システムエクスクルーシブパラメーターチェンジキーリモートメッセージが送信されます。

01Vがシステムエクスクルーシブパラメーターチェンジメッセージを送受信できるためには、MIDIページ1のPARAM. CHANGE RxとTxボタンをオンにしておく必要があります。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。

システムエクスクルーシブパラメーターチェンジメッセージのデータフォーマットは、284ページの「MIDIデータフォーマット」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

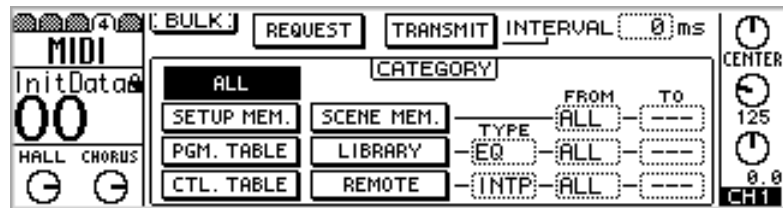
付録

バルクダンプ

01Vのシーンメモリー、ライブラリープログラム、セットアップデータを、システムエクスクルーシブバルクダンプを使って他のMIDI機器に転送することができます。貴重なデータをMIDIデータファイラーやコンピューターにバックアップしたり、2台の01V間でデータをやりとりしたりするときに使用します。

MIDIシステムエクスクルーシブバルクダンプメッセージはいつでも送信することができます。01Vを他のMIDI機器からのバルクダンプリクエストに応答させるには、MIDIページ1のBULK Rxボタンをオンにすることが必要です。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。

1. [MIDI] ｷｰで次のMIDIページ4を表示させます。



2. [CURSOR] ｷｰでCATEGORYボタンを選択し、[ENTER] ｷｰでカテゴリーを選択します。
選択したカテゴリーが反転表示されます。
3. SCENE MEM.、LIBRARY、およびREMOTEのカテゴリーでは、[CURSOR] ｷｰ、[PARAMETER] ダイヤル [- 1/DEC] ｷｰ、[+ 1/INC] ｷｰを使用してTYPE、FROM、TOの各パラメーターを設定します。

データタイプ	タイプ	範囲	内容
ALL			後続のデータすべて
SETUP MEM.			01Vのセットアップデータ(現在の設定すべて)
PGM. TABLE			MIDIページ2の設定(プログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表)
CTL. TABLE			MIDIページ3の設定(コントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表)
SCENE MEM.		EDIT、1～99	シーンメモリー(EDITはエディットバッファー)
LIBRARY	EQ	41～80	EQライブラリーのユーザープログラム
	DYNA	41～80	ダイナミクスライブラリーのユーザープログラム
	EFF	43～99	エフェクトライブラリーのユーザープログラム
REMOTE	INTP	バンク1～4	REMOTEページ1バンク
	MMC	すべて (ロケットポイント1～6)	REMOTEページ2ロケットポイント
	UDEF	バンク1～4	REMOTEページ3バンク

4. [CURSOR]キーでREQUESTボタンまたはTRANSMITボタンを選択し、
[ENTER]キーを押します。

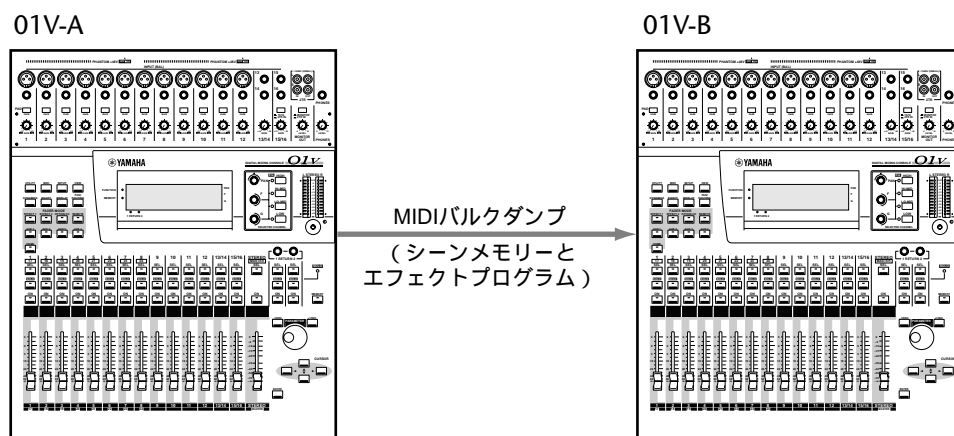
REQUESTを押すと、01VはMIDIバルクダンプリクエストメッセージを送信します。受信側の機器はこれに応じて要求されたバルクダンプデータを01Vに送信します。TRANSMITを押すと、01Vは指定したデータカテゴリーをバルクダンプで送信します。

TRANSMIT INTERVAL

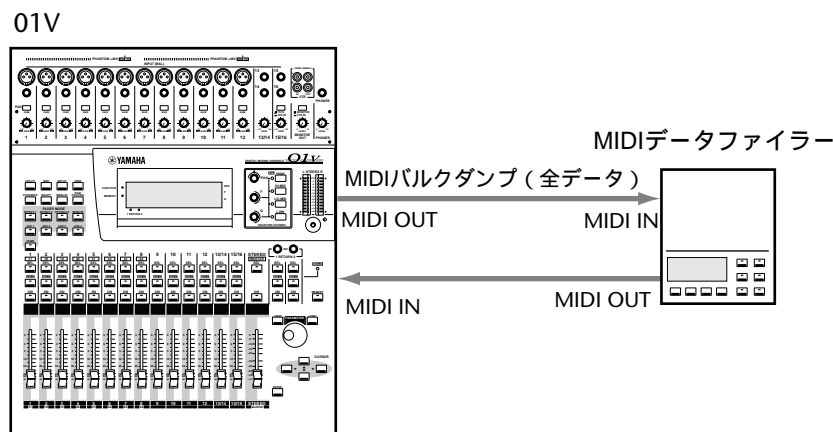
このパラメーターはバルクダンプ送信中のデータブロックの間隔を設定します。受信側のMIDI機器のデータバッファが比較的小さい場合、バッファはMIDIデータですぐ一杯になってしまいます。たとえば300ミリ秒に間隔を設定すれば、処理の遅い機器でも受信したMIDIデータを正しく処理できます。2台の01V間でバルクダンプデータを送信するときは、この間隔は0でかまいません。

MIDIバルクダンプの使い方

次の例では、MIDIバルクダンプを使って、シーンメモリーとユーザーエフェクトプログラムを01V-Aから01V-Bに送信します。MIDIページ1のBULK Rxボタンをオンにしておかないと、バルクダンプデータが無視されてしまいます。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。



次の例では、データをすべて01VからMIDIデータファイラーに転送します。データのバックアップ機器としては、バルクデータの管理できるソフトウェアを起動したコンピュータも使用できます。逆にバルクダンプデータをMIDIデータファイラーから01Vに転送するには、MIDIページ1でBULK Rxボタンをオンにすることが必要です。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。



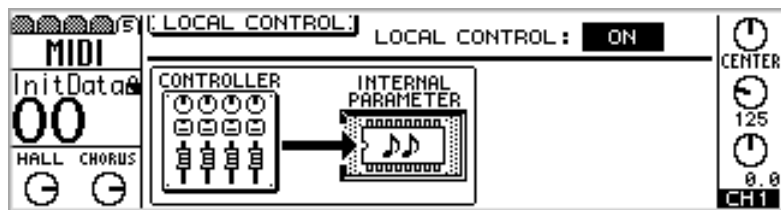
- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサー
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付録

ローカルコントロール

ローカルコントロールをオフすることによって、01Vをリモートコントロールすることができます。通常は本体の操作子(コントローラー)を操作することで、01V内部のパラメーターが設定されますが、ローカルコントロールをオフにすると、本体の設定はそのままMIDIまたはTO HOSTを介して外部の01Vのパラメーターのみをコントロールすることができます*。ディスプレイに表示される内容もリモート用の設定に変更されます。また、本体(ローカル)の01Vのメーターには、リモートの01Vの信号レベルが表示されます。

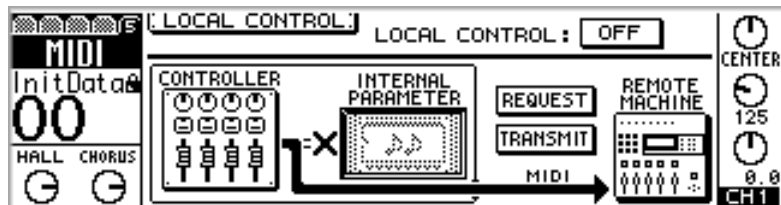
* ミックスシーンのデータおよびソロ、モニターの設定が対象となります。また、シーンの保存/呼び出しはローカルの01Vのメモリーを使うことになります。

1. [MIDI]ボタンで次のMIDIページ5を表示させます。



2. [CURSOR]キーでLOCAL CONTROLボタンを選択し、[ENTER]キーを押します。

ローカルコントロールがオフになり、次のMIDIページ5が表示されます。



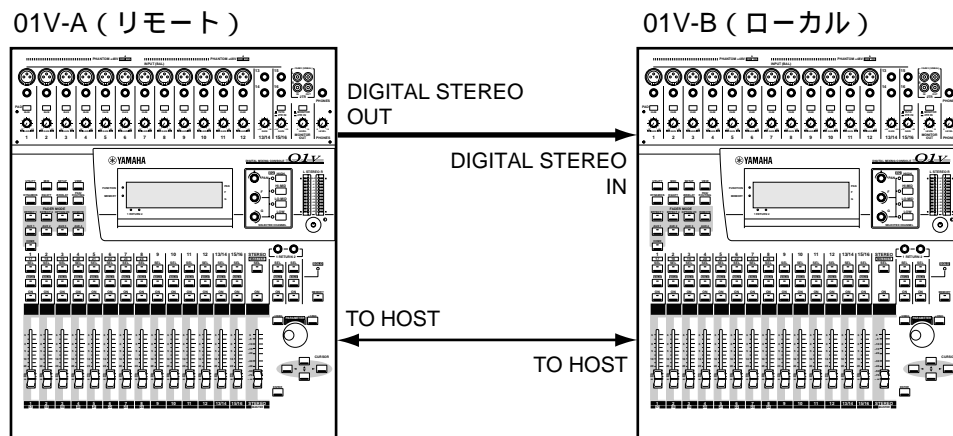
ローカルコントロールがオフのときは、ディスプレイのファンクション領域がこのように反転表示されるので、ローカルコントロールがオフになっていることが一目でわかります。

TRANSMIT機能およびREQUEST機能は、どちらも最初に接続したときに、ローカル側とリモート側の設定をあわせるために使用します。TRANSMITはローカルの設定にリモートをあわせたいときに、REQUESTはリモートの設定にローカルをあわせたいときにお使いください。



注: フェードタイム機能を実行中(フェーダーが移動中)はローカルコントロールをオフにすることはできません。もし実行しようとした場合、エラーメッセージ「Now Fading(Fade Time)」が表示されます。ローカルコントロールをフェードタイム機能の実行中にオンすることはできません。

次の例は、01V-A(リモート)と01V-B(ローカル)をカスケード接続させて32チャンネルのデジタルミキシングを行うシステムです。ローカルコントロール機能を使用すると、両方の01Vを01V-Bのフェーダー、キー、回転ノブ、ディスプレイページを使ってコントロールすることができます。01V-Aの信号レベルも01V-Bで計測できます。この場合、01V-Aと01V-BのMIDI送受信チャンネルとPORTパラメーターを合わせてください。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。



注：ローカルコントロール機能を使用中にローカル側のワードクロックに障害が起きた場合、一時的にローカルコントロール機能が使えなくなることがあります。

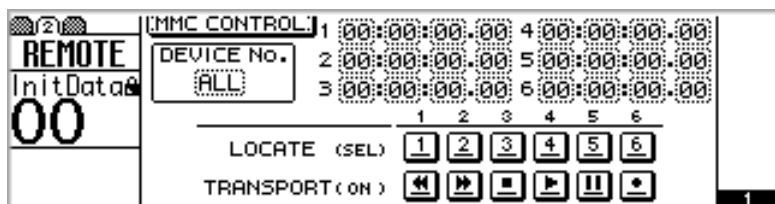
注：ローカルコントロール機能を使用中にリモート側の画面を手動で切り替えると、ローカル側のメーター表示が正しく行われなことがあるのでご注意ください。

- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサー
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付録

MIDIマシンコントロール

MIDIマシンコントロール(MMC)コマンドを使用すれば、MMCに対応したレコーダーを01Vから操作することができます。また、1~6の[ON]キーを使ってトランスポート機能をコントロールし、1~6の[SEL]キーで定義可能な6つのロケートポイントをロケートすることができます。MMCコマンドはMIDIで送信されます。

1. [REMOTE]キーを使って次のREMOTEページ2を表示させます。



このページが表示されているとき、1~6の[ON]キーおよび1~6の[SEL]キー以外のすべてのコントロール類が無効となります。

2. [CURSOR]キーでDEVICE No.パラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーでデバイスナンバーを設定します。

デバイスナンバーの範囲は1~127、またはALLで、コントロールしたいレコーダーのデバイスナンバーと一致させてください。ALLに設定すると、接続されているMMC対応のレコーダーをすべてまとめてコントロールすることができます。

3. 1~6の[ON]キーを使って、次の走行コマンドをレコーダーに送信します。

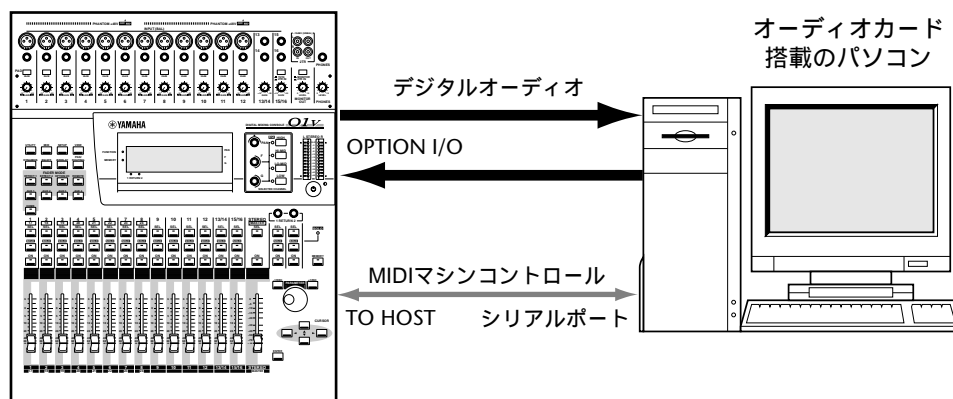
[ON]キー	機能	MMCコマンド
1	巻き戻し	05
2	早送り	04
3	停止	01
4	再生	02
5	ポーズ	09
6	録音	06

4. [CURSOR]キーおよび[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーを使用して、ロケートタイムを時、分、秒、フレーム単位で設定します。

5. 1~6の[SEL]キーを使用してレコーダーにロケートコマンドを送信します。ロケートポイントはMIDIバルクダンプを使って保存できます。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

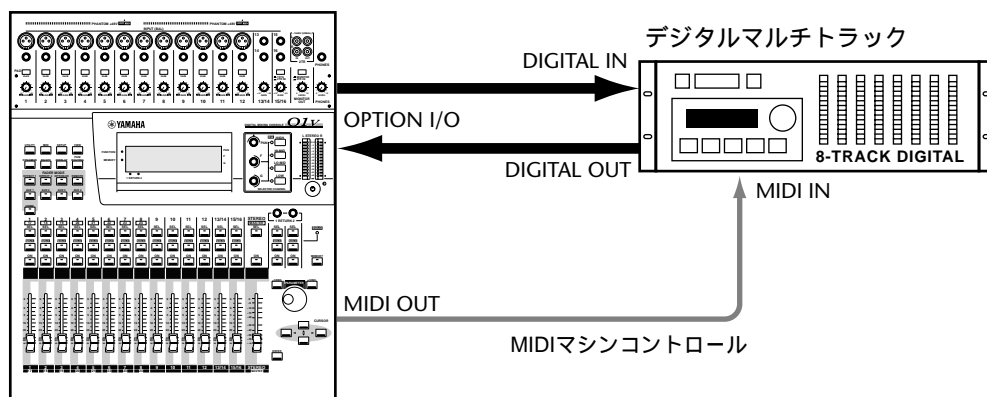
次の例では、MMCコマンドを使って、パソコン上のMMC対応HDレコーディングシステムを01Vからリモートコントロールしています。REMOTEページ2のデバイスナンバーは、HDレコーダーのデバイスナンバーに一致させてください。

01V



次の例ではMMCコマンドを使って、01VからMMC対応のデジタルMTRをリモートコントロールします。REMOTEページ2のデバイスナンバーは、デジタルMTRのデバイスナンバーに一致させてください。

01V



01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

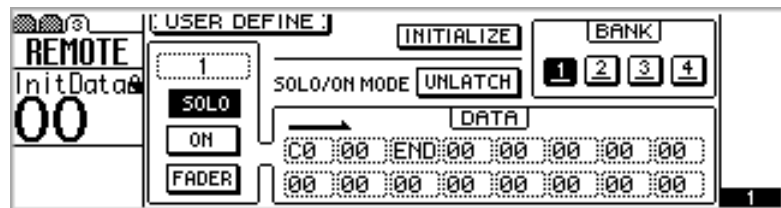
システム例

付録

ユーザー定義のMIDIコントローラー

チャンネル1～16の[SOLO]キー、チャンネル1～16とMASTERの[ON]キー、フェーダーを使って、リモートのMIDI機器をコントロールすることができます。最長16バイトのMIDIデータストリングを各コントロールに割り当てますが、この割り当てはREMOTEページ3が表示されているときにのみ有効となります。別のページに移ると、このコントロール類は通常の機能に戻ります。4種類の割り当て設定をバンク1～4に保存することができます。

1. [REMOTE]キーを使って次のREMOTEページ3を表示させます。



このページが表示されているときにチャンネル1～16の[SOLO]キー、チャンネル1～16とMASTERの[ON]キー、フェーダーを操作すると、指定したMIDIデータが送信されます。その他のコントロール類はすべて無効となります。

2. [SEL]キーでチャンネル1～16またはマスターを選択し、[CURSOR]キーおよび[ENTER]キーでSOLO、ON、FADERボタンを選択します。
使用したいコントロールを実際に動かすだけで選択することもできます。たとえば、チャンネルフェーダー5を操作すると、自動的にチャンネル5が選択されます。選択したコントロールのボタンが反転表示されます。
3. [CURSOR]キーでDATAパラメーターを選択し、[PARAMETER]ダイヤルまたは[- 1/DEC]キー、[+ 1/INC]キーで設定します。
次の16進数のDATA値が設定できます。
Hex: 00～FF
SW: [SOLO]キーと[ON]キーに設定できます。キーがオンになったとき(インジケータ点灯)FFのデータとして出力されます。また、キーがオフになったとき(インジケータ消灯)00のデータとして出力されます。
FAD: フェーダーに設定できます。フェーダーの値(00～7F)をデータとして出力します。
END: コマンド終了
4. [CURSOR]キーでBANKボタンを選択し、[ENTER]キーを押して選択バンクを有効にします。

有効になったバンクのボタンが反転表示されます。

SOLO/ONモードがUNLATCHの場合は、[SOLO]キー、[ON]キーを押すとデータが出力されます。データに“ SW ”が含まれる場合は、その部分が“ 7F ”になって出力されます。また、“ SW ”が含まれる場合は、キーを離れたときにもその部分が“ 00 ”になったデータが出力されます。

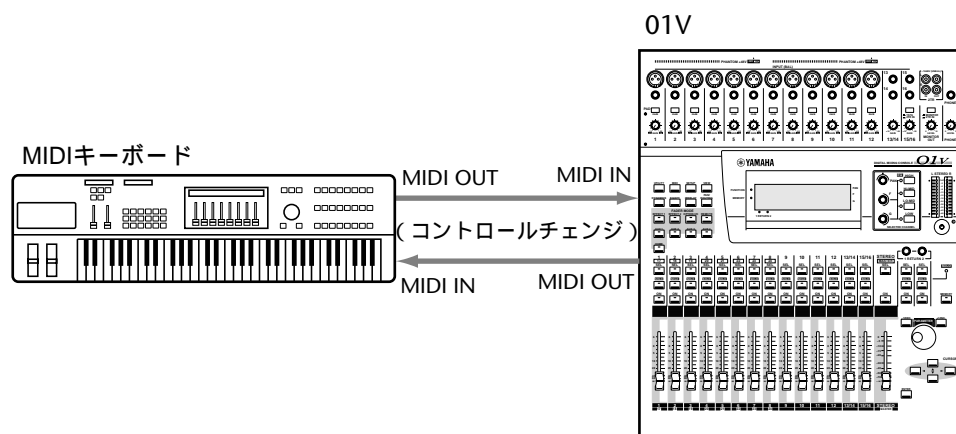
LATCHモードの場合は、キーを押すとそのキーがオンになり、もう一度押すとオフになります。そしてオンになったときにのみデータが出力されます。データに“ SW ”が含まれる場合は、その部分が“ 7F ”になって出力されます。また、データに“ SW ”が含まれる場合のみ、オフになったときその部分が“ 00 ”になったデータが出力されます。

REMOTEページ3が表示されているときにコントロールチェンジメッセージを受信すると、その値がDATAボックス内に表示されるので、たとえば外部MIDIコントローラのスライダーを操作したときにどのコントロールチェンジを送信するかを、簡単に設定できます。(注:MIDIコントロールチェンジRxをONにする必要があります。)

他のバンクを選択するとカスタムの割り当てが保存されます。バンクはMIDIバルクダンプで保存できます。詳細は、238ページの「バルクダンプ」をご参照ください。

バンクを初期設定に戻す場合は、対象バンクを有効なバンクとしてから、INITIALIZEボタンを選択し、[ENTER] ｷｰを押します。確認のダイアログボックスが表示されるので、OKを選択し、[ENTER] ｷｰで確定します。選択したバンクが初期設定の割り当てに戻ります。

次の例では、REMOTEページ3が表示されているときに、MIDIキーボード上のモジュレーションコントロールを操作すると、01Vがモジュレーションコントローラーコントロールチェンジ#1を検出し、選択された01Vのフェーダーにこれをアサインします。これでフェーダーを操作すると、今度は01VがMIDIキーボードに対してコントロールチェンジ#1メッセージを送信します。



01Vのリンク

TO HOST端子を使って複数台の01Vを同時操作することができ、わずらわしい操作を省くことができます。リンクできる機能は下記の通りです。

リンク可能な操作

- シーンメモリーの保存 / 呼び出し (タイトルを含む)
- シーンメモリーのタイトル変更
- フェーダーモードや画面の切り替え

リンク可能なパラメーター

- ソロモード
- Metering Point (計測点) (HOMEページ5)
- メーターピークホールド機能のオン / オフ

MIDIページ1のLINK PORTパラメーターをTO HOSTに設定してください。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

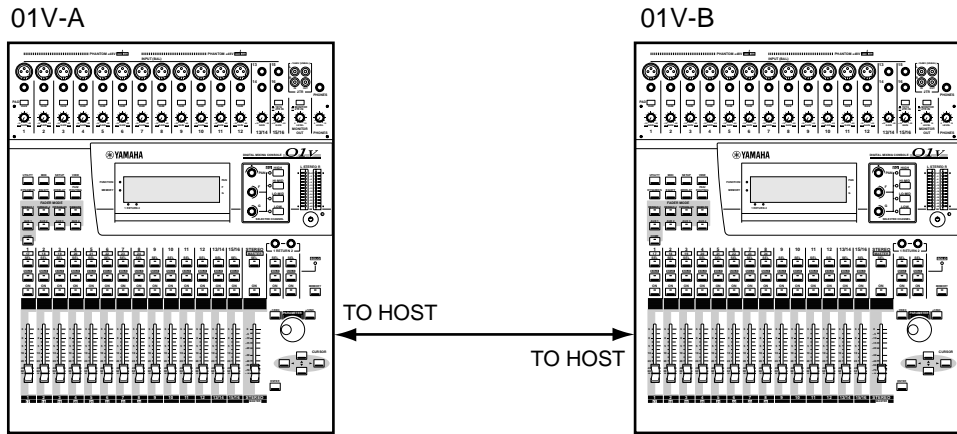
デジタルI/O

MIDI

システム例

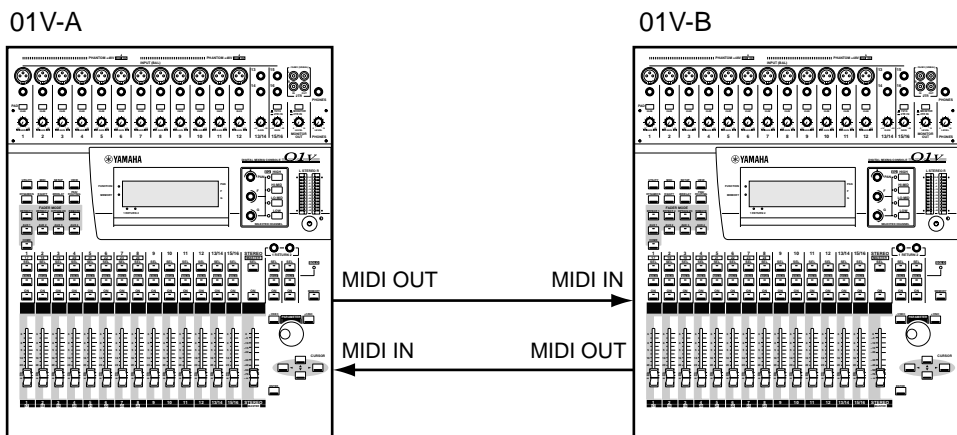
付録

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサー
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録



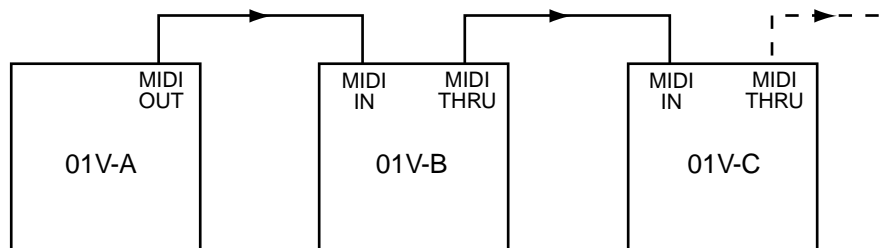
MIDI端子を使用したリンク

TO HOST端子をコンピューターに接続してMIDI操作を行う場合は、次のようにMIDI端子を使って2台の01Vを同時コントロールすることができます。MIDIページ1のLINK PORTパラメーターをMIDIに設定してください。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。



複数の01Vのリンク接続

3台以上の01Vを次のようにリンクさせることができますが、この場合01V-Aで行った設定のみが他の01Vに反映されます。01V-Bや01V-Cで行った調整は他の01Vには影響しません。MIDIページ1のLINK PORTパラメーターをMIDIに設定してください。詳細は、231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。



システム例

18

本章の目次

01VとADAT互換レコーダー	248
2台の01Vと2台のADAT互換レコーダー	250
01VとTascam互換レコーダー	252
2台の01Vと2台のTascam互換レコーダー	254
01VとPro Tools(AES/EBU).....	256

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01VとADAT互換レコーダー

この例では、01VとADATオプチカル接続端子をもつ8トラックデジタルMTRまたは8トラックHDレコーダーとの組み合わせで、16入力・8トラックのフルデジタルレコーディングシステムを組み上げます。ミックスダウン時には、16系統のマイク/ライン入力と8系統のデジタルテープリターンで、合計24系統の入力が得られます。

システムコンポーネント

- ・ 01Vデジタルミキシングコンソール
- ・ MY8-AT OPTION I/Oカード
- ・ 8トラックデジタルMTR、または8トラックHDレコーダー(例: Alesis ADAT, Alesis ADAT-XT, Alesis M20, Akai DR8, Akai DD8, Fostex D-90, Fostex CX-8)
- ・ ADATオプチカルケーブル2本

MY8-ATの取り付けについては、223ページの「OPTION I/Oカードの装着」をご参照ください。

ワードクロックの設定

デジタルオーディオを送信するためには、全てのデジタルオーディオ機器がワードクロックに同期していることが必要です(208ページの「ワードクロックについて」参照)。この例では、デジタルMTRがワードクロックのマスター、01VとDATレコーダーがスレーブとなっています。

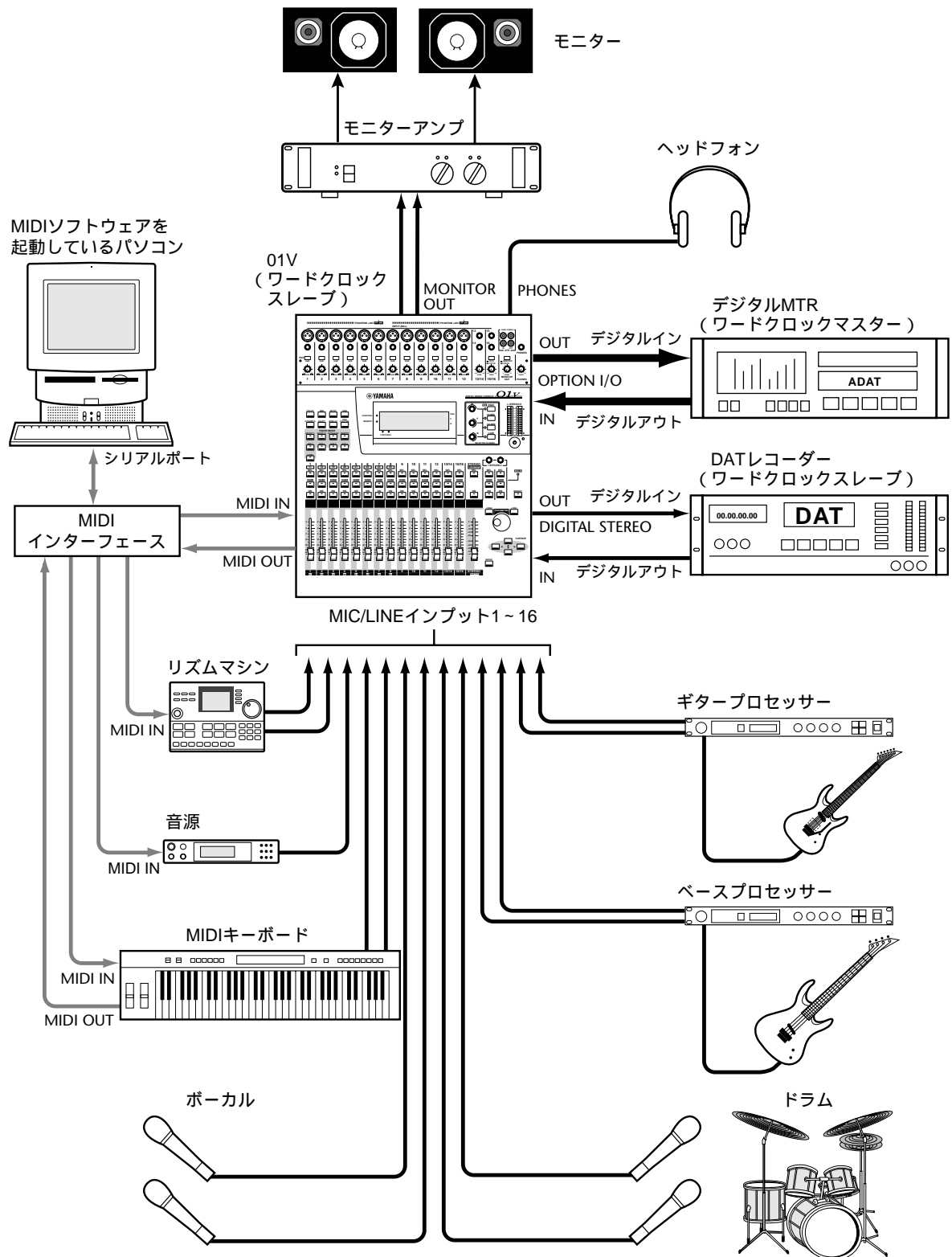
01VはOPTION I/Oデジタル入力端子から入るワードクロックに従い、DATは01VのDIGITAL STEREO OUT端子からのワードクロックに従います。ワードクロックの周波数はサンプリング周波数と同じで、デジタルMTRのテープをフォーマットしたとき、またはテープを録音したときに設定されます。

DATレコーダーからデジタルMTRにデジタル録音する場合は、DATレコーダーをワードクロックのマスターに、01VとデジタルMTRをスレーブに設定します。この例では、01VはDIGITAL STEREO IN端子からのワードクロックに従い、デジタルMTRは01VのOPTION I/O端子から出力されるワードクロックに従います。サンプリング周波数はDATテープを録音したときと同じです。DATの代わりにCDプレーヤーを使用した場合のサンプリング周波数は、音楽CDの標準である44.1kHzで固定となります。

システムについてのヒント

- ・ MY8-ATカードのデジタルIN/OUT端子は、ADATオプチカルケーブルを使用してデジタルMTRに接続します。
- ・ Alesis ADAT 8トラックデジタルMTRでは、DIGITAL INボタンを使用してオプチカルデジタル入力を選択します。
- ・ 01Vは4系統のバスを搭載したミキサーですが、バスアウトとAUXセンドやダイレクト出力を組み合わせるとデジタル出力に割り当てれば、8トラック同時録音が可能です。詳細は、224ページの「信号をOPTION I/O出力に割り当てる」をご参照ください。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

2台の01Vと2台のADAT互換レコーダー

この例では、2台の01V(ここでは01V-A、01V-Bとして説明)とADATオプチカル接続端子をもつ2台の8トラックデジタルMTRまたは2台の8トラックHDレコーダーとの組み合わせで、32入力・16トラックのフルデジタルレコーディングシステムを組み上げます。ミックスダウン時には、32系統のマイク/ライン入力と16系統のデジタルテープリターンで、合計48系統の入力が得られます。

01V-Aと01V-BはDIGITAL STEREO IN/OUT端子でカスケード接続します。01V-Bのオーディオ信号がステレオミックスにまとめられ、DIGITAL STEREO OUT端子から01V-Aに送られ、01V-Aのオーディオ信号とミックスされます。TO HOST端子の接続で2台の01Vがリンクされ、同時操作ができます。たとえば01V-AでフェーダーモードをAUX 1に設定すると、01V-BのフェーダーモードもAUX 1に設定されます。詳細は、218ページの「01Vのカスケード接続」をご参照ください。

システムコンポーネント

- ・ 01Vデジタルミキシングコンソール2台
- ・ MY8-AT OPTION I/Oカード2枚
- ・ 8トラックデジタルMTR、または8トラックHDレコーダー2台(例:Alesis ADAT, Alesis ADAT-XT, Alesis M20, Akai DR8, Akai DD8, Fostex D-90, Fostex CX-8)
- ・ ADATオプチカルケーブル4本
- ・ ADAT同期用ケーブル

MY8-ATの取り付けについては、223ページの「OPTION I/Oカードの装着」をご参照ください。

ワードクロックの設定

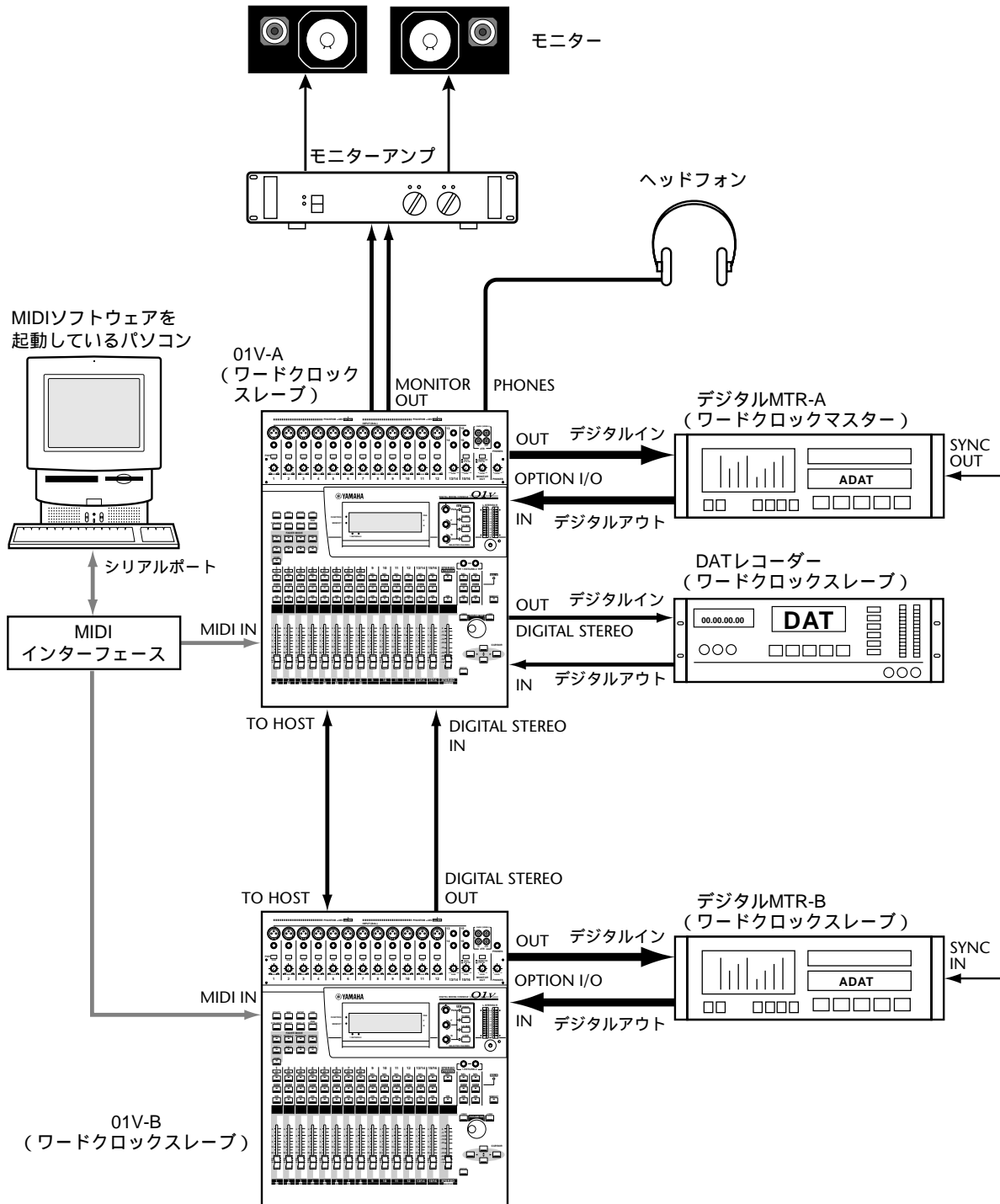
デジタルオーディオを送信するためには、全てのデジタルオーディオ機器がワードクロックに同期していることが必要です(210ページの「ワードクロックについて」参照)。この例では、デジタルMTR-Aがワードクロックのマスター、デジタルMTR-B、DATレコーダー、2台の01Vがスレーブとなっています。デジタルMTR-BはデジタルMTR-Aとの同期接続から入るワードクロックに従います。また01VはOPTION I/Oデジタル入力端子から入るワードクロックに従い、DATは01VのDIGITAL STEREO OUT端子からのワードクロックに従います。ワードクロックの周波数はサンプリング周波数と同じで、デジタルMTRのテープをフォーマットしたとき、またはテープを録音したときに設定されます。

DATレコーダーからデジタルMTRにデジタル録音する場合は、DATレコーダーをワードクロックのマスターに、01VとデジタルMTRをスレーブに設定します。サンプリング周波数はDATテープを録音したときと同じです。DATの代わりにCDプレーヤーを使用した場合のサンプリング周波数は、音楽CDの標準である44.1kHzで固定となります。

システムについてのヒント

- ・ MY8-ATカードのデジタルIN/OUT端子は、ADATオプチカルケーブルを使用してデジタルMTRに接続します。
- ・ Alesis ADAT 8トラックデジタルMTRでは、DIGITAL INボタンを使用してオプチカルデジタル入力を選択します。

- ・ 01Vは4系統のバスを搭載したミキサーですが、バスアウトとAUXセンドやダイレクト出力を組み合わせるとデジタル出力に割り当てれば、8トラック同時録音が可能です。詳細は、224ページの「信号をOPTION I/O出力に割り当てる」をご参照ください。



01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

01VとTascam互換レコーダー

この例では、01VとTascamデジタルオーディオインターフェース(TDIF-1)接続に対応した、8トラックデジタルMTRまたは8トラックHDレコーダーとの組み合わせで、16入力・8トラックのフルデジタルレコーディングシステムを組み上げます。ミックスダウン時には、16系統のマイク/ライン入力と8系統のデジタルテープリターンで、合計24系統の入力が得られます。

システムコンポーネント

- ・ 01Vデジタルミキシングコンソール
- ・ MY8-TD OPTION I/Oカード
- ・ 8トラックデジタルMTR、または8トラックHDレコーダー(例:Tascam DA-38, Tascam DA-88, Tascam DA-98, Akai DD8)
- ・ Tascam PW-88Dデジタルオーディオケーブル

MY8-TDの取り付けについては、223ページの「OPTION I/Oカードの装着」をご参照ください。

ワードクロックの設定

デジタルオーディオを送信するためには、全てのデジタルオーディオ機器がワードクロックに同期していることが必要です(210ページの「ワードクロックについて」参照)。この例では、デジタルMTRがワードクロックのマスター、01VとDATレコーダーがスレーブとなっています。

01VはOPTION I/Oデジタル入力端子から入るワードクロックに従い、DATは01VのDIGITAL STEREO OUT端子からのワードクロックに従います。ワードクロックの周波数はサンプリング周波数と同じで、デジタルMTRのテープをフォーマットしたとき、またはテープを録音したときに設定されます。

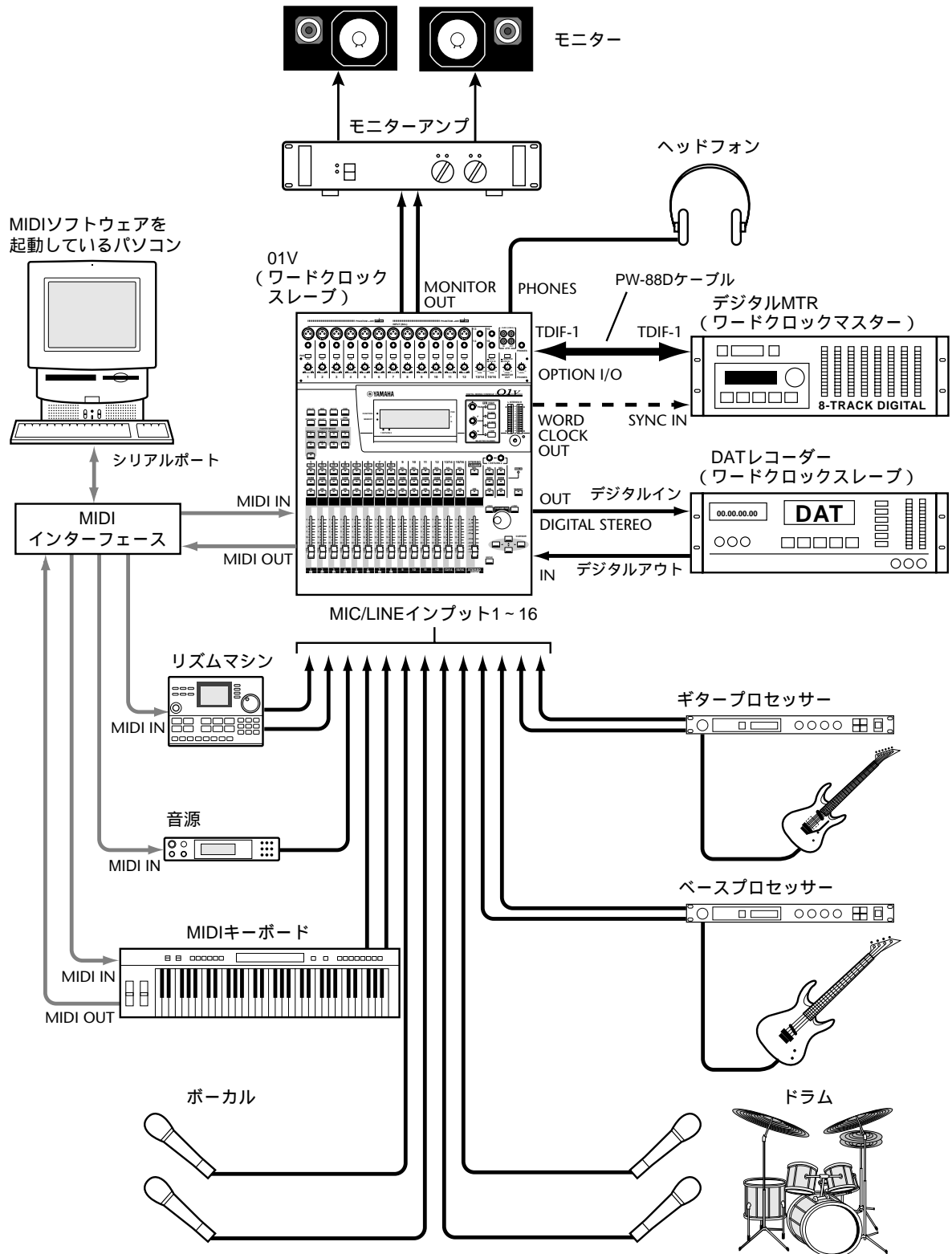
DATレコーダーからデジタルMTRにデジタル録音する場合は、DATレコーダーをワードクロックのマスターに、01VとデジタルMTRをスレーブに設定します。この例では、01VはDIGITAL STEREO IN端子からのワードクロックに従います。デジタルMTRにはデジタル入力端子からワードクロック信号が入らないので、BNCケーブルを利用してワードクロック信号を01Vから送信することが必要です。(ただしこの接続は、デジタルMTRをワードクロックのスレーブとして使用するときにのみ必要です。)サンプリング周波数はDATテープを録音したときと同じです。DATの代わりにCDプレーヤーを使用した場合のサンプリング周波数は、音楽CDの標準である44.1kHzで固定となります。

システムについてのヒント

- ・ Tascam PW-88Dデジタルオーディオケーブルを使用して、MY8-TDのTDIF-1端子をデジタルMTRに接続します。
- ・ MY8-TDカードには機器選択スイッチがありますから、接続レコーダーのタイプに従って切り替えてください。DA-88では「EXT:88」、DA-38/98および他のレコーダーでは「INT:38」に設定します。

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

- ・ 01Vは4系統のバスを搭載したミキサーですが、バスアウトとAUXセンドやダイレクト出力を組み合わせるとデジタル出力に割り当てれば、8トラック同時録音が可能です。詳細は、224ページの「信号をOPTION I/O出力に割り当てる」をご参照ください。
- ・ デジタルMTRをワードクロック信号のスレーブとして使用するときのみ、01VからデジタルMTRへのBNCワードクロック接続が必要となります。



01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサー
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付録

2台の01Vと2台のTascam互換レコーダー

この例では、2台の01VとTascamデジタルオーディオインターフェース(TDIF-1)接続に対応した、2台の8トラックデジタルMTRまたは8トラックHDレコーダーとの組み合わせで、32入力・16トラックのフルデジタルレコーディングシステムを組み上げます。ミックスダウン時には、32系統のマイク/ライン入力と16系統のデジタルテープリターンで、合計48系統の入力が得られます。

01V-Aと01V-BはDIGITAL STEREO IN/OUT端子でカスケード接続します。01V-Bのオーディオ信号がステレオミックスにまとめられ、DIGITAL STEREO端子の接続で01V-Aに送られ、01V-Aのオーディオ信号とミックスされます。TO HOST端子の接続によって2台の01Vがリンクされ、同時操作ができます。たとえば01V-AでフェーダーモードをAUX 1に設定すると、01V-BのフェーダーモードもAUX 1に設定されます。詳細は、218ページの「01Vのカスケード接続」をご参照ください。

システムコンポーネント

- ・ 01Vデジタルミキシングコンソール
- ・ MY8-TD OPTION I/Oカード2枚
- ・ 8トラックデジタルMTR、または8トラックHDレコーダー2台(例:Tascam DA-38, Tascam DA-88, Tascam DA-98, Akai DD8)
- ・ Tascam PW-88Dデジタルオーディオケーブル2本
- ・ Tascam PW-88S同期用ケーブル

MY8-TDの取り付けについては、223ページの「OPTION I/Oカードの装着」をご参照ください。

ワードクロックの設定

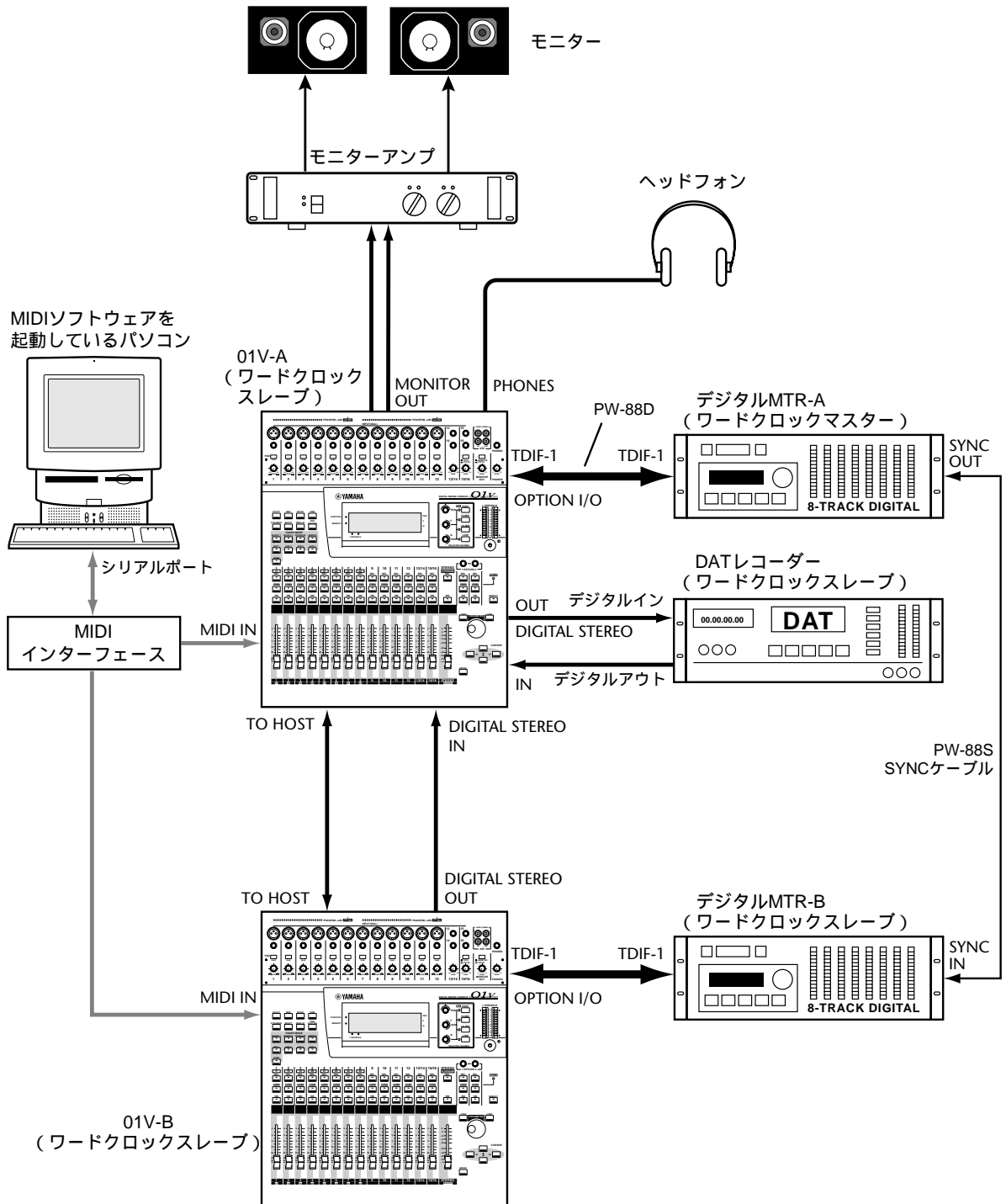
デジタルオーディオを送信するためには、デジタルオーディオ機器がワードクロックに同期していることが必要です(210ページの「ワードクロックについて」参照)。この例では、デジタルMTR-Aがワードクロックのマスター、デジタルMTR-B、DATレコーダー、2台の01Vがスレーブとなっています。デジタルMTR-BはデジタルMTR-Aとの同期接続から入るワードクロックに従います。また01VはOPTION I/Oデジタル入力端子から入るワードクロックに従い、DATは01VのDIGITAL STEREO OUT端子からのワードクロックに従います。ワードクロックの周波数はサンプリング周波数と同じで、デジタルMTRのテープをフォーマットしたとき、またはテープを録音したときに設定されます。

DATレコーダーからデジタルMTRにデジタル録音する場合は、DATレコーダーをワードクロックのマスターに、01VとデジタルMTRをスレーブに設定します。サンプリング周波数はDATテープを録音したときと同じです。DATの代わりにCDプレーヤーを使用した場合のサンプリング周波数は、音楽CDの標準である44.1kHzで固定となります。

システムについてのヒント

- ・ Tascam PW-88Dデジタルオーディオケーブルを使用して、MY8-TDカードのTDIF-1端子をデジタルMTRに接続します。
- ・ MY8-TDカードには機器選択スイッチがありますので、接続レコーダーのタイプに従って切り替えてください。DA-88では「EXT:88」、DA-38/98および他のレコーダーには「INT:38」に設定します。

- ・ 01Vは4系統のバスを搭載したミキサーですが、バスアウトとAUXセンドやダイレクト出力をデジタル出力に割り当てれば、8トラック同時録音が可能です。詳細は、224ページの「信号をOPTION I/O出力に割り当てる」をご参照ください。



01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01VとPro Tools(AES/EBU)

この例では、01VとPro Toolsを組み合わせ、16入力・8トラックのフルデジタルレコーディングシステムを組み上げます。ミックスダウン時には、16系統のマイク/ライン入力と8系統のデジタルテープリターンで、合計24系統の入力が得られます。

Digidesign 888 I/Oオーディオインターフェースは、専用の50ピンPro Toolsケーブルでコンピューターカードと888を接続することにより、01VをPro Toolsシステムに接続します。01Vから888には25ピンD-subケーブルと、XLR 25ピンD-subスプリッターボックスを使用して接続します。これにより8系統のAES/EBU入力(XLRを4系統) 8系統のAES/EBU出力(XLRを4系統)が得られます。

Pro Toolsのトランスポート機能は、MIDIマシンコントロール(MMC)コマンドで01Vからリモートコントロールします。詳細は、242ページの「 MIDIマシンコントロール 」をご参照ください。

システムコンポーネント

- ・ 01Vデジタルミキシングコンソール
- ・ MY8-AE OPTION I/Oカード
- ・ Digidesign 888 I/Oオーディオインターフェース搭載Pro Toolsシステム
- ・ XLR 25ピンD-subスプリッターボックス(または25ピンD-sub XLR分岐ケーブル)
- ・ 25ピンD-subケーブル、50ピンPro Toolsケーブル

MY8-AEの取り付けについては、223ページの「 OPTION I/Oカードの装着 」をご参照ください。

ワードクロックの設定

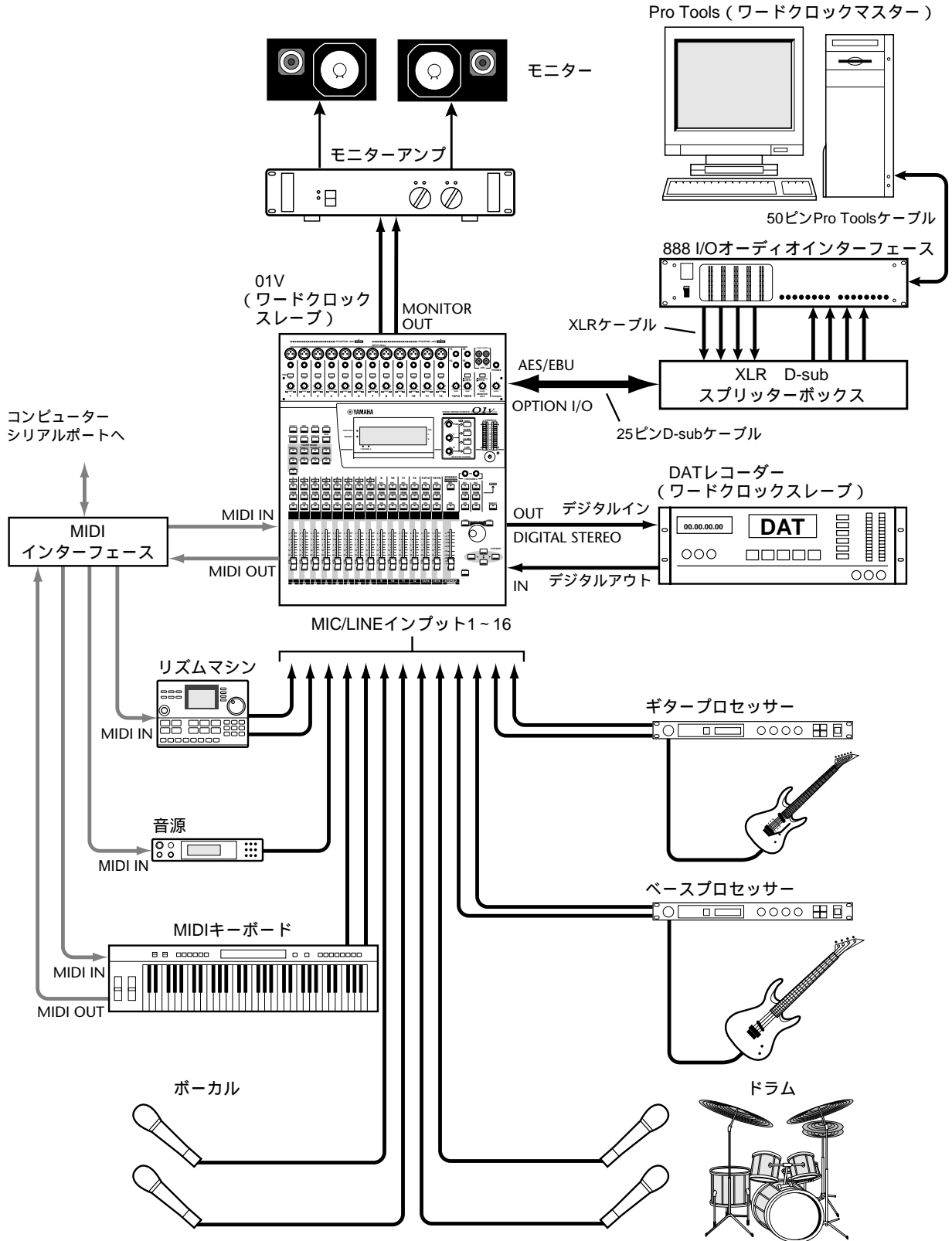
デジタルオーディオを送信するためには、デジタルオーディオ機器がワードクロックに同期していることが必要です(210ページの「 ワードクロックについて 」参照)。この例では、Pro Toolsがワードクロックのマスター、01VとDATレコーダーがスレーブとなっています。01VはOPTION I/Oデジタル入力端子から入るワードクロックに従い、DATは01VのDIGITAL STEREO OUT端子からのワードクロックに従います。ワードクロックの周波数はサンプリング周波数と同じで、Pro Toolsによって設定されます。

DATレコーダーからPro Toolsにデジタル録音する場合は、DATレコーダーをワードクロックのマスターに、01VとPro Toolsをスレーブに設定します。この例では、01VはDIGITAL STEREO IN端子からのワードクロックに従い、Pro Toolsは01VのOPTION I/O端子から出力されるワードクロックに従います。サンプリング周波数はDATテープを録音したときと同じです。DATの代わりにCDプレーヤーを使用した場合のサンプリング周波数は、音楽CDの標準である44.1kHzで固定となります。

システムについてのヒント

- ・ MY8-AEカードのAES/EBU端子は、25ピンD-subケーブルを使用して、XLR 25ピンD-subスプリッターボックスに接続します。
- ・ スプリッターボックスはAES/EBU対応XLRケーブルで888 I/Oオーディオインターフェースに接続します。
- ・ 888 I/Oオーディオインターフェースは、専用の50ピンPro Toolsケーブルを使用して、Pro Toolsオーディオカードに接続します。

- ・ XLR 25ピンD-subスプリッターボックスはカスタムモデルです。ヤマハでは販売していません。
- ・ スプリッターボックスの代わりに25ピンD-sub XLR分岐ケーブルも使用可能です。



01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

付 録

19

本章の目次

故障かな?と思ったら	260
ディスプレイメッセージ一覧	264
仕 様	267
1. 全体仕様	267
2. チャンネル仕様	268
3. アナログ入力仕様	271
4. アナログ出力仕様	272
5. デジタルオーディオ入力仕様	272
6. デジタルオーディオ出力仕様	272
7. オプションI/Oスロット仕様	272
8. コントロールI/O仕様	273
9. フェーダーファンクション設定	273
10. チャンネルオン/オフスイッチファンクション設定	274
11. ソロオン/オフキーファンクション設定	274
レベルダイアグラム	275
寸法図	276
MIDIプログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表	277
MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表(01V)	278
MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表(03D & ProMix01)	281
MIDIデータフォーマット	284
MIDIインプリメンテーションチャート	294
用語集	295
索引	299

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

故障かな？と思ったら

思ったおりに動かない、何かおかしいと思ったら状況を確認した上で、以下のような対処をしてみてください。

- | | |
|--|--|
| <p>電源が入らない</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが100VのACコンセントに接続されていますか？
11ページの「電源コードの接続」をご参照ください。 [POWER]スイッチがオンになっていますか？
11ページの「電源の入れ方」をご参照ください。 それでも電源が入らない場合は、お買い上げの販売店またはヤマハサービスセンターにご相談ください。 | <p>[SEL]キーが思うように使えない</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なフェーダーモードが選ばれていますか？
34ページの「SELキー」をご参照ください。 |
| <p>ディスプレイが読みにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> コントラストを調整してください。
16ページの「ディスプレイとステレオメーター」をご参照ください。 | <p>[SOLO]キーが思うように使えない</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なフェーダーモードが選ばれていますか？
36ページの「SOLOキー」をご参照ください。 |
| <p>コンデンサタイプのマイクを接続したが音が出ない</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続入力端子の+48Vのファンタム電源がオンになっていますか？ | <p>[ON]キーが思うように使えない</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なフェーダーモードが選ばれていますか？
37ページの「ONキー」をご参照ください。 |
| <p>同じインプットチャンネルのTRSフォン端子が接続されていると、XLR端子の入力が無視されます。
45ページの「インプットチャンネルの概要」をご参照ください。</p> | <p>エフェクトリターンコントロールが思うように使えない</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なフェーダーモードが選ばれていますか？
39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。 |
| <p>SELECTED CHANNEL[PAN]とEQ[F] [G]コントロールを操作すると、間違ったチャンネルが調整されてしまう</p> <ul style="list-style-type: none"> [SEL]キーでチャンネルを選択してください。
34ページの「SELキー」をご参照ください。 | <p>インプットチャンネル17～24が使えない</p> <ul style="list-style-type: none"> インプットチャンネル17～24はオプションのOPTION I/Oカードを装着したときのみ使用できます。
221ページの「OPTION I/Oカード」をご参照ください。 |
| <p>インプットチャンネル信号のレベルが極端に低いか高すぎる</p> <ul style="list-style-type: none"> [PAD]スイッチ、[GAIN]コントロールは正しくセットされていますか？
46ページの「パッド、インプットチャンネルゲインの設定」をご参照ください。 HOMEページでレベルを確認してください。
88ページの「信号レベルメーター」をご参照ください。 | <p>インプットチャンネル17～24のEQバンドHI-MID、LO-MIDを選択できない</p> <ul style="list-style-type: none"> インプットチャンネル17～24のEQは2バンドなので、これらのバンドは選択できません。 |
| <p>フェーダーを操作しても思うようにレベル調節ができない</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切なフェーダーモードが選ばれていますか？
39ページの「フェーダー(および[RETURN]コントロール)」をご参照ください。 | <p>インプットチャンネル17～24の信号をAUXアウト3、4に送れない</p> <ul style="list-style-type: none"> インプットチャンネル17～24の信号はAUXアウト1、2にのみ送れます。AUXアウト3、4には送れません。
99ページの「AUXアウト」をご参照ください。 |
| <p>インプットチャンネル1～8の信号がインプットチャンネル17～24に送られてしまう</p> <ul style="list-style-type: none"> インプットチャンネルがスワップされて(入れ替わって)います。
56ページの「インプット1～8と17～24の入れ替え(SWAP)」をご参照ください。 | |

- 入力信号が入っているがステレオ出力がない
- STEREOフェーダーを上げ、STEREO [ON] 枠がオンになっていることを確認してください。また、チャンネルがステレオ出力にパッチされているか確かめてください。
54ページの「インプットチャンネルのルーティング」をご参照ください。
- 入力信号が入っているが、モニター出力とヘッドフォン出力がない
- [MONITOR-2TR IN] スイッチが MONITOR に設定されていますか？
81ページの「モニター出力」をご参照ください。
 - SETUPページ2でモニターソースが選択されていますか？
82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。
 - [MONITOR OUT LEVEL [または] PHONES LEVEL] コントロールが上がっていますか？
また、SETUPページ2でMONI TRIMパラメーターをチェックしてください。
82ページの「モニターのセットアップ」をご参照ください。
- ソロモードになっているが音が出ない
- [MONITOR-2TR IN] スイッチが MONITOR になっていますか？
81ページの「2トラック入力(2TR IN)」をご参照ください。
 - [MONITOR OUT LEVEL [または] PHONES LEVEL] コントロールが上がっていますか？
またSETUPページ2のSOLO TRIMパラメーターをチェックしてください。
85ページの「ソロのセットアップ」をご参照ください。
- 思うようにソロモードにならず、[SOLO] 枠のインジケーターが点滅している
- ソロ機能のオン/オフを確認してください。
85ページの「ソロのセットアップ」をご参照ください。
- 特にEQブーストをかけたときなど、ヘッドルームにゆとりがない
- EQページのアッテネーター機能を使用して、レベルを抑えてください。
48ページの「インプットチャンネル信号の減衰」をご参照ください。
- DIGITAL STEREO IN 信号がインプットチャンネル13~14に入る
- DIGITAL STEREO INがインプットチャンネル13~14と入れ替わっていませんか？
216ページの「デジタルステレオイン」をご参照ください。
- インプットチャンネル13~14の音が出ない
- PAN/ROUTページ4でこのインプットチャンネルがDIGITAL STEREO INと入れ替わっていませんか？
216ページの「デジタルステレオイン」をご参照ください。
- 2TR IN信号がインプットチャンネル15~16に入る
- [15/16-2TR IN] スイッチが 2TR IN になっていませんか？
81ページの「2トラック入力(2TR IN)」をご参照ください。
- インプットチャンネル15~16の音が出ない
- [15/16-2TR IN] スイッチが 2TR IN になっていませんか？
81ページの「2トラック入力(2TR IN)」をご参照ください。
- バスアウトマスターフェーダーを選択できない
- バスアウトマスターレベルは、PAN/ROUTページ3のアイコンフェーダーで設定します。
115ページの「バスアウトのマスターレベル設定」をご参照ください。
- DIGITAL STEREO IN または OPTION I/O で録音した音が粒状に聞こえる
- ディザ機能は録音機器のワードレングスに合っていることを確認してください。
216ページの「出力ディザ」をご参照ください。
- DIGITAL STEREO IN または OPTION I/O で接続した信号にノイズが多い
- この信号を送信している機器が、マスターのワードクロックに同期しているかどうか確認してください。
210ページの「ワードクロックについて」をご参照ください。
- ステレオペアを設定したが、信号がモノになっているようだ
- 奇数チャンネルは左一杯、偶数チャンネルは右一杯にパンされているかどうか確認してください。
52ページの「インプットチャンネルのパン設定」をご参照ください。
- ステレオペアに設定したが、信号の位相が合っていない
- ステレオペアの両インプットチャンネルの位相を、必ず同一にしてください。ステレオペアを設定しても、フェイズ設定はリンクされません。
47ページの「入力フェイズの変更」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

- シーンメモリーの番号が点滅している
- 最後に呼び出されたシーンメモリーとは異なるシーンメモリーを選択したが、それを呼び出していないときに点滅します。
184ページの「シーンメモリーの表示領域」をご参照ください。
- ミックスシーンを呼び出しても、一部チャンネルが更新しない
- そのチャンネルはセーフチャンネルに設定されていませんか？
193ページの「シーンデータのリコールセーフ機能」をご参照ください。
- フェードタイムを指定しても効果が現われない
- フェードタイム設定はミックスシーンに保存してからでないとう効果が現われません。
192ページの「フェードタイムの設定」をご参照ください。
- フェーダーの動きが一定でない
- フェーダーのキャリブレーションを行ってください。
207ページの「フェーダーのキャリブレーション」をご参照ください。
- DIGITAL IN 同期エラーメッセージが表示される
- DIGITAL STEREO INまたはOPTION I/O入力からの信号と01Vがワードクロックで同期していないと、このメッセージが表示されます。すべてのデジタル機器がマスターのワードクロックに同期するように確認してください。
213ページの「ワードクロックのセットアップ」をご参照ください。
- SETUPページ1のFs欄にUNLOCKと表示される
- 外部ワードクロックソースがオンになっており、ワードクロック信号を送信するケーブル接続が外れていないことを確認してください。
213ページの「ワードクロックのセットアップ」をご参照ください。
- MIDIメッセージの送受信ができない
- MIDIページ1で次の設定を確認してください。プログラムチェンジ、コントロールチェンジのPORT, Tx CH, Rx CH, Tx, Rxの各ボタン設定。
231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。
- MIDIプログラムチェンジメッセージでミックスシーンを呼び出せない
- 01V側がプログラムチェンジメッセージを受信できるように設定され、MIDIチャンネルとポートが一致していることを確認してください。
231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。
- 送信されているプログラムチェンジが01Vのミックスシーンに割り当てられていますか？
プログラムチェンジへのミックスシーンの割り当て表を確認してください。
233ページの「プログラムチェンジによるシーンの呼び出し」をご参照ください。
 - 受信プログラムチェンジに割り当てられているシーンメモリーにデータが入っていないと、呼び出しはできません。

MIDIコントロールチェンジメッセージでミックスパラメーターを調整できない
 - 01V側がコントロールチェンジメッセージを受信できるように設定され、MIDIチャンネルとポートが一致していることを確認してください。
231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。
 - 送信されているコントロールチェンジが01Vのパラメーターに割り当てられていますか？
コントロールチェンジへのパラメーターの割り当て表を確認してください。
235ページの「コントロールチェンジによるパラメーターのコントロール」をご参照ください。

MIDIバルクダンプデータを受信できない
 - MIDIページ1のBULK Rxボタンがオンになっていますか？
231ページの「MIDIセットアップ」をご参照ください。

コントロール類での調整が無視される
 - MIDIページ5でのローカルコントロール機能がオフになっていませんか？
240ページの「ローカルコントロール」をご参照ください。

MMCコマンドが無視される
 - デバイスナンバーをMMC対応レコーダーのデバイスナンバーと一致させてください。
242ページの「MIDIマシンコントロール」をご参照ください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

ディスプレイメッセージ一覧

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

BULK:Byte Count Mismatch!

受信したバルクデータのバイトカウントが不正です。

BULK:Check Sum Error!

受信したバルクデータのチェックサムが不正です。

BULK:Memory Protected!

データの格納先にプロテクトが施されているため受信したバルクデータを格納できません。

DIGITAL IN Sync Error!

DIGITAL STEREO INに入力されている信号がワードクロックマスターに同期していません。このまま使用すると音声にノイズが混入する可能性がありますので、正しく同期の取れた信号を入力してください。

(このメッセージはUTILITY画面のPREFERENCESページで表示しないように設定することも出来ます。)

For Effect2 Only.

選択しているエフェクトプログラムはEFFECT2にのみリコールが可能です。

LOW BATTERY!!

内蔵バッテリーの寿命が近付いています。01Vに保存されているデータのバックアップをとったうえで(238ページ「バルクダンプリ」)お買い上げの販売店にバッテリーの交換をご依頼ください。

Memory Protected.

選択しているメモリにデータがストアされていないため実行できません。

MIDI IN :Data Overrun!

MIDI IN端子に適正でない信号が入力されていることが考えられます。

MIDI IN :Framing Error!

MIDI IN端子に適正でない信号が入力されていることが考えられます。

MIDI :Rx Buffer Full!

01VへのMIDIデータの流入量が多すぎることが考えられます。

MIDI :Tx Buffer Full!

01VからのMIDIデータの送信量が多すぎることが考えられます。

No Data.

データがストアされていないため実行できません。

Now Fading (Fade Time).

現在フェードタイム機能が動作中のため、Local ControlをOffできません。

OPTION IN Sync Error!

OPTION I/Oカードの入力端子に入力されている信号がワードクロックマスターに同期していません。このまま使用すると音声にノイズが混入する可能性がありますので、正しく同期の取れた信号を入力してください。

(但し、同期システムが正しく構築されていてもデジタルMTRがチェイス状態になるまでの間クロックが不安定になりこのメッセージが表示される場合があります。)

(このメッセージはUTILITY画面のPREFERENCESページで表示しないように設定することも出来ます。)

Preparing to LOCAL-OFF...

MIDI LOCAL OFF機能の実行準備中です。

Read Only.

選択しているメモリーが読み出し専用のため実行できません。

Selected channel:CHxx.

選択されたチャンネルはCHxxです。

TO HOST:Framing Error!	TO HOST端子に適正でない信号が入力されていることが考えられます。
TO HOST:Data Overrun!	TO HOST端子に適正でない信号が入力されていることが考えられます。
TO HOST:Data Parity Error!	TO HOST端子に適正でない信号が入力されていることが考えられます。
TO HOST:Rx Buffer Full!	TO HOST端子へのデータの流入量が多すぎることが考えられます。
TO HOST:Tx Buffer Full!	01VからのTO HOST端子へのデータ送信量が多すぎることが考えられます。
WRONG WORD CLOCK!!	01Vが選択した同期すべき接続機器からのワードクロックが適切ではありません。その設定では同期システムが構築出来ないということです。システムの接続状態の見直しやSETUPページの' AUTO NAVIGATE '機能を利用するなどして適正なワードクロックを選択し直してください。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

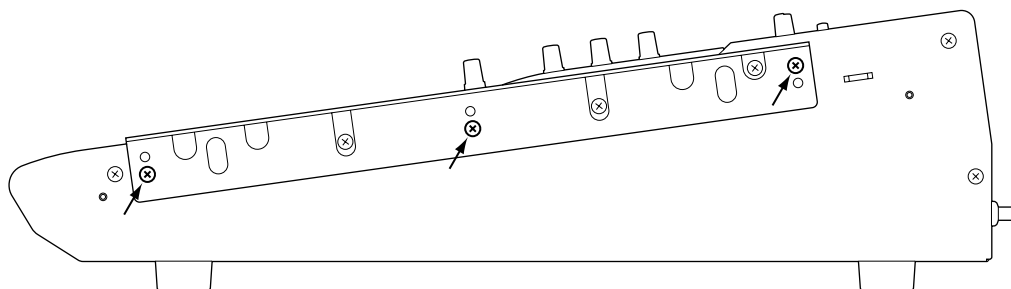
システム例

付 録

オプション

ラックマウント オプションのラックマウントキットRK124を使用すれば、01Vをラックにマウントできます。

ラックマウント金具をつぎのように取付けます。



セキュリティカバー

場合によっては、01Vのフロントパネルにカバーをかけて、アナログコントロールの設定を保護したいこともあるでしょう。ヤマハからはこのようなカバーは発売されていませんが、お客様が自作したカバーを取り付けられるように4カ所のネジ穴が開いています。ネジサイズはM3で、取付けピッチは横が414mm、縦が40mmです。カバーの浮き高さは15mm～20mmくらいが適当です。カバーを取り付ける際には、取り付け用のネジが内部に10mm以上くい込まないことをご確認ください。

仕様

1. 全体仕様

サンプリング周波数	内部:44.1kHz 外部:(44.1kHz - 10%)~(48kHz +6%)
シグナルディレイ	2.5ms以下 @fs = 44.1kHz, CH IN ST OUT
ディザ	16~24ビット
フェーダー	60mmストローク・モーターフェーダー × 15
フェーダー分解能	128ステップ / 60mm Master(ST OUTを除く):0 ~ - 72dB, - dB ST OUT:0 ~ - 96dB, - dB その他:+6 ~ - 72dB, - dB
全高調波歪	0.1%以下 20Hz ~ 20kHz, @+14dB 600 0.02%以下 1kHz, @+18dB 600, CH IN ST OUT
周波数特性	20Hz ~ 20kHz +1, - 3dB, @+4dB 600
ダイナミックレンジ	110dB標準 DA(ST OUT) 105dB標準 AD+DA(ST OUT)
ハム & ノイズ	20Hz ~ 20kHz, Rs = 150 Ω, GAIN:最大, PAD:0dB, 入力感度 = - 60dB LPR - 6dB/octave @12.7kHz: - dB/octave @20kHzと等価を通して測定
最大電圧ゲイン	- 128dB 等価ノイズ - 94dB 残留ノイズ ST OUT、ST OUT ONスイッチ:オフ - 94dB (98dB S/N) ST OUT、STフェーダー:ノミナル 全CH INフェーダー:最小 - 64dB (68dB S/N) ST OUT、STフェーダー:ノミナル 1 CH INフェーダー:ノミナル
クロストーク(1kHz)	70dB CH IN(CH1 ~ 12) ST OUT/OMN(BUS)OUT 70dB CH IN(CH1 ~ 12) OMN(AUX)OUT(プリINPUTフェーダー経由) 30dB CH IN(CH13 ~ 16) ST OUT 76dB CH IN(CH1 ~ 12) MONITOR OUT(STバス経由)
コントロール	70dB 隣接インプットCH間(CH1 ~ 12) 60dB 隣接インプットCH間(CH13 ~ 16) 70dB Input Output
アナログセクション	インプット(CH1 ~ 12) PADスイッチ(26dB) GAINコントロール(- 16 ~ - 60dB) PHANTOMスイッチ:+48V(CH1 ~ 6, CH7 ~ 12)
インプット(CH13/14)	GAINコントロール(+ 10 ~ - 20dB)
インプット(CH15/16)	GAINコントロール(+ 10 ~ - 20dB) インプットセレクト(15/16, 2TR IN)
アウトプット	MONITORセレクト(2TR IN, MONITOR) MONITORレベルコントロール PHONESレベルコントロール
デジタルセクション	ON & SELキー
	CH1 ~ 12, CH13/14, CH15/16, STEREO/MASTER(AUX1 ~ 4, EFFECT1, 2), RETURN 1, 2

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

01Vの世界へようこそ!	フェーダー	CH1 ~ 12, CH13/14, CH15/16, STEREO/MASTER(AUX1 ~ 4, EFFECT1, 2)
基本操作	エンコーダー	RETURN 1, 2
	SOLOキー	CH1 ~ 12, CH13/14, CH15/16, RETURN1, 2
各部の名称と機能	FADER MODEキー	HOME, EFFECT 1, EFFECT 2, OPTION I/O, REMOTE, AUX 1, AUX 2, AUX 3, AUX 4
	SELECTED CHANNEL	EQキー: HIGH, HI-MID, LO-MID, LOW エンコーダー: PAN, F(EQ), G(EQ)
ユーザーインターフェースの基礎知識	INPUT CONTROLキー	EQ/ATT, /DELAY, DYNAMICS, PAN/ROUTING, VIEW
インプットチャンネル	SETUPキー	UTILITY, MIDI, SETUP, MEMORY
	DATA ENTRY	エンコーダー: PARAMETER(24クリック) キー: + 1/INC, - 1/DEC, ENTER
イコライザー	CURSORキー	LEFT, RIGHT, UP, DOWN
	ディスプレイ	
ソロ、モニター、メーター	LCD	320 × 80ドット グラフィカルLCDバックライト・コントラストコントロール付
	メーター	ST OUTメーター(2 × 12エレメント), SOLOモードインジケーター
ステレオアウト	電源	100V 50/60Hz
AUXアウト	消費電力	55W
	最大外形寸法(W × H × D)	430 × 148 × 520mm
バスアウト	重量	12.5kg
	動作保証温度	10 ~ 35
OMNIアウト	セキュリティカバー	アナログ入力コントロール部に取付可能 4-M3ネジ穴
内蔵エフェクト	オプション	デジタルインターフェースカード(MY8, MY4シリーズ) ラック用金具(RK124)

2. チャンネル仕様

インプットチャンネル(CH 1 ~ 16)

ダイナミクスプロセッサ	PHANTOMスイッチ	+48V マイク(XLR)インプット: CH 1 ~ 6, CH 7 ~ 12
シーンメモリー	GAINコントロール	44dB(- 60 ~ - 16dB): CH 1 ~ 12 30dB(- 20 ~ +10dB): CH 13/14, 15/16
	PADスイッチ	0/26dB アッテネーション: CH 1 ~ 12
その他の機能	ADコンバーター	20ビットリニア・128倍オーバーサンプリング
	フェイズ	ノーマル/リバース
デジタルI/O	INPUT SWAP	ノーマル(CH 1 ~ 8)/ スワップ(OPTION INPUT CH 17 ~ 24)
	INPUT セレクト	ノーマル(CH 13/14)/ フリップ(DIGITAL STEREO IN)
MIDI	INPUT SELECTスイッチ	CH 15/16, 2TR IN L/R
	アッテネーター	0 ~ - 96dB(1dBステップ)
システム例	イコライザー	4バンド・パラメトリックイコライザー(Low, Lo-Mid, Hi-Mid, High)
	ダイナミクス	コンプレッサー、ゲート、ダッキング、エキスパンダー、コンパンダー
付 録	ディレイ	0 ~ 250ms, fs = 44.1kHz
	オン/オフ	
	フェーダー	60mmモーターフェーダー
	AUX, EFFECTセンド	INPUT/AUX 1/AUX 2/AUX 3/AUX 4/EFFECT 1/EFFECT 2 AUX 1 ~ 4, EFFECT 1, EFFECT 2: プリ/ポストフェーダー
	ソロ	オン/オフ AFL/PFL

パン ルーティング メーター	33ポジション(L:1~16、CENTER、R:1~16) STEREO、BUS 1~4 ダイレクトアウト(OMNI OUT 1~4、OPTION OUT OUTPUT SELECT経由) LCD、ピークホールドON/OFF	01Vの 世界へ ようこそ!
オプションインプットチャンネル(CH 17~24) OPTION I/O装着		基本操作
デエンファシス INPUT SWAP アッテネーター イコライザー オン/オフ フェーダー	自動デエンファシス・フィルター(15 μ s/50 μ s) ノーマル(CH 17~24)/ スワップ(CH 1~8) 0 ~ -96dB(1dBステップ) 2バンド・パラメトリックイコライザー(High, Low) 60mmモーターフェーダー	各部の 名称と機能
AUX、EFFECTセンド ソロ	INPUT/AUX 1/AUX 2/AUX 3/AUX 4/EFFECT 1/EFFECT 2 AUX 1~2、EFFECT 1、EFFECT 2: プリ / ポストフェーダー オン/オフ AFL/PFL	ユーザー インター フェース の基礎知識
パン ルーティング メーター	33ポジション(L:1~16、CENTER、R:1~16) STEREO、BUS 1~4 LCD、ピークホールドON/OFF	インプット チャンネル
デジタルステレオインプットチャンネル		イコライザー
デエンファシス INPUT セレクト カスケード	自動デエンファシス・フィルター(15 μ s/50 μ s) ノーマル(CH 13/14)/ フリップ(DIGITAL STEREO IN) オン/オフ カスケードオンでSTバスにアサイン	ソロ、 モニター、 メーター
リターン(内蔵エフェクト)チャンネル1, 2		ステレオ アウト
イコライザー オン/オフ LEVELコントロール	4バンド・パラメトリックイコライザー	AUXアウト
AUX、EFFECTセンド ソロ	INPUT/AUX 1/AUX 2/AUX 3/AUX 4/EFFECT 1, 2 (*1) AUX 1~4、EFFECT 1, 2 (*1): プリ / ポストリターンレベルコント ロール オン/オフ AFL/PFL	バスアウト
パン ルーティング メーター	33ポジション(L:1~16、CENTER、R:1~16) STEREO、BUS 1~4 LCD、ピークホールドON/OFF	OMNIアウト
	*1 10.フェーダーファンクション設定参照	内蔵 エフェクト
バスチャンネル BUS 1~4 マスターレベル オン/オフ モニター		ダイナミクス プロセッサ
BUS STEREO PAN STEREO メーター	オン/オフ AFL/PFL オン/オフ 33ポジション(L:1~16、CENTER、R:1~16) LCD、ピークホールドON/OFF	シーン メモリー
		その他の 機能
		デジタル I/O
		MIDI
		システム例
		付 録

01Vの 世界へ ようこそ!	AUXチャンネル AUX 1~4	
基本操作	イコライザー	4バンド・パラメトリックイコライザー
	ダイナミクス	
	フェーダー	60mmモーターフェーダー
	オン/オフ	
各部の 名称と機能	モニター	オン/オフ
	メーター	AFL/PFL LCD、ピークホールドON/OFF
ユーザー インター フェース の基礎知識	ステレオアウトチャンネル	
インプット チャンネル	イコライザー	4バンド・パラメトリックイコライザー
	フェーダー	60mmモーターフェーダー
イコライザー	バランス	
	ダイナミクス	
ソロ、 モニター、 メーター	オン/オフ	
	ディレイ	0 ~ 300ms, fs = 44.1kHz
ステレオ アウト	モニター	オン/オフ
	メーター	AFL/PFL
AUXアウト	DAコンバーター	2×12エレメント、(ポストフェーダー) LCD 20ビットリニア・8倍オーバーサンプリング
	OMNIアウトチャンネル(OMNI OUT 1~4)	
バスアウト	出力セレクト	CH 1~16/BUS 1~4/AUX 1~4/STEREO L/STEREO R
	ディレイ	ディレイタイム: 0 ~ 300ms, fs = 44.1kHz
OMNIアウト	DAコンバーター	18ビットリニア・8倍オーバーサンプリング
	モニターアウトチャンネル(SOLO)	
内蔵 エフェクト	SOLO Trim	+6 ~ -60dB(1dBステップ)
	MONO	
ダイナミクス プロセッサ	DAコンバーター	18ビットリニア・8倍オーバーサンプリング
	SELECTスイッチ	MONITOR/2TR IN
シーン メモリー	LEVELコントロール	
	PHONES LEVELコントロール	
その他の 機能	デジタルテレオアウトチャンネル	
	ディザ	オン/オフ ワード長: 16 ~ 24ビット
デジタル I/O	オプションアウトチャンネル	デジタルインターフェースカード
MIDI	アウトプットセレクト	OPTION OUT 1: BUS 1/CH 1/CH 9 / AUX 1/ST OUT L
	(MY8-AE, TD, AT)	OPTION OUT 2: BUS 2/CH 2/CH 10/AUX 2/ST OUT R OPTION OUT 3: BUS 3/CH 3/CH 11/AUX 3/ST OUT L OPTION OUT 4: BUS 4/CH 4/CH 12/AUX 4/ST OUT R OPTION OUT 5: BUS 1/CH 5/CH 13/AUX 1/ST OUT L OPTION OUT 6: BUS 2/CH 6/CH 14/AUX 2/ST OUT R OPTION OUT 7: BUS 3/CH 7/CH 15/AUX 3/ST OUT L OPTION OUT 8: BUS 4/CH 8/CH 16/AUX 4/ST OUT R
システム例		
付 録		

アウトプットセレクト (MY4-DA) OPTION OUT 1:BUS 1/CH 1/CH 5/CH 9 / CH 13/AUX 1/ST OUT L
 OPTION OUT 2:BUS 2/CH 2/CH 6/CH 10/CH 14/AUX 2/ST OUT R
 OPTION OUT 3:BUS 3/CH 3/CH 7/CH 11/CH 15/AUX 3/ST OUT L
 OPTION OUT 4:BUS 4/CH 4/CH 8/CH 12/CH 16/AUX 4/ST OUT R
 ディザァー オン/オフ
 ワード長:16~24ビット

メモリー/ライブラリー数

タイプ	総 数	プリセット	ユーザー
シーンメモリー数	100	1	99
内蔵デジタルエフェクト(1,2)	99	42	57
ダイナミクス	80	40	40
EQライブラリー	80	40	40

EQ

	LOW	LO-MID	HI-MID	HIGH
G (ゲイン)	± 18dB			
F (周波数)	fs=48kHz/44.1kHz 21Hz ~ 20.1kHz			
Q	HPF、10~0.1、 シェルピング	10~0.1		LPF、10~0.1、 シェルピング

3. アナログ入力仕様

入力端子	PAD	GAIN	インピーダンス	適合 インピーダンス	入力レベル			使用 コネクター
					感度*1	定格レベル	最大ノンクリップレベル	
CH INPUT CH 1~12	0	-60	3k	50~600 Mics & 600 Lines	-66dB(388µV)	-60dB(775µV)	-46dB(3.88mV)	XLR-3-31 type*2 and Phone Jack(TRS)*3
	0	-16			-22dB(61.6mV)	-16dB(123mV)	-2dB(616mV)	
	26				+4dB(1.23V)	+10dB(2.45V)	+24dB(12.3V)	
CH INPUT CH 13~16		-20	10k	600 Lines	-26dB(38.8mV)	-20dB(77.5mV)	-6dB(388mV)	Phone Jack(TRS)*3
		+10			+4dB(1.23V)	+10dB(2.45V)	+24dB(12.3V)	
2 TR IN[L, R]			10k	600 Lines	-10dBV(316mV)	-10dBV(316mV)	+4dBV(1.58V)	RCA Pin Jack*4

- 0dB=775mVrms, 0dBV=1Vrms
 - ADコンバーター 20ビット, 128倍オーバーサンプリング
 - CH INPUT 1~6, 7~12のXLRタイプコネクターに+48V DCのファンタム電源が供給
- *1. 全フェーダーおよびレベルコントロールが最大時に定格出力レベル+4dB(1.23V)を出力するために必要な最小レベル
 *2. バランス型(1=GND, 2=HOT, 3=COLD)
 *3. バランス型(Tip=HOT, Ring=COLD, Sleeve=GND)
 *4. アンバランス型

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

4. アナログ出力仕様

出力端子	インピーダンス	適合 インピーダンス	出力レベル		使用コネクタ
			定格レベル	最大ノックリップレベル	
STEREO OUT [L, R]	150	600 Lines	+4dB(1.23V)	+18dB(6.16V)	XLR-3-32 type(Balanced) ^{*1}
OMNI OUT 1 ~ 4	150	10k Lines	+4dB(1.23V)	+18dB(6.16V)	Phone Jack(TRS balanced) ^{*2}
2TR OUT [L, R]	600	10k Lines	- 10dBV(316mV)	+4dBV(1.58V)	RCA Pin Jack(Unbalanced)
MONITOR OUT [L, R]	150	10k Lines	+4dB(1.23V)	+18dB(6.16V)	Phone Jack(TRS balanced) ^{*2}
PHONES	100	8 Phones	4mW	25mW	Stereo Phone Jack(TRS) ^{*3}
		40 Phones	12mW	75mW	(Unbalanced)

• 0dB=775mVrms, 0dBV=1Vrms

• DAコンバーター STEREO OUT L・R, MONITOR OUT L・R: 20ビット, 8倍オーバーサンプリング
OMNI OUT 1~4: 18ビット, 8倍オーバーサンプリング

*1. バランス型(1 = GND, 2 = HOT, 3 = COLD)

*2. バランス型(Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND)

*3. アンバランス型(Tip = L, Ring = R, Sleeve = GND)

5. デジタルオーディオ入力仕様

端子		フォーマット	データ長	レベル	使用コネクタ
DIGITAL STEREO IN	COAXIAL	IEC-60958	24ビット	0.5Vpp/75	RCA Pin Jack

• 入力信号がエンファシスを含んでいる場合は自動でデエンファシス処理されます。

6. デジタルオーディオ出力仕様

端子		フォーマット	データ長	レベル	使用コネクタ
DIGITAL STEREO OUT	COAXIAL	IEC-60958 ^{*1} 民生用	24ビット ^{*2}	0.5Vpp/75	RCA Pin Jack

*1. チャンネルステータス

タイプ : 2チャンネルオーディオ
 カテゴリーコード : 2チャンネルPCMエンコーダ/デコーダ
 コピー禁止 : オフ
 エンファシス : オフ
 クロック精度 : レベルI(1000 ppm.)
 サンプリングレート : 01Vの内部設定による

*2. デイザー : ワード長16~24ビット

7. オプションI/Oスロット仕様

カード	フォーマット	INPUT	OUTPUT
MY8-AT	Alesis adat	8 IN(CH 17 ~ 24)	8 OUT(BUS, AUX, ST, CH DIRECT) ^{*1}
MY8-TD	TASCAM		
MY8-AE	AES/EBU		
MY4-DA	Analog out		4 OUT(BUS, AUX, ST, CH DIRECT) ^{*1}
MY8-AD	Analog in	8 IN(CH 17 ~ 24)	
MY4-AD		4 IN(CH 17 ~ 20)	

*1. 詳細は、各カードに依る。

8. コントロールI/O仕様

端子	フォーマット	レベル	使用コネクター
TO HOST		RS-422	ミニDIN 8ピン
MIDI IN	MIDI		DIN 5ピン
MIDI THRU			
MIDI OUT			

9. フェーダーファンクション設定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13/14	15/16	ST OUT(MASTER)	RETURN 1	RETURN 2
HOME	CH 1 ~ 16 レベル														STマスターレベル	RTN 1, 2レベル	
AUX 1	CH 1 ~ 16 AUX 1センドレベル														AUX 1センドマスターレベル	RTN 1, 2 AUX 1	
AUX 2	CH 1 ~ 16 AUX 2センドレベル														AUX 2センドマスターレベル	RTN 1, 2 AUX 2	
AUX 3	CH 1 ~ 16 AUX 3センドレベル														AUX 3センドマスターレベル	RTN 1, 2 AUX 3	
AUX 4	CH 1 ~ 16 AUX 4センドレベル														AUX 4センドマスターレベル	RTN 1, 2 AUX 4	
EFFECT 1	CH 1 ~ 16 EFF 1センドレベル														EFF 1センドマスターレベル	RETURN 1	RTN 2 EFF 1
EFFECT 2	CH 1 ~ 16 EFF 2センドレベル														EFF 2センドマスターレベル	RTN 1 EFF 2	RETURN 2
OPTION I/O (MY8-AE, TD, AT, AD)	CH 17 ~ 24 レベル														STマスターレベル	RTN 1, 2レベル	
OPTION I/O (MY4-AD)	CH 17 ~ 20 レベル																
OPTION I/O (MY4-DA)																	
REMOTE-INTERNAL	INTERNAL PARAMETER ASSIGN																
REMOTE-MMC																	
REMOTE-USER DEF	USER DEFINE																

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

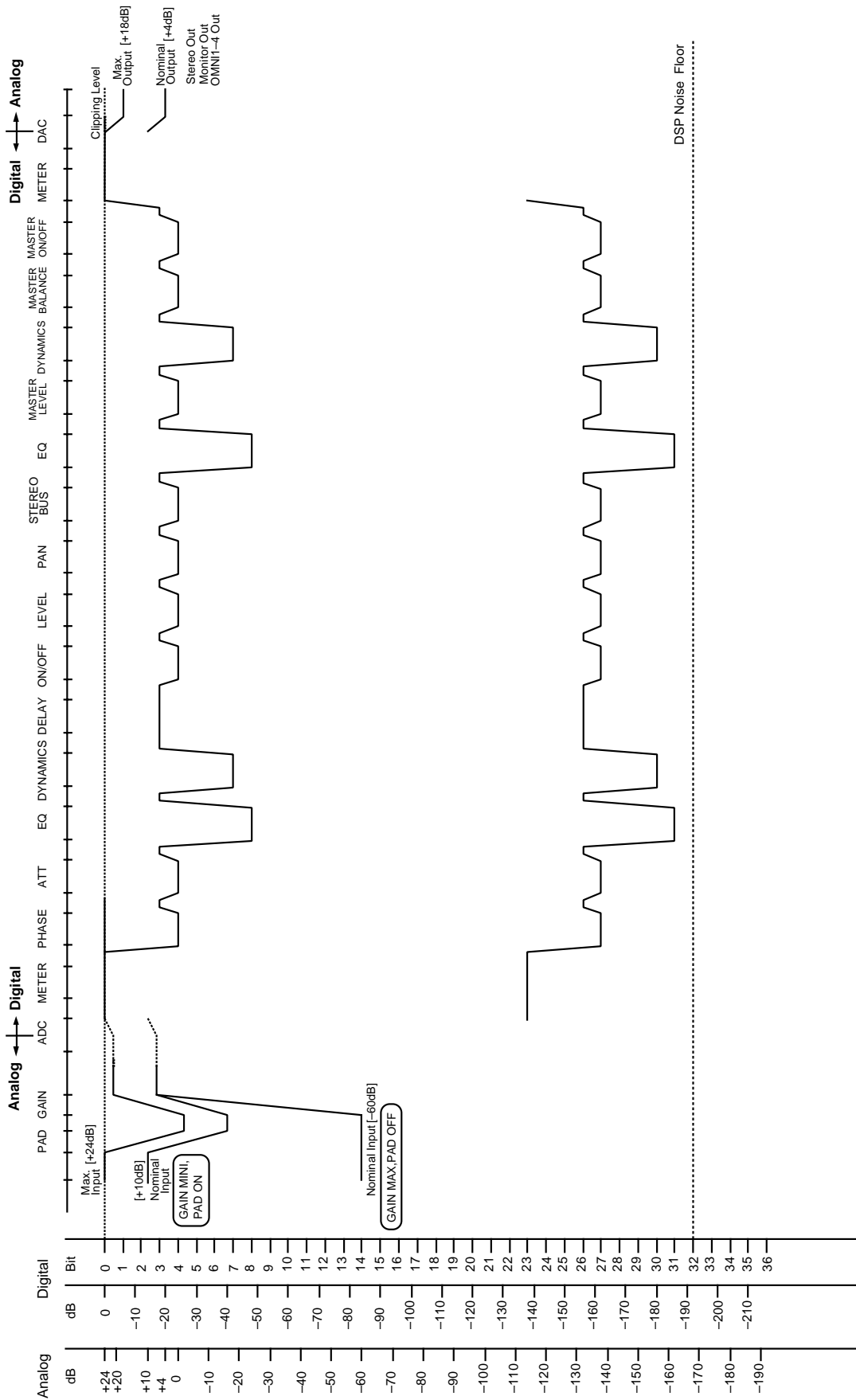
10. チャンネルオン / オフスイッチファンクション設定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13/14	15/16	ST OUT(MASTER)	RETURN 1	RETURN 2					
HOME	CH 1 ~ 16オン / オフ														STマスターオン / オフ	RTN 1, 2オン / オフ						
AUX 1															AUX 1センドマスターオン / オフ							
AUX 2															AUX 2センドマスターオン / オフ							
AUX 3															AUX 3センドマスターオン / オフ							
AUX 4															AUX 4センドマスターオン / オフ							
EFFECT 1															EFF 1センドマスターオン / オフ			RTN 2オン / オフ				
EFFECT 2															EFF 2センドマスターオン / オフ	RTN 1オン / オフ						
OPTION I/O (MY8-AE, TD, AT, AD)															CH 17 ~ 24 オン / オフ							
OPTION I/O (MY4-AD)	CH 17 ~ 20 オン / オフ																					
OPTION I/O (MY4-DA)																						
REMOTE-INTERNAL	INTERNAL PARAMETER ASSIGN																					
REMOTE-MMC	REW	FH	STOP	PLAY	PAUSE	REC																
REMOTE-USER DEF	USER DEFINE																					

11. ソロオン / オフキーファンクション設定

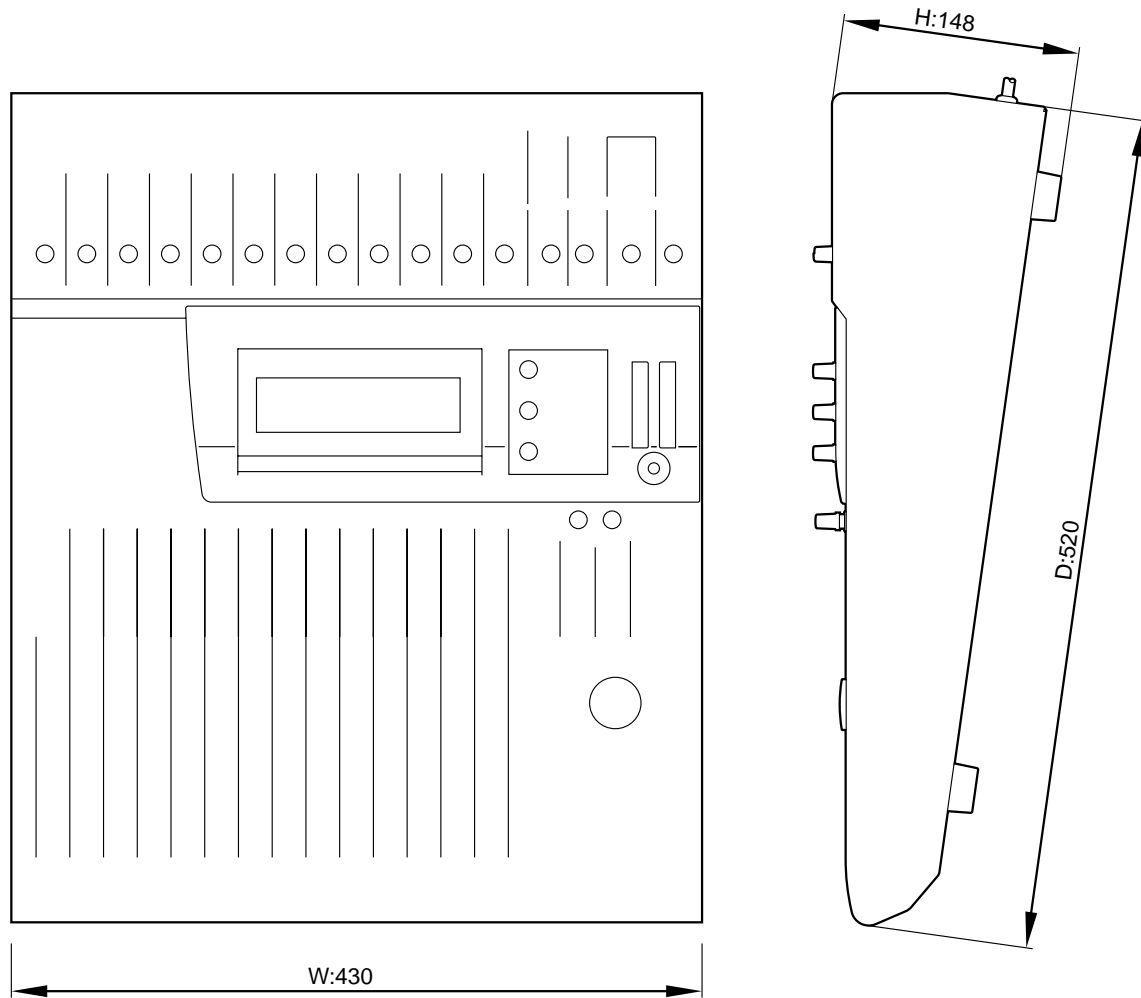
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13/14	15/16	ST OUT(MASTER)	RETURN 1	RETURN 2	
HOME	CH 1 ~ 16ソロ														RTN 1, 2ソロ			
AUX 1																	RTN 2ソロ	
AUX 2																		
AUX 3																		
AUX 4																		
EFFECT 1																		
EFFECT 2															RTN 1ソロ			
OPTION I/O (MY8-AE, TD, AT, AD)															CH 17 ~ 24 ソロ			
OPTION I/O (MY4-AD)	CH 17 ~ 20 ソロ																	
OPTION I/O (MY4-DA)																		
REMOTE-USER DEF	USER DEFINE																	

レベルダイアグラム



- 01Vの世界へようこそ!
- 基本操作
- 各部の名称と機能
- ユーザーインターフェースの基礎知識
- インプットチャンネル
- イコライザー
- ソロ、モニター、メーター
- ステレオアウト
- AUXアウト
- バスアウト
- OMNIアウト
- 内蔵エフェクト
- ダイナミクスプロセッサ
- シーンメモリー
- その他の機能
- デジタルI/O
- MIDI
- システム例
- 付 録

寸法図



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
 この製品は電気用品取締法の定める技術基準に適合しています。

01Vの 世界へ ようこそ!
基本操作
各部の 名称と機能
ユーザー インター フェース の基礎知識
インプット チャンネル
イコライザー
ソロ、 モニター、 メーター
ステレオ アウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵 エフェクト
ダイナミクス プロセッサ
シーン メモリー
その他の 機能
デジタル I/O
MIDI
システム例
付 録

MIDIプログラムチェンジへのシーンメモリーのアサイン表

PGM CHG.#	Initial SCENE #	User SCENE #
1	01	
2	02	
3	03	
4	04	
5	05	
6	06	
7	07	
8	08	
9	09	
10	10	
11	11	
12	12	
13	13	
14	14	
15	15	
16	16	
17	17	
18	18	
19	19	
20	20	
21	21	
22	22	
23	23	
24	24	
25	25	
26	26	
27	27	
28	28	
29	29	
30	30	
31	31	
32	32	
33	33	
34	34	
35	35	
36	36	
37	37	
38	38	
39	39	
40	40	
41	41	
42	42	
43	43	

PGM CHG.#	Initial SCENE #	User SCENE #
44	44	
45	45	
46	46	
47	47	
48	48	
49	49	
50	50	
51	51	
52	52	
53	53	
54	54	
55	55	
56	56	
57	57	
58	58	
59	59	
60	60	
61	61	
62	62	
63	63	
64	64	
65	65	
66	66	
67	67	
68	68	
69	69	
70	70	
71	71	
72	72	
73	73	
74	74	
75	75	
76	76	
77	77	
78	78	
79	79	
80	80	
81	81	
82	82	
83	83	
84	84	
85	85	
86	86	

PGM CHG.#	Initial SCENE #	User SCENE #
87	87	
88	88	
89	89	
90	90	
91	91	
92	92	
93	93	
94	94	
95	95	
96	96	
97	97	
98	98	
99	99	
100	00	
101	-	
102	-	
103	-	
104	-	
105	-	
106	-	
107	-	
108	-	
109	-	
110	-	
111	-	
112	-	
113	-	
114	-	
115	-	
116	-	
117	-	
118	-	
119	-	
120	-	
121	-	
122	-	
123	-	
124	-	
125	-	
126	-	
127	-	
128	-	

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表(01V)

CTL CHG.#	PARAMETER			
	01V DEFAULT			User
0	NO ASSIGN			
1	FADER	CHANNEL	CH 1	
2	FADER	CHANNEL	CH 2	
3	FADER	CHANNEL	CH 3	
4	FADER	CHANNEL	CH 4	
5	FADER	CHANNEL	CH 5	
6	FADER	CHANNEL	CH 6	
7	FADER	CHANNEL	CH 7	
8	FADER	CHANNEL	CH 8	
9	FADER	CHANNEL	CH 9	
10	FADER	CHANNEL	CH10	
11	FADER	CHANNEL	CH11	
12	FADER	CHANNEL	CH12	
13	FADER	CHANNEL	CH13-14	
14	FADER	CHANNEL	CH15-16	
15	FADER	CHANNEL	RETURN1	
16	FADER	CHANNEL	RETURN2	
17	FADER	MASTER	AUX1	
18	FADER	MASTER	AUX2	
19	FADER	MASTER	AUX3	
20	FADER	MASTER	AUX4	
21	FADER	MASTER	BUS1	
22	FADER	MASTER	BUS2	
23	FADER	MASTER	BUS3	
24	FADER	MASTER	BUS4	
25	FADER	MASTER	EFFECT1	
26	FADER	MASTER	EFFECT2	
27	FADER	MASTER	ST OUT	
28	ON	CHANNEL	CH 1	
29	ON	CHANNEL	CH 2	
30	ON	CHANNEL	CH 3	
31	ON	CHANNEL	CH 4	
32	NO ASSIGN			
33	ON	CHANNEL	CH 5	
34	ON	CHANNEL	CH 6	
35	ON	CHANNEL	CH 7	
36	ON	CHANNEL	CH 8	
37	ON	CHANNEL	CH 9	

CTL CHG.#	PARAMETER					
	01V DEFAULT			User		
38	ON	CHANNEL	CH10			
39	ON	CHANNEL	CH11			
40	ON	CHANNEL	CH12			
41	ON	CHANNEL	CH13-14			
42	ON	CHANNEL	CH15-16			
43	ON	CHANNEL	RETURN1			
44	ON	CHANNEL	RETURN2			
45	ON	MASTER	AUX1			
46	ON	MASTER	AUX2			
47	ON	MASTER	AUX3			
48	ON	MASTER	AUX4			
49	ON	MASTER	BUS1			
50	ON	MASTER	BUS2			
51	ON	MASTER	BUS3			
52	ON	MASTER	BUS4			
53	ON	MASTER	EFFECT1			
54	ON	MASTER	EFFECT2			
55	ON	MASTER	ST OUT			
56	PAN	CHANNEL	CH 1			
57	PAN	CHANNEL	CH 2			
58	PAN	CHANNEL	CH 3			
59	PAN	CHANNEL	CH 4			
60	PAN	CHANNEL	CH 5			
61	PAN	CHANNEL	CH 6			
62	PAN	CHANNEL	CH 7			
63	PAN	CHANNEL	CH 8			
64	PAN	CHANNEL	CH 9			
65	PAN	CHANNEL	CH10			
66	PAN	CHANNEL	CH11			
67	PAN	CHANNEL	CH12			
68	PAN	CHANNEL	CH13			
69	PAN	CHANNEL	CH14			
70	PAN	CHANNEL	CH15			
71	PAN	CHANNEL	CH16			
72	PAN	CHANNEL	RETURN1 L			
73	PAN	CHANNEL	RETURN1 R			
74	PAN	CHANNEL	RETURN2 L			
75	PAN	CHANNEL	RETURN2 R			
76	PAN	BALANCE	ST OUT			
77	FADER	EFF1 SEND	CH 1			
78	FADER	EFF1 SEND	CH 2			
79	FADER	EFF1 SEND	CH 3			

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

01Vの世界へようこそ!	CTL CHG.#	PARAMETER			
		01V DEFAULT		User	
基本操作	80	FADER	EFF1 SEND	CH 4	
	81	FADER	EFF1 SEND	CH 5	
	82	FADER	EFF1 SEND	CH 6	
各部の 名称と機能	83	FADER	EFF1 SEND	CH 7	
	84	FADER	EFF1 SEND	CH 8	
ユーザー インター フェース の基礎知識	85	FADER	EFF1 SEND	CH 9	
	86	FADER	EFF1 SEND	CH10	
	87	FADER	EFF1 SEND	CH11	
インプット チャンネル	88	FADER	EFF1 SEND	CH12	
	89	FADER	EFF1 SEND	CH13-14	
イコライザー	90	FADER	EFF1 SEND	CH15-16	
	91	FADER	EFF2 SEND	CH 1	
ソロ、 モニター、 メーター	92	FADER	EFF2 SEND	CH 2	
	93	FADER	EFF2 SEND	CH 3	
	94	FADER	EFF2 SEND	CH 4	
ステレオ アウト	95	FADER	EFF2 SEND	CH 5	
	102	FADER	EFF2 SEND	CH 6	
AUXアウト	103	FADER	EFF2 SEND	CH 7	
	104	FADER	EFF2 SEND	CH 8	
	105	FADER	EFF2 SEND	CH 9	
バスアウト	106	FADER	EFF2 SEND	CH10	
	107	FADER	EFF2 SEND	CH11	
OMNIアウト	108	FADER	EFF2 SEND	CH12	
	109	FADER	EFF2 SEND	CH13-14	
	110	FADER	EFF2 SEND	CH15-16	
内蔵 エフェクト	111	FADER	CHANNEL	CH17	
	112	FADER	CHANNEL	CH18	
ダイナミクス プロセッサ	113	FADER	CHANNEL	CH19	
	114	FADER	CHANNEL	CH20	
シーン メモリー	115	FADER	CHANNEL	CH21	
	116	FADER	CHANNEL	CH22	
その他の 機能	117	FADER	CHANNEL	CH23	
	118	FADER	CHANNEL	CH24	
デジタル I/O	119	NO ASSIGN			
MIDI					
システム例					
付 録					

MIDIコントロールチェンジへのパラメーターのアサイン表 (03D & ProMix01)

CTL CHG.#	PARAMETER					
	03D Arrangement			ProMix01 Arrangement		
0	NO ASSIGN			FADER	CHANNEL	CH 1
1	FADER	CHANNEL	CH 1	FADER	CHANNEL	CH 2
2	FADER	CHANNEL	CH 2	FADER	CHANNEL	CH 3
3	FADER	CHANNEL	CH 3	FADER	CHANNEL	CH 4
4	FADER	CHANNEL	CH 4	FADER	CHANNEL	CH 5
5	FADER	CHANNEL	CH 5	FADER	CHANNEL	CH 6
6	FADER	CHANNEL	CH 6	FADER	CHANNEL	CH 7
7	FADER	CHANNEL	CH 7	FADER	CHANNEL	CH 8
8	FADER	CHANNEL	CH 8	FADER	CHANNEL	CH 9
9	FADER	CHANNEL	CH 9	FADER	CHANNEL	CH10
10	FADER	CHANNEL	CH10	FADER	CHANNEL	CH11
11	FADER	CHANNEL	CH11	FADER	CHANNEL	CH12
12	FADER	CHANNEL	CH12	FADER	CHANNEL	CH17
13	NO ASSIGN			FADER	CHANNEL	CH18
14	NO ASSIGN			FADER	CHANNEL	CH19
15	NO ASSIGN			FADER	CHANNEL	CH20
16	NO ASSIGN			FADER	CHANNEL	CH13-14
17	FADER	CHANNEL	CH17	FADER	CHANNEL	RETURN1
18	FADER	CHANNEL	CH18	FADER	CHANNEL	RETURN2
19	FADER	CHANNEL	CH19	FADER	MASTER	AUX1
20	FADER	CHANNEL	CH20	FADER	MASTER	AUX2
21	FADER	CHANNEL	CH21	FADER	MASTER	ST OUT
22	FADER	CHANNEL	CH22	ON	CHANNEL	CH 1
23	FADER	CHANNEL	CH23	ON	CHANNEL	CH 2
24	FADER	CHANNEL	CH24	ON	CHANNEL	CH 3
25	FADER	CHANNEL	CH13-14	ON	CHANNEL	CH 4
26	FADER	CHANNEL	RETURN1	ON	CHANNEL	CH 5
27	FADER	CHANNEL	RETURN2	ON	CHANNEL	CH 6
28	FADER	MASTER	AUX1	ON	CHANNEL	CH 7
29	FADER	MASTER	AUX2	ON	CHANNEL	CH 8
30	FADER	MASTER	AUX3	ON	CHANNEL	CH 9
31	FADER	MASTER	AUX4	ON	CHANNEL	CH10
32	NO ASSIGN			ON	CHANNEL	CH11
33	FADER	MASTER	BUS1	ON	CHANNEL	CH12
34	FADER	MASTER	BUS2	ON	CHANNEL	CH17
35	FADER	MASTER	BUS3	ON	CHANNEL	CH18
36	FADER	MASTER	BUS4	ON	CHANNEL	CH19
37	FADER	MASTER	ST OUT	ON	CHANNEL	CH20

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサーシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

CTL CHG.#	PARAMETER						
	03D Arrangement			ProMix01 Arrangement			
01Vの世界へようこそ!	38	PAN	CHANNEL	CH 1	ON	CHANNEL	CH13-14
基本操作	39	PAN	CHANNEL	CH 2	ON	CHANNEL	RETURN1
	40	PAN	CHANNEL	CH 3	ON	CHANNEL	RETURN2
各部の名称と機能	41	PAN	CHANNEL	CH 4	ON	MASTER	AUX1
	42	PAN	CHANNEL	CH 5	ON	MASTER	AUX2
ユーザーインターフェースの基礎知識	43	PAN	CHANNEL	CH 6	ON	MASTER	ST OUT
	44	PAN	CHANNEL	CH 7	PAN	CHANNEL	CH 1
インプットチャンネル	45	PAN	CHANNEL	CH 8	PAN	CHANNEL	CH 2
	46	PAN	CHANNEL	CH 9	PAN	CHANNEL	CH 3
	47	PAN	CHANNEL	CH10	PAN	CHANNEL	CH 4
イコライザー	48	PAN	CHANNEL	CH11	PAN	CHANNEL	CH 5
	49	PAN	CHANNEL	CH12	PAN	CHANNEL	CH 6
ソロ、モニター、メーター	50		NO ASSIGN		PAN	CHANNEL	CH 7
	51		NO ASSIGN		PAN	CHANNEL	CH 8
	52		NO ASSIGN		PAN	CHANNEL	CH 9
ステレオアウト	53		NO ASSIGN		PAN	CHANNEL	CH10
	54	PAN	CHANNEL	CH17	PAN	CHANNEL	CH11
AUXアウト	55	PAN	CHANNEL	CH18	PAN	CHANNEL	CH12
	56	PAN	CHANNEL	CH19	PAN	CHANNEL	CH17
バスアウト	57	PAN	CHANNEL	CH20	PAN	CHANNEL	CH18
	58	PAN	CHANNEL	CH21	PAN	CHANNEL	CH19
	59	PAN	CHANNEL	CH22	PAN	CHANNEL	CH20
OMNIアウト	60	PAN	CHANNEL	CH23	PAN	CHANNEL	CH13
	61	PAN	CHANNEL	CH24	PAN	CHANNEL	CH14
内蔵エフェクト	62	PAN	CHANNEL	CH13	PAN	CHANNEL	RETURN1 L
	63	PAN	CHANNEL	CH14	PAN	CHANNEL	RETURN1 R
ダイナミクスプロセッサー	64	ON	CHANNEL	CH 1	PAN	CHANNEL	RETURN2 L
	65	ON	CHANNEL	CH 2	PAN	CHANNEL	RETURN2 R
	66	ON	CHANNEL	CH 3		NO ASSIGN	
シーンメモリー	67	ON	CHANNEL	CH 4	PAN	BALANCE	ST OUT
	68	ON	CHANNEL	CH 5	FADER	EFF1 SEND	CH 1
その他の機能	69	ON	CHANNEL	CH 6	FADER	EFF1 SEND	CH 2
	70	ON	CHANNEL	CH 7	FADER	EFF1 SEND	CH 3
デジタルI/O	71	ON	CHANNEL	CH 8	FADER	EFF1 SEND	CH 4
	72	ON	CHANNEL	CH 9	FADER	EFF1 SEND	CH 5
	73	ON	CHANNEL	CH10	FADER	EFF1 SEND	CH 6
MIDI	74	ON	CHANNEL	CH11	FADER	EFF1 SEND	CH 7
	75	ON	CHANNEL	CH12	FADER	EFF1 SEND	CH 8
システム例	76		NO ASSIGN		FADER	EFF1 SEND	CH 9
	77		NO ASSIGN		FADER	EFF1 SEND	CH10
	78		NO ASSIGN		FADER	EFF1 SEND	CH11
付 録	79		NO ASSIGN		FADER	EFF1 SEND	CH12

CTL CHG.#	PARAMETER					
	03D Arrangement			ProMix01 Arrangement		
80	ON	CHANNEL	CH17	FADER	EFF1 SEND	CH17
81	ON	CHANNEL	CH18	FADER	EFF1 SEND	CH18
82	ON	CHANNEL	CH19	FADER	EFF1 SEND	CH19
83	ON	CHANNEL	CH20	FADER	EFF1 SEND	CH20
84	ON	CHANNEL	CH21	FADER	EFF1 SEND	CH13-14
85	ON	CHANNEL	CH22	FADER	EFF2 SEND	CH 1
86	ON	CHANNEL	CH23	FADER	EFF2 SEND	CH 2
87	ON	CHANNEL	CH24	FADER	EFF2 SEND	CH 3
88	ON	CHANNEL	CH13-14	FADER	EFF2 SEND	CH 4
89	ON	CHANNEL	RETURN1	FADER	EFF2 SEND	CH 5
90	ON	CHANNEL	RETURN2	FADER	EFF2 SEND	CH 6
91	ON	MASTER	AUX1	FADER	EFF2 SEND	CH 7
92	ON	MASTER	AUX2	FADER	EFF2 SEND	CH 8
93	ON	MASTER	AUX3	FADER	EFF2 SEND	CH 9
94	ON	MASTER	AUX4	FADER	EFF2 SEND	CH10
95	ON	MASTER	ST OUT	FADER	EFF2 SEND	CH11
102	FADER	EFF1 SEND	CH 1	FADER	AUX1 SEND	CH 1
103	FADER	EFF1 SEND	CH 2	FADER	AUX1 SEND	CH 2
104	FADER	EFF1 SEND	CH 3	FADER	AUX1 SEND	CH 3
105	FADER	EFF1 SEND	CH 4	FADER	AUX1 SEND	CH 4
106	FADER	EFF1 SEND	CH 5	FADER	AUX1 SEND	CH 5
107	FADER	EFF1 SEND	CH 6	FADER	AUX1 SEND	CH 6
108	FADER	EFF1 SEND	CH 7	FADER	AUX1 SEND	CH 7
109	FADER	EFF1 SEND	CH 8	FADER	AUX1 SEND	CH 8
110	FADER	EFF1 SEND	CH 9	FADER	AUX1 SEND	CH 9
111	FADER	EFF1 SEND	CH10	FADER	AUX1 SEND	CH10
112	FADER	EFF1 SEND	CH11	FADER	AUX1 SEND	CH11
113	FADER	EFF1 SEND	CH12	FADER	AUX1 SEND	CH12
114		NO ASSIGN		FADER	AUX1 SEND	CH17
115		NO ASSIGN		FADER	AUX1 SEND	CH18
116		NO ASSIGN		FADER	AUX1 SEND	CH19
117		NO ASSIGN		FADER	AUX1 SEND	CH20
118	FADER	EFF1 SEND	CH13-14	FADER	AUX1 SEND	CH13-14
119	FADER	BALANCE	ST OUT		NO ASSIGN	

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

MIDIデータフォーマット

1. TRANSMIT/RECEIVE DATA

1.1 CHANNEL MESSAGE

1.1.1 NOTE OFF (8n)

《 受信 》

[Rx CH]が一致した場合に受信します。EFFECTの制御に使用されます。詳細は下記を参照のこと。

STATUS	1000nnnn 8n	Note Off Message
DATA	0nnnnnnn nn	Note No.
	0vvvvvvv vv	Velocity (ignored)

1.1.2 NOTE ON (9n)

《 受信 》

[Rx CH]が一致した場合に受信します。EFFECTの制御に使用されます。詳細は下記を参照のこと。velocity が 0x00 の場合は、NOTE OFF と同様です。

STATUS	1001nnnn 9n	Note On Message
DATA	0nnnnnnn nn	Note No.
	0vvvvvvv vv	Velocity (1-127:On, 0:off)

NoteによるEFFECTの制御

1:Dynamic Flange/Dynamic Phase/Dynamic Filter
SOURCEというパラメータをMIDIにしたとき、Note On/Off 共に、VelocityでModulationの周波数幅を制御します。

2:Freeze

NOTE ONは、PLAY MODEが、MOMENTかCONTINUEのとき、PLAYをSTARTします。ただし、MIDI TRGで設定したNOTE NUMBERを受けたときに限ります。また、RECしたデータがないときは、PLAYできません。NOTE OFFはNOTE No.に関わらず、PLAY MODEが、MOMENTのときにはPLAYを終了します。

1.1.3 CONTROL CHANGE (Bn)

《 受信 》

[Control Change RX]がONで、[Rx CH]が一致した場合に受信します。ただし[OMNI]がONの場合、チャンネルに関わらず受信します。

[control Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。[control assign table]の設定に従って、パラメーターを制御します。

[control assign table]の画面を表示中に受信した場合、カーソル位置をその control no. に移動します。

《 送信 》

[Control Change TX]がONの場合、[control assign table]で設定されているパラメーターを操作した時に、[Tx CH]のチャンネルで送信します。

STATUS	1011nnnn Bn	Control Change
DATA	0ccccccc cc	Control No. (0-95, 102-119)
	0vvvvvvv vv	Control Value (0-127)

control valueをパラメーター値に変換する計算式は以下の通り。

C = 128 (byte parameter)
16384 (word parameter)
S = パラメーターの全可変ステップ数

C / S = X 余り Y
INT((Y+1)/2) = Z

(MIDI DATA - Z) < 0 の場合 parameter = 0
((MIDI DATA - Z)/X) > MAXの場合 parameter = MAX
それ以外の場合 parameter = INT((MIDI DATA - Z)/X)

1.1.4 PROGRAM CHANGE (Cn)

《 受信 》

[Program Change RX]がONで、[Rx CH]が一致した場合に受信します。ただし[OMNI]がONの場合、チャンネルに関わらず受信します。

[Program Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。[Program change table]の設定に従って、Scene Memoryをリコールします。

《 送信 》

[Program Change TX]がONの場合、リコールした時に[Program change table]の設定に従い、[Tx CH]のチャンネルで送信します。リコールした memory no. が複数の program no. に割り当てられている場合には、一番小さい番号の program no. を送信します。

ただし、[Midi Program Change Assign Table]に設定されていないMemory No.がRecallされた場合には、後述のParameter Change(Function Call)が送信されます

STATUS	1100nnnn Cn	Program Change
DATA	0nnnnnnn nn	Program No. (0-127)

1.2 EXCLUSIVE MESSAGE (F0-F7)

1.2.1 MOTION CONTROL STATE (MCS)

MMC STOP/PLAY/FORWARD/REWIND/RECORD/PAUSE

《 送信 》

[REMOTE-MMC]画面にて、キー操作によって送信します。[DEVICE NO.]で、送信先を指定します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01111111 7F	Real Time System Exclusive
Device ID	0ddddddd dd	Destination (00-7E, 7F:all call)
Command	00000110 06	Machine Control Command(mcc) sub-id
	0ccccccc cc	Command String
		[1]:Stop
		[2]:Play
		[4]:Fast Forward
		[5]:Rewind
		[6]:Record Strobe
		[9]:Pause
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

1.2.2 MOTION CONTROL PROCESS (MCP)

MMC LOCATE (target)

《 送信 》

[REMOTE-MMC]画面にて、キー操作によって送信します。[DEVICE NO.]で、送信先を指定します。(受け側の機器のIDの設定が必要です)

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01111111 7F	Real Time System Exclusive
Device ID	0ddddddd dd	Destination (00-7E, 7F:all call)
Command	00000110 06	Machine Control Command(mcc) sub-id
	01000100 44	Locate
	00000110 06	byte count
	00000001 01	"target" sub command
	0hhhhhhh hh	hour
	0mmmmmmm mm	minute
	0sssssss ss	second
	0ffffff ff	frame
	0sssssss ss	sub-frame(only '0')
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

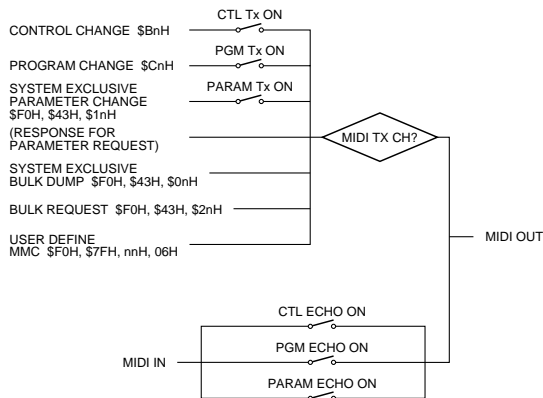
1.3 ACTIVE SENSING (Fe)

《 受信 》

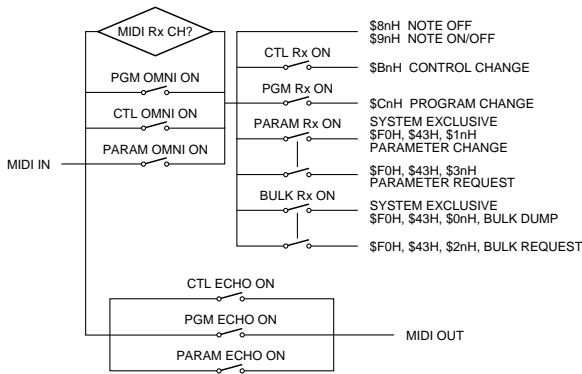
受信後 300ms 以内に何も受信しなかった場合には、Running Statusのクリアなど、MIDIの通信を初期化します。

STATUS 11111110 FE Active Sensing

2. TRANSMISSION CONDITION



3. RECEIVE CONDITION



4. PARAMETER CHANGE

BASIC FORMAT

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No. (YAMAHA)
SUB STATUS	0ppppnnn pn	p=mode l:parameter change or response for request, 3:parameter request n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUP ID	00111110 3e	MODEL ID (digital mixer)
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	0ttttttt tt	(type)
DATA	0ddddd dd0	data 0
	:	:
	0ddddd ddn	data n
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

type

0x00	edit buffer ...byte operation format
0x01	system memory (setup, backup) ...byte operation format
0x02	function call (mem/lib recall, mem/lib store, clear, title)
0x03	controller (LCD/fader mode)...byte operation format
0x04	multiple link (fader mode, solo mode, title...)
0x05	remote meter (meter data)
0x10	edit buffer ...7bit operation format
0x40	edit buffer ...bit operation format
0x41	system memory (setup, backup) ...bit operation format
0x43	controller (key remote) ...bit operation format

PARAMETER CHANGE (byte operation for type 0x00: edit buffer)

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。 [Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。 受信したい、指定のパラメーターを制御します。

《 送信 》

[Parameter Change TX]がONで、[Control Assign Table]には設定されていないパラメーターを変更した場合、[Tx CH]の Device Channel で送信します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No. (YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn ln	parameter change or response n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00000000 00	byte operation for edit buffer (type)
DATA	0aaaaaaaa dd1	address(H) high 7 bits of 14 bits address
	0aaaaaaaa dd2	address(L) low 7 bits of 14 bits address
	0000dddd dd3	data(H) high 4 bits of 8 bits data
	0000dddd dd4	data(L) low 4 bits of 8 bits data
	:	:
	:	continuous address datas
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

有効なAddressの範囲は、0x0000 - 0x03FF

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

01Vの世界へようこそ!
基本操作
各部の名称と機能
ユーザーインターフェースの基礎知識
インプットチャンネル
イコライザー
ソロ、モニター、メーター
ステレオアウト
AUXアウト
バスアウト
OMNIアウト
内蔵エフェクト
ダイナミクスプロセッサ
シーンメモリー
その他の機能
デジタルI/O
MIDI
システム例
付 録

PARAMETER CHANGE (7bit operation for type 0x10: edit buffer)

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。受信しだい、指定のパラメーターを制御します。

《 送信 》

[Parameter Change TX]がONで、[Control Assign Table]には設定されていないパラメーターを変更した場合、[Tx CH]の Device Channel で送信します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	parameter change n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUOP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00010000 10	7bit operation for edit buffer (type)
DATA	0aaaaaaaa dd0	address(H) high 7 bits of 14 bits address
	0aaaaaaaa dd1	address(L) low 7 bits of 14 bits address
	0ddddddd dd2	data 7bit
	:	:
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

有効なAddressの範囲は、0x0000 - 0x03FF

PARAMETER CHANGE (bit operation for type 0x40: edit buffer)

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。受信しだい、指定のパラメーターを制御します。

《 送信 》

[Parameter Change TX]がONで、[Control Assign Table]には設定されていないパラメーターを変更した場合、[Tx CH]の Device Channel で送信します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	parameter change n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUOP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	01000000 40	bit operation for edit buffer (type)
DATA	0aaaaaaaa dd0	address(H) high 7 bits of 14 bits address
	0aaaaaaaa dd1	address(L) low 7 bits of 14 bits address
	0ddddddd dd2	data(bit0-2:change bit no.0-7, bit3:0=reset 1=set)
	:	:
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

有効なAddressの範囲は、0x0000 - 0x03FF

PARAMETER CHANGE (byte operation for type 0x01: system memory)

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。受信しだい、指定のパラメーターを制御します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	parameter change or response n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUOP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00000001 01	byte operation for system memory (type)
DATA	0aaaaaaaa dd0	address(H) high 7 bits of 14 bits address
	0aaaaaaaa dd1	address(L) low 7 bits of 14 bits address
	0000dddd dd2	data(H) high 4 bits of 8 bits data
	0000dddd dd3	data(L) low 4 bits of 8 bits data
	:	:
	:	continuous address
	:	datas
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

System memoryはaddressによって、下記のmemoryを対象とする。

0x0000 - 0x007F	: setup memory(128byte)
0x0080 - 0x0147	: backup memory(200byte)
0x0200	: card type(1byte)

PARAMETER CHANGE (bit operation for type 0x41: system memory)

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。受信しだい、指定のパラメーターを制御します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	parameter change or response n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUOP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	01000001 41	bit operation for system memory (type)
DATA	0aaaaaaaa dd0	address(H) high 7 bits of 14 bits address
	0aaaaaaaa dd1	address(L) low 7 bits of 14 bits address
	0ddddddd dd2	data(bit0-2:change bit no.0-7, bit3:0=reset 1=set)
	:	:
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

System memoryはaddressによって、下記のmemoryを対象とする。

0x0000 - 0x007F	: setup memory(128byte)
0x0080 - 0x0147	: backup memory(200byte)

PARAMETER VALUE REQUEST (type 0x00:edit buffer, 0x01:system memory)

《受信》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。

[Parameter Change ECHO]がONで、自身が受信しなかった場合には ECHO します。

受信したい、指定されたパラメーターの設定値を、Parameter Change Message で送信します。

《送信》

[Parameter Change ECHO]がONで、自身では受信しなかった場合には、メッセージをそのまま送信します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn 3n	parameter request n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00tttttt tt	00:edit buffer, 01:system memory (type)
DATA	0aaaaaaa dd0	address(H) high 7 bits of 14 bits address
	0aaaaaaa dd1	address(L) low 7 bits of 14 bits address
	0ddddd dd	count
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

System memoryはaddressによって、下記のmemoryを対象とする。

```
0x0000 - 0x007F : setup memory(128byte)
0x0080 - 0x0147 : backup memory(200byte)
0x0200          : card type(1byte)
```

PARAMETER CHANGE (type 0x02:function call)

《受信》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。

[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。受信したい、各種 memory/library/table の recall/store/clear、を行います。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn 1n	parameter change n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00000010 02	function call
DATA	0ddddd dd0	function
	0ddddd dd1	number
	0ddddd dd2	channel
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

function	number	channel	Tx/Rx
0x00 scene recall	0-99(memory 0-99)	0x7f	Tx*/Rx
0x01 eq lib recall	0-79(library 1-80)	0-19,22	Tx/Rx
0x02 dyn lib recall	0-79(library 1-80)	0-13,16-19,22	Tx/Rx
0x03 eff lib recall	0-98(library 1-99)	0,1	Tx/Rx
0x10 scene store	1-99(memory 1-99)	0x7f	Rx only
0x11 eq lib store	40-79(library 41-80)	0-19,22	Rx only
0x12 dyn lib store	40-79(library 41-80)	0-13,16-19,22	Rx only
0x13 eff lib store	42-98(library 43-99)	0,1	Rx only
Channel	0-11(ch1-12), 12-13(13/14-15/16), 14-15(return 1-2), 16-19(aux 1-4), 22(st mas), 23-30(ch17-24)		
	0,1(EFF1,2 for eff lib recall/store), 0x7f(current/edit buffer)		

* [0x00:scene recall]はprogram change tableにアサインされていないプログラムをリコールした場合にのみ送信されます。それ以外はprogram changeで送信されます。

PARAMETER CHANGE (type 0x02:function call(title))

《受信》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。

[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。受信したい、各種 memory/library の title を変更します。

《送信》

リクエストに対して、[Rx CH]のチャンネルで、Parameter Change Message を送信します。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0001nnnn 1n	parameter change or response n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00000010 02	function call
DATA	0ddddd dd0	function
	0ddddd dd1	number
	0ddddd dd2	title1(If data is empty, TTITLEs are not transmitted.)
	:	:
	0ddddd ddn	title-n
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

リクエストされたメモリーやライブラリーが空の場合には、タイトルの部分が送信されません。

function	number	
0x30 scene title	0-99(mem 0-99),0x7f(edit buffer)	for response for Rx
0x31 eq lib title	0-79(library 1-80)	for response for Rx
0x32 dynamics lib title	40-79(library 41-80)	for response for Rx
0x33 eff lib title	0-98(library 1-99)	for response for Rx
	42-98(library 43-99)	for Rx

PARAMETER VALUE REQUEST (type 0x02:function call(title))

《受信》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。

[Parameter Change ECHO]がONで、自身が受信しなかった場合には ECHO します。

受信したい、各種 memory/library の title を送信します。

《送信》

[Parameter Change ECHO]がONで、自身では受信しなかった場合には、メッセージをECHOします。

STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS	0011nnnn 3n	parameter request n=0-15(Device Channel No.1-16)
GROUP ID	00111110 3e	MODEL ID
MODEL ID	00000100 04	Device code (01V)
PARAM TYPE	00000010 02	function call
DATA	0ddddd dd0	function
	0ddddd dd1	number
EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

function	number
0x30 scene title	0-99(mem 0-99),0x7f(edit buffer)
0x31 eq lib title	0-79(library 1-80)
0x32 dynamics lib title	0-79(library 1-80)
0x33 eff lib title	0-98(library 1-99)

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付録

PARAMETER CHANGE (type operation for type 0x03: controller(LCD-Fader mode))

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。
受信しだい、指定されたLCD画面と、それに従うFader Mode、そして指定されたチャンネルセレクトに切り替わります。

```

STATUS          11110000 F0   System Exclusive Message
ID No.          01000011 43   Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0001nnnn 1n   parameter change n=0-15(De-
                               vice Channel No.1-16)
GROUP ID       00111110 3e   MODEL ID
MODEL ID        00000100 04   Device code (01V)
PARAM TYPE     01000011 03   controller (type)
DATA           00000001 01   control No.(LCD-Fader mode)
               0ddddd dd    channel select(0-30)
               0ddddd dd    LCD select No.(0-17)
               0000ddd dd    PAGE No.(0-4)
EOX            11110111 F7   End Of Exclusive
    
```

PARAMETER CHANGE (bit operation for type 0x43: controller(key remote))

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[Parameter Change ECHO]がONの場合には、ECHO します。
受信しだい、指定されたキー(下表参照)を押した(離れた)場合と同様の処理を行います。

《 送信 》

[Parameter Change ECHO]がONの場合には、メッセージをそのまま送信します。

```

STATUS          11110000 F0   System Exclusive Message
ID No.          01000011 43   Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0001nnnn 1n   parameter change n=0-15(De-
                               vice Channel No.1-16)
GROUP ID       00111110 3e   MODEL ID
MODEL ID        00000100 04   Device code (01V)
PARAM TYPE     01000011 43   controller
DATA           00000000 00   control no.(0:key remote)
               0ddddd dd    No. 0-10,99-102(key 1-11,100-
                               103)
               0000ddd dd    data(bit0-2:change bit no.0-
                               7, bit3:0=reset 1=set)
               :             :
EOX            11110111 F7   End Of Exclusive
    
```

KEY key no.	bit0	bit1	bit2	bit3	bit4	bit5	bit6	bit7
key1	0	ON1	ON2	ON3	ON4	ON5	ON6	ON7 ON8
key2	1	ON9	ON10	ON11	ON12	ON13-14	ON15-16	ONSTOUT -----
key3	2	SOLO1	SOLO2	SOLO3	SOLO4	SOLO5	SOLO6	SOLO7 SOLO8
key4	3	SOLO9	SOLO10	SOLO11	SOLO12	SOLO13-14	SOLO15-16	-----
key5	4	SEL1	SEL2	SEL3	SEL4	SEL5	SEL6	SEL7 SEL8
key6	5	SEL9	SEL10	SEL11	SEL12	SEL13-14	SEL15-16	SEL STO -----
key7	6	ONRTN1	ONRTN2	SOLORT1	SOLORT2	SELRTN1	SELRTN2	HOME MEMORY
key8	7	AUX1	AUX2	AUX3	AUX4	EFFECT1	EFFECT2	OPTION REMOTE
key9	8	LOW	L-MID	H-MID	HIGH	-----	-----	-----
key10	9	UP	LEFT	RIGHT	DOWN	ENTER	INC	DEC -----
key11	10	DYNAMIX EQ	DELAY	PAN	UTILITY	MIDI	SETUP	VIEW
key100	99	FRZ-REC	FRZ-PLAY	-----	-----	-----	-----	-----
key101	100	SOLO1	SOLO2	SOLO3	SOLO4	SOLO5	SOLO6	SOLO7 SOLO8
key102	101	SOLO9	SOLO10	SOLO11	SOLO12	SOLO13-14	SOLO15-16	SOLO-RTN1 SOLO-RTN2
key103	102	SOLO17	SOLO18	SOLO19	SOLO20	SOLO21	SOLO22	SOLO23 SOLO24

通常dataは「set(bit3=1)」で送ってください。このとき01Vは、そのスイッチが押されたと判断した後、すぐに離されたように処理しますので、「reset(bit3=0)」を別に送る必要はありません。

key100以降は「仮想キー」で、LCD画面上のキーを押す動きをします。

PARAMETER CHANGE (type 0x04:multiple linking)

このメッセージは、LINK PORTに設定された方の端子にだけ有効です。
2台の01Vをケーブルで接続した場合には、一部の機能(下表参照)が LINK します。
2台とも、LINK PORT 端子の設定を同じに設定する必要があります。

《 受信 》

常に受信し、LINK 機能(下表参照)を実行します。(MIDI-SETUPに依存しません)

《 送信 》

LINK関係の機能(下表参照)を行うと送信します。(MIDI-SETUPに依存しません)

[Parameter Change ECHO]がONの場合には、メッセージをそのまま送信します。

```

STATUS          11110000 F0   System Exclusive Message
ID No.          01000011 43   Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0001nnnn 1n   n=0-15(Tx/Rx Channel No.1-16)
GROUP ID       00111110 3e   MODEL ID
MODEL ID        00000100 04   Device code (01V)
PARAM TYPE     00000100 04   multiple linking
DATA           0mmffffff mf   data format (bit6-5:status,
                               bit4-0:contents)
               0ddddd dd0    data #0
               0ddddd dd1    data #1
               :             :
EOX            11110111 F7   End Of Exclusive
    
```

Status	Function	Note
0x00	scene recall	同じメモリー・ナンバーをリコールする
0x01	scene store	同じメモリー・ナンバーに同じタイトルを付けてストアする
0x02	scene title edit	タイトルを変更した場合、同じにする
0x48	solo mode	solo modeを同じにする
	bit6: enable/disable	
	bit5: on/off	
	bit2: recording/mixdown	
	bit1: sel mix/last	
	bit0: after fader/pre fader	
0x60	display call	画面(Fader Mode)を切り替えた時に、同じにする
0x61	metering point	メーターのポイントを同じにする
0x62	peak hold	メーターの Peak Hold ON/OFF を同じにする

PARAMETER CHANGE(type 0x05:remote meter)

下記requestを受信することによって送信がenableになると、指定されたメーター情報を30msecごとに 5 秒間送信します。連続してメーターの情報を送信させたい場合には、少なくとも5秒以下の間隔でrequestを送り続ける必要があります。

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
[LOCAL OFF]がONの場合、送られてきたメーター情報を表示します。それ以外の場合には無視します。

《 送信 》

requestによって送信がenableになると、30msecごとに[Rx CH]のチャンネルで 5 秒間送信します。
電源を入れ直した時や、PORTの設定を変更した場合には、送信はdisableになります。

```

STATUS          11110000 F0      System Exclusive Message
ID No.          01000011 43      Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0001nnnn 1n      n=0-15(Tx/Rx Channel No.1-16)
GROUP ID       00111110 3e      MODEL ID
MODEL ID       00000100 04      Device code (01V)
PARAM TYPE     00000101 05      remote meter
DATA           0sgttttt tt      meter no.(s:special bit, g:gr
                                bit)
                                0mmmmmmmm mm0
                                0mmmmmmmm mm1
                                :
                                :
EOX             11110111 F7      End Of Exclusive
    
```

Meter no.のbit6はspecial bit、bit5はgr bitです。
gr bitがonの場合には、データ列の最後にgrの1byteが一律に付属します。
Special bitがonの場合には、データ列の最後にStereo output LED L/Rの2byteが一律に付属します。
両方がonの場合にはgrが先で、stLED L/Rが後です。

PARAMETER VALUE REQUEST(type 0x05:remote meter)

01Vのメーター情報を得る時に使用します。LOCAL OFF MODEで、リモート機のメーターを表示したり、パソコン画面にメーターを表示するような時に使用します。
メーターの情報を取り出すためには、情報が必要なメーターがリモート側のLCD上に表示されてなければなりません。従って、このrequestを送信する前に必ず、前記「4.6.4.11 PARAMETER CHANGE (byte operation for type 0x03:controller (LCD-Fader mode))」を送信して、リモート側のメーターをLCD画面に表示させるようにして下さい。

《 受信 》

[Parameter Change RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
受信しだい、Parameter Change(remote meter)を、[Rx CH]のチャンネルで、送信し始めます。

《 送信 》

[LOCAL OFF]がONの場合には、表示中のメーターに必要なメーター情報のrequestを[Tx CH]で送信します。1つのrequestに対してメーターの情報は5秒間送られてきます。それ以上連続してメーターの情報が欲しい場合には少なくとも5秒以下の間隔でrequestを送信する必要があります。01VはLOCAL OFF MODEの時、約1秒間隔でrequestを送信します。
[Parameter Change ECHO]がONで、自身では受信しなかった場合には、メッセージをECHOします。

```

STATUS          11110000 F0      System Exclusive Message
ID No.          01000011 43      Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0011nnnn 3n      n=0-15(Tx/Rx Channel No.1-16)
GROUP ID       00111110 3e      MODEL ID
MODEL ID       00000100 04      Device code (01V)
PARAM TYPE     00000101 05      remote meter
DATA           0sgttttt tt      meter no.(s:special bit, g:gr
                                bit)
EOX             11110111 F7      End Of Exclusive
    
```

信号レベルとコードの対応表

Level	code	Level	code	Level	code
-72dB	0x1F	-30dB	0x57	-9dB	0x72
-68dB	0x24	-27dB	0x5A	-8dB	0x73
-64dB	0x29	-24dB	0x5F	-7dB	0x75
-60dB	0x2F	-21dB	0x62	-6dB	0x77
-56dB	0x33	-18dB	0x67	-5dB	0x78
-51dB	0x3A	-16dB	0x69	-4dB	0x79
-48dB	0x3F	-15dB	0x6A	-3dB	0x7A
-46dB	0x41	-14dB	0x6B	-2dB	0x7B
-42dB	0x47	-13dB	0x6D	-1dB	0x7D
-39dB	0x4A	-12dB	0x6F	0dB	0x7E
-36dB	0x4F	-11dB	0x70	CLIP	0x7F
-33dB	0x52	-10dB	0x71		

5. SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGE (BULK DUMP) & REQUEST

本体内に記憶された各種メモリーの内容を入出力します。
01Vのデータかどうかは固有のHeaderで認識します。
CHECK SUMは、BYTE COUNT(LOW)の後からCHECK SUMの前までを足してbitを反転して1を足し(2の補数)、bit7を0として計算されます。 CHECK SUM = (-sum) & 0x7F

《 受信 》

[Bulk RX]がONで、[Rx CH]と SUB STATUS に含まれる Device Channel が一致した場合に受信します。
BULK DUMPを受信すると、直ちに指定されたメモリーに書き込まれます。
BULK DUMP REQUESTを受信すると、直ちに Bulk Dump を送信します。

《 送信 》

[MIDI-BULK]画面にて、キー操作によって、[Tx CH]のチャンネルで送信します。
Bulk Dump Request に対しては、[Rx CH]のチャンネルで、Bulk Dump Message を送信します。

data name	rx/tx	function
'M'	rx/tx	Scene Memory & Request
'S'	rx/tx	Setup Memory & Request
'T'	rx/tx	Remote(Internal Parameter) Memory & Request
'L'	rx/tx	Remote(MMC) Memory & Request
'U'	rx/tx	Remote(User Define) Memory & Request
'C'	rx/tx	Control Change Assign Table & Request
'P'	rx/tx	Program Change Assign Table & Request
'Q'	rx/tx	Equalizer Library & Request
'Y'	rx/tx	Dynamics Library & Request
'E'	rx/tx	Effect Library & Request

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザ
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

SCENE MEMORY BULK DUMP FORMAT

01Vの 世界へ ようこそ!	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
	SUB STATUS	0000nnnn 0n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
基本操作	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
	BYTE COUNT(HIGH)	00010000 10	2048(2038+10)bytes
	BYTE COUNT(LOW)	00001010 00	
各部の 名称と機能		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
ユーザー インター フェース の基礎知識		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01001101 4D	'M'
		0mmmmmmmm mm	m=0-99,127(Scene Memory No.0-99, edit buffer)
インプット チャンネル			Receive is effective No.1-99,127
	DATA	0ddddd ds	Scene Memory(10+(1014*2) bytes)
イコライザー		: :	
		0ddddd de	
	CHECK SUM	0eeeeeee ee	
ソロ、 モニター、 メーター			ee=(INVERT('L'+ 'M'+...+ds+...+de)+1) AND 7Fh
	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

先頭から10byteはID + titleで、7bitです。それ以降1014byteは全て4bit分割します。

SCENE MEMORY BULK DUMP REQUEST FORMAT

	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID (YAMAHA)
	SUB STATUS	0010nnnn 2n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
バスアウト	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01001101 4D	'M'
		0mmmmmmmm mm	m=0-99,127(Scene Memory No.0-99,current)
OMNIアウト	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

SETUP MEMORY BULK DUMP FORMAT

シーン メモリー	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
	SUB STATUS	0000nnnn 0n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
その他の 機能	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
	BYTE COUNT(HIGH)	00000010 02	266(256+10)bytes
	BYTE COUNT(LOW)	00001010 0A	
デジタル I/O		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01010011 53	'S'
		00100000 20	' '
MIDI	DATA	0ddddd ds	Setup Memory(128*2bytes)
		: :	
		0ddddd de	
	CHECK SUM	0eeeeeee ee	
			ee=(INVERT('L'+ 'M'+...+ds+...+de)+1) AND 7Fh
システム例	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

全データ4bit分割です。

SETUP MEMORY BULK DUMP REQUEST FORMAT

	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID (YAMAHA)
	SUB STATUS	0010nnnn 2n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01010011 53	'S'
		00100000 20	' '
	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

REMOTE(Internal Parameter) MEMORY BULK DUMP FORMAT

	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
	SUB STATUS	0000nnnn 0n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
	BYTE COUNT(HIGH)	00000000 00	100(90+10)bytes
	BYTE COUNT(LOW)	01100100 64	
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01001001 49	'I'
		0bbbbbbb bb	b = 0-3(bank no.1-4)
	DATA	0ddddd ds	Remote(Internal Parameter) Memory(90bytes)
		: :	
		0ddddd de	
	CHECK SUM	0eeeeeee ee	
			ee=(INVERT('L'+ 'M'+...+ds+...+de)+1) AND 7Fh
	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

全データ7bitです。

REMOTE(Internal Parameter) MEMORY BULK DUMP REQUEST FORMAT

	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID (YAMAHA)
	SUB STATUS	0010nnnn 2n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01001001 49	'I'
		0bbbbbbb bb	b = 0-3(bank no.1-4)
	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

REMOTE(MMC) MEMORY BULK DUMP FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID No. (YAMAHA)
SUB STATUS      0000nnnn 0n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.      01111110 7E Universal Bulk Dump
BYTE COUNT(HIGH) 00000000 00 34(24+10)bytes
BYTE COUNT(LOW) 00100010 22
                01001100 4C 'L'
                01001101 4D 'M'
                00100000 20 ' '
                00100000 20 ' '
                00111000 38 '8'
                01000010 42 'B'
                00110011 33 '3'
                00110100 34 '4'

DATA NAME       01001100 4C 'L'
                00100000 20 ' '

DATA            0ddddddd ds Remote(MMC) Memory(24bytes)
                :
                0ddddddd de

CHECK SUM       0eeeeeee ee

                ee=(INVERT('L'+ 'M'+...+ds+...+de)+1)
                AND 7Fh

EOX             11110111 F7 End Of Exclusive

```

全データ7bitです。

REMOTE(MMC) MEMORY BULK DUMP REQUEST FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID (YAMAHA)
SUB STATUS      0010nnnn 2n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.      01111110 7E Universal Bulk Dump
                01001100 4C 'L'
                01001101 4D 'M'
                00100000 20 ' '
                00100000 20 ' '
                00111000 38 '8'
                01000010 42 'B'
                00110011 33 '3'
                00110100 34 '4'

DATA NAME       01001100 4C 'L'
                00100000 20 ' '

EOX             11110111 F7 End Of Exclusive

```

REMOTE(User Define) MEMORY BULK DUMP FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID No. (YAMAHA)
SUB STATUS      0000nnnn 0n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.      01111110 7E Universal Bulk Dump
BYTE COUNT(HIGH) 00001011 0B 1450(1440+10)bytes
BYTE COUNT(LOW) 00101010 2A
                01001100 4C 'L'
                01001101 4D 'M'
                00100000 20 ' '
                00100000 20 ' '
                00111000 38 '8'
                01000010 42 'B'
                00110011 33 '3'
                00110100 34 '4'

DATA NAME       01010101 55 'U'
                0bbbbbbb bb bb = 0-3(bank no. 1-4)

DATA            0ddddddd ds Remote (User Define)
                :
                0ddddddd de Memory(1440bytes)

CHECK SUM       0eeeeeee ee

                ee=(INVERT('L'+ 'M'+...+ds+...+de)+1)
                AND 7Fh

EOX             11110111 F7 End Of Exclusive

```

全データwordで、7bit分割です。

REMOTE(User Define) MEMORY BULK DUMP REQUEST FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID (YAMAHA)
SUB STATUS      0010nnnn 2n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.      01111110 7E Universal Bulk Dump
                01001100 4C 'L'
                01001101 4D 'M'
                00100000 20 ' '
                00100000 20 ' '
                00111000 38 '8'
                01000010 42 'B'
                00110011 33 '3'
                00110100 34 '4'

DATA NAME       01010101 55 'U'
                0bbbbbbb bb bb = 0-3(bank no. 1-4)

EOX             11110111 F7 End Of Exclusive

```

EQUALIZER LIBRARY BULK DUMP FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID No. (YAMAHA)
SUB STATUS      0000nnnn 0n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.      01111110 7E Universal Bulk Dump
BYTE COUNT(HIGH) 00000000 00 46(36+10)bytes
BYTE COUNT(LOW) 00101110 2E
                01001100 4C 'L'
                01001101 4D 'M'
                00100000 20 ' '
                00100000 20 ' '
                00111000 38 '8'
                01000010 42 'B'
                00110011 33 '3'
                00110100 34 '4'
                01010001 51 'Q'
                0mmmmmmmm mm m= 0-79 (Equalizer Library
                No.1-80)
                96-124 (ch1-12,13/14,15/
                16,RTN1/2,AUX1-4,ST MAS,ch17-
                24)
                Receive is effective No.40-
                79,96-125

DATA            0ddddddd ds Equalizer Library
                :
                0ddddddd de Memory(12+(12*2)bytes)

CHECK SUM       0eeeeeee ee

                ee=(INVERT('L'+ 'M'+...+ds+...+de)+1)
                AND 7Fh

EOX             11110111 F7 End Of Exclusive

```

先頭から12byteはtitleで、7bitです。それ以降12byteは全て4bit分割します。

EQUALIZER LIBRARY BULK DUMP REQUEST FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID (YAMAHA)
SUB STATUS      0010nnnn 2n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.      01111110 7E Universal Bulk Dump
                01001100 4C 'L'
                01001101 4D 'M'
                00100000 20 ' '
                00100000 20 ' '
                00111000 38 '8'
                01000010 42 'B'
                00110011 33 '3'
                00110100 34 '4'
                01010001 51 'Q'
                0mmmmmmmm mm m= 0-79 (Equalizer Library
                No.1-80)
                96-124 (ch1-12,13/14,15/
                16,RTN1/2,AUX1-4,ST MAS,ch17-
                24)

DATA NAME       01010001 51 'Q'

EOX             11110111 F7 End Of Exclusive

```

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

DYNAMICS LIBRARY BULK DUMP FORMAT

01Vの世界へようこそ!	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
	SUB STATUS	0000nnnn 0n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
基本操作	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
	BYTE COUNT(HIGH)	00000000 00	36(26+10)bytes
	BYTE COUNT(LOW)	00100100 24	
各部の名称と機能		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
ユーザーインターフェースの基礎知識		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01011001 59	'Y'
インプットチャンネル		0mmmmmmm mm	m= 0-79 (Dynamics Library No.1-80)
			96-114(ch1-12,13/14,15/16,AUX1-4,ST MAS)
			Receive is effective No.40-79,96-115
イコライザー	DATA	0ddddd ds	D y n a m i c s L i b r a r y M e m o r y (1 2 + (7 * 2) b y t e s)
		: :	
ソロ、モニター、メーター	CHECK SUM	0eeeee ee	ee=(INVERT('L'+M'+...+ds+...+de)+1) AND 7Fh
ステレオアウト	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

先頭から12byteはtitleで、7bitです。それ以降7byteは全て4bit分割します。

DYNAMICS LIBRARY BULK DUMP REQUEST FORMAT

バスアウト	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID (YAMAHA)
	SUB STATUS	0010nnnn 2n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
OMNIアウト	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
内蔵エフェクト		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
ダイナミクスプロセッサー	DATA NAME	01011001 59	'Y'
		0mmmmmmm mm	m= 0-79 (Dynamics Library No.1-80)
			96-114(ch1-12,13/14,15/16,AUX1-4,ST MAS)
シーンメモリー	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付 録

EFFECT LIBRARY BULK DUMP FORMAT

	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
	SUB STATUS	0000nnnn 0n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
	BYTE COUNT(HIGH)	00000000 00	104(94+10)bytes
	BYTE COUNT(LOW)	01101000 68	
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01000101 45	'E'
		0mmmmmmm mm	m= 0-98 (Effect Library No.1-99)
			112-113(Effect1, Effect2)
			Receive is effective 42-98,112-113
	DATA	0ddddd ds	E f f e c t L i b r a r y M e m o r y (1 2 + (4 1 * 2) b y t e s)
		: :	
		0ddddd de	
	CHECK SUM	0eeeeeee ee	ee=(INVERT('L'+M'+...+ds+...+de)+1) AND 7Fh
	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

先頭から12byteはtitleで、7bitです。それ以降41byteは全て4bit分割します。

EFFECT LIBRARY BULK DUMP REQUEST FORMAT

	STATUS	11110000 F0	System Exclusive Message
	ID No.	01000011 43	Manufacturer's ID (YAMAHA)
	SUB STATUS	0010nnnn 2n	n=0-15(Device Channel No.1-16)
	FORMAT No.	01111110 7E	Universal Bulk Dump
		01001100 4C	'L'
		01001101 4D	'M'
		00100000 20	' '
		00100000 20	' '
		00111000 38	'8'
		01000010 42	'B'
		00110011 33	'3'
		00110100 34	'4'
	DATA NAME	01000101 45	'E'
		0mmmmmmm mm	m= 0-98 (Effect Library No.1-99)
			112-113(Effect1, Effect2)
	EOX	11110111 F7	End Of Exclusive

PROGRAM CHANGE ASSIGNMENT TABLE BULK DUMP FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0000nnnn 0n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.     01111110 7E Universal Bulk Dump
BYTE COUNT(HIGH) 00000001 01 138(128+10)bytes
BYTE COUNT(LOW) 00001010 0A

01001100 4C 'L'
01001101 4D 'M'
00100000 20 ' '
00100000 20 ' '
00111000 38 '8'
01000010 42 'B'
00110011 33 '3'
00110100 34 '4'

DATA NAME      01010000 50 'P'
00100000 20 ' '

DATA           0ddddddd ds Program Change Table(128bytes)

: :
0ddddddd de

CHECK SUM      0eeeeeee ee

ee=(INVERT('L'+M'+...+ds+...+de)+1)
AND 7Fh

EOX            11110111 F7 End Of Exclusive
    
```

全データ全て7bitです。

PROGRAM CHANGE ASSIGNMENT TABLE BULK DUMP REQUEST FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID (YAMAHA)
SUB STATUS      0010nnnn 2n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.     01111110 7E Universal Bulk Dump
01001100 4C 'L'
01001101 4D 'M'
00100000 20 ' '
00100000 20 ' '
00111000 38 '8'
01000010 42 'B'
00110011 33 '3'
00110100 34 '4'

DATA NAME      01010000 50 'P'
00100000 20 ' '

EOX            11110111 F7 End Of Exclusive
    
```

CONTROL CHANGE ASSIGNMENT TABLE BULK DUMP FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID No.(YAMAHA)
SUB STATUS      0000nnnn 0n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.     01111110 7E Universal Bulk Dump
BYTE COUNT(HIGH) 00000010 02 352(342+10)bytes
BYTE COUNT(LOW) 01100000 60

01001100 4C 'L'
01001101 4D 'M'
00100000 20 ' '
00100000 20 ' '
00111000 38 '8'
01000010 42 'B'
00110011 33 '3'
00110100 34 '4'

DATA NAME      01000011 43 'C'
00100000 20 ' '

DATA           0ddddddd ds Control Change Table(114x3bytes)

: :
0ddddddd de

CHECK SUM      0eeeeeee ee

ee=(INVERT('L'+M'+...+ds+...+de)+1)
AND 7Fh

EOX            11110111 F7 End Of Exclusive
    
```

全データ全て7bitです。

CONTROL CHANGE ASSIGNMENT TABLE BULK DUMP REQUEST FORMAT

```

STATUS          11110000 F0 System Exclusive Message
ID No.          01000011 43 Manufacturer's ID (YAMAHA)
SUB STATUS      0010nnnn 2n n=0-15(Device Channel No.1-16)

FORMAT No.     01111110 7E Universal Bulk Dump
01001100 4C 'L'
01001101 4D 'M'
00100000 20 ' '
00100000 20 ' '
00111000 38 '8'
01000010 42 'B'
00110011 33 '3'
00110100 34 '4'

DATA NAME      01000011 43 'C'
00100000 20 ' '

EOX            11110111 F7 End Of Exclusive
    
```

01Vの世界へようこそ!

基本操作

各部の名称と機能

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサー

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付 録

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能

ユーザー
インター
フェース
の基礎知識

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサー

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

Function...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel Default Changed	1 - 16 1 - 16	1 - 16 1 - 16	Memorized
Mode Default Messages Altered	x x *****	OMNI off/OMNI on x x	Memorized
Note Number : True voice	x *****	0 - 127 x	
Velocity Note ON Note OFF	x x	o o	
After Touch Key's Ch's	x x	x x	
Pitch Bend 0-95, 102-119	o	o	Assignable
Control Change			
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	o 0 - 127 0 - 99	Assignable
System Exclusive	o	o	*1
System : Common : Tune :	x x x	x x x	
System : Real Time :	x x	x x	
Aux : Messages :	x x x x	x x o o	
Notes	MTC quarter frame message is recognized. *1 : Bulk Dump/Request, Parameter Change/Request and MMC. For MIDI remote, ALL messages can be transmitted.		

Mode 1 : OMNI ON, POLY
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
 Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
 x : No

用語集

- A/Dコンバーター アナログ信号からデジタル信号への変換。
- AFL(アフターフェーダーリッスン) チャンネルフェーダーを通過した後で信号をモニターするミキサーの機能。PFLを参照。
- CH チャンネルの略語。
- Coaxialフォーマット SonyとPhilipsが開発した民生デジタルオーディオフォーマットで、CDプレーヤー、民生用DATレコーダー、DCC、MiniDiscレコーダーなど、民生用のデジタルオーディオ機器間でデジタルオーディオデータをやりとりするために使用される。1系統の接続だけで2チャンネルのデジタルオーディオ(左右)が送信でき、通常はRCAピン端子を使って接続する。IEC60958(旧IEC958)またはS/PDIFとも呼ばれる。
- D/Aコンバーター デジタル信号からアナログ信号への変換。
- DIO Digital Input/Output(デジタル入出力)の略語。
- DSP(デジタルシグナルプロセッサ) 大量のデータを高速かつリアルタイムで処理するために特別に設計されたチップ。デジタルオーディオデータを処理するのに最適。
- EFF Effect(エフェクト)の略語。
- Fs サンプリング周波数の略語。
- GR Gain Reducitor(ゲインリダクション)の略語。
- General MIDI MIDIの拡張規格。GM対応の音源は、同時発音数最低24音、16パート、128のプリセット音色を持つことなどが規定されている。
- LCD(液晶ディスプレイ) 液晶を使って文字やグラフィックを表示するディスプレイの一種。
- LED(発光ダイオード) 電流が流れたときに点灯するダイオードの一種。
- LSB(最下位バイト) デジタルワードの中で最も下の位を表すバイト。MSBを参照。
- MIDI(Musical Instrument Digital Interface) 電子楽器やオーディオ機器間でデータ転送を行うための、国際的に承認された標準規格。
- MIDIデバイスナンバー システムエクスクルーシブデータを送信するために、MIDI装置に割り当てられた識別番号。
- MMC(MIDIマシントロール) オーディオ、ビデオ、MiniDiscレコーダー、その他のスタジオ機器をコントロールするMIDIメッセージ。一般的なMMCコマンドには、ストップ、プレイ、リワインド、ポーズなどがある。
- MSB(最上位バイト) デジタルワードの中で最も上の位を表すバイト。LSBを参照。
- OMNI ある機器が16チャンネルすべてのデータに応答するMIDIのモード。
- PAM(パルスアンプリチュードモジュレーション) A/D変換の1段階めで、サンプリングレートに合わせて生成されるパルスをアナログオーディオ信号によって変調すること。PCMを参照。
- PCM(パルスコードモジュレーション) A/D変換の2段階めで、PAMにより生成されたパルスを、バイナリーデータワードに符号化すること。PAMを参照。
- PEQ パラメトリックイコライザーの略語。
- PC もともとはPersonal Computer(パーソナルコンピューター)の略。現在では、オペレーティングシステムMicrosoft Windowsを起動するIBM互換機の総称として使用される。

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付録

PFL(プリフェーダーリッスン) 信号がチャンネルフェーダーに入る前にモニターするミキサーの機能。AFLを参照。

Q EQ回路の急峻度を表す単位。値が大きいほど周波数帯域が狭く、値が低いほど帯域が広がる。

S/PDIFフォーマット Coaxialフォーマットを参照。

SN比(S/N) オーディオの世界で、信号の動作レベルと残留ノイズとの差をデシベル単位で表わしたものの。オーディオシステムのノイズ性能の目安として使用される。

ST OUT 01Vのステレオアウトプット。

THD(全高調波歪み) オーディオシステムの歪みの量を表す数値で、通常は実際の信号に対するパーセントで表記される。単一の倍音のみを測定する第三高調波歪みとは異なり、全高調波歪みではすべての倍音で発生した歪みを合計した値となる。

アンチエイリアシング A/D変換前にアンチエイリアシングフィルターを使ってエイリアシングを防ぐ、デジタルオーディオ技術。このフィルターでは、サンプリング周波数の半分より高い周波数成分を除去する(例:32kHzのサンプリングレートでは、16kHz以上のオーディオ周波数成分が除去される)。

エイリアシング A/D変換中に、最も高い周波数の2倍の周波数よりもサンプリングレートが低いときに生じる信号の歪みの一種。A/Dコンバーターでは、エイリアシングフィルターを使用してサンプリングレートの半分より高い周波数成分を除去する。ナイキスト理論を参照。

エディットバッファー 現在のミックス設定(カレントミックスシーン)を保存する内蔵RAMの領域。ミックスシーンを保存すると、選択したシーンメモリーにエディットバッファーのデータがコピーされる。また、ミックスシーンを呼び出すと、選択したシーンメモリーのデータがエディットバッファーにコピーされる。

エンファシス 第一世代のAD/DAコンバーターでノイズ性能を向上させるために使われた技術。現在では使用されることはないが、古い録音素材との互換性を保つためにこの機能が用意されることが多い。エンファシスは、A/D変換前に3.5kHz以上の信号を6dB/Octだけブーストする。再生装置では、デジタルオーディオ信号に含まれるエンファシスのフラッグを検知し、D/A変換後に信号をディエンファシスする。

オーバーサンプリング 通常のサンプリングレートより高いレートでオーディオ信号をサンプリングすること。量子化エラーによる生じるノイズを低減させることができる。

クリッピング オーディオ回路が過大入力により過負荷状態になって生じる歪み。

コントロールチェンジ パラメーターのリアルタイムコントロールを可能にするMIDIメッセージの一種。よく使われるコントロールチェンジには、モジュレーション、ボリューム、パン、ポルタメントなどがある。

サンプリングレート A/D変換中にアナログオーディオ信号がサンプリングされる1秒あたりの回数。各サンプルの値はデータワードとして保存される。標準となるサンプリングレートは32kHz、44.1kHz、48kHz。

シーンメモリー ミックスシーンを保存するメモリー位置。ミックスシーン参照。

シェルピング 設定周波数の上または下の周波数をブースト/カットするEQ回路の一種で、シェルフ(棚)状の周波数カーブが生成される。通常、高域や低域用のEQにはシェルピングタイプが使用される。ピーキングを参照。

システムエクスクルーシブ MIDIデバイス間でのデータ送信に使用される専用のMIDIメッセージ。バルクダンプを参照。

初期設定 工場から出荷されてから最初に装置の電源を入れたときの設定内容。「デフォルト設定」「工場出荷時設定」とも呼ばれる。

スナップショット ミックスシーンを参照。

ダイナミックレンジ システム内の最もレベルの高い信号と低い信号との差。オーディオ機器では、通常最大出力レベルと残留ノイズレベルとの差を指す。デジタルシステムにおけるダイナミックレンジはデータの解像度によって決まり、1ビットにつき約6dB。したがって、16ビットシステムでは理論上96dBのダイナミックレンジが利用できる。

定格レベル 動作レベルを参照。

低レベル信号 レベルが - 100dB ~ - 20dBの範囲の信号。マイクやエレクトリックギターの信号が含まれる。ラインレベル信号を参照。

ディエンファシス エンファシスを参照。

ディザ ごくわずかなランダムノイズをオーディオ信号に加え、A/Dコンバーターで発生する量子化ノイズを軽減させる処理。デジタルオーディオのワード長を短くする場合(例:20ビットを16ビットに変換する)にも、このディザをかける。

動作レベル オーディオ機器が正常に動作するよう設計された基準レベル。よく使用される動作レベルには、民生機器で使用する - 10dBV(316mV) およびプロ機器で使用する+4dBu(1.23V)の2種類がある。

ナイキスト理論 デジタルオーディオシステムのサンプリングレートは、最も高いオーディオ周波数の少なくとも2倍以上でなければ、「エイリアシング」と呼ばれる波形の歪みが生じる、という理論。エイリアシング参照。

ノイズゲート トリガー信号のレベルが設定されたスレッシュド値よりも低くなると閉じ、スレッシュド値を越えると開くスイッチ。不要なヒスやノイズを取り除くために使用する。

バス オーディオ信号を集めて分配する共通の信号経路。

バルクダンプ MIDI機器間でデータを転送する機能。このとき、データはMIDIシステムエクスクルーシブとして送信される。

ピーキング 周波数帯域をカット/ブーストするEQ回路で、山なりの周波数カーブが生成される。周波数帯域の幅はQパラメーターでコントロールする。通常中域のEQにはピーキングタイプが使用される。シェルピングを参照。

ピンクノイズ オクターブごとに同量のエネルギーを含むランダムノイズの一種。例えば100~200、800~1600、3000~6000の各帯域には同量のエネルギーが含まれている。一方、ホワイトノイズでは、周波数帯域ごと(例えば100~200、800~900、3000~3100)に同量のエネルギーが含まれている。

フェードタイム ミックスシーンを呼び出した時に、フェーダーが新しい位置に移動するまでの時間。

プリフェーダー 信号経路内のフェーダー前の位置。AUXセンドコントロールがプリフェーダーに設定されている場合、チャンネルフェーダーを通過するの前の信号がAUXに送られることになる。この方式には、メインのチャンネル信号とは個別にAUXセンド信号をコントロールできるという利点がある。プリフェーダーのAUXセンドは、モニター用のミックスに使用することが多い。PFL参照。

ポストフェーダー 信号経路内のフェーダー後の位置。AUXセンドコントロールがポストフェーダーに設定されている場合、チャンネルフェーダーを通過した信号がAUXに送られることになる。この方式には、チャンネルフェーダーを使ってメインのチャンネル信号とAUXセンド信号を同時にコントロールできるという利点がある。ポストフェーダーのAUXセンドは、エフェクトプロセッサに送るために使われることが多い。AFL参照。

ミックスシーン ソング内のある段階でのミックス設定。1曲の音楽の中には、ちょうど演劇のようにさまざまなシーンがあり、それぞれ異なるミックス設定が必要となる。ミックスシーンはシーンメモリーに保存され、フロントパネルのキー操作、またはMIDIプログラムチェンジメッセージで呼び出すことができる。プログラムチェンジメッセージはコンピューター、MIDIフットスイッチ、キーボード、シーケンサーから送信できる。シーンメモリーを参照。

モジュレーション オーディオの世界で、LFO(低周波オシレーター)を使用して信号の周波数(ピッチ)

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

や増幅度(レベル)をコントロールすること。通常LFOの周波数はモジュレーションフリケンシー、LFOによるコントロール量はモジュレーションデプスと呼ばれるパラメーターで設定する。ディレイタイムやオートパンスピードといったパラメーターにモジュレーションをかけることもできる。

ユニティゲイン ゲイン=0dB(増幅なし)の状態。

ラインレベル信号 レベルが -20dB ~ +20dBの範囲の信号。基本的には高レベルの信号で、ほとんどのオーディオ機器はラインレベル信号を出力する。低レベル信号を参照。

量子化 PAMにより生成されたパルスを近似値のバイナリーデータに変換するPCM処理。

ワードクロック デジタルオーディオシステムに接続されているすべての機器のデータ処理回路を同期させるクロック信号。ワードクロックの周波数はサンプリングレートと等しい。

インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーター

ステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクト

ダイナミクス
プロセッサ

シーン
メモリー

その他の
機能

デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

索引

記号

+ 1/INCキー	33
+ 48Vスイッチ	22
- 1/DECキー	33
01Vの初期化	207
03D	236
15/16-2TR INスイッチ	15
26dB PADスイッチ	46
2TR IN端子	23, 81
2TR OUT端子	23, 94
/DELAYキー	18

A

ADAT	221, 248, 250
AES/EBU	7, 221
Akai	
DD8	248, 250, 252, 254
DR8	248, 250
AMP SIMULATE	150
ATTファンクション	48
AUTO NAVIGATE	213
AUTOPAN	148
AUX	99
イコライザー	106
ステレオペア	107
ダイナミクスプロセッサ	106
パン	108
プリフェーダー	103
ブロック図	110
ポストフェーダー	103
マスターレベル設定	105
ミュート	106
メーター	100
モニター	100
AUX PRE/POST	103

B

BULK	232, 238
------	----------

C

CH VIEWページ	61
CHORUS	147
COMP	165
COMPANDER	170
CONTRASTコントロール	16
CONTROL CHANGE	232
COPY	63
CURSORキー	17, 33

D

DAT録音	211
DELAY LCR	146
DELAY + ER.	153
DELAY + REV	154
DELAY ER.	154
DELAY REV	155
DEVICE No.	242
DIGITAL STEREO IN端子	25
DIGITAL STEREO OUT端子	25
DIST DELAY	155
DISTORTION	149
DITHERページ	216
DUAL PITCH	148
DUCKING	168
DYNA.FILTER	150
DYNA.FLANGE	150
DYNA.PHASER	150
Dボタン	54, 224

E

EARLY REF.	144
ECHO	146
EDITインジケータ	184
EFFECT PRE/POST	133
ENTERキー	17, 33
EQ	49
Q	70
ゲイン	67, 70
周波数	67, 70
バイパス	70
プログラムタイトルのエディット	74
プログラムの保存	72
プログラムの呼び出し	73
ライブラリー	5, 71
ライブラリーリスト	75
リセット	70
EQ LIBRARY	71
EXPAND	169

F

FADE TIMEページ	192
FADER MODEキー	19
FLANGE	147
FLIPボタン	217
Fostex	
CX-8	248, 250
D-90	248, 250
FREEZE	156
Fsボタン	214

G

GAINコントロール	15
GANG	53
GATE	167
GATE REVERB	144
GROUP	59, 60
GROUPページ	59, 60

H

HQ.PITCH	148
----------	-----

I

INDIVIDUAL	53
INPUT(BAL)13 ~ 16端子	22
INPUT(BAL)端子	22
INV. GANG	53

L

LIBRARY	
EQ	5
エフェクト	6, 127, 138
ダイナミクスプロセッサ	172
LIBRARYページ	141, 172
LINK PORT	218, 231
LISTEN	82, 85

M

MEMORYページ	182
METERING POINT	90
METERページ	88
MIDI	8, 227
LINK PORT	218, 231
PORT	231
SETUPページ	231
TO HOST	8, 228
インターフェース	8
インプリメンテーションチャート	294
コントロールチェンジ	8, 232, 236
システムエクスクルーシブ	232, 237
セットアップ	231
端子	8, 25, 229
チャンネル	231
データファイラー	8, 239
データフォーマット	284
デバイスナンバー	242
バルクダンプ	8, 232, 238
プログラムチェンジ	232, 233
マシンコントロール	242
ローカルコントロール	218
MIDI IN端子	25, 228, 229
MIDI OUT端子	25, 228
MIDI THRU端子	25, 228

01Vの
世界へ
ようこそ!

基本操作

各部の
名称と機能ユーザー
インター
フェース
の基礎知識インプット
チャンネル

イコライザー

ソロ、
モニター、
メーターステレオ
アウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵
エフェクトダイナミクス
プロセッサシーン
メモリーその他の
機能デジタル
I/O

MIDI

システム例

付 録

01Vの 世界へ ようこそ!	MIDI端子 228, 229	
基本操作	MIXDOWN SOLO 85	
	MMC 8, 242	
	MOD.DELAY 145	
	MOD.FILTER 149	
	MODULATION 128	
	MONI TRIM 82	
	MONITOR OUT LEVELコントロール 15	
	MONITOR OUT端子 24	
	MONITOR SETUP 80, 82	
	MONITOR-2TR INスイッチ 15	
	MONO 82	
	MONO DELAY 145	
	MULTI FILTER 156	
	MUTE 51, 60	
	ユーザー インター フェース の基礎知識	MY4-AD 221
MY4-DA 221		
MY8-AD 221		
MY8-AE 221, 256		
MY8-AT 221, 248, 250		
MY8-TD 221, 252, 254		
インプット チャンネル		O
		OMNI OUT端子 24
	OMNIアウト 89, 121	
	AUXアウト 100	
	アサイン 122	
	インプットチャンネル 55	
	ステレオアウト 94	
	端子 24, 122	
	ディレイ 123	
	バスアウト 114	
イコライザー	ブロック図 124	
	メーター 89	
	ONキー 21, 37	
	OPTION I/O 7, 25, 45, 56, 91, 94	
	AUXアウト 100	
	ブロック図 225	
	メーター 91	
	OPTION I/Oカード .. 4, 7, 25, 221, 223	
	OSCILLATORページ 204	
	P	
ソロ、 モニター、 メーター	PADスイッチ 15, 46	
	PAIPページ 117	
	PAIRページ 57	
	PARAM. CHANGE 232	
	PARAMETERダイアル 17, 33	
	PHANTOM ON-OFFスイッチ ... 24, 46	
	PHASER 147	
	PHASEページ 47	
	PHONES LEVELコントロール 15	
	PHONES端子 23	
ステレオ アウト	PORT 231	
	POWERスイッチ 11, 25	
	PREFERENCESページ 205	
	PRIRページ 107	
	PROGRAM CHANGE 232	
	AUXアウト	
バスアウト		
OMNIアウト		
内蔵 エフェクト		
ダイナミクス プロセッサ		
シーン メモリー		
その他の 機能		
デジタル I/O		
MIDI		
システム例		
付 録		

R
RECORDING SOLO 85
REMOTE 8, 242, 243
RETURNコントロール 21, 39
REV + CHORUS 151
REV + FLANGE 151
REV + SYMPHO. 152
REV CHORUS 151
REVERB HALL 144
REVERB PLATE 144
REVERB ROOM 144
REVERB STAGE 144
REVERSE GATE 144
REV FLANGE 152
REV PAN 153
REV SYMPHO. 152
RING MOD. 149
ROTARY 149
S
SEL MODE 85
SELECTED CHANNEL コントロール 16, 67
SELキー 20, 34
SETUPページ 213
SOLO SETUP 80
SOLO TRIM 85
SOLOキー 20, 36
SOLOステータスインジケータ 21
SOLOモード 36, 80, 85
SOURCE 82
STEREO DELAY 145
STEREO OUT端子 25
SWAP 63
SYMPHONIC 147

T
Tascam 221, 252, 254
DA-38 252, 254
DA-88 252, 254
DA-98 252, 254
TITLE EDITダイアログボックス 41
TO HOST端子 8, 25, 228, 229
TRANSMIT INTERVAL 239
TREMOLO 148
U
USER DEFINEページ 244
V
VIEWページ 61, 95, 134
W
WORD CLOCK SELECTページ .. 213

ア
アーリーリフレクション 144
アッテネーター 48
アナログコントロール 15
セキュリティカバー 266
アナログステレオ出力端子 94
安全上のご注意 ii

イ
イコライザー 5, 49, 65
ゲイン 67
周波数 67
バイパス 70
プログラムタイトルのエディット 74
プログラムの保存 72
プログラムの呼び出し 73
ライブラリー 5, 71
ライブラリーリスト 75
リセット 70
入れ替え 56
インジケータ
SOLO 21
インプットチャンネル 43
AUXセンド 55
OMNIアウト 55
OPTION I/O 55
イコライジング 49
グループ 59
ゲイン 46
コピー、スワップ 63
ダイナミクス 49
パン 52
フェーズ 47
ブロック図 64
ペア 57
ミュート 51
メーター 46
モニター 55
ルーティング 54
レベル 51

エ
エクスパンダー 169
エディットバッファ 184
エフェクト 6, 125
エディット 142
テンポ 143
パラメーターリスト 144
プリフェーダー 133
プログラムタイトルのエディット .. 141
プログラムの保存 139
プログラムの呼び出し 140
ブロック図 158
ポストフェーダー 133
ライブラリー 6
ライブラリーリスト 127

エフェクト1 92, 126
 エフェクト2 92, 126
 エフェクトリターン 31, 136
 AUXアウト 137
 VIEWページ 136
 イコライザー 136
 フェーダー 137
 ミュート 137
 メーター 136
 ルーティング 137

オ

オーバーサンプリング 5
 オシレーター 204
 音質 5
 音質特性 3

カ

回転ノブ 32, 2
 各部の名称と機能 13
 カスケード接続 218
 カスケードディレイ 219

キ

キー 2, 19, 36
 + 1/INC 33
 - 1/DEC 33
 AUX 1 19
 AUX 2 19
 AUX 3 19
 AUX 4 19
 CURSOR 17, 33
 DYNAMICS 18
 EFFECT 1 19
 EFFECT 2 19
 ENTER 17, 33
 EQ/ATT 18
 HOME 19
 MEMORY 18
 MIDI 18
 ON 21, 37
 OPTION I/O 19
 PAN/ROUTING 18
 REMOTE 19
 SEL 20, 34
 SETUP 18
 SOLO 20
 UTILITY 18
 VIEW 18
 ファンクション 18
 フェーダー 21
 キーロックアイコン 31
 基本操作 9

ク

グループ 59, 60

ケ

ゲート 167
 計測点 90
 ゲイン 15, 46

コ

コントラスト 16
 コントロール 2
 CONTRAST 16
 GAIN 15
 MONITOR OUT LEVEL 15
 PHONES LEVEL 15
 RETURN 21, 39
 SELECTED CHANNEL 16, 67
 ディスプレイ 16
 コンパンダー 170
 コンプレッサー 164, 165

サ

サンプル録音 156

シ

シーンメモリー 7, 31, 181
 書き込み禁止 189
 タイトルのエディット 190
 並び替え 191
 プログラムチェンジメッセージ 187
 保存 185
 ミックシーン呼び出し 186
 ミックシーン呼び出し操作の
 取り消し 188
 シーンメモリー00 184
 システムエクスクルーシブ 232
 システム例 10
 出力デザイナー 216

ス

スイッチ 2
 15/16-2TR IN 15
 2TR IN 15
 MONITOR 15
 PAD 15, 46
 PHANTOM ON-OFF 24, 46
 POWER 25
 ステレオアウト 89, 93, 94
 VIEWページ 95
 VIEW 89
 イコライザー 96
 ダイナミクスプロセッサ 97
 ディレイ 97
 バランス 96
 ブロック図 98
 ミュート 96
 メーター 89, 95
 モニター 95

ステレオアウト端子(アナログ) 94
 ステレオアウト端子(デジタル) 94
 ステレオ出力レベルLEDメーター 16, 89
 ステレオペア 57, 117

セ

セーフチャンネル 193
 セキュリティーカバー 266
 選択チャンネル 31
 選択ファンクション 30

ソ

ソロ 79, 85
 LISTEN 85
 MIXDOWN SOLO 85
 SEL MODE 85
 SOLO MODE 85
 SOLO TRIM 85
 ブロック図 87

タ

ダイナミクスプロセッサ 6, 49, 106, 159
 タイプ 165
 プログラムタイトルのエディット 175
 プログラムの保存 173
 プログラムの呼び出し 174
 ライブラリー 6, 172
 ライブラリーリスト 176
 ダイレクト出力 54, 122
 ダッキング 168
 端子
 2TR IN 23, 81
 2TR OUT 23, 94
 DIGITAL STEREO IN 25
 DIGITAL STEREO OUT 25
 INPUT 22
 INPUT(BAL)13 ~ 16 22
 MIDI IN 25
 MIDI OUT 25
 MIDI THRU 25
 MONITOR OUT 24
 OMNI OUT 24
 PHONES 23
 STEREO OUT 25
 TO HOST 25, 228

チ

チャンネル構成 4

テ

デザイナー 216
 ディストーション 149
 ディスプレイ 7, 16, 30
 メッセージ一覧 264
 ディレイ 50, 123

01Vの世界へようこそ!
 基本操作
 各部の名称と機能
 ユーザーインターフェースの基礎知識
 インプットチャンネル
 イコライザー
 ソロ、モニター、メーター
 ステレオアウト
 AUXアウト
 バスアウト
 OMNIアウト
 内蔵エフェクト
 ダイナミクスプロセッサ
 シーンメモリー
 その他の機能
 デジタルI/O
 MIDI
 システム例
 付 録

01Vの世界へようこそ!
基本操作

デジタルI/O 7, 209
デジタルステレオアウト 94, 215
デジタルステレオイン 216
デジタルミキサーのメリット 4
デバイスナンバー 242

各部の名称と機能

ト
特長 3

ユーザーインターフェースの基礎知識

インプットチャンネル

イコライザー

ソロ、モニター、メーター

ステレオアウト

AUXアウト

バスアウト

OMNIアウト

内蔵エフェクト

ダイナミクスプロセッサ

シーンメモリー

その他の機能

デジタルI/O

MIDI

システム例

付 録

ハ
バスアウト 113
 ステレオペア 117
 ブロック図 119
 マスターレベル設定 115
 ミュート 115
 メーター 114
 モニター 114
パッド 15, 46
パラメーターボックス 32
バランス 96
バルクダンプ 238, 239
パン 52
パンモード 53

ヒ
ピークホールド 90

フ
ファンタム電源 24, 46
フェーズ 47
フェーダー 6, 21, 32, 34, 39
 キャリブレーション 207
フェーダーグループ 59
フェーダーモード 19, 34
フェードタイム 192
フリーズ 156
プリファレンス 205
ブロック図 26

ヘ
ページエリア 31
ペア 57, 107, 117
ヘッドフォン端子 81

ホ
ボタン 2, 32

マ
マルチトラック録音 212

ミ
ミックスシーン 182
ミュート 51, 96
ミュートグループ 60

メ
メーター 16, 46, 79, 88, 89, 91, 92, 95

モ
モーターフェーダー 6
モジュレーション 128
モニター 79
 ブロック図 84
モニター出力 81

ユ
ユーザーインターフェース 7, 29
ユーザー定義 244

ラ
ラックマウント 266
ラックマウントキット 2

リ
リコールセーフ 193
リバーブ 127
リモート 8

ル
ルーティング 54, 95
ルーティングボタン 54

レ
レベル
 インプットチャンネル 51
 ステレオ出力 96

ロ
ローカルコントロール 240

ワ
ワードクロック 11, 210, 248, 250
 セットアップ 213

ユーザー登録のおすすめ

ヤマハでは01Vユーザーの皆様に「YAMAHA 01Vオフィシャルユーザー」の登録をおすすめしています。オフィシャルユーザーとして登録されますと、01Vのバージョンアップに関する情報の提供などのサービスが受けられます。

[登録方法] YAMAHA 01Vオフィシャルユーザー登録シートをコピーして該当事項をご記入のうえ FAX(053-460-2448)または郵送(〒430-8650浜松市中沢町10-1ヤマハ株式会社PA・DMI事業部PA営業部「01Vユーザー登録係」宛)にてお送りください。

YAMAHA 01Vオフィシャルユーザー登録シート

SER. No.	お買い上げ店		年月日	年	月	日
フリガナ 貴(社)名	フリガナ ご担当者名					
フリガナ ご連絡先	〒 -					
	会社	ご自宅	[TEL] ()	[FAX] ()		

職業: [01] RECエンジニア [02] MAエンジニア [03] SRエンジニア [04] ミュージシャン [05] コンポーザー/アレンジャー [06] 制作プロダクション [07] RECスタジオ [08] 放送局 [09] MAスタジオ [10] ホール/会館 [11] ライブハウス [12] 機材レンタル [13] 会社員 [14] 学生 [15] その他)

該当番号

年齢: [01] ~18才 [02] ~22才 [03] ~30才 [04] ~40才 [05] ~50才 [06] 51才~

01V評価項目(3つ以内):

[01] 各種フォーマット対応のデジタルI/O [02] トータルリコール/各種ライブラリーメモリー [03] 4バンド・フルパラメトリックEQ [04] 内蔵ダイナミクスプロセッサー [05] 内蔵デジタルエフェクト [06] モータードライブフェーダー [07] MIDIコントロールアサイン [08] MIDIリモート機能 [09] サウンドクオリティー [10] コンパクトサイズ [11] 価格 [12] その他)

使用目的:

[01] パーソナルユースのマルチレコーディング [02] 業務ユースのマルチレコーディング [03] MA/ポストプロダクション [04] プリプロダクション [05] ライブPA/SR [06] 演劇/ミュージカルSR [07] その他)

01Vと組み合わせるマルチトラックレコーダー(2つ以内):

[01] TASCAM DA-88/98 [02] TASCAM DA-38 [03] Alesis ada(xt) [04] Alesis M20 [05] FOSTEX D90 [06] AKAI DR8 [07] digidesign ProTools [08] E-MU DARWIN [09] その他)

比較機種(2つ以内):

[01] MACKIE 8BUS [02] MACKIE CR1604VLZ [03] Soundcraft SPIRIT STUDIO [04] A&H GL3 [05] BEHRINGER MX8000 [06] TASCAM M2600 [07] TASCAM M1600 [08] YAMAHA 03D [09] YAMAHA 02R [10] その他)

定期購読誌(2つ以内):

[01] SOUND&RECORDING [02] KEYBOARD MAG [03] KS [04] PROSOUND [05] DIGITAL CHROMA [06] 放送技術 [07] ビデオ [08] MacLife [09] DTM MAG [10] COMPUTER MUSIC MAG [11] QUIT [12] MJ [13] ラジオ技術 [14] その他)

ご使用パソコンについて:

[01] Macintosh [02] Windows 95 OS標準 [03] Windows 95/NEC [04] その他)

01Vへのご意見・ご感想 / ヤマハへのご要望など

サービスについて

保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-5085 (電話受付 = 祝祭日を除く月～金 / 11:00～19:00)

E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

営業窓口

PA営業部

北海道営業所	☎ 011-512-6106	〒064-0810	札幌市中央区南十条西1-1-50
仙台営業所	☎ 022-222-6214	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10
東京事業所	☎ 03-5488-5480	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11
名古屋営業所	☎ 052-232-5744	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
大阪事業所	☎ 06-6647-8359	〒556-0011	大阪市浪速区難波中1-13-17
九州営業所	☎ 092-412-5556	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
PA営業課	☎ 03-5488-5472	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11
PA推進室	☎ 053-460-2455	〒430-8650	浜松市中沢町10-1

ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスステーション	☎ 011-512-6108	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50	ヤマハセンター内
仙台サービスステーション	☎ 022-236-0249	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 03-5762-2121	〒143-0006	東京都大田区平和島2-1-1	京阪トラックターミナル14号棟A-5F
浜松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒435-0016	浜松市和田町200	ヤマハ(株)和田工場6号館2階
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒760-0029	高松市丸亀町8-7	(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
広島サービスステーション	☎ 082-874-3787	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	
九州サービスステーション	☎ 092-472-2134	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	
本社/CSセンター	☎ 053-465-1158	〒435-0016	浜松市和田町200	ヤマハ(株)和田工場6号館2階

所在地・電話番号などは変更されることがあります。
2001年5月現在

ヤマハ株式会社

PA営業部PA営業課 ☎ 03-5488-5472
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11